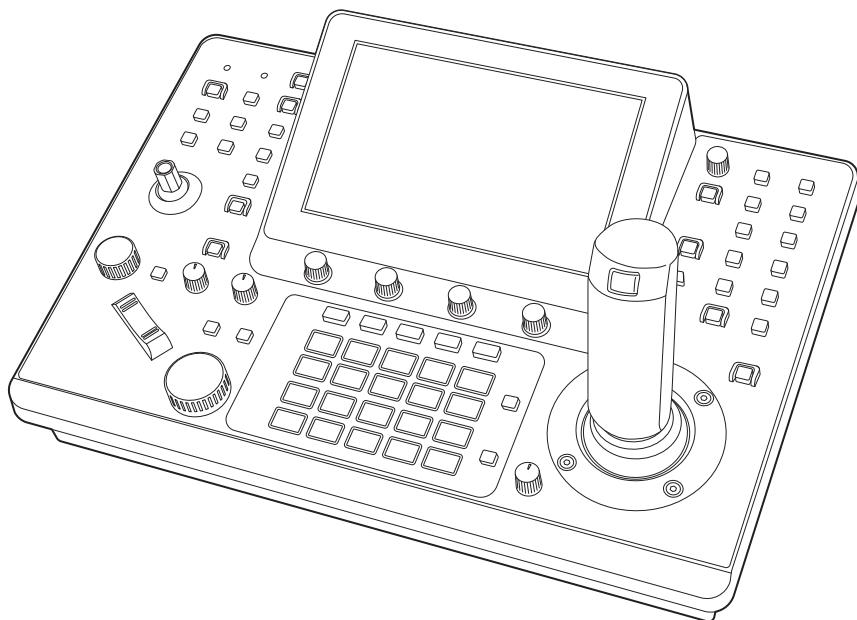


Panasonic®

取扱説明書

リモートカメラコントローラー

品番 AW-RP200G



HIE Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(5~7ページ)を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

GJ

W0226SR0 -FJ

JAPANESE

DPQP1747ZA

商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 10、Windows® 11 および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPadOS、iPhone、iPad、Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Chrome™ ブラウザは Google LLC の商標です。
- Intel®、Intel® Core™ は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- NDI® は映像伝送・制御技術であり、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft Edge 日本語版を Microsoft Edge と表記しています。
- 本書では、特定した機器を示す場合を除いて、「4K インテグレーテッドカメラ」または「回転台とカメラの組み合わせ」のことを、総称して「リモートカメラ」と記載しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

| 機器の品番 | 本書での記載 |
|---------------------------|-----------|
| AW-RP200G | AW-RP200 |
| AW-UE150W・ AW-UE150K | AW-UE150 |
| AW-UE150AW・ AW-UE150AK | AW-UE150A |
| AW-UE160W・ AW-UE160K | AW-UE160 |

| | |
|--|----|
| 安全上のご注意 | 5 |
| はじめに | 8 |
| 特長 | 9 |
| 対応するリモートカメラ | 9 |
| 使用上のお願い | 10 |
| 各部の名前とはたらき | 11 |
| 制御パネル部 | 11 |
| 背面部 | 16 |
| 設置上のご注意 | 18 |
| 接続 | 20 |
| IP接続例 | 20 |
| シリアル接続例 | 23 |
| 本運用の前に | 25 |
| 本機の基本の使いかた | 26 |
| メニューの基本操作 | 27 |
| メニュー表示のしかたとメニュー構成 | 27 |
| ステータス画面 | 30 |
| ステータス画面の表示 | 30 |
| 画面上段 (A) | 30 |
| 画面中段 (B) | 31 |
| 画面下段 (C) | 32 |
| マクロ機能について | 33 |
| 本機の操作のカスタマイズ | 34 |
| ユーチャーボタン | 34 |
| ファンクションバー | 36 |
| L/R-ロックバー・L-ジョイスティック・フォーカスダイヤル・アイリストダイヤル | 37 |
| 操作方向 | 37 |
| 本機のネットワーク設定を行う | 38 |
| リモートカメラとの接続設定を行う | 40 |
| リモートカメラとの接続種別 (シリアル/IP/接続なし) を設定する | 41 |
| 自動でIPアドレスを設定する (自動IP設定) | 41 |
| 接続先IPアドレス (リモートカメラ) とポート番号を手動で設定する | 46 |
| 本機に設定されている接続先IPアドレスを初期化する | 46 |
| オペレーションモード | 47 |
| カメラ選択について | 48 |
| プリセットメモリー制御について | 48 |
| マクロ制御について | 50 |
| オペレーションモード1 | 51 |
| オペレーションモード2 | 52 |
| オペレーションモード3 | 53 |
| オペレーションモード4 | 55 |
| オペレーションモード5 | 56 |
| メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御 | 58 |
| カメラ選択 | 59 |
| プリセットメモリー制御 | 61 |
| マクロ制御 | 63 |
| ショートカットボタン | 64 |
| 本機の映像入出力とそれを用いた機能 | 66 |
| 映像の入出力 | 66 |
| クロップ機能 | 67 |
| 波形表示およびベクトルスコープ | 68 |
| リモートカメラの電源の入れかたと切りかた | 69 |
| リモートカメラの電源の入れかた | 69 |
| リモートカメラの電源の切りかた (スタンバイ状態への移行) | 70 |
| 各種データのバックアップについて | 71 |
| カメラに保存されている情報 ([SCENE]・[CAMERA ALL]) | 73 |
| 本機に保存されている情報 ([ALL]・[RP SETTING]・[TMEM]・[MACRO]・[CONN SETTING]・[CAM CTRL INFO]) | 76 |

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 各種連携機能について | 79 |
| 本機のカメラ選択と当社ROPのカメラ選択が連動する機能 | 79 |
| 本機からのカメラ選択とスイッチャーの指定された出力のバス切替が連動する機能 | 79 |
| 本機で他社製ドリー・トーテム等の外部機器を制御する機能 | 80 |
| メニュー | 81 |
| メニュー グループ | 81 |
| PAINT | 82 |
| CAMERA SETTING | 87 |
| RP MENU | 91 |
| PMEM/TMEM/MACRO | 102 |
| CONNECT | 109 |
| Web 画面の表示 | 114 |
| Web 画面へのログイン | 115 |
| Web 画面からの設定 | 116 |
| Web 設定画面 [Setup Menu] | 116 |
| System | 117 |
| Connect Setting | 118 |
| Macro | 127 |
| Video Input over IP | 130 |
| Access Management | 133 |
| RP200 Network | 133 |
| Maintenance | 136 |
| メッセージ一覧 | 140 |
| トラブルシューティング | 141 |
| 保証とアフターサービス (よくお読みください) | 142 |
| 外形寸法図 | 143 |
| 定格 | 144 |
| 外部機器の制御インターフェース | 145 |
| さくいん | 148 |

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | |
|---|----------------------------------|
|  警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
|  注意 | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

| | |
|---|------------------|
|      | してはいけない内容です。 |
|   | 実行しなければならない内容です。 |

 **警告**

| | |
|--|--|
|  ! | <p>■本機の設置や接続工事は販売店に依頼する (設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。 ⇒必ず販売店に依頼してください。)</p> |
|  ! | <p>■電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない (火災や感電の原因となります。)</p> |

異常、故障時には直ちに使用を中止する

| | |
|--|--|
|  電源プラグを抜く | <p>■異常があったときは、PoE++給電のLANケーブルおよび外部DC電源の電源プラグを抜く 〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、 煙や異臭、異音などが出たとき〕 (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。 ⇒本機を電源から完全に遮断するには、PoE++給電のLANケーブル、DCコードを抜く必要があります。 ⇒お買い上げの販売店にご相談ください。)</p> |
|  ! | <p>■外部DC電源のDCプラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 ⇒傷んだプラグは使用しないでください。 (DC電源は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p> |
| | <p>■PoE++給電のLANケーブル、DCコードのほこりなどは、定期的にとる (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p> |
| | <p>■高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは、電源を切る (ペースメーカーや医療機器等の医療現場で使用するときには、本機からの電波が電子機器に影響をおよぼす場合があり、誤動作による事故の原因になります。)</p> |
| | <p>■外部DC電源は、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。 ⇒詳しくは、本書の16ページを参照してください。 (DC電源は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p> |
| | <p>■外部DC電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部DC電源を使用すると火災の原因になります。 ⇒詳しくは、本書の16ページを参照してください。 ⇒外部DC電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒外部DC電源は、電気用品安全法のマーク[○]の付いたものをご使用ください。)</p> |

! 警告 (つづき)

| | |
|---|---|
|  分解禁止 | <p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。</p> |
| | <p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p> |
|  接触禁止 | <p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> |
| | <p>■ 雷が鳴り出したら、本機や接続ケーブルには触れない (感電の原因になります。)</p> |
|  水場使用禁止 | <p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)</p> |
| | <p>■ むれた手で接続ケーブルやコネクターに触れない (感電の原因になります。)</p> |
|  ぬれ手禁止 | <p>■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)</p> |
| | <p>PoE++給電のLANケーブル、外部DC電源は・・・</p> |
|  | <p>■ PoE++給電のLANケーブル、DCコードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、] 重いものを載せる、束ねるなど (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒PoE++給電のLANケーブル、DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、 お守りください。</p> |
| | <p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p> |
|  接触禁止 | <p>■ 雷が鳴り出したら、PoE++給電のLANケーブル、DCコードには触れない (感電の原因になります。)</p> |
| | <p>■ むれた手でPoE++給電のLANケーブルやコネクターに触れない (感電の原因になります。)</p> |

! 注意

| | |
|--|---|
|  | <p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さまにしない、通風孔やファンをふさがない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p> <p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)</p> <p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60°C以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。 ⇒本機を絶対に放置しないでください。)</p> <p>■ 接続ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 ⇒必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。)</p> <p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p> |
|  電源プラグを抜く | <p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、外部DC電源の電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p> |
|  | <p>■ ケーブルを接続した状態で移動しない (ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。また、ケーブルが引っかかって、けがの原因になります。)</p> <p>■ 落としたり、破損させたりしない (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。 ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。)</p> <p>■ ケーブルなどを傷つけない (重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。)</p> |

■概要

本機は、リモートカメラ（別売品）を制御するリモートカメラコントローラーです。
IP接続であれば最大200台、シリアル接続であれば最大3台のリモートカメラを接続することができます。

■必要なパーソナルコンピューターの環境

| | |
|---------------|--|
| CPU | Intel® Core™ 第7世代 (Kaby Lake以降) 推奨 |
| メモリー | 【Windowsの場合】 4 GB以上 【Macの場合】 4 GB以上 |
| ネットワーク機能 | 100BASE-T/TXまたは 1000BASE-T RJ-45コネクター |
| 画像表示機能 | 解像度：1920×1080ピクセル以上、 発色：True Color 24ビット以上 |
| 対応OSとWebブラウザー | 【Windows】 Microsoft® Windows® 11 Microsoft® Windows® 10 Microsoft Edge（最新版） Google Chrome 【Mac】 macOS15 macOS14 macOS13 Safari Google Chrome |

■免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できることによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- ⑧ 本体やUSBメモリー等またはパーソナルコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

■ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。
ネットワークへ接続して使用するときには、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウィルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、必ずすべてのWebブラウザを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- パスワードは第3者が容易に推測できないよう、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊記号の少なくとも3つを含め8文字以上で設定してください。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 本機を廃棄・譲渡する場合は、ユーザーIDおよびパスワードの情報を削除してください。

ユーザー認証について

ネットワークに接続する場合、本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないためには、ユーザー認証を有効にしてアクセスを制限するなどの対策を実施してください。

使用時の制約事項

接続する機器のネットワーク環境は、本機のネットワーク設定と同一のセグメントを推奨します。
セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

■アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記のWebサイトの「サポート・ダウンロード」から入手することができます。

（日本語）

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav>
(英語)

<https://pro-av.panasonic.net/en/>

アップグレードの手順は、ダウンロードサイトに掲載されている手順書に従って行ってください。

IP接続とシリアル接続に対応

IP接続

- ネットワークハブ(スイッチングハブ)を介して最大200台までのリモートカメラ^{*1}を接続することができます。
- 本機の自動IP設定機能で、リモートカメラ^{*1}のIPアドレスを自動的に割り付けて制御可能にします。
- *1:「対応するリモートカメラ」(9ページ)参照
- 最大5台の本機から、1台のリモートカメラを同時に制御することができます。

シリアル接続

- 最大3台までのリモートカメラを接続することができます。

複数のオペレーションモードに対応

- カメラ選択やプリセットメモリー制御、マクロ制御など異なるオペレーションモードを搭載し、運用に応じて最適なモードを選択することができます。

クロッピングの操作に対応

- 本機とCropping機能をもつリモートカメラを接続することで、4K映像からHD映像を切り出す操作(Cropping機能)を行うことができます。

リモートカメラを簡単に操作

- パン/チルト、ズーム、フォーカスを操作する専用のジョイスティック、ロッカー、ボタン、ダイヤルを装備。さらに、それぞれに専用のスピード調整ボリュームを配置。カメラアングル調整を、迅速・確実に行うことができます。
- ホワイトバランス、ブラックバランスの自動調整を実行するAWBボタン、ABBボタンを装備。さらにWHITE BALANCE、GAIN、SHUTTER/ND、PED、DTL/DNR、ZOOM/OIS、PAN/TILT、PMEMに対応した機能を各ファンクションダイヤルに素早くアクセスできるショートカットボタンを装備。マニュアル操作による色調整も、簡単に行うことができます。
- プリセットメモリーを多用する運用現場においても、迅速な呼び出し操作ができます。また、リモートカメラがプリセットメモリー位置まで移動する速度(プリセットメモリースピード)を、本機の各プリセットメモリー番号に記憶することができます。運用に応じて、プリセットメモリー番号によって異なる速度でリモートカメラを動作させることができ、多彩な映像演出が可能になります。
- 1台のリモートカメラの一連の操作を記録するトレーシングメモリーを内蔵。リモートカメラの動作を再現することができます。また、複数のリモートカメラのシーケンス動作等をワンプッシュで再現できるマクロ機能を内蔵。Webメニューでマクロのシーケンスを作成、マルチセレクトスイッチ等で実行することができます。
- PoE++^{*2}搭載により本機の電源工事が不要です。PoE++規格対応のネットワーク機器(IEEE802.3bt準拠)^{*3}に接続することによって、本機の電源工事が不要となります。

NOTE

- ソフト認証の必要なPoE++給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。
- 外部DC電源とPoE++給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となります。
- PoE++給電に使用するケーブルは、カテゴリー5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100mです。カテゴリー5以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。
- ギガビットイーサネット対応パソコンとPoE++インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパソコンで認識されないことがあります。その場合は、パソコンと本機間をクロスのLANケーブルで接続(またはクロス接続)してください。

*2: Power over Ethernet Plus Plusの略です。以降「PoE++」と表記いたします。

*3: 動作確認済みのPoE++給電装置については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

対応するリモートカメラ

● 4Kインテグレーテッドカメラ

AW-UE150/AW-UE150A/AW-UE160

詳細は、下記のWebサイトもご参照ください。

(日本語)

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav>

(英語)

<https://pro-av.panasonic.net/en/>

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

取り扱いはていねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。
また、ジョイスティックやダイヤルを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

使用温度範囲は、0 °C～40 °Cでお使いください。

0 °Cを下回る寒いところや、40 °Cを超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

ケーブルの抜き差しは電源を切ってから

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

湿気、ほこりの少ないところで

湿気、ほこりの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

NOTE

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

火を近づけないでください

ろうそく等の炎を機器の近くに置かないでください。

水をかけないでください

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

液晶パネルについて

液晶パネルのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、映像に何ら影響を与えるものではありません。

表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。

液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。

液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。

本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。

液晶パネルはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をすると、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。

また、次のような環境での連続使用は避けてください。

- 高温多湿になる密閉された場所
- 空調設備の吹き出し口近くなど

上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。

経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをお勧めします。

- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
- 輝度を下げる
- 使用しない場合は本体の電源を切る

残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

PoE++給電について

本機は、IEEE802.3btに準拠しています。（PD Type3、Class5、40 W）

PoE++給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターをご使用ください。

ソフト認証（LLDP）は、IEEE802.3btに準拠していますが、ネットワーク機器の設定が必要になる場合があります。

動作確認済みイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

ソフト認証の必要なPoE++給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。

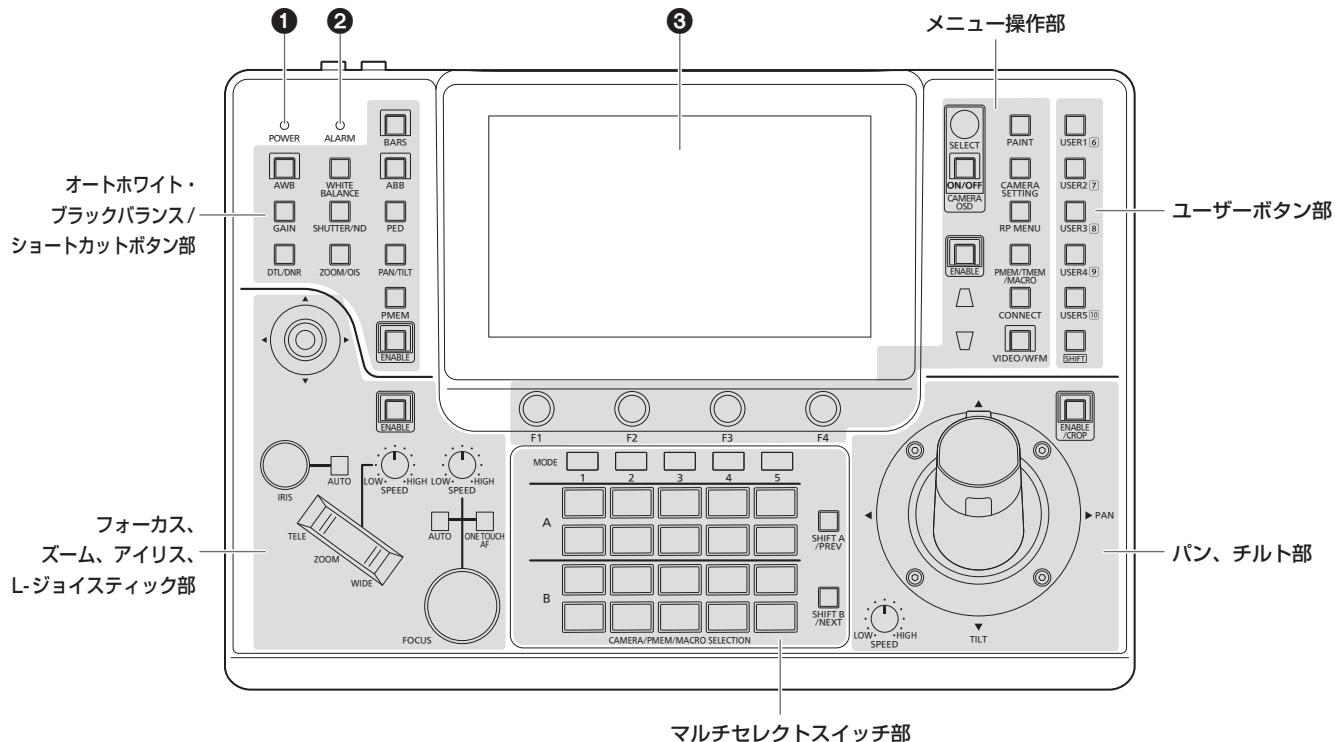
外部DC電源とPoE++給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像と通信が切れます。

PoE++給電に使用するケーブルは、カテゴリー5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100 mです。カテゴリー5以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。

ギガビットイーサネット対応パソコン 컴퓨터とPoE++インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパソコン 컴퓨터で認識されないことがあります。その場合は、パソコン 컴퓨터と本機間をクロスのLANケーブルで接続（またはクロス接続）してください。

各部の名前とはたらき

制御パネル部



① POWERランプ [POWER]

DC IN端子(背面部②)に電源が入力またはLAN端子(背面部⑥)から電源供給されているときに、背面のPOWERスイッチ(背面部①)をONにすると点灯します。

アンバー点灯：起動中

緑点灯：操作インターフェースキャリブレーション開始および通常動作中

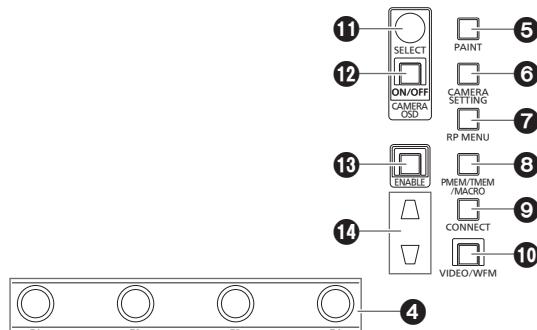
② ALARMランプ [ALARM]

リモートカメラからアラーム(冷却ファンのアラーム、パン/チルトのエラー等)を受信または本機のアラーム(冷却ファンのアラーム等)を受信したときに点灯します。

③ メインLCDパネル

現在の設定状態を表示します。

メニュー操作部



④ F1ダイヤル [F1]、F2ダイヤル [F2]、F3ダイヤル [F3]、F4ダイヤル [F4] (ファンクションダイヤル)

本機のLCDパネルに表示されている項目を操作します。ステータス画面を表示している場合、LCDパネル下部に表示されている項目(ファンクションバー)の値を操作します。メニュー画面が表示されている場合、選択したメニュー項目の値を操作します。

⑤ PAINTボタン [PAINT]

PAINTのメニューをLCDパネルに表示します。

⑥ CAMERA SETTINGボタン [CAMERA SETTING]

CAMERA SETTINGのメニューをLCDパネルに表示します。

⑦ RP MENUボタン [RP MENU]

RP MENUのメニューをLCDパネルに表示します。

⑧ PMEM/TMEM/MACRO ボタン [PMEM/TMEM/MACRO]

PMEM/TMEM/MACRO のメニューを LCD パネルに表示します。

⑨ CONNECT ボタン [CONNECT]

CONNECT のメニューを LCD パネルに表示します。

⑩ VIDEO/WFM ボタン [VIDEO/WFM]

本機に入力されている SDI 入力または IP 入力映像を LCD パネルに表示したり、そのときの映像の波形やベクトルスコープを LCD 上に表示します。

状態遷移には上下ボタン (⑭) を使用します。

⑪ (カメラ OSD メニュー操作)

CAMERA OSD SELECT ダイヤル [CAMERA OSD SELECT]

CAMERA OSD ON/OFF ボタンが点灯しているときに、ダイヤルを回してメニューを選択し、押して決定します。

⑫ (カメラ OSD メニュー操作)

CAMERA OSD ON/OFF ボタン [CAMERA OSD ON/OFF]

カメラの OSD の ON/OFF を切り替えます。

⑬ メニュー操作 ENABLE ボタン [ENABLE]

メニュー操作部、カメラ OSD メニュー部、LCD パネルの操作の有効と無効を切り替えます。

長押しすると、LCD パネルを消灯します。

点灯時：メニュー操作部、カメラ OSD メニュー部、LCD パネルの操作が有効

消灯時：メニュー操作部、カメラ OSD メニュー部、LCD パネルの操作が無効

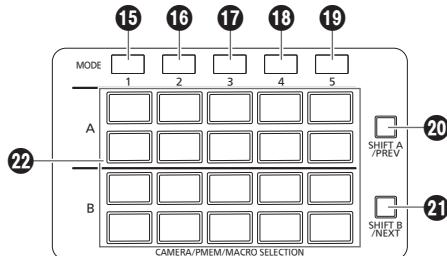
⑭ 上下ボタン

メニュー画面表示時：メニュー画面のカーソルを上下に 1 行移動します。

ステータス画面表示時：LCD パネル上でのカメラ選択、プリセットメモリー制御、マクロ制御を切り替えます。

[VIDEO/WFM]=ON 時：波形表示やベクトルスコープの画面を遷移します。

マルチセレクトスイッチ部(オペレーションモード部)



⑮ MODE 1 ボタン [1]

マルチセレクトスイッチをカメラ選択 × 20 に切り替えます。

⑯ MODE 2 ボタン [2]

マルチセレクトスイッチをプリセットメモリー制御 × 20 に切り替えます。

⑰ MODE 3 ボタン [3]

マルチセレクトスイッチをカメラ選択 × 10・プリセットメモリー制御 × 10 に切り替えます。

⑱ MODE 4 ボタン [4]

マルチセレクトスイッチをマクロ制御 × 20 に切り替えます。

⑲ MODE 5 ボタン [5]

マルチセレクトスイッチをカメラ選択 × 10・マクロ制御 × 10 に切り替えます。

⑳ SHIFT A/PREV ボタン [SHIFT A/PREV]

MODE1・3・5：マルチセレクトスイッチ部上段 (A) に表示するカメラグループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ (⑳) に表示にする

MODE2：マルチセレクトスイッチ部 (⑳) に表示するプリセットメモリーデータを遷移する (前頁に切り替える)

MODE4：マルチセレクトスイッチ部 (⑳) に表示するマクロデータを遷移する (前頁に切り替える)

㉑ SHIFT B/NEXT ボタン [SHIFT B/NEXT]

MODE1：マルチセレクトスイッチ部下段 (B) に表示するカメラグループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ (㉑) に表示にする

MODE2：マルチセレクトスイッチ部 (㉑) に表示するプリセットメモリーデータを遷移する (次頁に切り替える)

MODE3：マルチセレクトスイッチ部下段 (B) に表示するプリセットメモリーグループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ (㉑) に表示にする

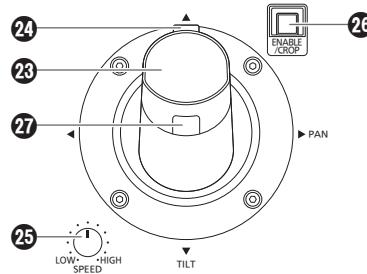
MODE4：マルチセレクトスイッチ部 (㉑) に表示するマクロデータを遷移する (次頁に切り替える)

MODE5：マルチセレクトスイッチ部下段 (B) に表示するマクログループを選択する画面をマルチセレクトスイッチ (㉑) に表示にする

㉒ マルチセレクトスイッチ [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION A, B]

MODE 1～5 に応じた機能 / 表示に割り当てられます。

パン、チルト部



②③ R-ジョイスティック

現在選択されているリモートカメラの向きを制御します。
ジョイスティックを倒す角度により、動作スピードが変わります。

左右に倒す：左右方向に動作

前後に倒す：上下方向に動作

クロップを選択中 (PAN/TILT ENABLE/CROP ボタン (26) が緑色に点灯しているとき) は、カメラのクロップ位置の制御を行います。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

④ R-ロッカー

フォーカスまたはズーム機能等を割り当てて制御することができます。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

⑤ PAN/TILT SPEED ダイヤル [SPEED]

R-ジョイスティック操作に対する動作スピードの変化量を調整します。

時計方向に回す：高速で動く (HIGH)

反時計方向に回す：低速で動く (LOW)

⑥ PAN/TILT ENABLE/CROP ボタン [ENABLE/CROP]

R-ジョイスティック (23) やR-ロッカー (24) を有効にします。

点灯：R-ジョイスティックやR-ロッカーの操作が有効 (アンバー色)

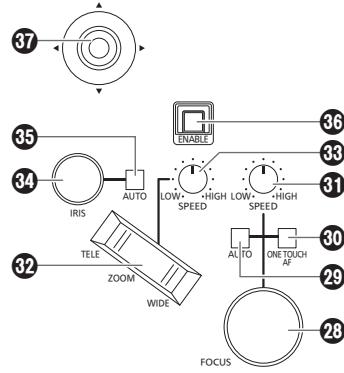
消灯：R-ジョイスティックやR-ロッカーの操作が無効 (ボタンを長押し)

● このボタンを押して緑色に点灯させると、切り出し枠の操作に切り替わります。

⑦ R-ジョイスティックUSER ボタン

R-ジョイスティックユーザー ボタンに割り当てた機能を呼び出します。

フォーカス、ズーム、アイリス、L-ジョイスティック部



⑧ FOCUS ダイヤル [FOCUS]

手動でフォーカス制御を行います。

オートフォーカス中 (オートフォーカスボタン (29) が点灯しているとき) は、操作が無効となります。

時計方向に回す：フォーカスが遠距離側に動く

反時計方向に回す：フォーカスが近距離側に動く

⑨ オートフォーカスボタン [AUTO]

フォーカス制御を「自動 (オートフォーカス)」に設定します。

オートフォーカス中は、FOCUS ダイヤル (28)、ワンタッチオートフォーカスボタン (30) の操作が無効となります。

点灯：オートフォーカス

消灯：マニュアルフォーカス

⑩ ワンタッチオートフォーカスボタン [ONE TOUCH AF]

マニュアルフォーカス中 (オートフォーカスボタン (29) が消灯しているとき) に押すと、一瞬ボタンが点灯してオートフォーカス動作を行い、焦点を合わせます。

このボタン以外にも、メインLCD上で画面全体に映像を表示しているときに、LCDをタッチすることでワンタッチオートフォーカスが動作します。詳細は「波形表示およびベクトルスコープ」(68ページ) を参照してください。

⑪ FOCUS SPEED ダイヤル [SPEED]

FOCUS ダイヤル (28) の操作に対する動作の変化量を調整します。

時計方向に回す：高速で動く (HIGH)

反時計方向に回す：低速で動く (LOW)

● R-ロッカーがFOCUSに割り当てられているときには、この設定で動作します。

⑫ L-ロッカー [ZOOM]

レンズのズームを調整します。

ボタンを押し込む度合いによって、ズーム動作のスピードが変わります。

TELE側を押す：望遠側に動く

WIDE側を押す：広角側に動く

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

③ L-ロッカー SPEED ダイヤル [SPEED]

L-ロッカー (③) の操作に対する動作の変化量を調整します。

時計方向に回す：高速で動く (HIGH)

反時計方向に回す：低速で動く (LOW)

- R-ロッカーがZOOMに割り当てられているときには、この設定で動作します。

④ IRIS ダイヤル [IRIS]

マニュアルアイリス中 (オートアイリスボタン (⑤) が消灯しているとき) に手動でレンズ絞りを制御します。

オートアイリス中 (オートアイリスボタン (⑤) が点灯しているとき) は、リモートカメラのオートアイリスの収束レベルを調整します。

時計方向に回す：レンズ絞りが開く方向に動く

反時計方向に回す：レンズ絞りが閉じる方向に動く

⑤ オートアイリスボタン [AUTO]

レンズ絞りの制御を「自動 (オートアイリス)」に設定します。

点灯：オートアイリス

消灯：マニュアルアイリス

⑥ FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLE ボタン [ENABLE]

FOCUS ダイヤル (⑧)、L-ロッカー (③)、IRIS ダイヤル (④)、L-ジョイスティック (⑦) の操作の有効と無効を切り替えます。

点灯：FOCUS ダイヤル、L-ロッカー、IRIS ダイヤル、L-ジョイスティックの操作が有効

消灯：FOCUS ダイヤル、L-ロッcker、IRIS ダイヤル、L-ジョイスティックの操作が無効

- メニューで各インターフェースがENABLE ボタンの設定に従うかどうか設定できます。詳細は [RP MENU]>[CONTROL I/F]>[SYNC ENBL BTN] を参照してください。

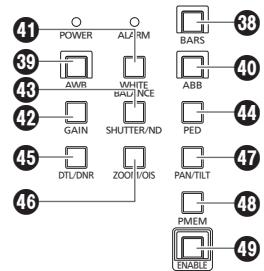
⑦ L-ジョイスティック

マルチセレクトスイッチやLCDパネルで選択中以外のカメラの PAN/TILT や、本機のLCD上でのメニュー操作等が割り当て可能です。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部



⑧ BARS ボタン [BARS]

リモートカメラから出力される映像信号を切り替えます。

ボタンを押すごとに、「カメラが撮影している映像信号」、「カラーバー」信号が切り替わります。

消灯：カメラが撮影している映像信号を出力

点灯：カラーバー信号を出力

⑨ AWB ボタン [AWB]

ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整結果をリモートカメラのメモリー A やメモリー B に登録します。

ホワイトバランスの調整中は AWB ボタンが点灯し、正常に調整されたときに消灯します。

調整できなかった場合は、点滅します。

- ホワイトバランスの自動調整が終了すると、R GAIN、B GAIN の値は±0になります。
- リモートカメラからカラーバー信号が出力されているとき (BARS ボタン (⑧) が点灯) や、ATW が選択されているときに AWB ボタンを押すと、調整されずに点滅します。
- 調整できなかったときは、光源、レンズ絞り、被写体等を変えて調整し直してください。

⑩ ABB ボタン [ABB]

ブラックバランスの自動調整を実行します。

ボタンを押すと自動的にアイリスが絞られ調整が実行されます。

ブラックバランスの調整中は ABB ボタンが点灯し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかった場合は点滅し、ブラックバランスの設定は変わりません。

- 調整できなかったときは、カメラやレンズのケーブルの接続を確認し、調整し直してください。

⑪ WHITE BALANCE ボタン [WHITE BALANCE]

ショートカットボタンとして、LCDにホワイトバランス関連の機能を呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

⑫ GAIN ボタン [GAIN]

ショートカットボタンとして、LCDにゲイン関連の機能を呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

⑬ SHUTTER/ND ボタン [SHUTTER/ND]

ショートカットボタンとして、LCDにシャッター、ND フィルター関連の機能を呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

⑭ PED ボタン [PED]

ショートカットボタンとして、LCDにペデスタル関連の機能を呼び出します (F1 ~ F4 ダイヤルで操作します)。

⑮ DTL/DNR ボタン [DTL/DNR]

ショートカットボタンとして、LCDにディテール、デジタルノイズリダクション関連の機能を呼び出します (F1～F4 ダイヤルで操作します)。

⑯ ZOOM/OIS ボタン [ZOOM/OIS]

ショートカットボタンとして、LCDにズーム・OIS 関連の機能を呼び出します (F1～F4 ダイヤルで操作します)。

⑰ PAN/TILT ボタン [PAN/TILT]

ショートカットボタンとして、LCDにPAN・TILT操作をする際の制御設定関連の機能を呼び出します (F1～F4 ダイヤルで操作します)。

⑲ PMEM ボタン [PMEM]

ショートカットボタンとして、LCDにプリセットメモリーの制御設定関連の機能を呼び出します (F1～F4 ダイヤルで操作します)。

⑲ オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン

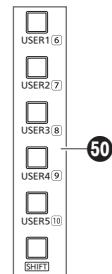
ENABLE ボタン [ENABLE]

オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部の操作の有効と無効を切り替えます。

点灯：オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部の操作が有効

消灯：オートホワイト・ブラックバランス/ショートカットボタン部の操作が無効

ユーザー ボタン部

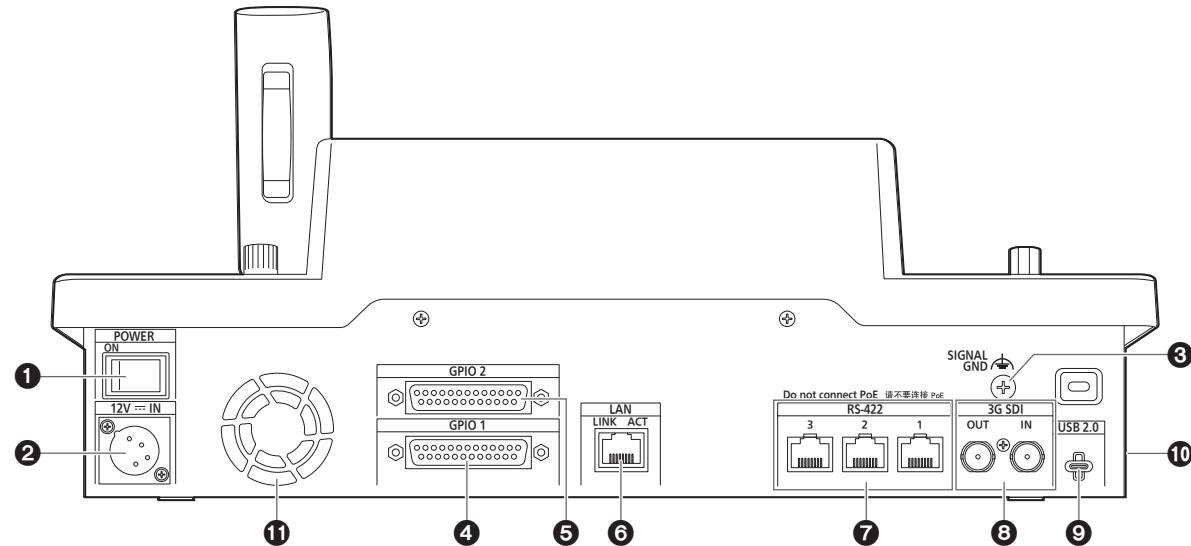


⑳ USER ボタン [USER 1/[6]] ~ [USER 5/[10]]、[SHIFT]

USER 1～USER 10に割り当てた機能を呼び出します。

SHIFT ボタンにより USER 1～5、6～10 を切り替えます。

背面部



① POWERスイッチ [POWER]

POWERスイッチをONにするとPOWERランプ(制御パネル部①)がアンバーに点灯し、その後緑色に点灯後、LCD上にステータス画面が表示されたあと、本機を操作することができます。

② DC IN端子 [12V == IN] (DC 12 V) (XLRコネクター)

外部DC電源を接続します。

- DCコードは、最長2 m (AWG16コード使用時)のコードを使用してください。

■ 外部DC電源について

外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。

接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。

総消費電力÷電圧

本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。

- 外部DC電源のDC出力端子と、本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。
- 誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

| 12V == IN | | |
|-------------------------|---|-------|
| | 1 | GND |
| | 2 | — |
| | 3 | — |
| | 4 | +12 V |
| XLR-4-32-F512 ITT キャノン製 | | |

③ グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

④ GPIO 1端子 [GPIO 1]

JST製：JBY-25S-1A3F(LF)(SN)

外部機器と接続して、タリー情報や、カメラ選択、カメラ選択状態の送信、プリセットメモリー再生等をすることができます。端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

⑤ GPIO 2端子 [GPIO 2]

JST製：JBY-25S-1A3F(LF)(SN)

外部機器と接続して、タリー情報や、カメラ選択、カメラ選択状態の送信、プリセットメモリー再生等をすることができます。端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

⑥ LAN端子 [LAN] (RJ-45) 1000BASE-T

IP接続対応のリモートカメラ等をLANケーブル(カテゴリー5e以上、STP (Shielded Twisted Pair)、最大100 m)で接続します。

NOTE

- PoE++給電のLANケーブルはこの端子に接続してください。

⑦ RS-422 1 ~ 3端子 [RS-422 1 ~ 3] (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。ストレートケーブル(カテゴリー5e以上のシールドケーブル)で接続してください。

NOTE

- これらの端子には、PoE++給電用のケーブルを接続しないでください。

⑧ 3G SDI端子 [3G SDI]

SDI信号の入出力に使用します。

- 本機の電源がOFFのときは、OUT端子から信号が出力されません。

⑨ USB端子 (Type-Cコネクター) [USB2.0]

本機とUSBメモリーを接続し、ファームウェアのアップデートが可能です。
また、設定データ等のダウンロード・アップロードが可能です。
● USB2.0 HOST、USBバスパワー機能あり

⑩ USB端子 (Type-Aコネクター) [USB2.0]

本機とUSBメモリーを接続し、ファームウェアのアップデートが可能です。
また、設定データ等のダウンロード・アップロードが可能です。
● USB2.0 HOST、USBバスパワー機能あり

⑪ 冷却ファン

冷却ファンの通風孔をふさぐと故障の原因となります。
通風孔周囲には、十分な空間を確保してください。

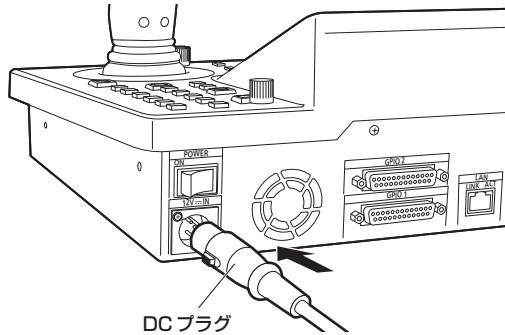
設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

電源の接続について

- 外部DC電源のDCプラグは、ロックするまで奥に差し込んでください。



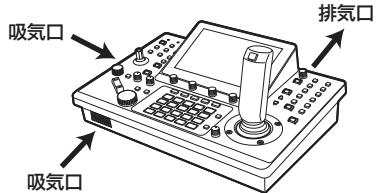
- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、外部DC電源のDCプラグを抜いてください。

内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 安定した場所に設置して使用してください。
- 本機の通気孔周辺は、通風の妨げにならないように100 mm以上の空間を確保してください。
特にパネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 直射日光の当たるところへの設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。



卓埋め込み時の取り付け例

本機を卓に埋め込んで使用する場合は、下記の手順を参考にしてください。

1. 設置場所に応じたマウントアングルを製作する

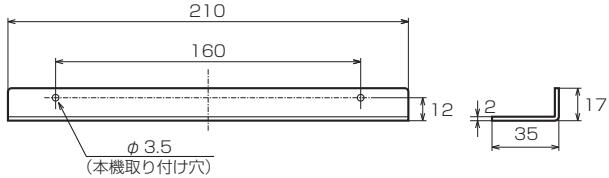
<マウントアングル例>

●卓取り付け側



(単位: mm)

●本機取り付け側



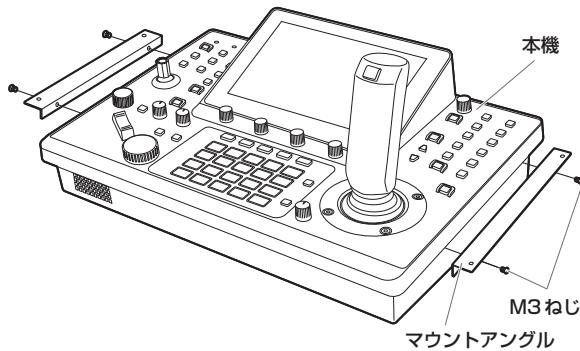
210

160

φ3.5
(本機取り付け穴)

2. マウントアングルを本機の側面に取り付ける

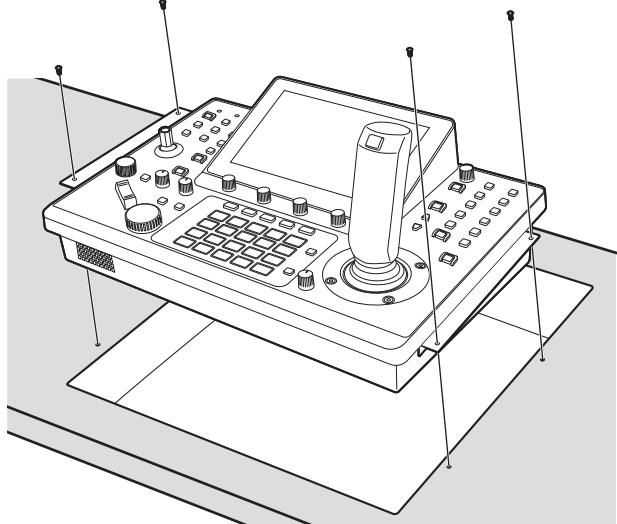
(M3ねじ 長さ 6 mm以下、4本)



NOTE

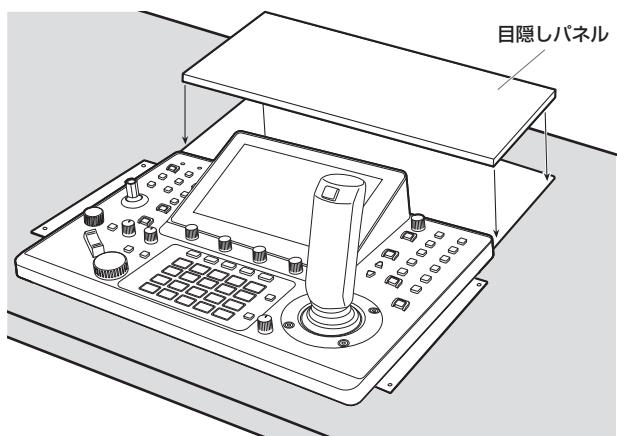
- 本機へのマウントアングル取り付け時の寸法の詳細については、「外形寸法図」(143ページ)を参照してください。

3. 卓の開口部に本機をはめ込み、固定する(ねじ4本)



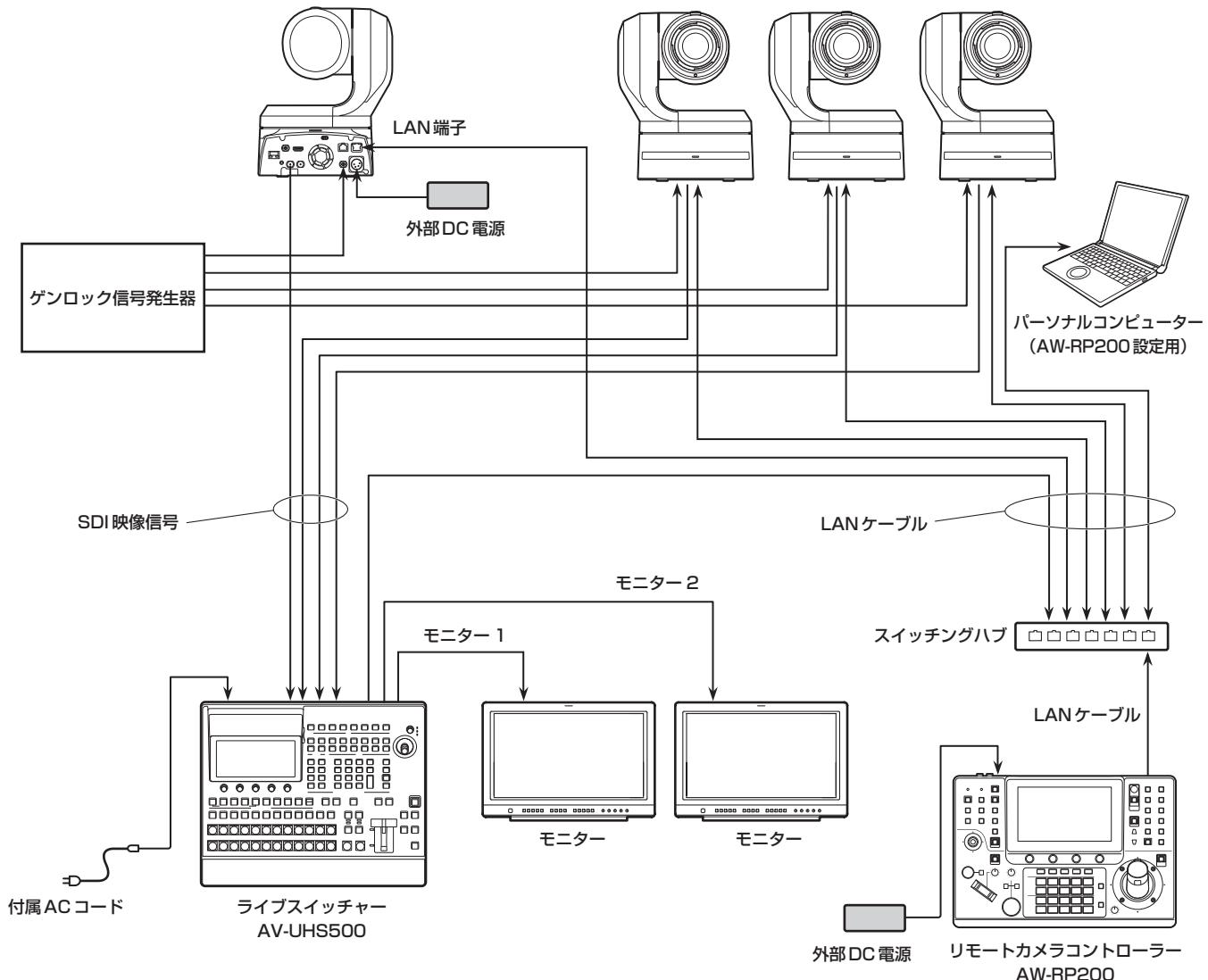
- 卓取り付け穴のサイズ(例: φ5 mm)に適合するねじをご準備ください。

4. 必要に応じて目隠しパネルを製作し、卓にはめ込む



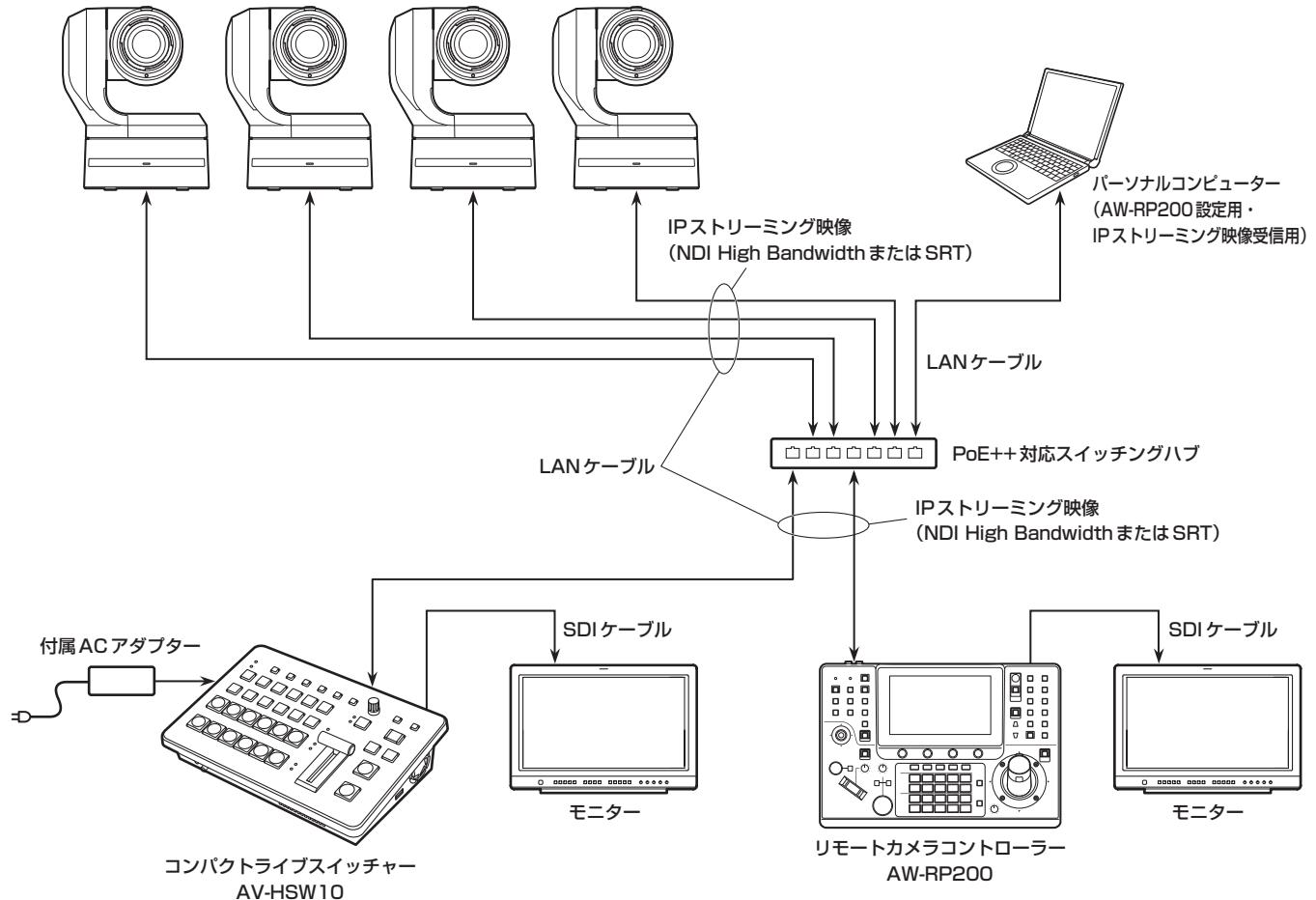
IP接続例

■リモートカメラとのIP接続 (SDI映像運用)



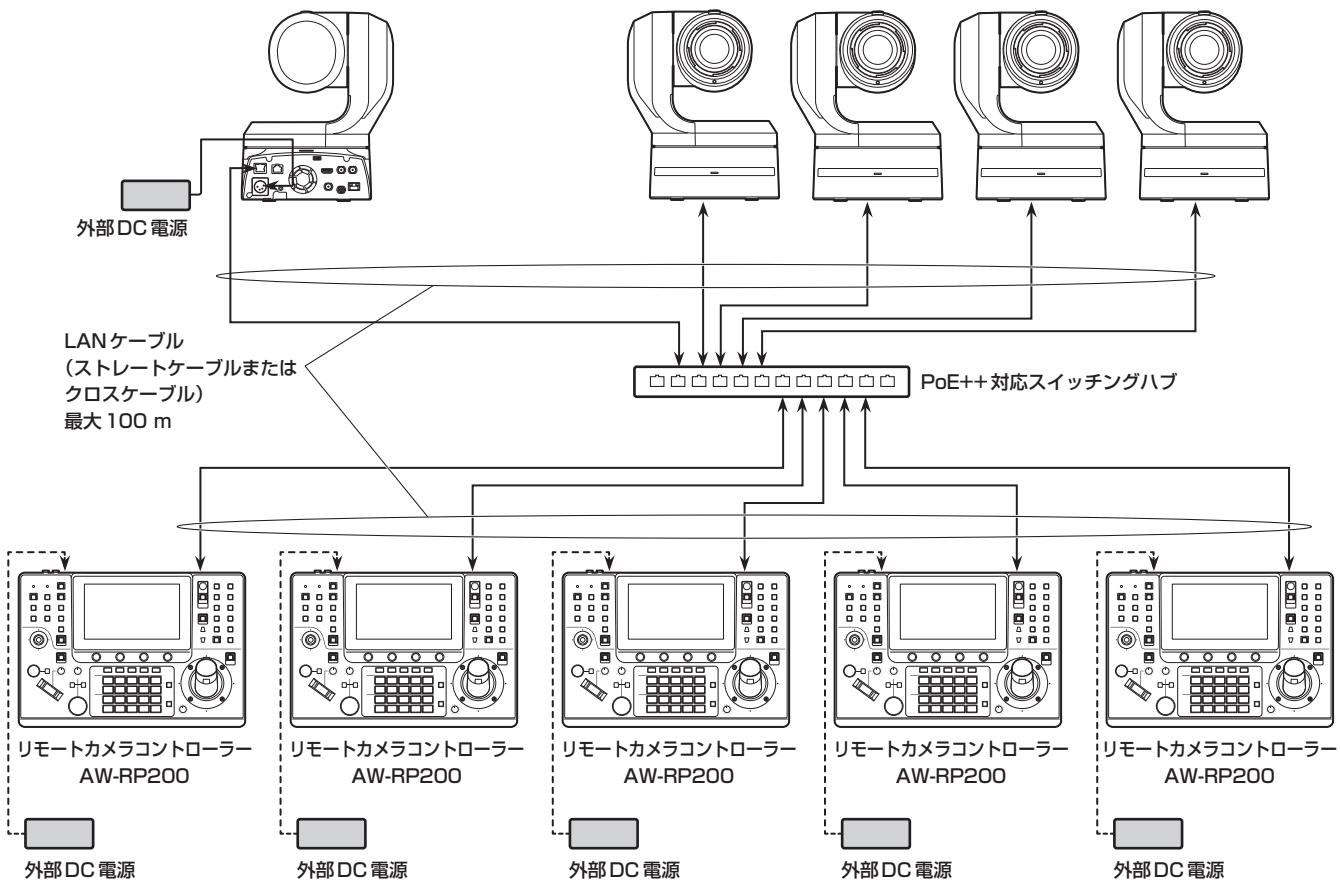
- LANケーブルは、カテゴリー5e以上のケーブルを使用してください。
- シリアル接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機1台に、IP接続、シリアル接続を合計して最大200台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

■ リモートカメラとのIP接続 (IP 映像運用)



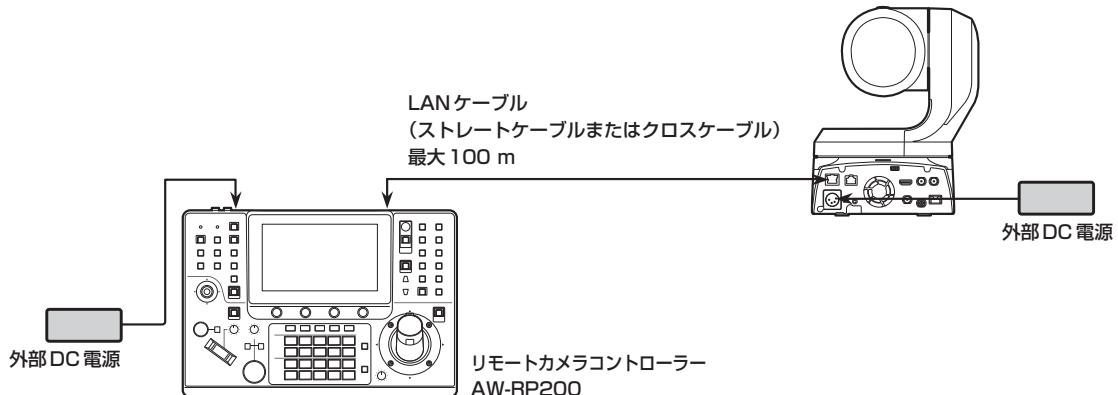
- スイッチングハブはGbE対応かつ、システムの全体の系の電力要求を満たすものを使用してください。
- LANケーブルはカテゴリー5e以上のケーブルを使用してください。

■複数台の本機とリモートカメラとのIP接続



- LANケーブルは、カテゴリー 5e以上のケーブルを使用してください。
- 1台のリモートカメラを最大5台の本機から同時に操作することができます。(IP接続時)

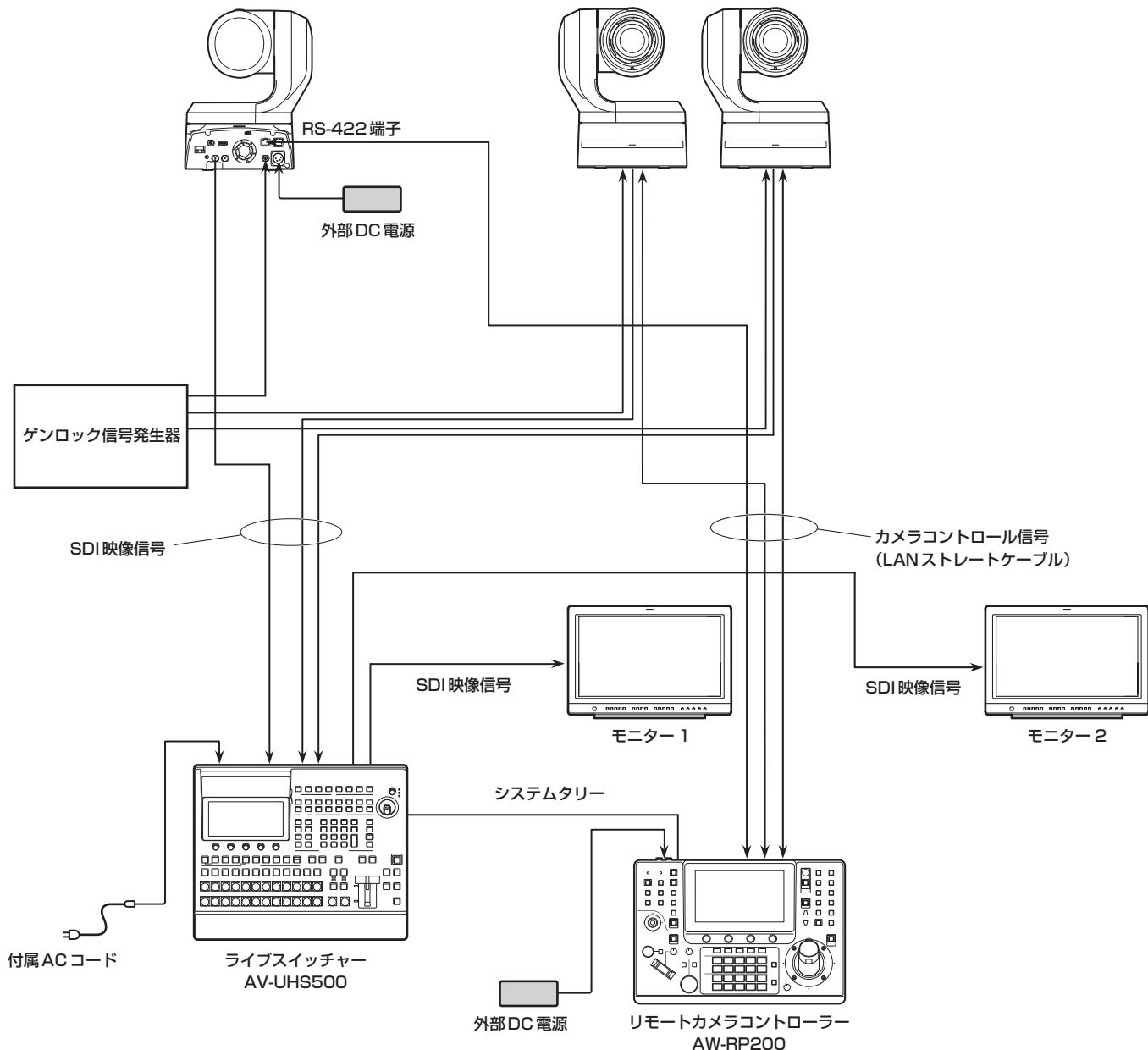
■本機1台とリモートカメラ1台とのIP接続



- LANケーブルは、ストレートケーブルまたはクロスケーブル (カテゴリー 5e以上のケーブル) を使用してください。
- 対応するカメラの取扱説明書も参照してください。

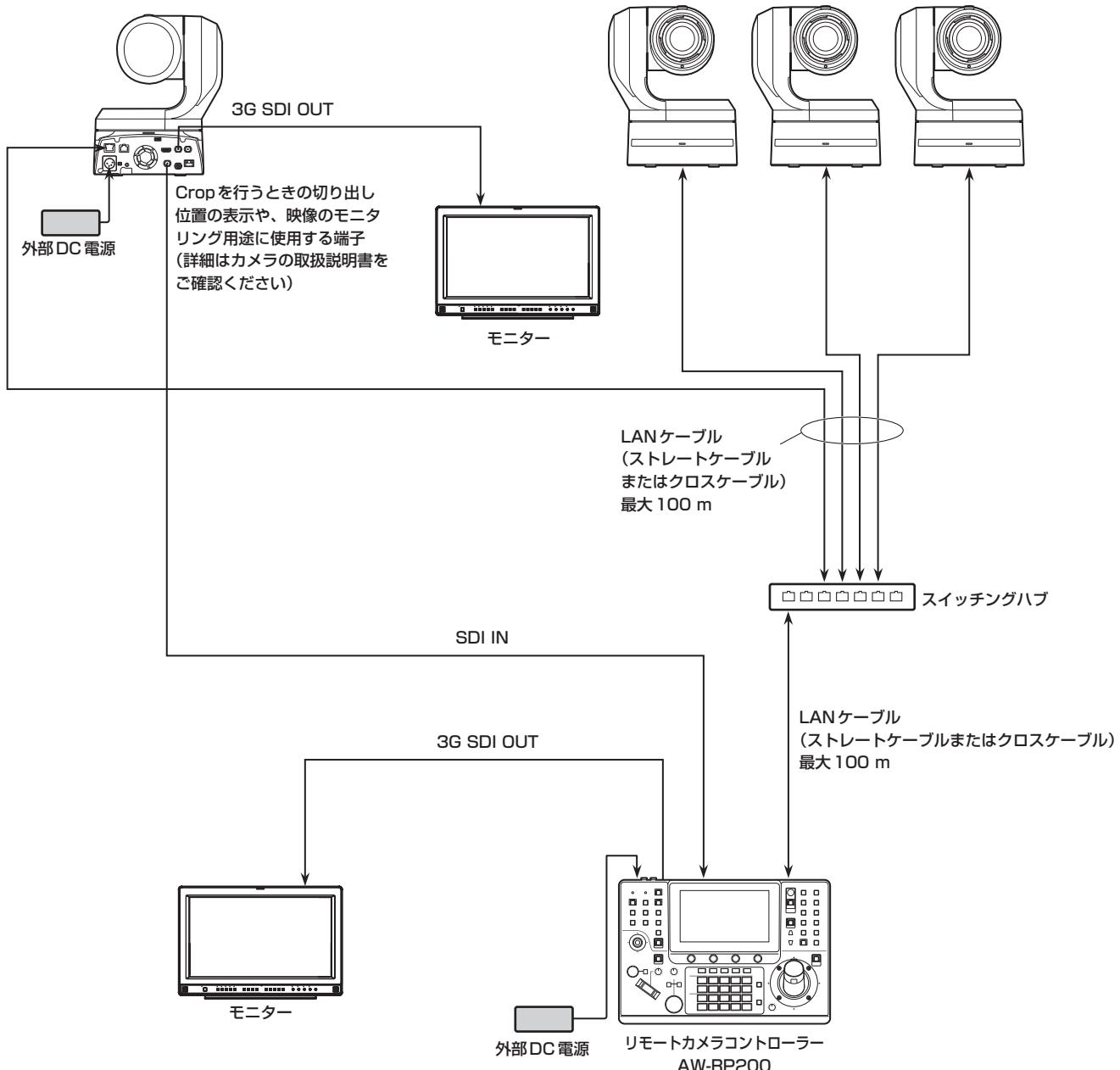
シリアル接続例

■ リモートカメラとのシリアル接続



- LANケーブルは、ストレートケーブル（カテゴリー5e以上のケーブル）を使用してください。
- シリアル接続時は、本機1台に接続できるリモートカメラは最大3台です。
- IP接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機1台に、IP接続、シリアル接続を合計して最大200台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

■ 4K 映像から HD 映像を切り出す機能の接続例



- LAN ケーブルは、カテゴリー 5e 以上のケーブルを使用してください。

本運用の前に

ご購入後（または工場出荷設定に初期化後）最初に電源を投入されたときに下記の設定を実施してください。

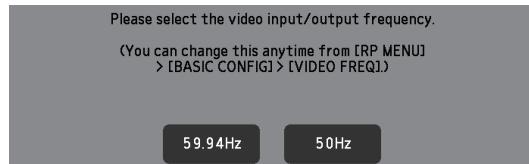
1. 本機の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。本機に電源が供給され、POWERランプがアンバーに点灯したあと、緑色に点灯します。

2. 本機に入力する映像の周波数を選択する

初回起動時に、下記のような表示がメインLCDに表示されます。

本機で使用するSDI入力またはIP入力映像のフォーマットに応じて周波数を59.94 Hzまたは50 Hzから選択してください。

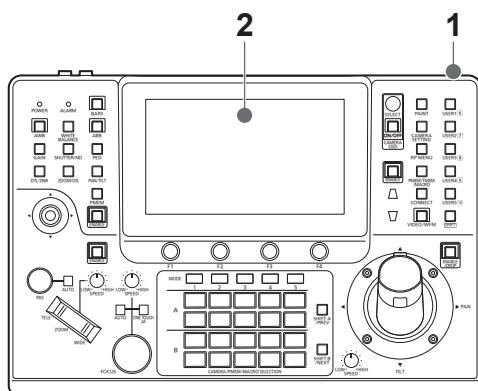


どちらを選択するかは、下記表を参考にしてください。

| 入力映像 | | 本表示で設定する値 | SDI OUT |
|--------------------|-------------|-----------|-------------|
| SDI | 1080/59.94p | 59.94 Hz | 1080/59.94p |
| | 1080/59.94i | | 1080/59.94i |
| | 1080/29.97p | | 1080/29.97p |
| | 1080/23.98p | | 1080/23.98p |
| | 1080/50p | 50 Hz | 1080/50p |
| | 1080/50i | | 1080/50i |
| | 1080/25p | | 1080/25p |
| NDI High Bandwidth | 1080/60fps | 59.94 Hz | 1080/59.94p |
| | 1080/30fps | | 1080/29.97p |
| | 1080/24fps | | 1080/23.98p |
| | 1080/50fps | 50 Hz | 1080/50p |
| | 1080/25fps | | 1080/25p |
| SRT(H.264/H.265) | 1080/60fps | 59.94 Hz | 1080/59.94p |
| | 1080/30fps | | 1080/29.97p |
| | 1080/24fps | | 1080/23.98p |
| | 1080/50fps | 50 Hz | 1080/50p |
| | 1080/25fps | | 1080/25p |

NOTE

- 万が一、意図しない設定を選択した場合でも、通常のメニュー設定で変更が可能です。[RP MENU]>[BASIC CONFIG]>[VIDEO FREQ]から正しい設定を選択してください。
- 入力映像の周波数と本機で設定した周波数が不一致の場合、または上の表以外のフォーマットの映像を入力した場合、メインLCD上に「[RP] VIDEO FMT」のエラーが表示されます。正しい設定を実施してください。



本機の基本の使いかた

1. 本機の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。本機に電源が供給され、POWERランプがアンバーに点灯したあと、緑に点灯します。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで本機に触れないでください。

2. 本機に接続するリモートカメラの設定をする

本機で制御するリモートカメラの接続設定を行います。

詳細は「リモートカメラとの接続設定を行う」(40ページ)を参照してください。

NOTE

- 本機とリモートカメラをIPで接続する場合は、最初に本機のネットワーク設定を行ってください。詳細は「本機のネットワーク設定を行う」(38ページ)を参照してください。

3. 最適なオペレーションモードを選択する

最適なオペレーションモードを選択してください。

詳細は「オペレーションモード」(47ページ)を参照してください。

4. リモートカメラを選択する

オペレーションモード1または3、5でマルチセレクトスイッチから本機から制御するリモートカメラを選択します。

詳細は「オペレーションモード」(47ページ)を参照してください。

5. リモートカメラの向きを調整する

PAN/TILT ENABLE/CROPボタン[ENABLE/CROP]が点灯している状態で、R-ジョイスクイックを操作し、リモートカメラの向きを調整します。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで本機に触れないでください。

6. ズームを調整する

FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLEボタン[ENABLE]が点灯している状態で、L-ロッカーやR-ロッカーボタンを操作し、レンズのズームを調整します。TELE側を押すと望遠になり、WIDE側を押すと広角になります。

7. レンズの絞りを調整する

FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLEボタン[ENABLE]が点灯している状態で、IRISダイヤルを回して、レンズの絞りを調整します。

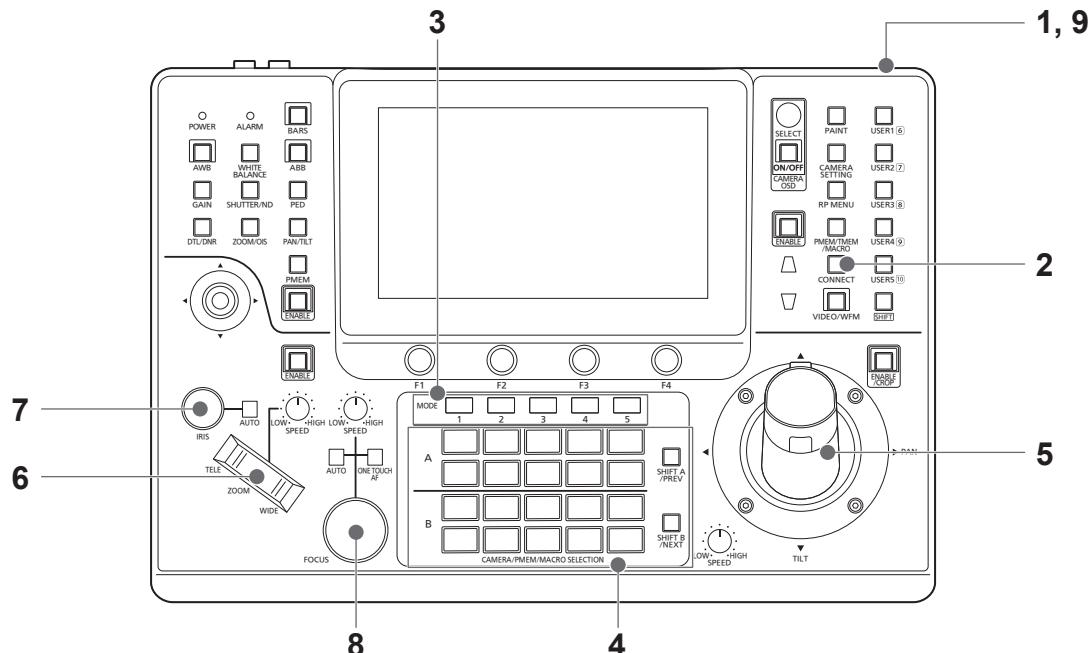
8. フォーカスを調整する

FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLEボタン[ENABLE]が点灯している状態で、FOCUSダイヤルを回して、レンズのフォーカス調整を行います。

9. 本機の電源を切る

POWERスイッチをOFFにします。本機の電源が切れ、POWERランプが消灯します。

- 本機の電源をOFFにしても、接続されているリモートカメラの電源はOFFにされません。
- リモートカメラの電源を切る場合は、「リモートカメラの電源の切りかた(スタンバイ状態への移行)」(70ページ)を参照してください。

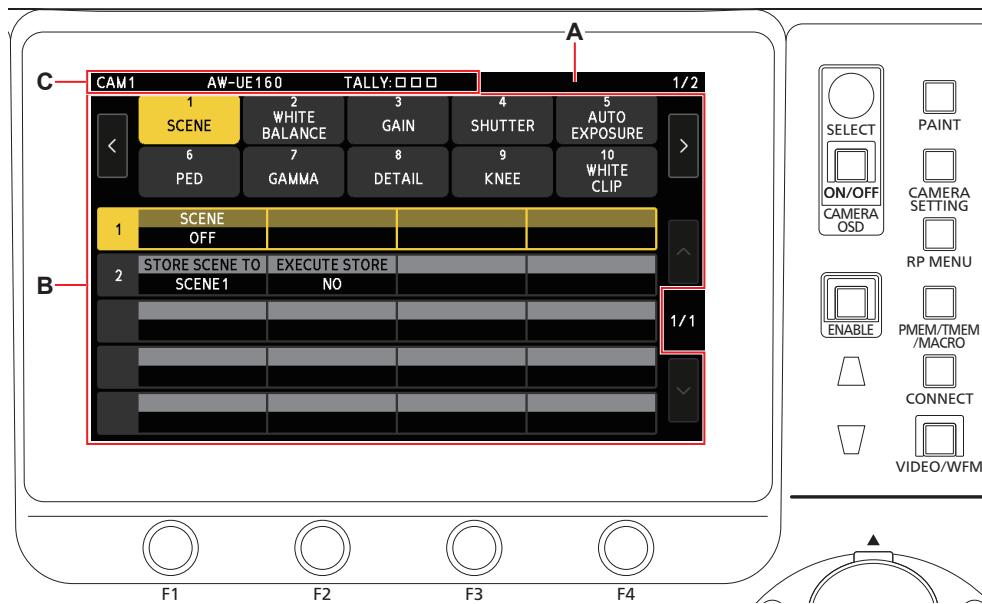


メニュー表示のしかたとメニュー構成

本機のメニューボタンとLCDパネルを使用して、メニューを操作できます。

以下の手順で、メニューを表示します。メニューは、本機のLCDパネル(A)に表示されます。

- Bの部分は、タッチパネル操作が行えます。



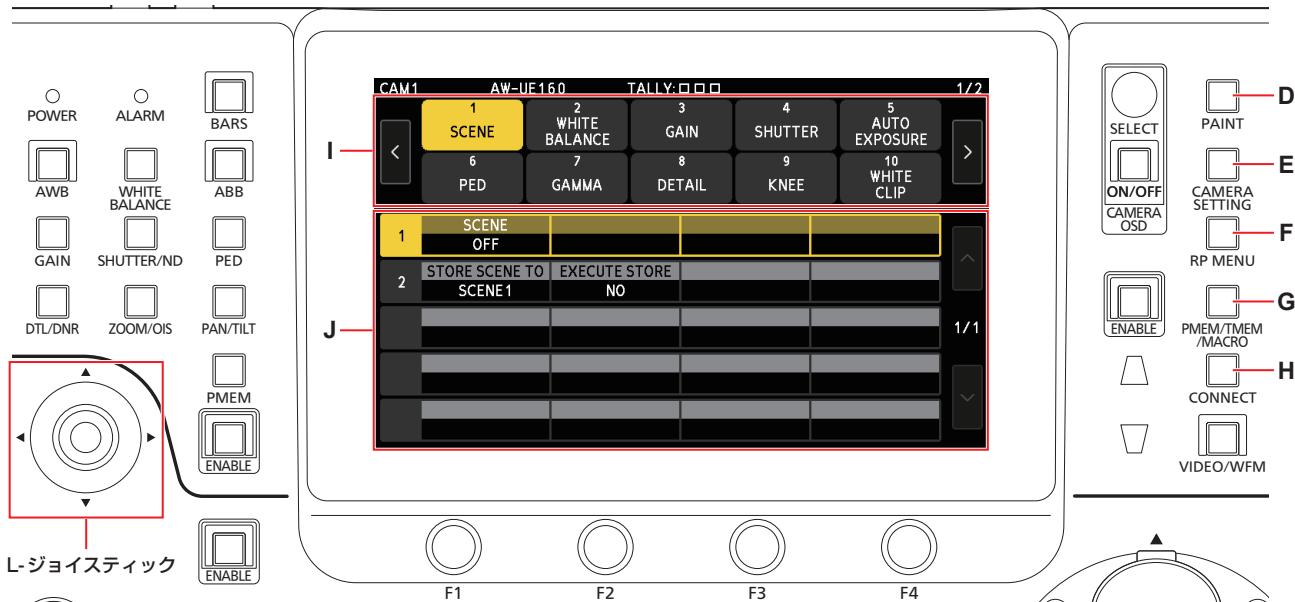
A : メインLCD

B : タッチ操作を行える範囲

C : 現在選択しているカメラの番号と名称、TALLYの状態を表示します。

操作手順

1. PAINTボタン(D)、CAMERA SETTINGボタン(E)、RP MENUボタン(F)、PMEM/TMEM/MACROボタン(G)、CONNECTボタン(H)を押してメニューのグループを選ぶ
 メインLCD (A)に、それぞれのグループが表示されます。(ここでは[PAINT]グループを例に説明します。)
 ● 選択したボタンを再度押すと、メニュー表示がOFFになり、ステータス画面が表示されます。



D : PAINT ボタン

E : CAMERA SETTING ボタン

F : RP MENU ボタン

G : PMEM/TMEM/MACRO ボタン

H : CONNECT ボタン

I : 画面上段

メニューをタッチすると、画面中段に、該当メニューの項目が表示されます。(L-ジョイスティックをメニュー操作に割り当てている場合は、左右方向の動きで画面上段のメニューを選択できます。割り当て方法の詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください)

J : 画面中段

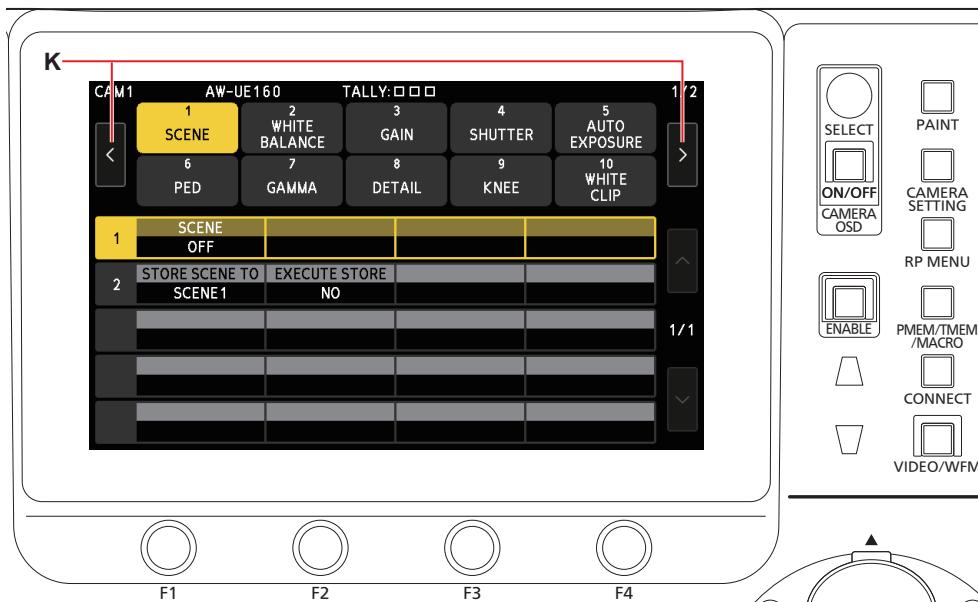
画面上段で選択したメニューの設定項目が表示され、メニュー項目をタッチし、F1～F4のダイヤルで該当列の設定値の変更が行えます。

2. 画面をタッチして、設定したいメニューを選ぶ

画面上段から、目的のメニューを選択します。(ここでは、「SCENE」を例に説明します。)

画面中段に設定項目が表示されます。

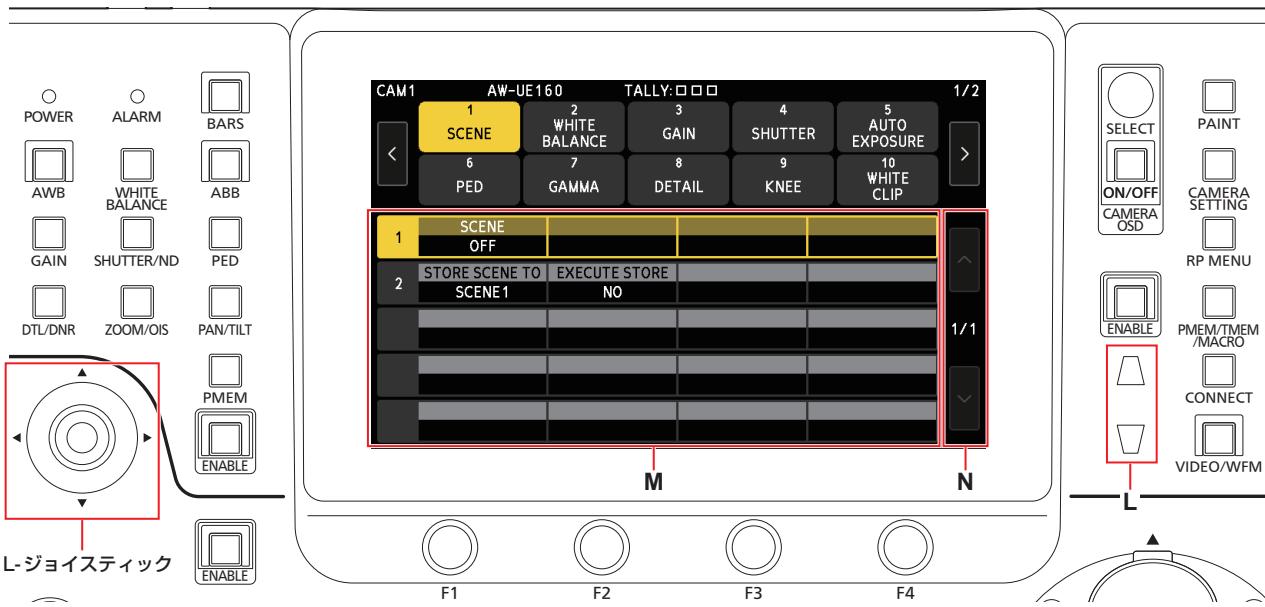
● 画面のページ切り替えボタン(左右)(K)で、設定メニューのページを切り替えることができます。



K : ページ切り替えボタン(左右)

3. 上下ボタン (L) で、画面中段から設定したい項目の行を選ぶ

- 設定したい項目 (M) をタッチしても、項目を選ぶことができます。
- 画面のページ切り替えボタン (上下) (N) で、設定項目のページを切り替えることができます。([SCENE] のように 1 ページしか設定ページがない項目は切り替えできません)



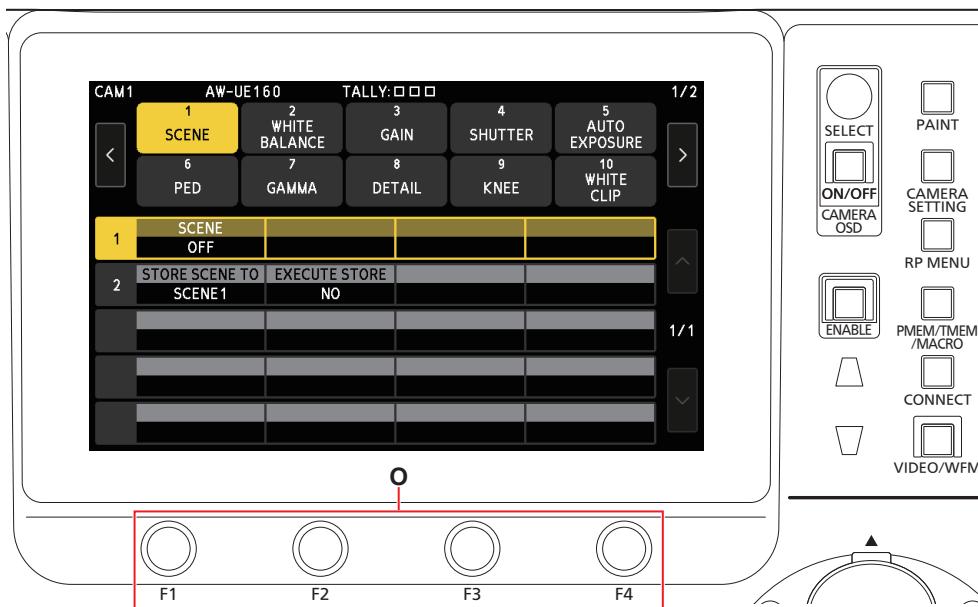
L : 上下ボタン (L-ジョイスティック)をメニュー操作に割り当てている場合は、上下方向の動きで上下ボタンと同様の操作ができます。詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34 ページ)を参照してください)

M : 設定項目

N : ページ切り替えボタン (上下)

4. ファンクションダイヤル (O) で設定値を変更する

画面の各項目と同じ位置のダイヤルを回します。

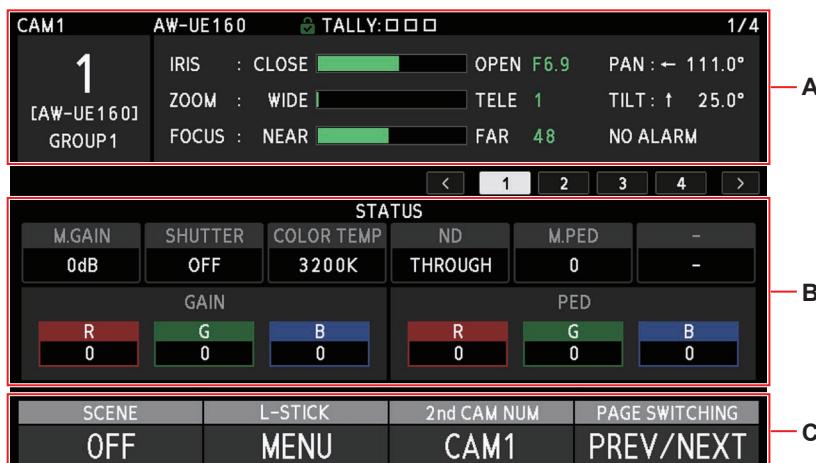


O : ファンクションダイヤル

ステータス画面

ステータス画面の表示

本機の電源を入れて起動すると、VIDEO/WFMボタン[VIDEO/WFM]がOFFのとき、ステータス画面が表示されます。

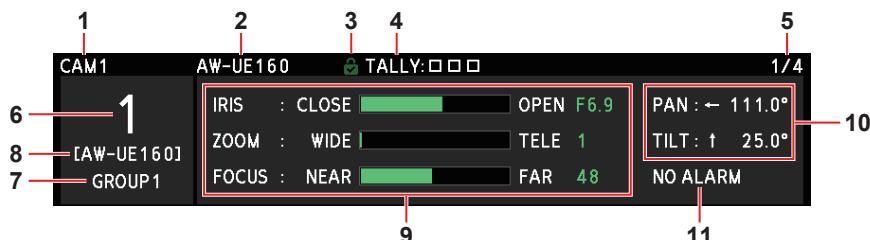


A : 選択されているカメラのレンズ関連のステータス画面

B : 選択されているカメラのレンズ関連以外のステータス等の画面

C : ファンクションバー

画面上段 (A)



1 : 選択されているカメラ番号を表示します。

2 : Camera Name (カメラ側でユーザーが設定したカメラの名称)を表示します。

3 : Cam Lock 状態を表示します。

4 : Tally 点灯状態を表示します。(機種によって点灯できるタリー色は異なります)

5 : ページ番号を表示します。(ページは、上下ボタンで遷移することができます)

6 : 選択されているカメラ番号、Tally 点灯状態(下記参照)を表示します。([RP MENU]>[BASIC CONFIG]>[TALLY DISP]を参照してください)



7 : 選択されているカメラのカメラグループを表示します。

8 : 選択されているカメラの機種名を表示します。

9 : IRIS/ZOOM/FOCUSの状態を表示します。(IRISはF値を併記。ZOOM/FOCUSは値を併記する。ZOOMは0~999、FOCUSは0~99で表示)

10 : PAN/TILTの状態を表示します。上下左右の方向は矢印で表現します。

11 : 選択されたカメラまたは本機のアラームを表示します。詳細は「メッセージ一覧」(140ページ)を参照してください。

画面中段 (B)

Bの部分について、本機は以下のステータス画面があります。
運用に応じてご使用になりたい画面を選択してください。

ページ1

| STATUS | | STATUS | | | |
|--------|---------|------------|---------|-------|---|
| M.GAIN | SHUTTER | COLOR TEMP | ND | M.PED | - |
| 0dB | OFF | 3200K | THROUGH | 0 | - |

| ASSIGN | | TRACKING | | | |
|---------|----------|----------|--------|------------|-----------|
| L-STICK | L-ROCKER | R-ROCKER | M.DIAL | FOCUS DIAL | STICK BTN |
| MENU | ZOOM | ZOOM | IRIS | FOCUS | NONE |

ページ2

| ASSIGN | | TRACKING | | | |
|---------|----------|----------|--------|------------|-----------|
| L-STICK | L-ROCKER | R-ROCKER | M.DIAL | FOCUS DIAL | STICK BTN |
| MENU | ZOOM | ZOOM | IRIS | FOCUS | NONE |

ページ3

| ASSIGN | | TRACKING | | | |
|---------|----------|----------|--------|------------|-----------|
| L-STICK | L-ROCKER | R-ROCKER | M.DIAL | FOCUS DIAL | STICK BTN |
| MENU | ZOOM | ZOOM | IRIS | FOCUS | NONE |

ページ4

| USER1 | USER2 | USER3 | USER4 | USER5 | USER6 | USER7 | USER8 | USER9 | USER10 | STICK BTN | VIDEO/WFM |
|-------|------------|------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-----------|-----------|
| OTAR | FOCUS PEAK | NIGHT MODE | MICRO1 | MICRO2 | None | None | None | None | None | None | ENABLE |

① PAINT 関連ステータス (詳細)

ゲイン、シャッター速度、色温度、ND、マスターペデスターに加えて、R/G/B ゲイン、R/G/B ペデスターを表示します。

② PAINT 関連ステータス + 各種ボタン等の割り当て

ゲイン、シャッター速度、色温度、ND、マスターペデスターに加えて、本機の各種ボタンの割り当てに関わるメニューを表示します。

③ PAINT 関連ステータス + 追尾関連ステータス

ゲイン、シャッター速度、色温度、ND、マスターペデスターに加えて、自動追尾に関わるメニューを表示します。

- カメラの内蔵自動追尾が有効な場合

CAMERA SETTING ボタン>[BUILT-IN AUTO TRACK]>[A-TRACK ACTIVE] = [ENABLE] のときに、

• [MODE]=[BUILT-IN AT]

• [STATUS]=CAMERA SETTING ボタン>[BUILT-IN AUTO TRACK]>[TRACK STATUS] の内容
を表示します。

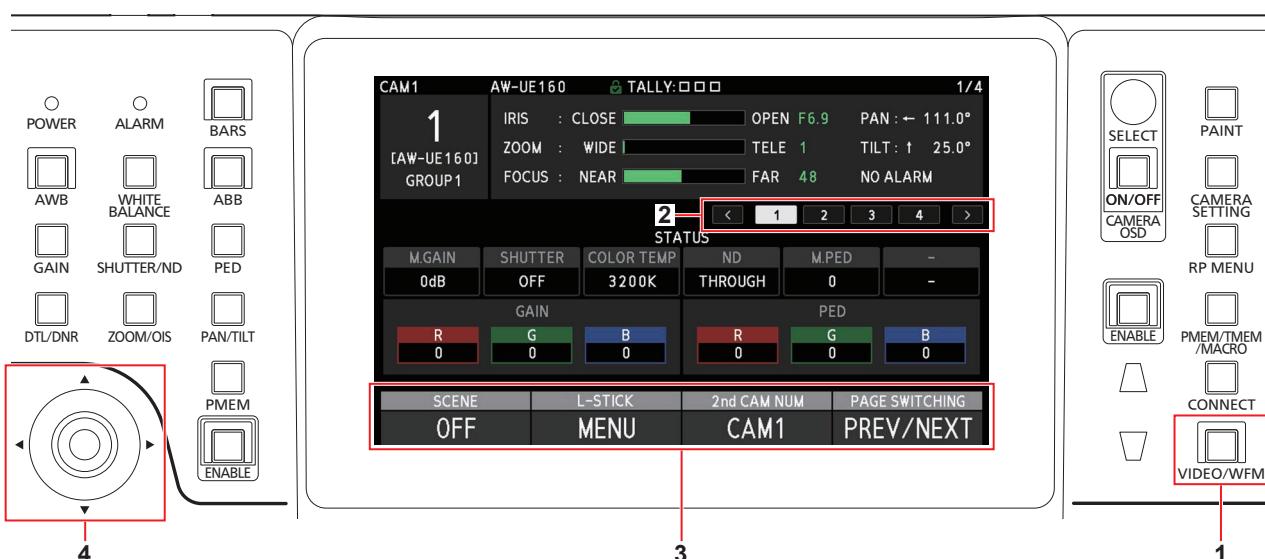
④ ユーザーボタン :

USER1 ~ 10・R-ジョイスティックユーザーボタンへの機能の割り付け情報を表示します。タッチすることで、割り付けた機能を操作 (ON/OFF など) することができます。

NOTE

- ユーザーボタン (ページ4) の実行中は、ボタンの色が黄色に変わります。
- ページ2・3では、R-ジョイスティックユーザーボタンに割り当てられている機能を実行中は文字の色が黄色に変わります。

各ページの遷移は、ページボタンをタッチ、またはファンクションバーの PAGE SWITCHING の操作、L-ジョイスティックの左右方向の操作で行います。



1 VIDEO/WFM ボタン : 本機に入力された映像をメインLCDに出力するかを切り替えます。(「VIDEO/WFM」=OFFのときに、2~4の操作が有効です)

2 ページボタン : タッチすることで任意のページに遷移します。

3 ファンクションバー : PAGE SWITCHING を割り当てている場合、ファンクションダイヤルの操作でページ遷移します。^{*1}

4 L-ジョイスティック : メニュー操作に割り当てている場合、左右方向の操作でページ遷移します。^{*1}

*1 : 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ) を参照してください。

画面下段(C)

| SCENE | L-STICK | 2nd CAM NUM | PAGE SWITCHING |
|-------|---------|-------------|----------------|
| OFF | MENU | CAM1 | PREV/NEXT |

ファンクションダイヤルに割り当たした機能と設定値またはショートカットボタンに割り当てられた機能と設定値を表示します。

詳細は、「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)・「ショートカットボタン」(64ページ)を参照してください。

マクロ機能について

本機では、マクロ機能という、カメラ（複数台也可）に送信するコマンドとそのタイミングをあらかじめ設定しておいて、ワンタッチでカメラの動作シーケンスを呼び出す機能をサポートしています。（最大100個のマクロを本機に登録できます）
設定・実行方法は以下となります。

1. Web 設定画面 [Setup Menu]>[Macro]>[Macro Edit] を選択
2. 制御するカメラ番号を選択
3. 各カメラに送信するコマンド・パラメーターを選択
4. 次のコマンドを送るまでのインターバル期間を設定
5. シーケンスが完了するまで 2. ~ 4. を繰り返す（ステップは最大500）
6. 本機に作成したマクロを保存
7. 以下でマクロ機能の実行
 - マルチセレクトスイッチ（オペレーションモード4または5）
 - ファンクションバー
 - ユーザーボタン
 - メインLCD

NOTE

- 1. ~ 6.はWeb 設定画面 [Setup Menu]>[Macro]>[Macro Edit] を参照してください。
- 7.は「本機の操作のカスタマイズ」（34ページ）、「オペレーションモード」（47ページ）、「メインLCD 上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」（58ページ）を参照してください。
- コマンドによっては1つの動作で複数ステップを使用するものもあります。この場合は、最大ステップ数が500未満になる場合があります。

マクロ機能では上記の内容に加え、下記も実現可能です。

- あらかじめ制御するカメラ番号を決めず、マルチセレクトスイッチ等で選択したカメラに対して、シーケンスを組んだコマンドをワンタッチで送信することも可能です。
- 1つのマクロの中で自身を含む他のマクロを呼び出すことも可能です。
- ユーザーが操作に応じて柔軟にシーケンスの実行タイミングを変更できるように、メインLCD上で都度登録したシーケンスを実行するかスキップするかを選択することも可能です。（下記のようなポップアップが表示されます）



- Web メニューの[Macro Edit]画面で対応していないコマンドについては、ユーザー自身でカメラのコマンド仕様書を参照して編集したファイルを読み込むことで対応可能です。
作成方法についてはWeb 設定画面 [Setup Menu]>[Macro]>[Macro Edit] を参照してください。
- マクロ実行中も、カメラの選択・操作が可能です。

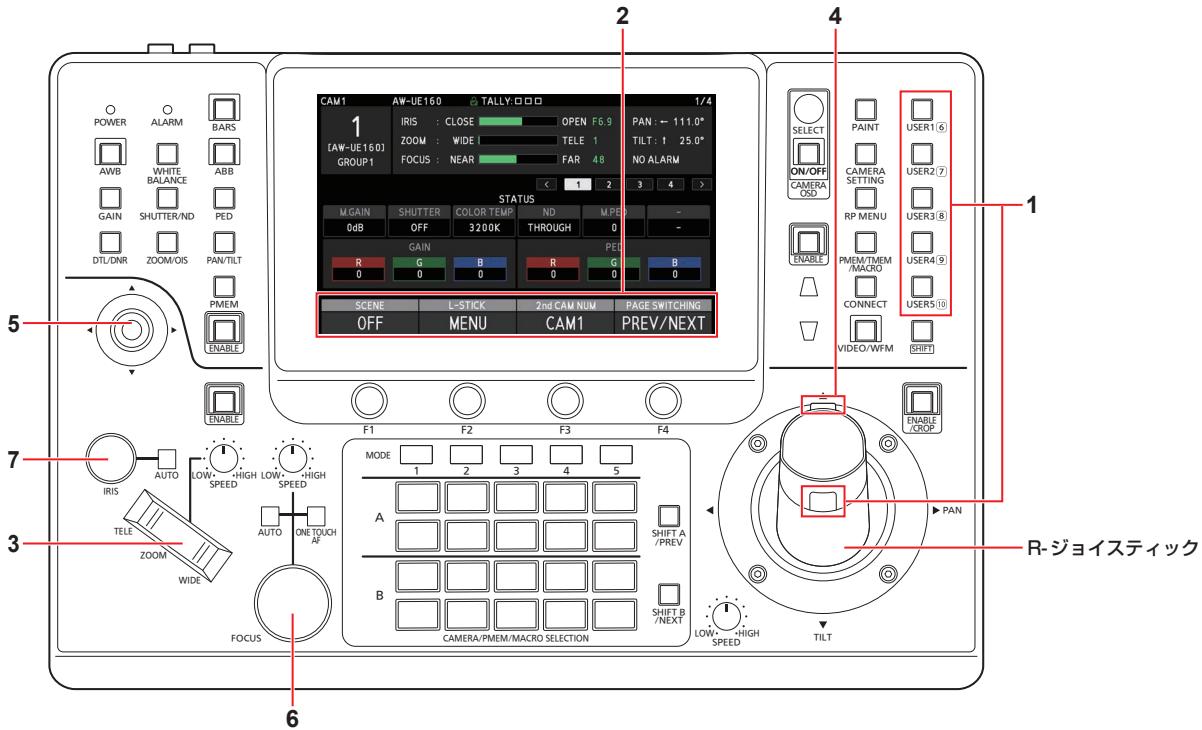
NOTE

- マクロ再生中のカメラとマルチセレクトスイッチ等で選択・操作したカメラが重複した場合は、後から制御された方の動作をします。ご注意ください。

本機の操作のカスタマイズ

本機では各種ボタン・ロッカー・ジョイスティック・ダイヤルのカスタマイズが可能です。

- 1 : ユーザーボタン
- 2 : ファンクションバー
- 3 : L-ロッカー
- 4 : R-ロッカー
- 5 : L-ジョイスティック
- 6 : フォーカスダイヤル
- 7 : アイリスダイヤル



ユーザー ボタン

ユーザー ボタン (USER1 ~ 10 と R-ジョイスティック ユーザーボタン) に対して、以下の機能の割り当てが行えます。

割り当て方法については、[RP MENU]>[USER ASSIGN] を参照してください。

| 設定内容 | 詳細 |
|------------------|---|
| SHOOTING MODE | 選択されたカメラの撮影モードを切り替えます。 |
| DIGITAL EXT x1.4 | 選択されたカメラのデジタルエクステンダーを OFF ⇄ x1.4 に切り替えます。 |
| DIGITAL EXT x2.0 | 選択されたカメラのデジタルエクステンダーを OFF ⇄ x2.0 に切り替えます。 |
| EXT PROMPTER | 本機の対応するプロンプターの制御の ON/OFF を切り替えます。 |
| i.ZOOM | 選択されたカメラの i.Zoom 機能の ON/OFF を切り替えます。 |
| D.ZOOM | 選択されたカメラのデジタルズーム機能の ON/OFF を切り替えます。 |
| ONE TOUCH AF | 選択されたカメラでワンタッチオートフォーカスを動作させます。 |
| CROP(1080) | 選択されたカメラの CROP モードの ON (1080 画角出力) / OFF を切り替えます。 |
| CROP(720) | 選択されたカメラの CROP モードの ON (720 画角出力) / OFF を切り替えます。 |
| CROP OUT YL | 選択されたカメラの CROP モード時の出力映像の切り出し枠の色を黄色にします。 |
| CROP OUT G | 選択されたカメラの CROP モード時の出力映像の切り出し枠の色を緑色にします。 |
| CROP OUT MG | 選択されたカメラの CROP モード時の出力映像の切り出し枠の色をマゼンタにします。 |
| CROP ADJ YL | 選択されたカメラの CROP モード時の位置調整を行う切り出し枠の色を黄色にします。 |
| CROP ADJ G | 選択されたカメラの CROP モード時の位置調整を行う切り出し枠の色を緑色にします。 |
| CROP ADJ MG | 選択されたカメラの CROP モード時の位置調整を行う切り出し枠の色をマゼンタにします。 |
| CROP MARKER YL | 選択されたカメラの CROP モード時の切り出し枠 (黄色) をマーク表示します。 |

本機の操作のカスタマイズ(つづき)

| | |
|-----------------|--|
| CROP MARKER G | 選択されたカメラのCROPモード時の切り出し枠(緑色)をマーク表示します。 |
| CROP MARKER MG | 選択されたカメラのCROPモード時の切り出し枠(マゼンタ)をマーク表示します。 |
| [B.A.T.]ACTV | 選択されたカメラの内蔵自動追尾モードのON/OFFを切り替えます。 |
| [B.A.T.]TRK S/S | 選択されたカメラの内蔵自動追尾の追尾を開始/終了します。 |
| [B.A.T.]FULL | 選択されたカメラの内蔵自動追尾の画角をFull Bodyと現在の画角を切り替えます。 |
| [B.A.T.]U BODY | 選択されたカメラの内蔵自動追尾の画角をUpper Bodyと現在の画角を切り替えます。 |
| [B.A.T.]MARKER | 選択されたカメラの内蔵自動追尾の追尾枠の表示/非表示を切り替えます。 |
| CAM PWR ON/OFF | 選択されたカメラの電源ON/OFF(スタンバイ)を切り替えます。 |
| FREEZE ON PMEM | 選択されたカメラのプリセットメモリー再生中に映像をフリーズさせる機能のON/OFFを切り替えます。 |
| FAN | 選択されたカメラのファンのON/OFFを切り替えます。 |
| CAM CTRL LOCK | 選択されたカメラの制御を本機でのみ行えるようにするかどうかを切り替えます。 |
| NIGHT MODE | 選択されたカメラで暗視撮影(ナイトモード)/通常撮影を切り替えます。 |
| MACRO01 | 本機のMACRO01に登録されているマクロを実行します。 |
| MACRO02 | 本機のMACRO02に登録されているマクロを実行します。 |
| MACRO03 | 本機のMACRO03に登録されているマクロを実行します。 |
| MACRO04 | 本機のMACRO04に登録されているマクロを実行します。 |
| MACRO05 | 本機のMACRO05に登録されているマクロを実行します。 |
| MACRO06 | 本機のMACRO06に登録されているマクロを実行します。 |
| MACRO07 | 本機のMACRO07に登録されているマクロを実行します。 |
| MACRO08 | 本機のMACRO08に登録されているマクロを実行します。 |
| MACRO09 | 本機のMACRO09に登録されているマクロを実行します。 |
| MACRO10 | 本機のMACRO10に登録されているマクロを実行します。 |
| FOCUS PEAK | RP MENUボタン>[BASIC CONFIG]>[VIDEO MARKER]で設定可能なピーキング機能のON/OFFを切り替えます。 |
| NONE | 何も割り当てないようにします。 |

NOTE

- 機能によっては対応していないカメラがあります。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。

ユーザーボタンの実行方法については、「制御パネル部」(11ページ)と「ステータス画面」(30ページ)を参照してください。

ファンクションバー

ファンクションダイヤル (F1 ~ F4) に対して、以下の機能の割り当てが行えます。割り当てた機能はファンクションバーに表示されます。割り当て方法については、RP MENUボタン>[USER ASSIGN] を参照してください。

| 設定内容 | 詳細 |
|-----------------|--|
| SCENE | 選択されたカメラのSCENEを設定します。 |
| W. BAL MODE | 選択されたカメラのホワイトバランスのモードを設定します。 |
| COLOR TEMP | [WHITE BALANCE] の設定に応じて、選択されたカメラの色温度を設定します。 |
| MASTER GAIN | 選択されたカメラのマスターゲインを設定します。 |
| AGC | 選択されたカメラのAGC (Auto Gain Control) のON/OFFを設定します。 |
| R GAIN | 選択されたカメラのRゲインを設定します。 |
| G GAIN | 選択されたカメラのGゲインを設定します。 |
| B GAIN | 選択されたカメラのBゲインを設定します。 |
| SHUTTER SW | 選択されたカメラのシャッター機能のON/OFFを設定します。 |
| SHUTTER MODE | 選択されたカメラのシャッターのモードを設定します。 |
| SHUTTER SPEED | 選択されたカメラのシャッタースピードを設定します。 |
| ND | 選択されたカメラのNDを設定します。 |
| MASTER PED | 選択されたカメラのマスターペデスタイルルを設定します。 |
| R PED | 選択されたカメラのRペデスタイルルを設定します。 |
| G PED | 選択されたカメラのGペデスタイルルを設定します。 |
| B PED | 選択されたカメラのBペデスタイルルを設定します。 |
| DETAIL SW | 選択されたカメラのディテール機能のON/OFFを設定します。 |
| MASTER DETAIL | 選択されたカメラのマスターディテールを設定します。 |
| PEAK(DTL) FREQ | 選択されたカメラのディテールのブースト周波数を設定します。 |
| DNR | 選択されたカメラのデジタルノイズリダクションを設定します。 |
| ZOOM MODE | 選択されたカメラのズーム方式(ズーム最大倍率)を設定します。 |
| DIGITAL EXT | 選択されたカメラのデジタルエクステンダー機能を設定します。 |
| O.I.S. | 選択されたカメラの画面揺れ補正機能のON/OFFを設定します。 |
| O.I.S. MODE | 選択されたカメラの画面揺れ補正機能のモードを設定します。 |
| P/T SPEED MODE | 選択されたカメラのパン/チルト動作のスピードモードを設定します。 |
| P/T ACC SETTING | 選択されたカメラのパン/チルト動作の開始・停止時の加速度等の詳細設定を設定します。 |
| SPEED w/ ZOOM | 選択されたカメラのズーム倍率に連動して、パン/チルトの制御のスピードを自動で調整するかを設定します。 |
| FOCUS ADJ w PTZ | 選択されたカメラのパン/チルト/ズーム操作時に、フォーカスのずれを自動補正するかを設定します。 |
| PMEM OP MODE | オペレーションモード2または3のときに、マルチセレクトスイッチでのプリセットメモリーの制御方法を設定します。詳細は「オペレーションモード」の「プリセットメモリー制御について」(48ページ)を参照してください。 |
| PMEM SPEED SEL | プリセットメモリーを再生するスピードの設定をカメラで保存しているものを使用するか、本機で設定しているものを使用するかを選択します。 |
| PMEM SPEED TBL | プリセットメモリーを再生するスピードのテーブルを設定します。 |
| PMEM SPD/TIME | プリセットメモリーを再生するときの、プリセットメモリー位置までの移動速度、もしくは時間を表示します。 |
| PMEM SMT COMP | プリセットメモリー再生時の再生動作のモードを設定します。 |
| RECALL MACRO | 本機に登録されたMACROを実行します。 |
| L-ROCKER | L-ロッカーに割り当てる機能を設定します。 |
| R-ROCKER | R-ロッカーに割り当てる機能を設定します。 |
| L-STICK | L-ジョイスティックに割り当てる機能を設定します。 |
| 2nd CAM NUM | L-ジョイスティックに2台目のカメラ操作機能が割り当てられたときの、L-ジョイスティックで制御するカメラ番号を設定します。 |
| PAGE SWITCHING | ステータス画面の切り替えを設定します。詳細は「ステータス画面」(30ページ)を参照してください。 |

NOTE

- 機能によっては対応していないカメラがあります。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。

L/R-ロッカー・L-ジョイスティック・フォーカスダイヤル・アイリスダイヤル

以下の機能の割り当てが行えます。

割り当て方法については、RP MENUボタン>[CONTROL I/F]を参照してください。

| 割り当て機能 | | 詳細 |
|------------------------|------------|---|
| L-ロッカー | ZOOM | カメラのズーム操作をします。 |
| R-ロッカー | ZOOM | カメラのズーム操作をします。 |
| | FOCUS | カメラのフォーカス操作をします。 |
| L-ジョイスティック | NONE | 何も割り当てません。 |
| | 2nd CAM PT | 2台目のカメラ制御(パン・チルト)を行います。本設定のときは、L-ロッカーは2台目のカメラのズーム操作に割り当てられます。 |
| | MENU | メニュー操作を行います。 |
| | CROP | CROPの際、切り出し位置を操作します。 |
| フォーカスダイヤル・ アイリスダイヤル | FOCUS | フォーカスの操作を行います。 |
| | IRIS | アイリスの操作を行います。 |
| | | FOCUSダイヤルにアイリス、IRISダイヤルにフォーカスを割り当てる、オートフォーカスボタン、オートアイリスボタンの操作も入れ替わります。 ● ワンタッチオートフォーカスボタンは、無効になります。 ● FOCUS SPEEDダイヤルの操作は無効になります。 ● フォーカススピードは設定変更時のスピードに固定されます。 |

NOTE

- 機能によっては対応していないカメラがあります。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。

操作方向

各操作方向について、以下の割り当てが行えます。(本機に接続するカメラ1台ごとに設定するか、すべてのカメラに設定するか選択できます。)

割り当て方法については、RP MENUボタン>[CTRL DIRECTION]を参照してください。

| | パン | チルト | ズーム | フォーカス | アイリス |
|------------|-----|-----|-----|-------|------|
| R-ジョイスティック | 設定可 | 設定可 | — | — | — |
| L-ジョイスティック | 設定可 | 設定可 | — | — | — |
| R-ロッカー | — | — | 設定可 | 設定可 | — |
| L-ロッカー | — | — | 設定可 | — | — |
| フォーカスダイヤル | — | — | — | 設定可 | 設定可 |
| アイリスダイヤル | — | — | — | 設定可 | 設定可 |

本機のネットワーク設定を行う

IP接続したリモートカメラを本機から制御するには、本機のネットワーク設定が必要です。

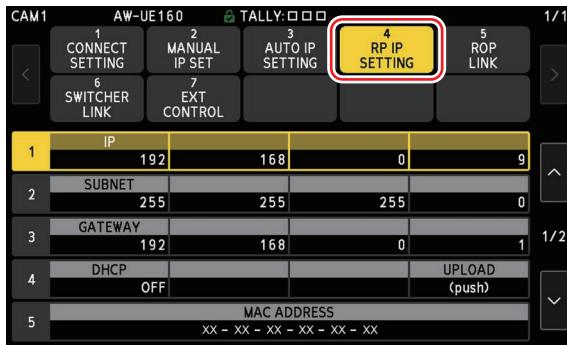
NOTE

- 同じネットワーク内に同一のIPアドレスが存在すると、正しく動作しません。起動時などにおいて、IPアドレスの重複が検知されたときに、"Duplicate IP address. Please change it." のメッセージが表示されることがあります。
IPアドレスが重複しないように設定してください。

本機のIPアドレスの設定

1. CONNECTボタンを押す

2. 「RP IP SETTING」をタッチして、「IP」項目を表示する



- 工場出荷時は、「192.168.0.9」に設定されています。

3. ファンクションダイヤルを操作し、他の機器とIPアドレスが重複しないように、本機のIPアドレスを設定する

4つのオクテットごとに分けて入力を行います。

「UPLOAD」を実行しないと、変更した内容は反映されません。

- リモートカメラの接続先IPアドレスと重複している場合は、"Duplicate IP address. Please change it." のメッセージが表示されて、登録ができません。
「設定可能なアドレスについて」(39ページ)を参照してください。

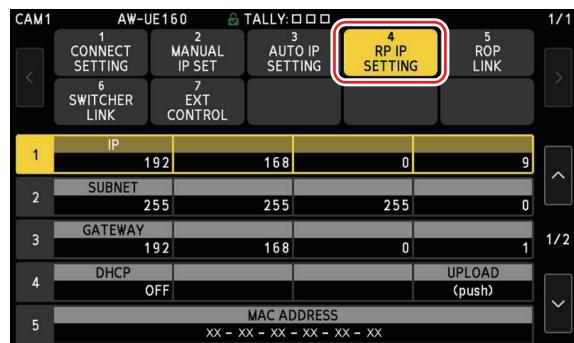
NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。
- IPアドレスは、ネットワーク管理者とご相談のうえ設定してください。

サブネットマスクの設定

1. CONNECTボタンを押す

2. 「RP IP SETTING」をタッチして、「SUBNET」項目を表示する



- 工場出荷時は、「255.255.255.0」に設定されています。

3. 上下ボタンを押して、「SUBNET」を選択する

4. ファンクションダイヤルを操作し、本機のサブネットマスクを設定する

4つのオクテットごとに分けて入力を行います。

「UPLOAD」を実行しないと、変更した内容は反映されません。

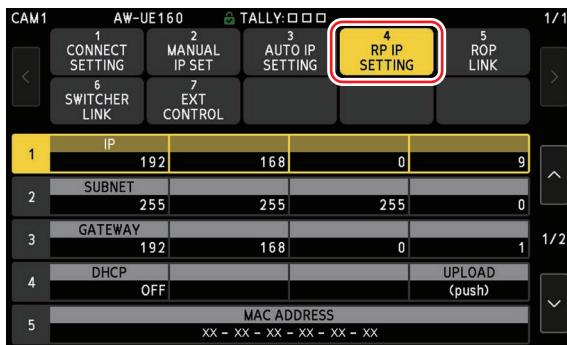
- 設定できない値を入力した場合は、「Invalid subnet mask.」が表示されます。
「設定可能なアドレスについて」(39ページ)を参照してください。

NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

デフォルトゲートウェイの設定

- CONNECTボタンを押す
- 「RP IP SETTING」をタッチして、「GATEWAY」項目を表示する



- 工場出荷時は、「192.168.0.1」に設定されています。

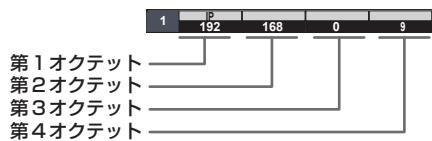
- 上下ボタンを押して、「GATEWAY」を選択する
- ファンクションダイヤルを操作し、本機のデフォルトゲートウェイを設定する
- 4つのオクテットごとに分けて入力を行います。
「UPLOAD」を実行しないと、変更した内容は反映されません。

NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

メモ

設定可能なアドレスについて



- IPアドレスには、以下の範囲の値を設定することができます。

| | |
|------------------|------------------|
| 第1オクテット: 1 ~ 223 | 第2オクテット: 0 ~ 255 |
| 第3オクテット: 0 ~ 255 | 第4オクテット: 1 ~ 254 |

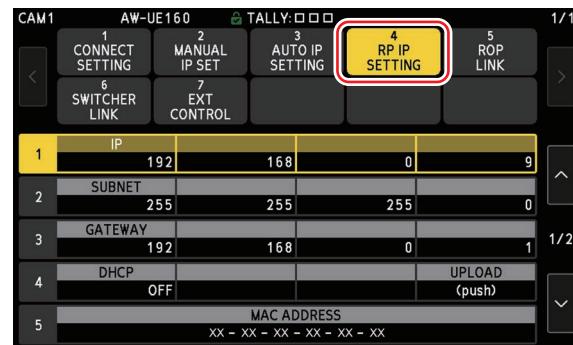
 ただし、上記範囲内であっても、「127.0.0.1」は設定できません。
- サブネットマスクには、以下の範囲の値を設定することができます。

| | |
|------------------|------------------|
| 第1オクテット: 0 ~ 255 | 第2オクテット: 0 ~ 255 |
| 第3オクテット: 0 ~ 255 | 第4オクテット: 0 ~ 255 |

 ただし、上記範囲内であっても、「0.0.0.0」、「127.0.0.1」は設定できません。

MACアドレスの表示

- CONNECTボタンを押す
- 「RP IP SETTING」をタッチして、「MAC ADDRESS」項目を表示する



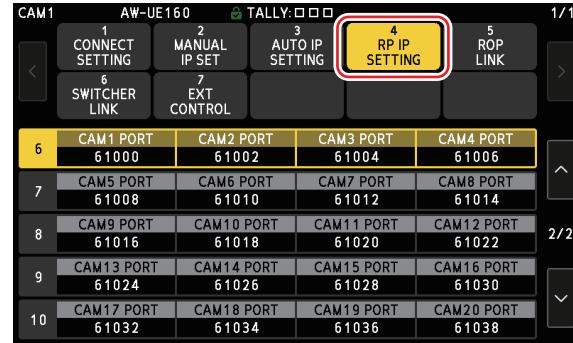
- MACアドレスは表示のみで、変更することはできません。

受信用ポート番号の設定

- 本機が、リモートカメラからカメラ情報の更新通知を受信するためのポート番号を設定します。
ルーターを経由してリモートカメラを接続する場合に、設定を変更します。
- 更新通知は、選択中のカメラグループに含まれるリモートカメラから受信しますので、20個のポート番号を設定します。

- CONNECTボタンを押す

- 「RP IP SETTING」をタッチして、「CAM1 PORT」～「CAM20 PORT」項目を表示する



- ファンクションダイヤルを操作し、各カメラ番号に受信用ポート番号を設定する

入力範囲: 1 ~ 65535

- 重複した受信用ポート番号を入力した場合は、「Duplicate port. Please change it.」が表示されます。

リモートカメラとの接続設定を行う

本機からリモートカメラを制御したり、本機とのリンク機能を使用したりするためには、あらかじめ接続設定が必要です。

接続設定を行うには、本機で設定する方法とWeb画面を使って設定する方法があります。

ここでは、本機で設定する方法について説明します。

Web画面を使った設定のしかたについては、Web設定画面[Setup Menu]>[Connect Setting]を参照してください。

NOTE

- リモートカメラは、出荷時にすべて同じIPアドレスに設定されています。そのため、複数台のリモートカメラを出荷状態のままIP接続して本機から操作しても、リモートカメラは正しく動作しません。
- リモートカメラを交換するときなど、同じIPアドレスに設定された別のリモートカメラを接続する場合は、本機の電源を切ってから接続してください。本機の電源を切らずに接続した場合は、リモートカメラが正しく動作しないことがあります。

関連するメニューと操作の概要

CONNECTボタン>[CONNECT SETTING]

接続するリモートカメラの接続種別(シリアル/IP/接続なし等)を、カメラ番号ごとに設定します。

CONNECTボタン>[AUTO IP SETTING]>[AUTO SET]

リモートカメラとのリンク設定を自動で行うときに操作します。(自動IP設定)

以下2つの動作モードがあります。

| | |
|-------|---|
| RENEW | リモートカメラに設定されているIPアドレスを本機が更新することにより、リンク設定します。 |
| KEEP | リモートカメラに設定されているIPアドレスは保持したままで、本機に設定されている接続先IPアドレスを更新することにより、リンク設定します。 |

CONNECTボタン>[MANUAL IP SET]

各カメラ番号に設定されている接続先IPアドレスを確認するときや手動で変更するときに操作します。

リンク設定について

本機では、カメラ番号CAM1～CAM200から1つを選択することで、制御するリモートカメラを特定します。制御しようとするリモートカメラがIP接続の場合、この操作を行うためには、あらかじめ、各リモートカメラに重複しないようにIPアドレスを設定し、各IPアドレスと本機の各カメラ番号とを関係付けておく必要があります。

本書では、この関係付けの設定のことを「リンク設定」と記載しています。

接続先IPアドレスについて

本書では、本機が接続対象(リモートカメラ)を特定するためのIPアドレスを、「接続先IPアドレス」と記載しています。

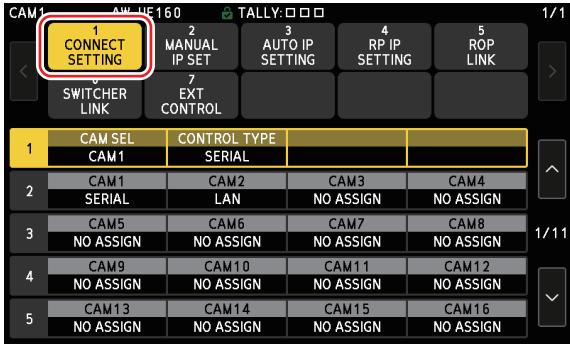
リモートカメラの接続先IPアドレスは、カメラ番号CAM1～CAM200それぞれに対して1つずつ(合計200個)本機に設定されています。

各カメラ番号の接続先IPアドレスは、CONNECTボタン>[MANUAL IP SET]のメニューで確認できます。

リモートカメラとの接続種別(シリアル/IP/接続なし)を設定する

1. カメラ番号CAM1～CAM200に対して、接続種別を設定する

CONNECTボタン>[CONNECT SETTING]でメニュー項目を表示します。



1行目には、カメラ番号を指定(F1ダイヤル)して、接続種別(F2ダイヤル)を設定することができます。

2行目以降は、各カメラ番号ごとに接続種別を表示、設定することができます。

設定を変更すると接続種別が点滅しますので、ダイヤルを押すことで確定となります。

SERIAL : シリアル接続
LAN : IP接続
NO ASSIGN : 接続なし

- シリアル接続用のRS-422端子[1]～[3]は、それぞれカメラ番号CAM1～CAM3に対応しています。
- CAM4～CAM200に対してシリアル接続「SERIAL」の設定はできません。

NOTE

- 「自動IP設定」(41～45ページ)を行う場合は、対象のカメラ番号を「NO ASSIGN」に設定してください。

自動でIPアドレスを設定する(自動IP設定)

「自動IP設定」を行うと、本機と同じサブネット内に接続されているリモートカメラとの間のリンク設定が自動で行われます。

以下、はじめて設定する場合(リモートカメラが工場出荷の状態)と、すでに運用している環境にリモートカメラを追加導入する場合に分けて説明します。

はじめて設定する場合

<動作の概要>

CONNECTボタン>[AUTO IP SETTING]で、「AUTO SET」の項目を“RENEW”に設定し、「EXECUTE」でSETTINGを実行することにより、リンク設定を行います。

「AUTO SET」の項目が“RENEW”的ときは、本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、検出した各リモートカメラを順にカメラ番号に割り当てます。

このとき、各リモートカメラのIPアドレスを、本機の各カメラ番号に對して設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えます。

例:

- リモートカメラA、B、C(工場出荷状態)に設定されているIPアドレス
 - リモートカメラA : 192.168.0.10
 - リモートカメラB : 192.168.0.10
 - リモートカメラC : 192.168.0.10

- 本機に設定されている接続種別(CONNECTボタン>[CONNECT SETTING])

CAM1 : NO ASSIGN
CAM2 : NO ASSIGN
CAM3 : NO ASSIGN

- 本機に設定されている接続先IPアドレス(CONNECTボタン>[MANUAL IP SET])

CAM1 : 192.168.0.10
CAM2 : 192.168.0.11
CAM3 : 192.168.0.12

この状態で、「AUTO SET」の項目を“RENEW”に設定すると、リモートカメラA～CのIPアドレスは以下の値に書き替えられ、それぞれカメラ番号CAM1～CAM3とリンク設定されます。

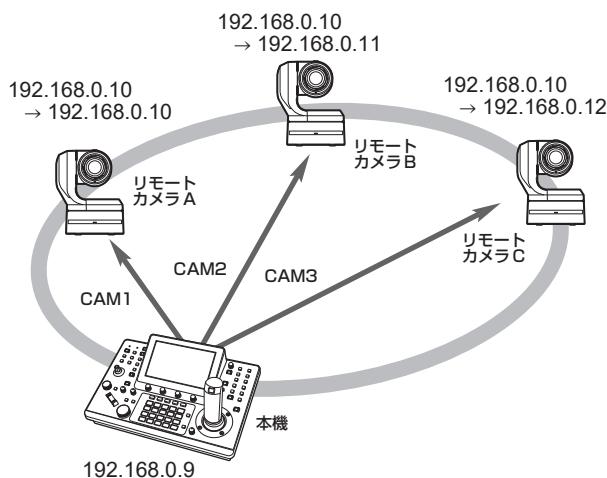
リモートカメラA : 192.168.0.10
リモートカメラB : 192.168.0.11
リモートカメラC : 192.168.0.12

メモ

割り当てするカメラのIPアドレスは、本機のIPアドレスの次の番号から割り当てを行います。

本機のIPアドレスの設定が192.168.0.9であれば、192.168.0.10から割り当てを行います。

リモートカメラとの接続設定を行う(つづき)



3. 「EXECUTE」を“SETTING”に設定する

「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、“Auto IP setting...”のメッセージが表示されます。

- すべて正常に終了すると、“Completed.”のメッセージが表示されます。

リモートカメラが自動でリブートし、新しく設定したIPアドレスで起動します。

本機からリモートカメラを操作できるようになります。

- IPアドレスの設定に失敗した場合は、“Auto IP setting failed.”のメッセージが表示されます。
ネットワークの障害による原因が考えられます。
ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

- 「自動IP設定」が実行されたカメラ番号は、接続種別が「LAN」になり、次に「自動IP設定」を行う際には、設定対象から除かれます。

＜操作のしかた＞

NOTE

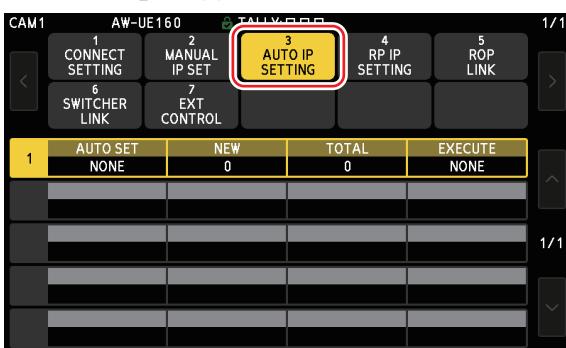
- 設定する前に、リモートカメラの接続種別が「NO ASSIGN」になっていることを確認してください。

接続種別の設定

CONNECTボタン→CONNECT SETTING→「CAM1」～「CAM200」項目

1. リモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続する

2. CONNECTボタン> [AUTO IP SETTING] を選び、「AUTO SET」の項目を“RENEW”に設定する



現在本機が管理している台数(新たに検出したリモートカメラの台数とすべてのリモートカメラの台数)が「NEW」と「TOTAL」に表示されます。

NEW :新しく検出されたカメラの台数

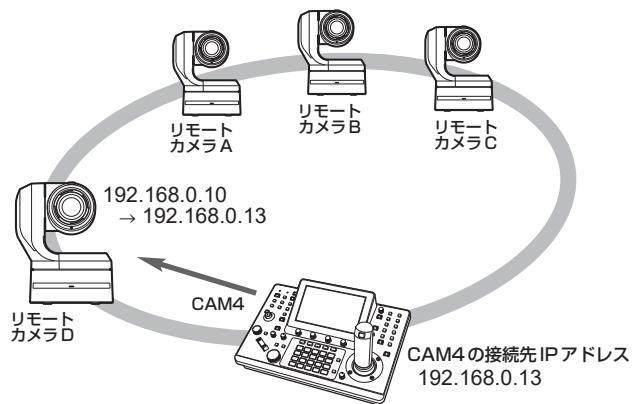
TOTAL :現在本機が管理している台数+新規に検出された台数

すでに運用している環境にリモートカメラを追加導入する場合

すでにIP接続で運用している環境にリモートカメラを追加導入する場合も、「自動IP設定」によって設定を行うことができます。

以下2つの方法があります。

1. 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを、本機から自動で更新する
2. 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを変えずに、本機に設定されている接続先IPアドレスを自動で更新する



■ 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを、本機から自動で更新する

<動作の概要>

CONNECTボタン>[AUTO IP SETTING]の「AUTO SET」項目で「RENEW」を実行することにより、リンク設定を行います。「RENEW」では、本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NO ASSIGN」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。このとき、リモートカメラのIPアドレスを、本機に設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えます。

例：

①3台のリモートカメラA、B、Cが、カメラ番号CAM1、CAM2、CAM3にそれぞれリンク設定され、運用されている。

②新たに1台のリモートカメラD (IPアドレスの値は以下) を追加導入する。

リモートカメラD : 192.168.0.10

③本機に設定されている接続種別 (CONNECTボタン>[CONNECT SETTING])

CAM1 : LAN

CAM2 : LAN

CAM3 : LAN

CAM4 : NO ASSIGN

④本機に設定されている接続先IPアドレス (CONNECTボタン>[MANUAL IP SET])

CAM4 : 192.168.0.13

この状態で、「RENEW」を実行すると、リモートカメラDのIPアドレスは以下の値に書き替えられ、カメラ番号CAM4に対してリンク設定されます。

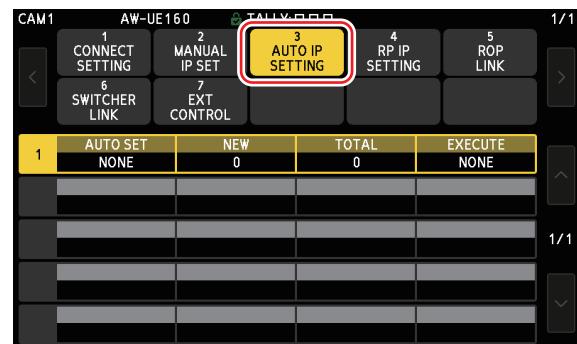
リモートカメラD : 192.168.0.13

- 自動IP設定で本機とのリンクが設定されたあとに、パーソナルコンピューターなどを用いてIPアドレスを変更したリモートカメラを接続し「RENEW」を実行すると、当該リモートカメラには一度自動IP設定を実行したときと同一のIPアドレスが再度設定されます。

<操作のしかた>

1. 追加導入するリモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続する

2. CONNECTボタン>[AUTO IP SETTING]を選び、「AUTO SET」の項目を“RENEW”に設定する



現在、本機が管理している台数 (新たに検出したリモートカメラの台数とすべてのリモートカメラの台数) が「NEW」と「TOTAL」に表示されます。

NEW : 新しく検出されたカメラの台数

TOTAL : 現在本機が管理している台数 + 新規に検出された台数

3. 「EXECUTE」を“SETTING”に設定する

「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、“Auto IP setting...”のメッセージが表示されます。

- すべて正常に終了すると、“Completed.”のメッセージが表示されます。

リモートカメラが自動でリブートし、新しく設定したIPアドレスで起動します。

本機からリモートカメラを操作できるようになります。

- IPアドレスの設定に失敗した場合は、“Auto IP setting failed.”のメッセージが表示されます。

ネットワークの障害による原因が考えられます。

ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

■追加導入する機器に設定されているIPアドレスを変えずに、本機に設定されている接続先IPアドレスを自動で更新する

＜動作の概要＞

CONNECTボタン>[AUTO IP SETTING]の「AUTO SET」項目で「KEEP」を実行することにより、リンク設定を行います。

「KEEP」では、本機は、まず同一サブネット内を検索します。

その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NO ASSIGN」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。

このとき、リモートカメラに設定されているIPアドレスはそのまま保持し、本機に設定されている接続先IPアドレスを書き替えます。

例：

①3台のリモートカメラA、B、Cが、カメラ番号CAM1、CAM2、CAM3にそれぞれリンク設定され、運用されている。

②新たに1台のリモートカメラD (IPアドレスの値は以下) を追加導入する。

リモートカメラD : 192.168.0.20

③本機に設定されている接続種別 (CONNECTボタン>[CONNECT SETTING])

CAM1 : LAN

CAM2 : LAN

CAM3 : LAN

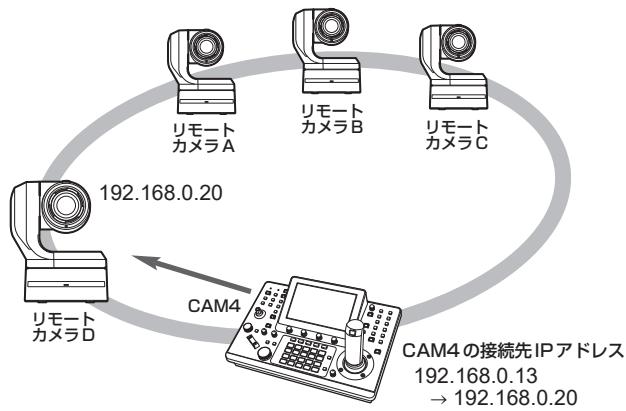
CAM4 : NO ASSIGN

④本機に設定されている接続先IPアドレス (CONNECTボタン>[MANUAL IP SET])

CAM4 : 192.168.0.13

この状態で、「KEEP」を実行すると、リモートカメラDのIPアドレスは変わらず、本機に設定されている接続先IPアドレスが以下の値に書き替えられ、リモートカメラDとリンク設定されます。

CAM4の接続先IPアドレス : 192.168.0.20



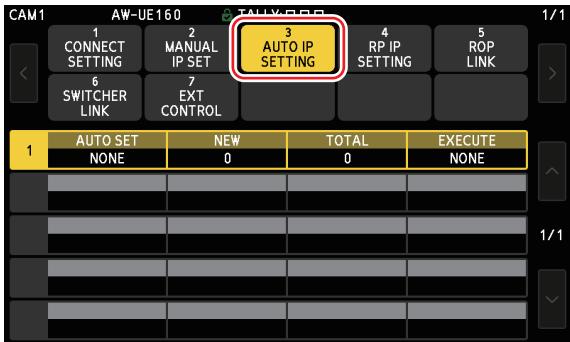
- 接続種別が「SERIAL」以外に設定されたカメラ番号の中に、検出したリモートカメラのIPアドレスと同じ値の接続先IPアドレスが設定されたカメラ番号が存在する場合、本機に設定されている接続先IPアドレスは更新されません。接続先IPアドレスはそのままで、当該カメラ番号とリモートカメラがリンク設定されます。

NOTE

- 本機とリモートカメラのサブネットマスクの値は同じ値を設定してください。サブネットマスクが異なると、ネットワークを使っての操作ができなくなります。

<操作のしかた>

- 追加導入するリモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続する
- CONNECTボタン>[AUTO IP SETTING] を選び、「AUTO SET」の項目を“RENEW”に設定する



現在、本機が管理している台数(新たに検出したリモートカメラの台数とすべてのリモートカメラの台数)が「NEW」と「TOTAL」に表示されます。

NEW：新しく検出されたカメラの台数

TOTAL：現在本機が管理している台数+新規に検出された台数

3. 「EXECUTE」を“SETTING”に設定する

「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、“Auto IP setting...”のメッセージが表示されます。

- すべて正常に終了すると、“Completed.”のメッセージが表示されます。
本機からリモートカメラを操作できるようになります。
- 運用中の機器のIPアドレスと追加導入するリモートカメラのIPアドレスが重複している場合は、“Duplicate IP address. Please change it.”のメッセージが表示されリンク設定はされません。
追加導入するリモートカメラのIPアドレスを確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。
- IPアドレスの設定に失敗した場合は、“Auto IP setting failed.”のメッセージが表示されます。
ネットワークの障害による原因が考えられます。
ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

メモ

接続機器の検出について

- 「RENEW」や「KEEP」により、検出した機器の台数が登録可能な数(リモートカメラ：200台)を超えた場合は、「Detected cameras exceed system limit.」を表示します。
この状態でも自動IP設定を行うことができますが、登録可能な台数分しかIPアドレスを設定しません。
- 複数のリモートカメラが同時に起動されたときなど、本機側ですべてのリモートカメラを検出できないことがあります。
この場合、「EXECUTE」項目で“RETRY”を実行してください。
- リモートカメラの電源が入っていないかった等の原因で、新たに検出した台数の表示が実際に設定する台数に足りなかった場合は、原因を取り除いたあと、「EXECUTE」項目で“RETRY”を実行してください。

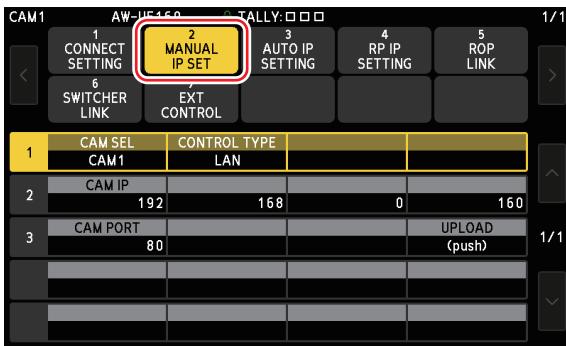
NOTE

- 他のリモートカメラコントローラーを追加する場合は、同じネットワーク内でIPアドレスが重複しないように設定した上で接続してください。
- 「自動IP設定」は、同じネットワーク内で自動IP設定対象外の機器(リモートカメラ以外の機器)が動作していない状態で実行してください。これらの機器は、自動IP設定を実行したあと、同じネットワーク内でIPアドレスが重複していないことを確認した上で接続してください。

接続先IPアドレス(リモートカメラ)とポート番号を手動で設定する

「自動IP設定」でIPアドレスを設定することができないリモートカメラを接続(ルーターを経由して接続)する場合や、本機とリモートカメラのリンク設定を手動で行う場合に操作します。

1. CONNECTボタン>[MANUAL IP SET] を選び、[CAM SEL] の項目を設定変更したいカメラ番号にする



NOTE

- 選択したカメラ番号の接続種別の変更も可能です。
[CONTROL TYPE] を設定してください。詳細は、「リモートカメラとの接続種別(シリアル/IP/接続なし)を設定する」(41ページ)を参照してください。

2. IPアドレス(リモートカメラ)とポート番号を設定する

2行目以降に該当のカメラ番号の現状のIPアドレス、ポート番号が表示されます。

「CAM IP」で、接続先のIPアドレスを設定します。

4つのオクテットに分けて、F1～F4のダイヤルで設定します。

「CAM PORT」で接続先のポート番号を設定します。

設定後は、「UPLOAD」を行ってください。「UPLOAD」を行わないと設定したIPアドレスやポート番号の設定が反映されません。

CONNECTボタン>[CONNECT SETTING]で接続種別が「NO ASSIGN」、「SERIAL」に設定されているカメラ番号に対しても設定することができます。

- 工場出荷の状態では、以下の値に設定されています。

CAM1 : 192.168.0.10

↓

CAM200 : 192.168.0.209

- 接続先IPアドレスを変更すると、他の項目で設定しているIPアドレスとの重複チェックを行います。

IPアドレスが重複している場合は、「Duplicate IP address. Please change it.」のメッセージが表示されます。

■ 設定可能なポート番号について

1～65535の範囲の値を設定することができます。

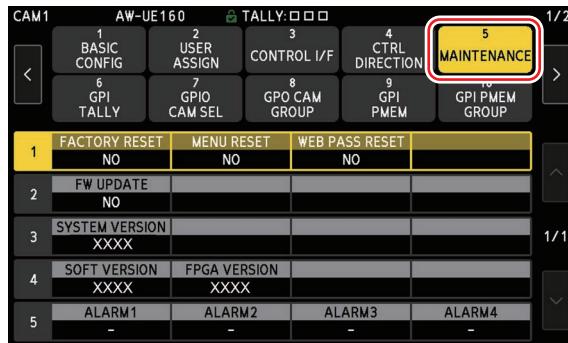
NOTE

- この操作で、リモートカメラに設定されているIPアドレスが変更されるわけではありません。

本機に設定されている接続先IPアドレスを初期化する

本機に設定されている接続種別、接続先IPアドレスを初期化します。

1. RP MENUボタン>[MAINTENANCE] を選び、[FACTORY RESET] を選択する



2. YESを選択し、初期化を実行する

リモートカメラとの接続設定が初期化されます。

メモ

- 接続種別も初期化されます。
- 本機のIPアドレスが変更されている場合、接続先IPアドレスが自動で変更されます。
 - 各カメラ番号には、本機のIPアドレス以降のアドレスが昇順で設定されます。
- 本機に管理している接続先IPアドレス以外の設定もすべて工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

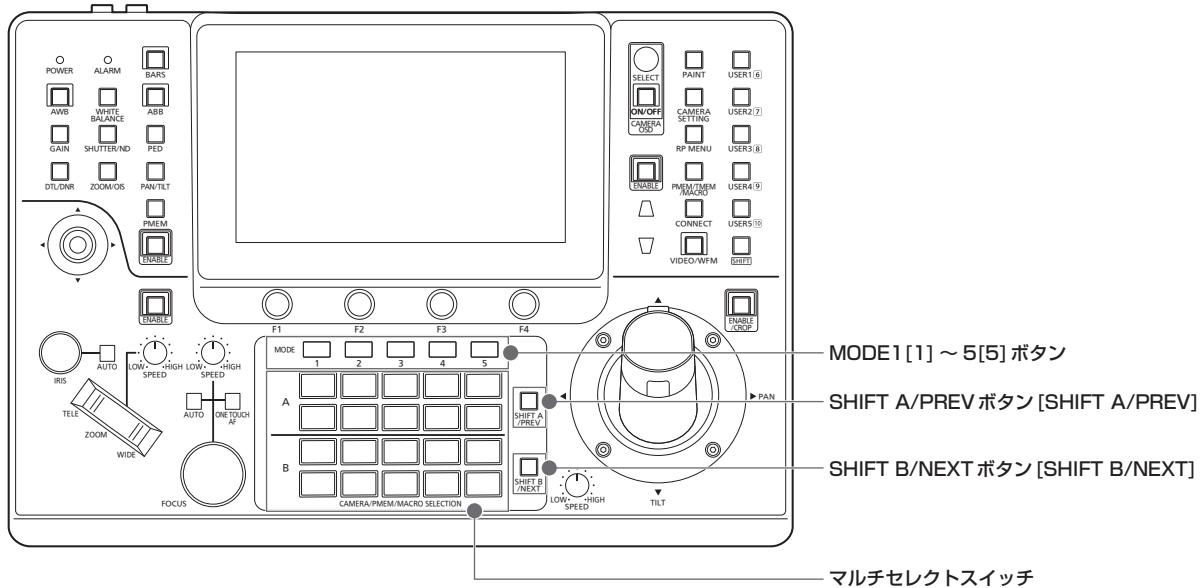
オペレーションモード

本機では利用シーンに応じて複数のオペレーションモードを用意しています。

オペレーションモードにより、マルチセレクトスイッチで制御できる内容が異なります。運用に応じて適宜最適なモードを選択してください。

オペレーションモードは、MODE1[1]～MODE5[5]ボタンで切り替え可能です。(選択中のオペレーションモードはMODEボタンがアンバーに点灯します)

- オペレーションモード1：カメラ20台選択
- オペレーションモード2：プリセットメモリー20個制御
- オペレーションモード3：カメラ10台選択+プリセットメモリー10個制御
- オペレーションモード4：マクロ20個制御
- オペレーションモード5：カメラ10台選択+マクロ10個制御



カメラ選択について

本機では、カメラ番号CAM1～CAM200それぞれに対して接続設定を行うことで、最大200台のリモートカメラを制御対象として登録することができます。この中から制御するリモートカメラを選択するためには、該当するリモートカメラが属するカメラグループをあらかじめ選択しておく必要があります。

| カメラグループ | G1 | G2 | G3 | G4 | G5 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| カメラ番号 | C1～C10 | C11～C20 | C21～C30 | C31～C40 | C41～C50 |
| カメラグループ | G6 | G7 | G8 | G9 | G10 |
| カメラ番号 | C51～C60 | C61～C70 | C71～C80 | C81～C90 | C91～C100 |
| カメラグループ | G11 | G12 | G13 | G14 | G15 |
| カメラ番号 | C101～C110 | C111～C120 | C121～C130 | C131～C140 | C141～C150 |
| カメラグループ | G16 | G17 | G18 | G19 | G20 |
| カメラ番号 | C151～C160 | C161～C170 | C171～C180 | C181～C190 | C191～C200 |

オペレーションモード1または3または5を選択しているとき、マルチセレクトスイッチで、制御するリモートカメラを選択することができます。該当するマルチセレクトスイッチを押すと、押したスイッチがアンバーに点灯し、リモートカメラが選択されます。

また、各スイッチの点灯状態により、マルチセレクトスイッチに割り当てられたリモートカメラの状態が分かります。

| スイッチの点灯状態 | リモートカメラの状態 |
|-----------|--|
| C1 | 未接続状態 |
| C1 | 接続中のリモートカメラがスタンバイ状態 |
| C1 | 接続中のリモートカメラを非選択状態 |
| C1 | 接続中のリモートカメラを選択状態(選択状態のときに、R TALLY・G TALLY・Y TALLYが重なった場合はスイッチ周囲が該当の色で囲まれる) |
| C1 | R TALLY ON(接続中のリモートカメラ非選択状態) |
| C1 | G TALLY ON(接続中のリモートカメラ非選択状態) |
| C1 | Y TALLY ON(接続中のリモートカメラ非選択状態) |

NOTE

- CONNECTボタン>[CONNECT SETTING]で接続種別が[NO ASSIGN]に設定されているカメラは選択できません。
- R/G/Y TALLYが重なった場合は、リモートカメラ本体のLEDが点灯している色のみ表示されます。(選択中のカメラのタリー状態はメインLCDでのステータス画面ではすべて表示されます)

プリセットメモリー制御について

本機から、リモートカメラのプリセットメモリーをカメラ1台当たり最大100個操作することができます。プリセットメモリーには、事前に調整しておいた下記設定を登録することができます。

- パン/チルト位置
- ズーム位置
- フォーカス位置
- アイリス位置
- ゲイン
- ホワイトバランス

NOTE

- プリセットメモリーを登録できる数は、リモートカメラによって異なります。詳しくは、該当機種の取扱説明書を確認してください。

オペレーションモード(つづき)

登録済みのリモートカメラのプリセットメモリーを選択するためには、該当するプリセットメモリーが属する

- プリセットメモリーページ(オペレーションモード2のとき)
 - プリセットメモリーグループ(オペレーションモード3のとき)
- のいずれかをあらかじめ選択しておく必要があります。

| プリセットメモリーページ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------------|--------|---------|---------|---------|----------|
| プリセットメモリーページ | P1～P20 | P21～P40 | P41～P60 | P61～P80 | P81～P100 |

| プリセットメモリーグループ | G1 | G2 | G3 | G4 | G5 |
|---------------|---------|---------|---------|---------|----------|
| プリセットメモリーページ | P1～P10 | P11～P20 | P21～P30 | P31～P40 | P41～P50 |
| プリセットメモリーグループ | G6 | G7 | G8 | G9 | G10 |
| プリセットメモリーページ | P51～P60 | P61～P70 | P71～P80 | P81～P90 | P91～P100 |

オペレーションモード2または3を選択しているとき、マルチセレクトスイッチで、制御するプリセットメモリーページを選択することができます。

該当するマルチセレクトスイッチを押すと、押したスイッチが黄色に点灯し、プリセットメモリーが実行されます。

また、各スイッチの点灯状態により、マルチセレクトスイッチに割り当てられたプリセットメモリーの状態が分かります。

| スイッチの点灯状態 | プリセットメモリーの状態 |
|-----------|--|
| P1 | 未登録状態 |
| P1 | 登録済みだが非選択状態 |
| P1 | 選択・再生状態(プリセットメモリー再生完了後も、他のプリセットメモリーを選択しない限り、本状態のままとなります) |

プリセットメモリーの登録・削除については、カメラ単独での操作以外に、本機でも下記の操作を行うことで対応しています。

● 登録方法

- ショートカットボタンの[P MEM]ボタンを押して、ファンクションバーに[OPERATION MODE]を表示させる
- ファンクションダイヤルを用いて、[STORE]を選択
- カメラをプリセットメモリーとして登録したい状態に操作し、プリセットメモリーが割り当てられているマルチセレクトスイッチを選択
- 該当のプリセットメモリーページに登録される

● 削除方法

- ショートカットボタンの[P MEM]ボタンを押して、ファンクションバーに[OPERATION MODE]を表示させる
- ファンクションダイヤルを用いて、[DELETE]を選択
- 削除したいプリセットメモリーが割り当てられているマルチセレクトスイッチを選択
- 該当のプリセットメモリーページが削除される(未登録状態に戻る)

NOTE

- ショートカットボタンの使用方法については「ショートカットボタン」(64ページ)を参照してください。
- [OPERATION MODE]での選択内容([STORE]/[DELETE]/[RECALL])は[P MEM]ボタン選択中のみ有効です。[P MEM]ボタン非選択時での、プリセットメモリーが割り当てられているマルチセレクトスイッチは常に[RECALL]として動作します。
- ショートカットボタンの[P MEM]ボタン以外にも、ファンクションバーに[P MEM OP MODE]を割り当てることで、同様の登録・削除方法を実現できます。詳細は、「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。
- すでに登録済みのプリセットメモリーに誤って上書き登録しないようにあらかじめ上書き禁止モードにすることも可能です。詳細は、P MEM/T MEM/MACROボタン>[P MEM SETTING]>[STORE MODE]を参照してください。

マクロ制御について

本機に登録されているマクロを最大100個操作することができます。マクロ機能については、「マクロ機能について」(33ページ)を参照してください。

登録済みのマクロを選択するためには、該当するマクロが属する

- マクロページ(オペレーションモード4のとき)
 - マクログループ(オペレーションモード5のとき)
- のいずれかをあらかじめ選択しておく必要があります。

| マクロページ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------|--------|---------|---------|---------|----------|
| マクロ番号 | M1～M20 | M21～M40 | M41～M60 | M61～M80 | M81～M100 |
| マクログループ | G1 | G2 | G3 | G4 | G5 |

| マクログループ | G1 | G2 | G3 | G4 | G5 |
|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| マクロ番号 | M1～M10 | M11～M20 | M21～M30 | M31～M40 | M41～M50 |
| マクログループ | G6 | G7 | G8 | G9 | G10 |
| マクロ番号 | M51～M60 | M61～M70 | M71～M80 | M81～M90 | M91～M100 |

オペレーションモード4または5を選択しているとき、マルチセレクトスイッチで、制御するマクロ番号を選択することができます。

該当するマルチセレクトスイッチを押すと、押したスイッチが黄色に点灯し、マクロが実行されます。実行中にもう一度同じスイッチを押した場合はマクロの実行がキャンセルされます。

また、各スイッチの点灯状態により、マルチセレクトスイッチに割り当てられたマクロの状態が分かります。

| スイッチの点灯状態 | マクロの状態 |
|-----------|--------------------------------------|
| M1 | 未登録状態 |
| M1 | 登録済みだが非選択状態 |
| M1 | 選択・再生状態(マクロ再生完了後、「登録済みだが非選択状態」に戻ります) |

マクロの登録方法については、Web設定画面[Setup Menu]>[Macro]>[Macro Edit]を参照してください。

オペレーションモード1

本機に接続しているカメラのうち、最大20台のカメラの選択ができるモードです。

■ カメラ選択実施まで

1. 最初に MODE1[1] ボタンを選択してください。

2. 制御したいカメラグループを選択します。

- [A]・[B] それぞれ制御したいカメラグループを設定できます。
- [A] のグループを変更したい場合は、[SHIFT A/PREV] ボタン
- [B] のグループを変更したい場合は、[SHIFT B/NEXT] ボタン

を押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

3. G1～G20 ボタンから所望のカメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。

押下中の [SHIFT A/PREV] ボタンまたは [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンに切り替わり、2. で押下した側の [A] または [B] に表示されるカメラグループが切り替わります。

4. 制御したいカメラのボタンを押すと、カメラが選択されます。

NOTE

- 現在カメラ選択していない面のカメラグループをあらかじめ次に制御したいカメラグループに切り替えておくことで、カメラグループをまたいだカメラ選択であってもスムーズに移行できます。
- 「カメラグループ選択」ボタン表示中もそれ以前に選択したカメラを操作可能です。

例：

最初に [A] = C1～C10 (G1)、[B] = C11～C20 (G2) が設定されており (図1)、[B] 側を C21～C30 (G3) に切り替えようとした場合

1. [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

2. G3 カメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。(図2)

押下中の [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンに切り替わり、[B] に表示されるカメラが C21～C30 (G3) に切り替わります。(図3)

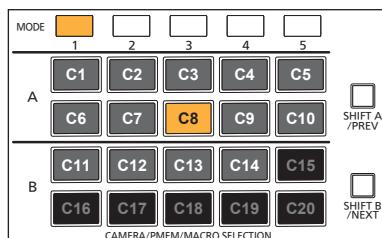


図1

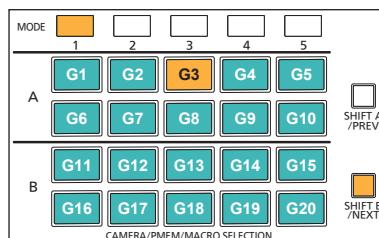


図2

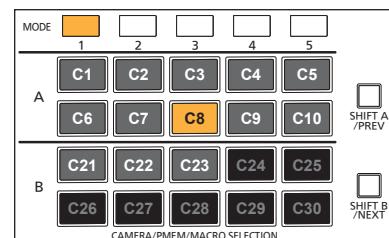


図3

オペレーションモード2

選択中のカメラにおいて、最大20個のプリセットメモリーの制御ができるモードです。
カメラ選択については、オペレーションモード1、3、5またはメインLCD上で設定してください。

NOTE

- メインLCD上でのカメラ選択については、「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」(58ページ)を参照してください。

■ プリセットメモリー制御実施まで

1. 最初に MODE2[2] ボタンを選択してください。
2. 制御したいプリセットメモリーページを選択します。
 - 前のページに戻りたい場合は、[SHIFT A/PREV] ボタン
 - 次のページに進みたい場合は、[SHIFT B/NEXT] ボタン
 を押下してください。
3. 制御したいプリセットメモリーのボタンを押すと、プリセットメモリーが実行されます。

例:

最初にP1～P20 (ページ1) が設定されており(図1)、P21～P40 (ページ2) に切り替えようとした場合

1. [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。(図2)
2. 手を離したときにプリセットメモリーページが確定し、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは P21～P40 に切り替わります。(図3)

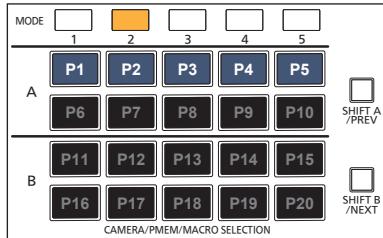


図1

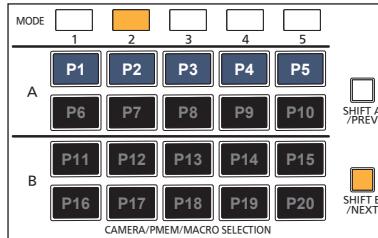


図2

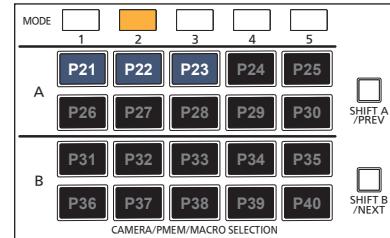


図3

オペレーションモード3

本機に接続しているカメラのうち、最大10台のカメラの選択ができ、プリセットメモリーも最大10個制御ができるモードです。

■ カメラ選択とプリセットメモリー制御実施まで

1. 最初に MODE3[3] ボタンを選択してください。

[A] : カメラ選択
[B] : プリセットメモリー制御
となります。

2. 制御したいカメラグループを選択します。

[SHIFT A/PREV] ボタンを押下してください。
押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

3. G1～G20 ボタンから所望のカメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。

押下中の [SHIFT A/PREV] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンと「プリセットメモリー制御」ボタンに切り替わります。

4. 制御したいプリセットメモリーグループを選択します。

[SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。
押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の10個のボタンは「プリセットメモリーグループ選択」ボタンに切り替わります。

5. G1～G10 ボタンから所望のプリセットメモリーグループを選択し、手を離したときにプリセットメモリーグループが確定します。

押下中の [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の10個のボタンは「プリセットメモリー制御」ボタンに切り替わります。

6. [A] で制御したいカメラのボタンを押すと、カメラが選択され、その選択したカメラに対して [B] で選択したプリセットメモリーを実行できます。

例:

最初にカメラ選択:C1～C10 (G1)、プリセットメモリー制御:P1～P10 (G1) が設定されており(図1)、カメラ選択をC11～C20 (G2)、プリセットメモリー制御をP11～P20 (G2) に切り替えようとした場合

1. [SHIFT A/PREV] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

2. G2カメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。(図2)

押下中の [SHIFT A/PREV] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンと「プリセットメモリー制御」ボタンに切り替わり、[A]に表示されるカメラがC11～C20 (G2) に切り替わります。(図3)

3. [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の[B]の10個のボタンは「プリセットメモリーグループ選択」ボタンに切り替わります。

4. G2プリセットメモリーグループを選択し、手を離したときにプリセットメモリーグループが確定します。(図4)

押下中の [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の[B]の10個のボタンは「プリセットメモリー制御」ボタンに切り替わり、[B]に表示されるプリセットメモリーがP11～P20 (G2) に切り替わります。(図5)

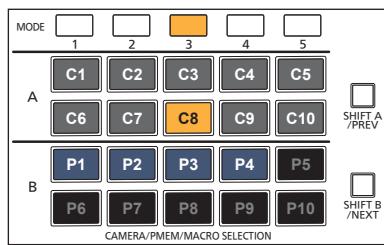


図1

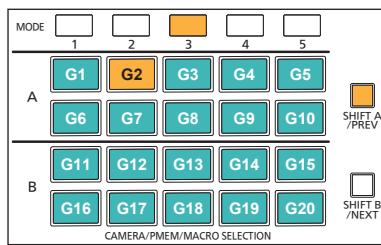


図2

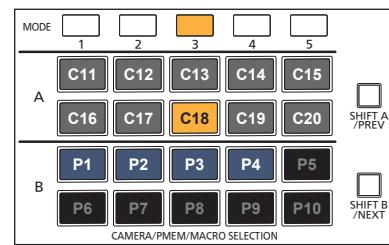


図3

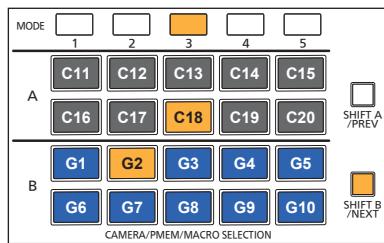


図4

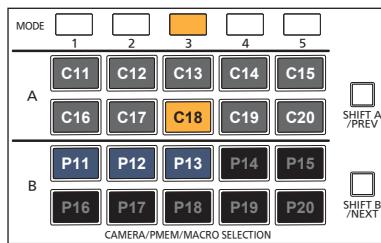


図5

オペレーションモード4

最大20個のマクロの制御ができるモードです。

カメラ選択については、オペレーションモード1、3、5またはメインLCD上で設定してください。

NOTE

- メインLCD上でのカメラ選択については、「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」(58ページ)を参照してください。

■マクロ制御実施まで

1. 最初に MODE4[4] ボタンを選択してください。
2. 制御したいマクロページを選択します。
 - 前のページに戻りたい場合は、[SHIFT A/PREV] ボタン
 - 次のページに進みたい場合は、[SHIFT B/NEXT] ボタン
 を押下してください。
3. 制御したいマクロのボタンを押すと、マクロが実行されます。

例:

最初にM1～M20 (ページ1) が設定されており(図1)、M21～M40 (ページ2) に切り替えようとした場合

1. [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。(図2)

2. 手を離したときにマクロページが確定し、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンはM21～M40に切り替わります。(図3)

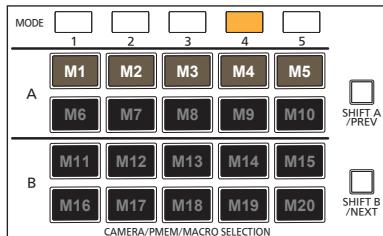


図1

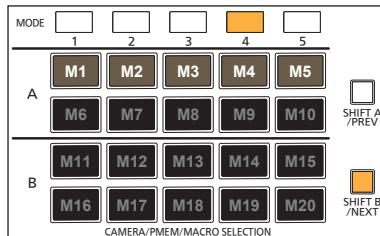


図2

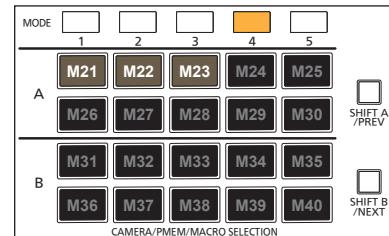


図3

オペレーションモード5

本機に接続しているカメラのうち、最大10台のカメラの選択ができ、マクロも最大10個制御ができるモードです。

■ カメラ選択とマクロ制御実施まで

1. 最初に MODE5[5] ボタンを選択してください。

[A] : カメラ選択

[B] : マクロ制御

となります。

2. 制御したいカメラグループを選択します。

[SHIFT A/PREV] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

3. G1～G20 ボタンから所望のカメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。

押下中の [SHIFT A/PREV] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の20個のボタンは「カメラ選択」ボタンと「マクロ制御」ボタンに切り替わります。

4. 制御したいマクログループを選択します。

[SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の10個のボタンは「マクログループ選択」ボタンに切り替わります。

5. G1～G10 ボタンから所望のマクログループを選択し、手を離したときにマクログループが確定します。

押下中の [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の10個のボタンは「マクロ制御」ボタンに切り替わります。

6. [A] で制御したいカメラのボタンを押すと、カメラが選択されます。また、[B] で選択したマクロを実行できます。

例:

最初にカメラ選択: C1 ~ C10 (G1)、マクロ制御: M1 ~ M10 (G1) が設定されており(図1)、カメラ選択を C11 ~ C20 (G2)、マクロ制御を M11 ~ M20 (G2) に切り替えようとした場合

1. [SHIFT A/PREV] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の 20 個のボタンは「カメラグループ選択」ボタンに切り替わります。

2. G2 カメラグループを選択し、手を離したときにカメラグループが確定します。(図2)

押下中の [SHIFT A/PREV] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の 20 個のボタンは「カメラ選択」ボタンと「マクロ制御」ボタンに切り替わり、[A] に表示されるカメラが C11 ~ C20 (G2) に切り替わります。(図3)

3. [SHIFT B/NEXT] ボタンを押下してください。

押下中は [CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の 10 個のボタンは「マクログループ選択」ボタンに切り替わります。

4. G2 マクログループを選択し、手を離したときにマクログループが確定します。(図4)

押下中の [SHIFT B/NEXT] ボタンを離すと、[CAMERA/PMEM/MACRO SELECTION] の [B] の 10 個のボタンは「マクロ制御」ボタンに切り替わり、[B] に表示されるマクロが M11 ~ M20 (G2) に切り替わります。(図5)

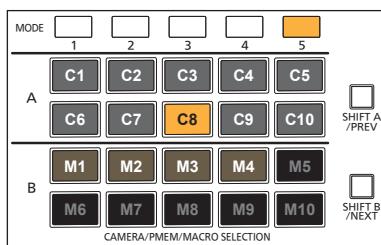


図1

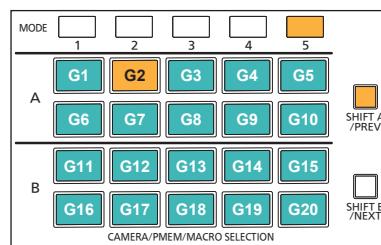


図2

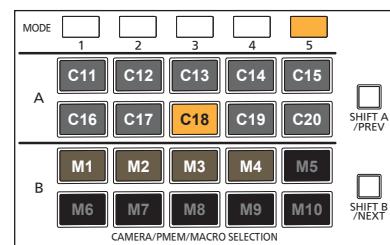


図3

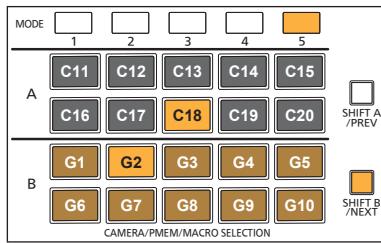


図4

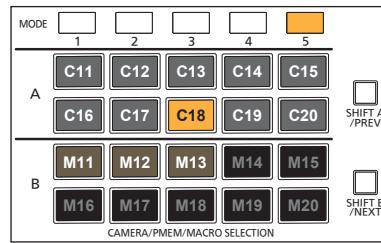
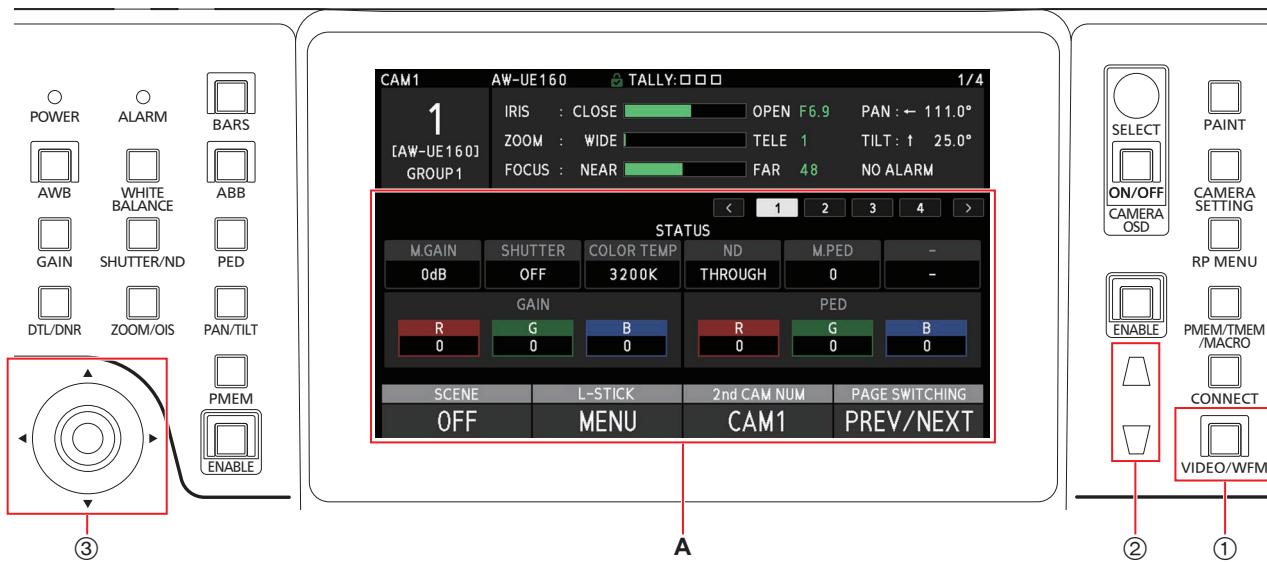


図5

メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御

本機では、各オペレーションモードによる、マルチセレクトスイッチでのカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御以外にもメインLCD上のカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御もサポートしています。

[VIDEO/WFM]ボタンがOFFのときに、上下ボタンを操作、またはL-ジョイスティック（メニュー操作を割り当てている場合）を上下方向に操作することで、Aの部分の画面をカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御に切り替え可能です。



A：カメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御表示部分

- ① VIDEO/WFMボタン[VIDEO/WFM]
- ② 上下ボタン
- ③ L-ジョイスティック

NOTE

- L-ジョイスティックにメニュー操作を割り当てる方法は「本機の操作のカスタマイズ」（34ページ）を参照してください。

■ Aの部分の画面遷移

● カメラ選択

| 20 | 50 | < | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | > |
|--------|--------|--------|--------|----------|---|---|---|---|
| CAM 1 | CAM 2 | CAM 3 | CAM 4 | CAM 5 | | | | |
| CAM 6 | CAM 7 | CAM 8 | CAM 9 | CAM 10 | | | | |
| CAM 11 | CAM 12 | CAM 13 | CAM 14 | CAM 15 | | | | |
| CAM 16 | CAM 17 | CAM 18 | CAM 19 | CAM 20 | | | | |
| | | | | CAM 1-20 | | | | |

● プリセットメモリー制御

| 20 | 50 | < | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | > |
|-------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|---|---|---|---|
| PRESET001 | PRESET002 | PRESET003 | PRESET004 | PRESET005 | | | | |
| PRESET006 | PRESET007 | PRESET008 | PRESET009 | PRESET010 | | | | |
| PRESET011 | PRESET012 | PRESET013 | PRESET014 | PRESET015 | | | | |
| PRESET016 | PRESET017 | PRESET018 | PRESET019 | PRESET020 | | | | |
| MODE CAMERA | SPEED UNIT/STEP | SPEED 20 | PMEM 1-20 | | | | | |

● マクロ制御

| 20 | 50 | < | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | > |
|----------|----------|----------|----------|------------|---|---|---|---|
| MACRO001 | MACRO002 | MACRO003 | MACRO004 | MACRO005 | | | | |
| MACRO006 | MACRO007 | MACRO008 | MACRO009 | MACRO010 | | | | |
| MACRO011 | MACRO012 | MACRO013 | MACRO014 | MACRO015 | | | | |
| MACRO016 | MACRO017 | MACRO018 | MACRO019 | MACRO020 | | | | |
| 1/1 | CANCEL | | | MACRO 1-20 | | | | |

カメラ選択

メインLCD (①の部分) をタッチすることで、カメラ選択 (CAM1 ~ CAM200) が可能です。

表示形式は20/50表示切替ボタン (②) の切り替えで一度に表示するカメラを20台と50台で切り替え可能です。

他のページに移動したい場合は、ページボタン (③) をタッチまたはF4ダイヤル (④) を回してください。

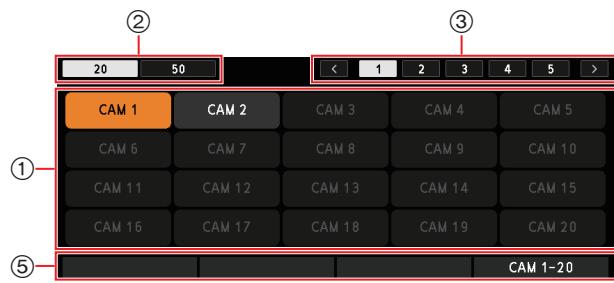
また、各スイッチの点灯状態により、カメラ選択の状態が分かれます。

| スイッチの点灯状態 | カメラ選択の状態 |
|-----------|--------------------------|
| CAM 1 | カメラとの接続設定がNO ASSIGNの状態 |
| CAM 1 | カメラとの接続設定がNO ASSIGN以外の状態 |
| CAM 1 | 選択状態 |

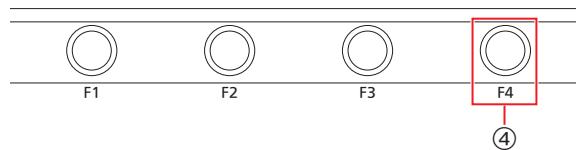
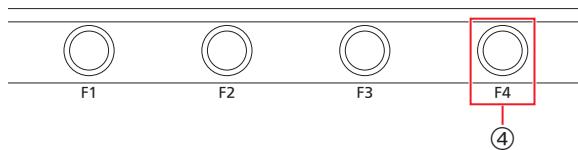
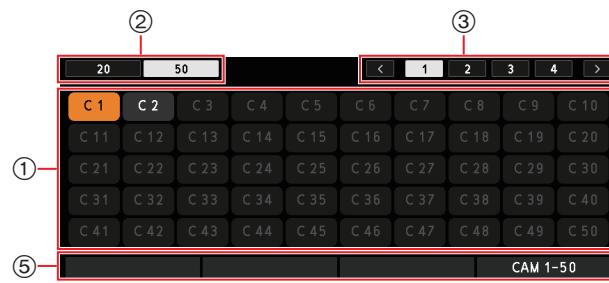
NOTE

- カメラとの接続設定の詳細については、CONNECTボタン>[CONNECT SETTING]>[CONTROL TYPE]を参照してください。

● 20台表示



● 50台表示



- ① カメラ選択ボタン
- ② 20/50表示切替ボタン
- ③ ページボタン
- ④ F4ダイヤル
- ⑤ カメラ選択ファンクションバー

■ カメラ選択ファンクションバーの説明

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-------------|------------------------|---|
| 表示しているカメラ番号 | CAM[表示の最小番号]-[表示的最大番号] | カメラ選択ボタンのページを遷移します。(現在①の部分に表示されているカメラ番号が表示されます) |

NOTE

- オペレーションモード2・4と同時に使用することで、カメラ選択とプリセットメモリー制御・マクロ制御の操作性を拡張できます。
- 本機と接続されているカメラグループ(オペレーションモード1で選択されているカメラグループ2つ)以外を選択した場合は、カメラを操作できるまでに少し時間がかかる可能性があります。
- オペレーションモード1・3・5で、メインLCD上でカメラ選択をした場合、マルチセレクトスイッチの選択中のカメラがある面([A]または[B])はメインLCD上で選択したカメラグループに切り替わります。(例えば、メインLCDでのカメラ選択前に、オペレーションモード1で[A]カメラグループ1・[B]カメラグループ2が表示され、CAM2が選択されていた場合、その後にメインLCDでCAM25(カメラグループ3)を選択すると、[A]がカメラグループ1から3に変更されます)
- オペレーションモードに関する詳細は、「オペレーションモード」(47ページ)を参照してください。
- カメラ選択ファンクションバーは通常のファンクションバーと異なり、表示される項目は固定になります。

プリセットメモリー制御

メインLCD (①の部分) をタッチすることで、プリセットメモリー制御(最大100個)が可能です。

表示形式は20/50表示切替ボタン(②)の切り替えで一度に表示するプリセットメモリーを20個と50個で切り替え可能です。

他のページに移動したい場合は、ページボタン(③)をタッチまたはF4ダイヤル(④)を回してください。

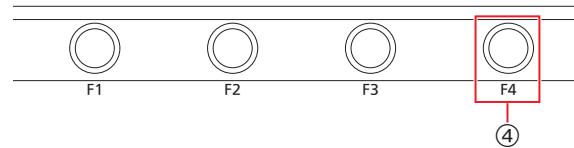
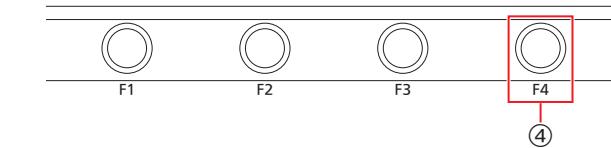
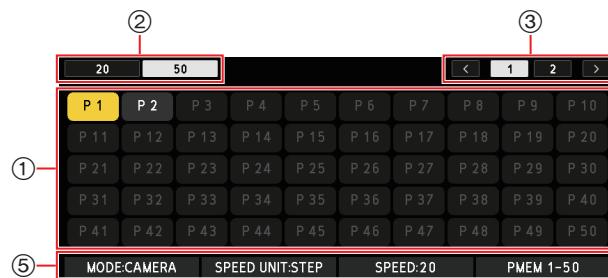
また、各スイッチの点灯状態により、プリセットメモリーの状態が分かります。

| スイッチの点灯状態 | プリセットメモリーの状態 |
|--------------|--|
| 1 PRESET 001 | 未登録状態 |
| 1 PRESET 001 | 登録済みだが非選択状態 |
| 1 PRESET 001 | 選択・再生状態(プリセットメモリー再生完了後も、他のプリセットメモリーを選択しない限り、本状態のままとなります) |

● 20個表示



● 50個表示



① プリセットメモリー制御ボタン

② 20/50表示切替ボタン

③ ページボタン

④ F4ダイヤル

⑤ プリセットメモリー制御ファンクションバー

■プリセットメモリー制御ファンクションバーの説明

_____は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-------------------|-------------------------|---|
| MODE | <u>CAMERA</u> RP | プリセットメモリーを再生するためのプリセットメモリースピードの再生モードを設定します。 CAMERA ：プリセットメモリー再生時に、リモートカメラに設定されているプリセットメモリースピードで再生されます。 RP ：本機でプリセットメモリー登録時に登録されたプリセットメモリースピードで再生されます。 |
| SPEED UNIT | <u>STEP</u> TIME | プリセットメモリーを再生するスピードのモードを表示します。([MODE]で[CAMERA]を選択時のみ有効です) STEP ：プリセットメモリー位置まで指定されたスピードで移動します。 TIME ：プリセットメモリー位置まで指定された時間で移動します。 |
| SPEED | — | プリセットメモリー位置までの移動速度、もしくは時間を表示します。 [SPEED UNIT]が[STEP]のときには、プリセットメモリー位置までの移動速度を表示します。 [TIME]のときには、プリセットメモリー位置までの移動時間を表示します。 |
| 表示しているプリセットメモリー番号 | PMEM[表示の最小番号]-[表示の最大番号] | プリセットメモリー制御ボタンのページを遷移します。(現在①の部分に表示されているプリセットメモリー番号が表示されます) |

NOTE

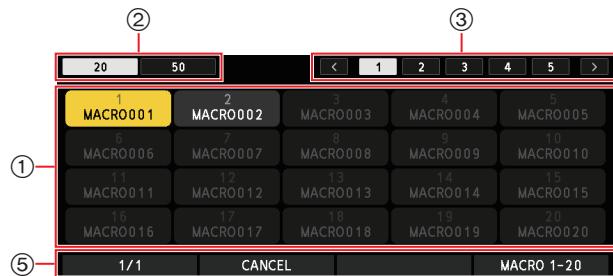
- オペレーションモード1・3・5と同時に使用することで、カメラ選択とプリセットメモリー制御・マクロ制御の操作性を拡張できます。
- オペレーションモードに関する詳細は、「オペレーションモード」(47ページ)を参照してください。
- プリセットメモリー制御ファンクションバーは通常のファンクションバーと異なり、表示される項目は固定になります。
- 本画面では、プリセットメモリーの登録・削除も行うことができます。(詳細は「PMEM/TMEM/MACRO」(102ページ)を参照してください)
 - ・プリセットメモリーの登録：F1ダイヤルを押した状態でプリセットメモリー番号をタッチする
 - ・プリセットメモリーの削除：F4ダイヤルを押した状態でプリセットメモリー番号をタッチする

マクロ制御

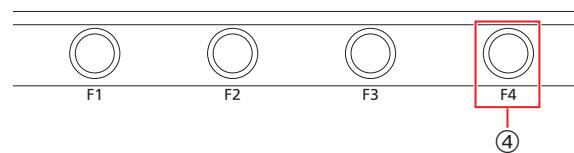
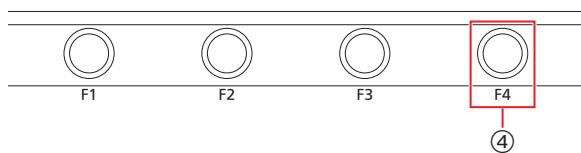
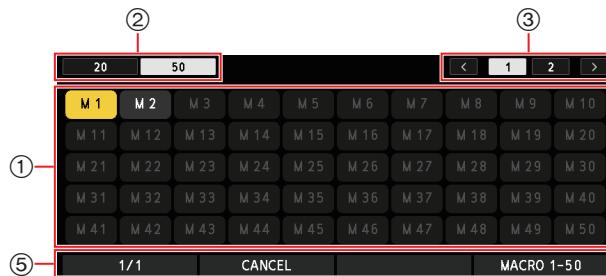
メインLCD (①の部分) をタッチすることで、マクロ制御(最大100個)が可能です。
表示形式は20/50表示切替ボタン(②)の切り替えで一度に表示するマクロを20個と50個で切り替え可能です。
他のページに移動したい場合は、ページボタン(③)をタッチまたはF4ダイヤル(④)を回してください。
また、各スイッチの点灯状態により、マクロの状態が分かれます。

| スイッチの点灯状態 | マクロの状態 |
|----------------|----------------------------------|
| 1 MACRO 001 | 未登録状態 |
| 1 MACRO 001 | 登録済みだが非選択状態 |
| 1 MACRO 001 | 選択・再生状態(マクロ完了後は「登録済みだが非選択状態」に戻る) |

● 20個表示



● 50個表示



- ① マクロ制御ボタン
- ② 20/50表示切替ボタン
- ③ ページボタン
- ④ F4ダイヤル
- ⑤ マクロ制御ファンクションバー

■ マクロ制御ファンクションバーの説明

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-------------|--------------------------|---|
| マクロの再生進捗 | — | 現在再生しているマクロの実行ステップ数/総ステップ数(進捗)を表示します。 |
| CANCEL | — | 現在実行中のマクロを強制的に終了します。 |
| 表示しているマクロ番号 | MACRO[表示の最小番号]-[表示的最大番号] | マクロ制御ボタンのページを遷移します。(現在①の部分に表示されているマクロ番号が表示されます) |

NOTE

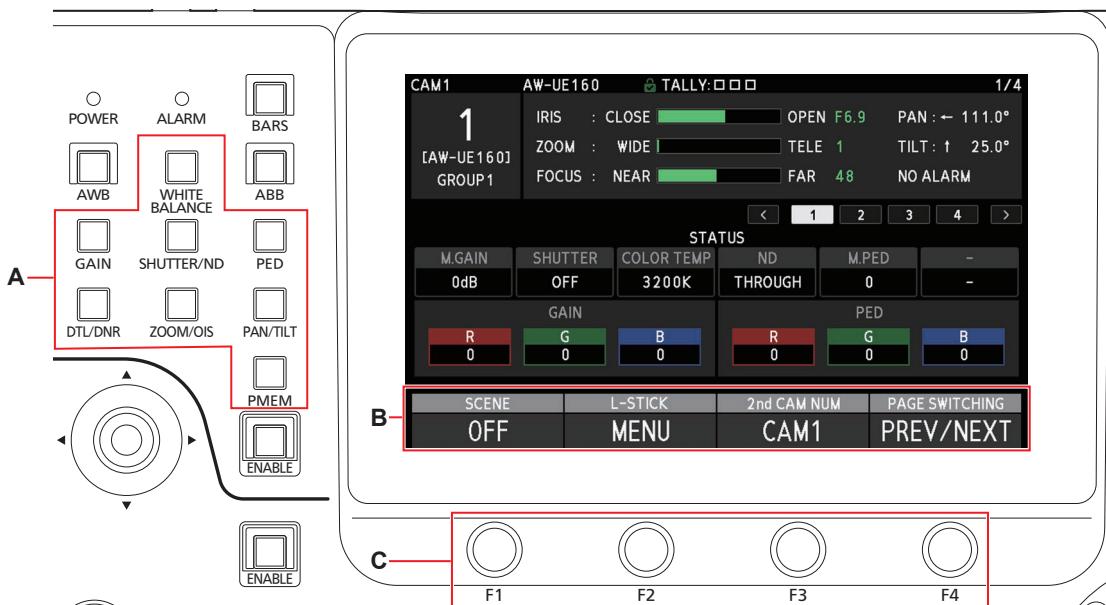
- オペレーションモード1・3・5と同時に使用することで、カメラ選択とプリセットメモリー制御・マクロ制御の操作性を拡張できます。
- オペレーションモードに関する詳細は、「オペレーションモード」(47ページ)を参照してください。
- マクロ制御ファンクションバーは通常のファンクションバーと異なり、表示される項目は固定になります。

ショートカットボタン

本機では、ステータス画面を見ながらワンプッシュですぐに必要な機能が呼び出せるよう、ショートカットキー機能を搭載しています。Aの部分のスイッチを押すことで（選択中はアンバー色になります）、ファンクションバー（B）に表示される項目が切り替わり、ファンクションダイヤル（C）でメニュー操作を行います。

もう一度選択中のスイッチを押すことで、デフォルトのファンクションバーの状態に戻ります。

デフォルトのファンクションバーの項目を変更したい場合は、「本機の操作のカスタマイズ」（34ページ）をご確認ください。



| ショートカットボタン | ファンクションバー 表示項目 | 設定内容 |
|---------------|-------------------|--|
| WHITE BALANCE | W. BAL MODE | 選択されたカメラのホワイトバランスのモードを設定します。 |
| | COLOR TEMP | [W. BAL MODE] の設定に応じて、選択されたカメラの色温度を設定または表示します。 |
| GAIN | MASTER GAIN | 選択されたカメラのマスターゲインを設定します。 |
| | R GAIN | 選択されたカメラのRゲインを設定します。 |
| | G GAIN | 選択されたカメラのGゲインを設定します。 |
| | B GAIN | 選択されたカメラのBゲインを設定します。 |
| SHUTTER/ND | SHUTTER SW | 選択されたカメラのシャッター機能のON/OFFを設定します。 |
| | SHUTTER MODE | 選択されたカメラのシャッターのモードを設定します。 |
| | SHUTTER SPEED | 選択されたカメラのシャッタースピードを設定します。 |
| | ND | 選択されたカメラのNDを設定します。 |
| PED | MASTER PED | 選択されたカメラのマスターペデスタルを設定します。 |
| | R PED | 選択されたカメラのRペデスタルを設定します。 |
| | G PED | 選択されたカメラのGペデスタルを設定します。 |
| | B PED | 選択されたカメラのBペデスタルを設定します。 |
| DTL/DNR | DETAIL SW | 選択されたカメラのディテール機能のON/OFFを設定します。 |
| | MASTER DETAIL | 選択されたカメラのマスターディテールを設定します。 |
| | PEAK(DTL) FREQ | 選択されたカメラのディテールのブースト周波数を設定します。 |
| | DNR | 選択されたカメラのデジタルノイズリダクションを設定します。 |
| ZOOM/OIS | ZOOM MODE | 選択されたカメラのズーム方式（ズーム最大倍率）を設定します。 |
| | DIGITAL EXT | 選択されたカメラのデジタルエクステンダー機能を設定します。 |
| | O.I.S. SW | 選択されたカメラの画面揺れ補正機能のON/OFFを設定します。 |
| | O.I.S. MODE | 選択されたカメラの画面揺れ補正機能のモードを設定します。 |

ショートカットボタン(つづき)

| | | |
|----------|------------------|--|
| PAN/TILT | P/T SPEED MODE | 選択されたカメラのパン/チルト動作のスピードを設定します。 |
| | SPEED w/ ZOOM | 選択されたカメラのズーム倍率に連動して、パン/チルトの制御のスピードを自動で調整するかを設定します。 |
| | FOCUS ADJ w PTZ | 選択されたカメラのパン/チルト/ズーム操作時に、フォーカスのずれを自動補正するかを設定します。 |
| PMEM | OPERATION MODE | <p>オペレーションモード2または3のときの、マルチセレクトスイッチでのプリセットメモリー操作方法を設定します。</p> <p>RECALL：プリセットメモリーを再生するモードです。</p> <p>STORE：プリセットメモリーを本機で保存するためのモードです。</p> <p>DELETE：プリセットメモリーを本機で削除するためのモードです。</p> <p>なお、[STORE]および[DELETE]は[PMEM]ボタンを有効にしているときのみ使用可能で、それ以外のときは常に[RECALL]となります。</p> <p>具体的な使用方法は「オペレーションモード」(47ページ)を参照してください。</p> |
| | RECALL SPEED SEL | プリセットメモリーを再生するためのプリセットメモリースピードの再生モードを設定します。 |
| | SPEED TABLE | プリセットメモリーを再生するスピードのテーブルを設定します。 |
| | PMEM SPEED/TIME | プリセットメモリーを再生するときの、プリセットメモリー位置までの移動速度、もしくは時間を設定します。 |

本機の映像入出力とそれを用いた機能

映像の入出力

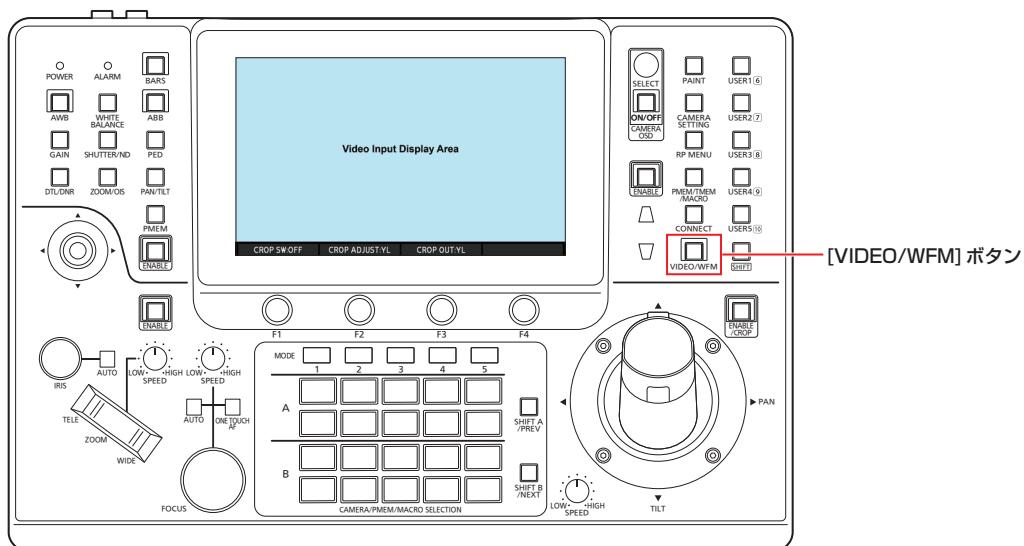
本機ではSDIの映像入力、またはIP映像の受信をし、SDI OUTに出力・メインLCDに表示することができます。
対応している入力フォーマットは以下の通りです。

| | |
|----------------------|-------------|
| SDI IN | 1080/59.94p |
| | 1080/59.94i |
| | 1080/29.97p |
| | 1080/23.98p |
| | 1080/50p |
| | 1080/50i |
| | 1080/25p |
| IP IN | 1080/60fps |
| | 1080/30fps |
| | 1080/24fps |
| | 1080/50fps |
| | 1080/25fps |
| | 1080/60fps |
| | 1080/30fps |
| | 1080/24fps |
| | 1080/50fps |
| | 1080/25fps |
| SRT (H.264/H.265) | 1080/60fps |
| | 1080/30fps |
| | 1080/24fps |
| | 1080/50fps |
| | 1080/25fps |

NOTE

- 本機のSDI入力またはIP入力映像の周波数をRP MENUボタン>[BASIC CONFIG]>[VIDEO FREQ]で適切に設定してください。
詳細は「本運用の前に」(25ページ)を参照してください。
- 本機はエンベデッドオーディオに対応しています。SDI IN: 16ch、IP IN: 2ch対応となり、各入力に応じてSDI OUTから出力します。

入力映像の切り替え方法については、RP MENUボタン>[BASIC CONFIG]>[VIDEO IN SELECT]を参照してください。
また、NDI High BandwidthおよびSRTの入力設定についてはWeb設定画面[Setup Menu]>[Video Input over IP]を参照してください。
メインLCDに入力映像を表示する場合は、[VIDEO/WFM]ボタンを押してください。(ボタンが有効なときは、アンバー色に点灯します)



クロップ機能

UHD クロップ機能に対応するカメラと本機を接続したときに、本機のメインLCD上で各種クロップ機能の操作を実施できます。

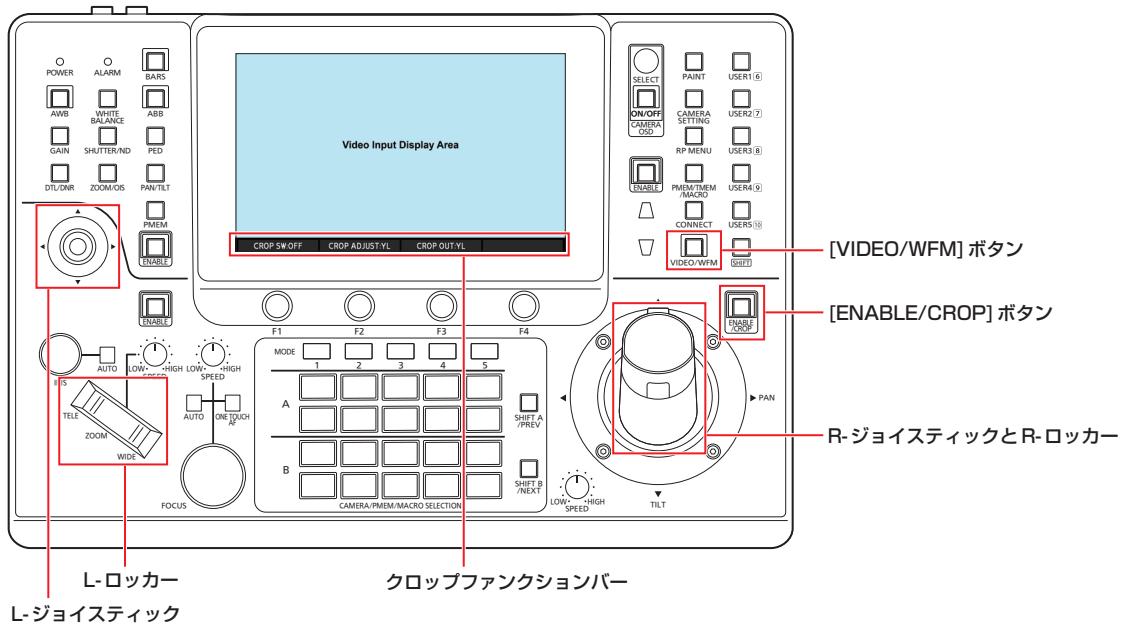
1. [VIDEO/WFM] ボタンをONにし、メインLCD全体に映像を表示します
(クロップ枠の表示が可能なカメラのUHD→HD ダウンコン出力を本機に入力してください)

2. クロップファンクションバーが表示されるので、適切な設定をしてください

| 項目 | 設定内容 |
|-------------|--|
| CROP SW | UHD (3840×2160) の映像から切り出しを行う機能 (CROP 機能) を設定します。 OFF : CROP 機能を無効にします。 ON (1080) : UHD (3840×2160) の映像から所定の領域の切り出しを行い、その結果を 1920×1080 で出力します。 ON (720) : UHD (3840×2160) の映像から所定の領域の切り出しを行い、その結果を 1280×720 で出力します。 |
| CROP ADJUST | 位置調整を行う切り出し枠の選択を行います。 |
| CROP OUT | リモートカメラのクロップ映像を出力する端子の映像に使用する切り出し枠を選択します。 |

3. 2. で設定した切り出し枠について、

- [ENABLE/CROP] ボタンを押して、緑色にすることで、R-ジョイスティックおよびR-ロッカー
 - L-ジョイスティックを[CROP]に割り当てることで、L-ジョイスティックおよびL-ロッカー
- で移動やズームが可能です



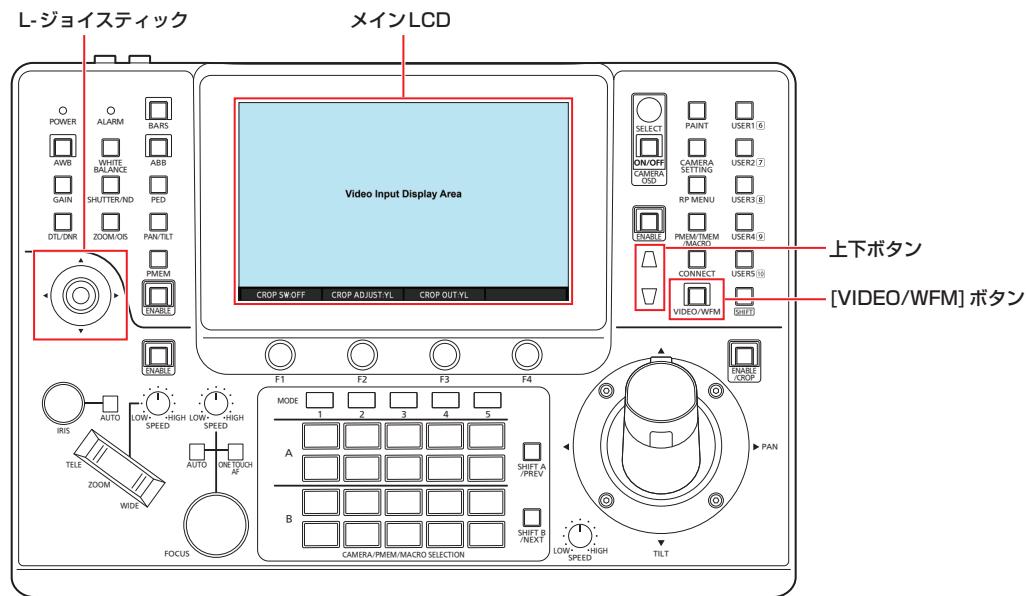
NOTE

- クロップ機能のメニューでの設定については、[CAMERA SETTING]>[CROP]を参照してください。
- L-ジョイスティックの機能割り当てについては、「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。

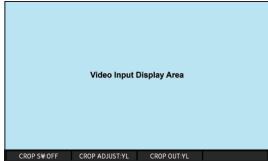
波形表示およびベクトルスコープ

本機では入力映像の波形表示・ベクトルスコープ表示ができます。

[VIDEO/WFM] ボタンがONの状態で、上下ボタンを操作、またはL-ジョイスティック(メニュー操作を割り当てている場合)を上下方向に操作することで、メインLCDの画面を以下の各選択に切り替え可能です。



ページ1



①全画面映像

ページ2



②レンズ関連のステータス+映像+波形表示

ページ3



③レンズ関連のステータス+波形表示

ページ4



④レンズ関連のステータス+映像+ベクトルスコープ表示

NOTE

- 波形表示はRGB表記とYCbCr表記を選択できます。Aの部分をタッチすることで切り替え可能です。
- レンズ関連のステータスについては、「ステータス画面」(30ページ)を参照してください。
- ファンクションバーについては、「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。

リモートカメラの電源の入れかたと切りかた

リモートカメラの電源の入れかた

本機から、スタンバイ状態のリモートカメラの電源を入れることができます。

入れかたには以下の方法があります。

- 1台ずつ電源を入れる
- 本機の電源(ON)と連動して電源を入れる
- 複数のリモートカメラの電源を入れる
 - △ 本機に接続中のすべてのリモートカメラの電源を入れる
 - △ 選択中のカメラグループの電源を入れる

以降にそれぞれの操作について説明します。

1台ずつ電源を入れる

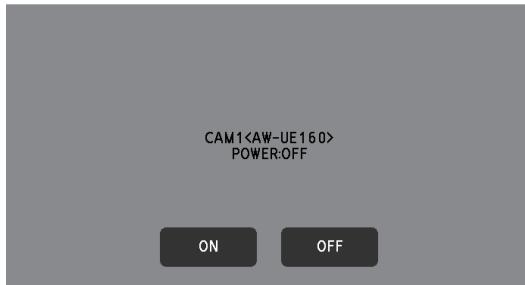
1. リモートカメラを選択する

オペレーションモード1、3、5のいずれかで、「カメラ選択」ボタンを長押し(3秒以上)すると、メインLCDにリモートカメラの名称(カメラ側でユーザーが設定したカメラの名称)と、「ON」、「OFF」のボタンが表示されます。

NOTE

- この操作は、ステータス画面が表示されているときに有効な操作です。
- オペレーションモードについては、「オペレーションモード」(47ページ)を参照してください。

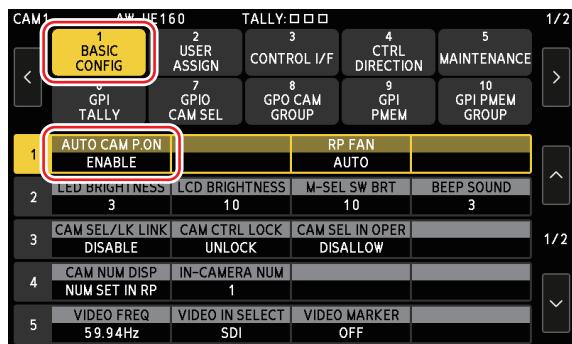
2. 「カメラ選択」ボタンを押したままメインLCDの「ON」ボタンをタッチする



本機の電源(ON)と連動して電源を入れる

1. RP MENUボタンを押す

2. メインLCD上部の「BASIC CONFIG」をタッチして、「AUTO CAM P.ON」項目を表示する



3. 「ENABLE」を選択する

本機の電源(ON)と連動して、CONNECTボタン>[CONNECT SETTING]>[CONTROL TYPE]項目を「SERIAL」、または「LAN」に設定されているリモートカメラの電源が入ります。

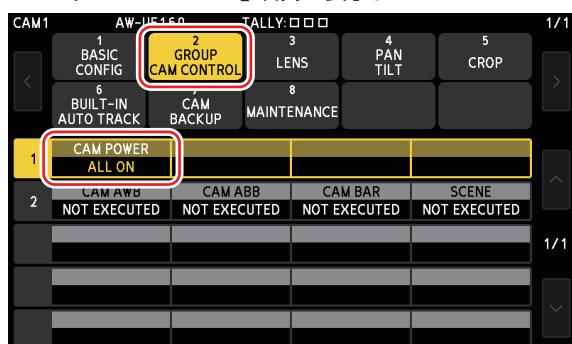
NOTE

- 接続されているカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでに時間を要することがあります。

複数のリモートカメラの電源を入れる

1. CAMERA SETTINGボタンを押す

2. メインLCD上部の「GROUP CAM CONTROL」をタッチして、「CAM POWER」項目を表示する



■ 本機に接続中のすべてのリモートカメラの電源を入れる「CAM POWER」から「ALL ON」を選択します。

■ 選択中のカメラグループの電源を入れる「CAM POWER」から「GROUP ON」を選択します。

リモートカメラの電源の切りかた(スタンバイ状態への移行)

本機からリモートカメラの電源を切る(スタンバイ状態への移行)ことができます。

切りかたには以下の方法があります。

- 1台ずつ電源を切る
- 複数のリモートカメラの電源を切る
 - ◇ 本機に接続中のすべてのリモートカメラの電源を切る
 - ◇ 選択中のカメラグループの電源を切る

以降にそれぞれの操作について説明します。

1台ずつ電源を切る

1. リモートカメラを選択する

オペレーションモード1、3、5のいずれかで、「カメラ選択」ボタンを長押し(3秒以上)すると、メインLCDにリモートカメラの名称(カメラ側でユーザーが設定したカメラの名称)と、「ON」、「OFF」のボタンが表示されます。

NOTE

- この操作は、ステータス画面が表示されているときに有効な操作です。
- オペレーションモードについては、「オペレーションモード」(47ページ)を参照してください。

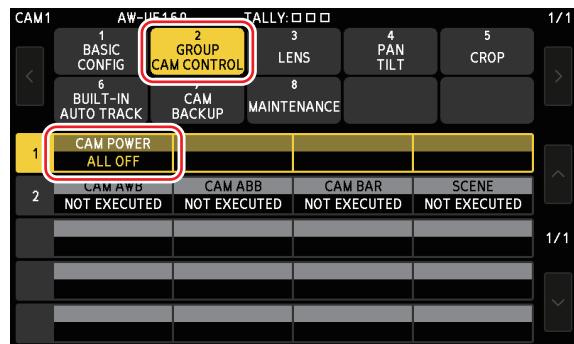
2. 「カメラ選択」ボタンを押したままメインLCDの「OFF」ボタンをタッチする



複数のリモートカメラの電源を切る

1. CAMERA SETTING ボタンを押す

2. メインLCD上部の「GROUP CAM CONTROL」をタッチして、「CAM POWER」項目を表示する



■ 本機に接続中のすべてのリモートカメラの電源を切る
「CAM POWER」から「ALL OFF」を選択します。

■ 選択中のカメラグループの電源を切る

「CAM POWER」から「GROUP OFF」を選択します。

各種データのバックアップについて

本機では以下のデータのバックアップ・アップロードをUSBメモリーまたはWebメニューを介して行うことが可能です。

- 選択されたカメラに保存されている情報 ([SCENE]・[CAMERA ALL]) : USBメモリーにのみ対応
- 本機に保存されている情報 ([ALL]・[RP SETTING]・[TMEM]・[MACRO]・[CONN SETTING]・[CAM CTRL INFO]) : USBメモリーまたはWebメニューに対応

NOTE

- Webメニューでのデータのバックアップ・アップロードはWeb設定画面[Setup Menu]>[Maintenance]>[RP Backup]を参照してください。
- USBメモリーはUSBハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。
- 本製品はNTFS形式のUSBメモリーには対応しておりません。

■ CAMERA SETTINGボタン>[CAM BACKUP]

| バックアップ対象 | | バックアップ種別 | |
|----------------|--------------------|------------|-------|
| | | CAMERA ALL | SCENE |
| PAINT | カメラが保存するPAINT設定 | ○ | ○ |
| CAMERA SETTING | カメラが保存するPAINT以外の設定 | ○ | × |
| その他の本機でのメニュー設定 | カメラが保存しない設定 | × | × |

■ RP MENUボタン>[RP BACKUP]

| バックアップ対象 | | バックアップ種別 | | ALL | RP SETTING | TMEM | MACRO | CONN SETTING | CAM CTRL INFO |
|-----------------|--------------------|----------|-----|-----|------------|------|-------|--------------|---------------|
| PAINT | カメラが保存するPAINT設定 | | | × | × | × | × | × | × |
| CAMERA SETTING | カメラが保存するPAINT以外の設定 | | | ○ | ○ | × | × | × | △*1 |
| RP MENU | BASIC CONFIG | | | | | | | | × |
| | USER ASSIGN | | | | | | | | ○ |
| | CONTROL I/F | | | | | | | | × |
| | CTRL DIRECTION | | | | | | | | △*2 |
| | GPIO各メニュー | | | | | | | | × |
| PMEM/TMEM/MACRO | PMEM | × | | × | | × | | | |
| | TMEM | | ○ | × | ○ | | | | × |
| | MACRO | | | | | ○ | | | △*3 |
| | PMEM SETTING | △*2 | △*2 | | | | | | ○ |
| | VIEW COLOR | PMEM | | | | | | | × |
| | | MACRO | | | | | | | ○ |
| | NAME EDIT | PMEM | | | | | | | × |
| | | MACRO | | | | | | | ○ |
| CONNECT | EXT CTRL PMEM | × | × | | | | | | × |
| | CONNECT SETTING | | | | | | | ○ | |
| | MANUAL IP SET | | | | × | | | | |
| | AUTO IP SETTING | | | | | | | | |
| | RP IP SETTING | | | | | | × | | |
| | ROP LINK | | | | | | | | |
| | SWITCHER LINK | | | | △*4 | | | | |
| | EXT CONTROL | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---------------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 盤面情報 (メインLCD・マルチセレクトスイッチ・各種ボタンの状態等) | オペレーションモード | ○ | ○ | × | × | × | × |
| | カメラグループ選択 | | | | | | |
| | カメラ選択 | | | | | | |
| | オペレーションモード2～5のプリセットメモリー・マクロのページ | | | | | | |
| | メインLCD上での表示状態(メニュー表示は除く) | | | | | | |
| | 各[ENABLE]ボタンの状態 | | | | | | |
| | USERボタンの[SHIFT]の状態 | × | × | × | × | × | × |
| | 各メニューの表示/非表示・開いているページ | | | | | | |
| | ショートカットボタンのON/OFF状態 | | | | | | |
| ネットワーク設定 (Webメニューで設定・閲覧できる情報) | ユーザー認証(本機のWebログイン情報) | × | ○ | ○ | × | ○ | × |
| | ユーザー認証(カメラのID・パスワード) | × | | | | | |
| | IP映像受信の各種設定 | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| | イベントログ | × | ○ | ○ | × | ○ | × |
| | エラーログ | ○ | | | | | |
| | 時計設定 | ○ | | | | | |
| | 本機の[Title] | ○ | | | | | |
| | 本機のhttpポート・Easy IP設定 | ○ | | | | | |

*1 : MANU IRIS LIMITの設定値と設定したときのIRIS値

*2 : 本機で設定している設定値のみ

*3 : プリセットメモリー登録時の[SPEED UNIT]、[SPEED TABLE]、[SPEED]

*4 : IPアドレス、ポート番号以外

カメラに保存されている情報 ([SCENE]・[CAMERA ALL])

■ USBメモリーのフォーマット

以下の手順で、USBメモリーのフォーマットをすることが可能です。
(同様の内容がRP MENUボタン>[RP BACKUP]でも操作可能です)

1. CAMERA SETTINGボタン>[CAM BACKUP]を選択する
2. [MODE]=[FORMAT]を選択する
3. 本機に接続しているUSBメモリー (Type-AまたはType-C) のうち、使用したいUSBメモリーのデバイス名を[USB DEVICE SELECT]で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は“_”に置き換えて表示します。
 - 接続しているUSBメモリーがない場合は[NONE]を表示します。
4. [EXECUTE]=[YES]を選択する
5. フォーマットが完了したら、「Completed」が表示される

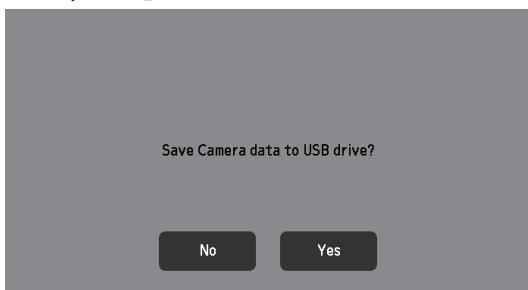
NOTE

- フォーマットが失敗した場合は、「Format failed.」と表示されます。再度やり直してください。
- USBメモリーはUSBハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。
- 本製品はNTFS形式のUSBメモリーには対応しておりません。

■ ファイルのバックアップ

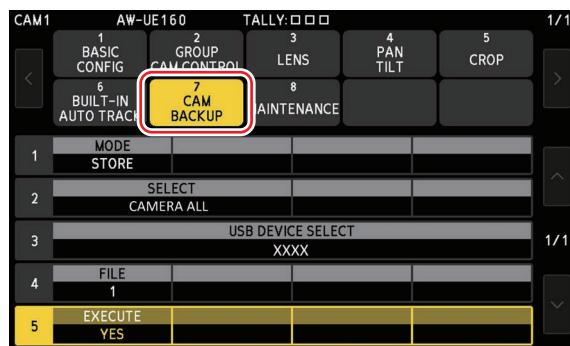
以下の手順で、カメラに保存されている情報をUSBメモリーにバックアップすることが可能です。

1. CAMERA SETTING ボタン>[CAM BACKUP]を選択する
2. [MODE]=[STORE]を選択する
3. 取り扱いたいデータ([CAMERA ALL]・[SCENE1]、[SCENE2]…)を[SELECT]で選択する(例:[SCENE2]を選択した場合は、[SCENE2]のファイルをバックアップする)
4. 本機に接続しているUSBメモリー(Type-AまたはType-C)のうち、使用したいUSBメモリーのデバイス名を[USB DEVICE SELECT]で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は“_”に置き換えて表示します。
 - 接続しているUSBメモリーがない場合は[NONE]を表示します。
5. [SELECT]=[CAMERA ALL]のとき、保存するデータの保存先を[FILE](1～20)から選択する
ファイル番号を選択することで、異なるファイル名で保存できるようになります。
[SELECT]=[SCENE]のときは[FILE]に該当する項目はありません。
6. [EXECUTE]=[YES]を選択する
7. 下記のようなダイアログが表示され、[Yes]を選択すると、ファイルのバックアップを開始します。バックアップが完了したら「Completed」が表示されます



NOTE

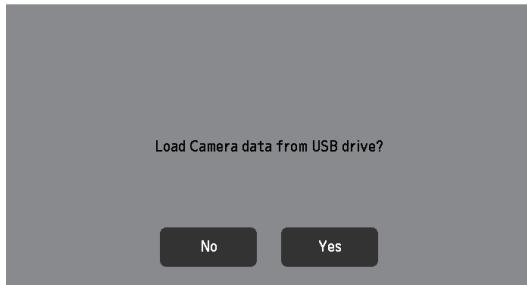
- バックアップしたファイルは、USBメモリーの¥¥RP200¥CAMDATAフォルダーに保存されます。
- バックアップが失敗した場合は、「Save failed」と表示されます。再度やり直してください。
- USBメモリーはUSBハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。



■ ファイルのアップロード

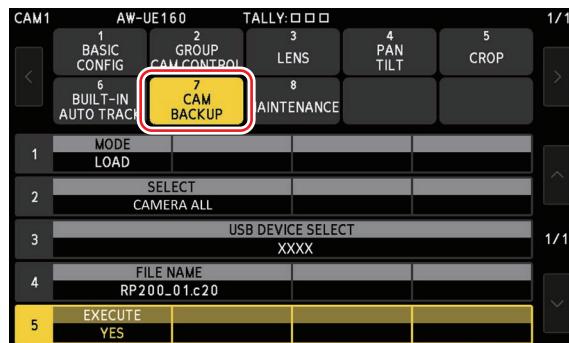
以下の手順で、USBメモリーにバックアップしている情報をカメラにアップロードすることが可能です。

1. CAMERA SETTING ボタン>[CAM BACKUP]を選択する
2. [MODE]=[LOAD]を選択する
3. 取り扱いたいデータ([CAMERA ALL]・[SCENE1]、[SCENE2]…)を[SELECT]で選択する(例:SCENE2を選択した場合は、SCENE2にファイルがアップロードされる)
4. 本機に接続しているUSBメモリー(Type-AまたはType-C)のうち、使用したいUSBメモリーのデバイス名を[USB DEVICE SELECT]で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は“_”に置き換えて表示します。
 - 接続しているUSBメモリーがない場合は[NONE]を表示します。
5. [FILE NAME]で、4.で選択したUSBメモリーの中のアップロードしたいファイルを選択する
ファンクションダイヤルを回して必要なファイルを選択します。
6. [EXECUTE]=[YES]を選択する
7. 下記のようなダイアログが表示され、[Yes]を選択すると、ファイルのアップロードを開始します。アップロードが完了したら「Completed」が表示されます



NOTE

- USBメモリーの¥¥RP200¥CAMDATAフォルダーにあるファイルをアップロードします。
- アップロードが失敗した場合は、「Load failed.」と表示されます。再度やり直してください。
- USBメモリーはUSBハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。



本機に保存されている情報([ALL]・[RP SETTING]・[TMEM]・[MACRO]・[CONN SETTING]・[CAM CTRL INFO])

■ USB メモリーのフォーマット

以下の手順で、USB メモリーのフォーマットをすることが可能です。
(同様の内容がCAMERA SETTINGボタン>[CAM BACKUP]でも操作可能です)

1. RP MENU ボタン>[RP BACKUP] を選択する
2. [MODE]=[FORMAT] を選択する
3. 本機に接続しているUSB メモリー (Type-A または Type-C) のうち、使用したいUSB メモリーのデバイス名を [USB DEVICE SELECT] で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は“_”に置き換えて表示します。
 - 接続しているUSB メモリーがない場合は[NONE]を表示します。
4. [EXECUTE]=[YES] を選択する
5. フォーマットが完了したら、「Completed」が表示されます

NOTE

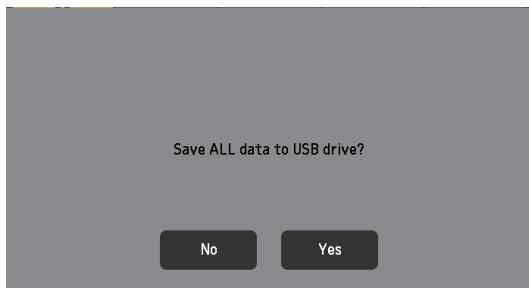
- フォーマットが失敗した場合は、「Format failed.」と表示されます。再度やり直してください。
- USB メモリーはUSB ハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。
- 本製品はNTFS 形式のUSB メモリーには対応しておりません。

各種データのバックアップについて(つづき)

■ ファイルのバックアップ

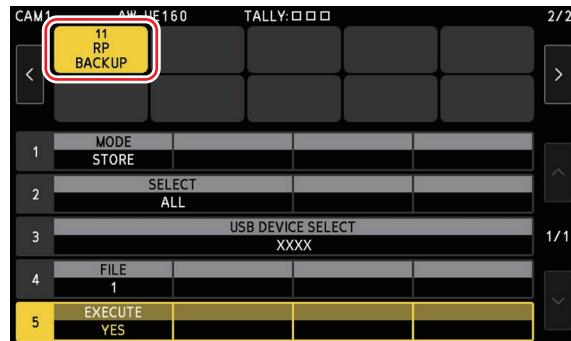
以下の手順で、本機に保存されている情報をUSBメモリーにバックアップすることができます。

1. RP MENUボタン>[RP BACKUP]を選択する
2. [MODE]=[STORE]を選択する
3. 取り扱いたいデータ([ALL]・[RP SETTING]・[TMEM]・[MACRO]・[CONN SETTING]・[CAM CTRL INFO])を[SELECT]で選択する
4. 本機に接続しているUSBメモリー(Type-AまたはType-C)のうち、使用したいUSBメモリーのデバイス名を[USB DEVICE SELECT]で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号が使われている場合は“_”に置き換えて表示します。
 - 接続しているUSBメモリーがない場合は[NONE]を表示します。
5. 保存するデータの保存先を[FILE](1～20)から選択する
ファイル番号を選択することで同一種類のファイルでも、異なるファイル名で保存できるようになります。
6. [EXECUTE]=[YES]を選択する
7. 下記のようなダイアログが表示され、[Yes]を選択すると、ファイルのバックアップを開始します。バックアップが完了したら「Completed」が表示されます



NOTE

- バックアップしたファイルはUSBメモリーの¥¥RP200¥DATAフォルダーに保存されます。
- バックアップが失敗した場合は、「Save failed」と表示されます。再度やり直してください。
- USBメモリーはUSBハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。
- 7.でUSBメモリーにすでに同じファイル番号のファイルが存在する場合は、警告ダイアログが表示されます。

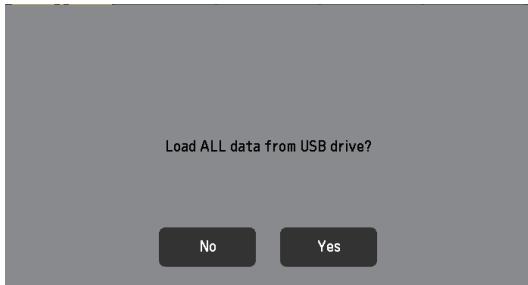


各種データのバックアップについて(つづき)

■ ファイルのアップロード

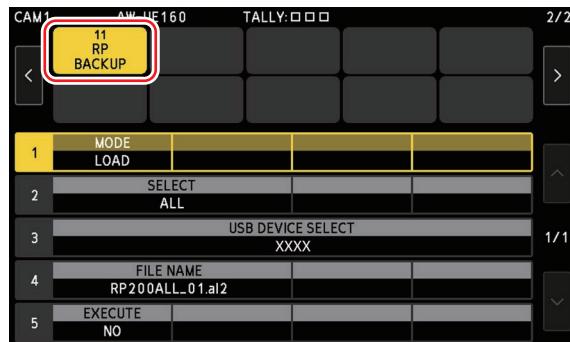
以下の手順で、USBメモリーにバックアップしている情報を本機にアップロードすることができます。

1. RP MENUボタン>[RP BACKUP]を選択する
2. [MODE]=[LOAD]を選択する
3. 取り扱いたいデータ([ALL]・[RP SETTING]・[TMEM]・[MACRO]・[CONN SETTING]・[CAM CTRL INFO])を[SELECT]で選択する
4. 本機に接続しているUSBメモリー(Type-AまたはType-C)のうち、使用したいUSBメモリーのデバイス名を[USB DEVICE SELECT]で選択する
 - 本機で対応していない英数字・一部の記号以外の文字が使われている場合は“_”に置き換えて表示します。
 - 接続しているUSBメモリーがない場合は[NONE]を表示します。
5. [FILE NAME]で、4.で選択したUSBメモリーの中のアップロードしたいファイルを選択してください
ファンクションダイヤルを回して必要なファイルを選択します。
6. [EXECUTE]=[YES]を選択してください
7. 下記のようなダイアログが表示され、[Yes]を選択すると、ファイルのアップロードを開始します。アップロードが完了したら「Completed」が表示されます



NOTE

- USBメモリーの¥¥RP200¥DATAフォルダーにあるファイルをアップロードします。
- アップロードが失敗した場合は、「Load failed.」と表示されます。再度やり直してください。
- USBメモリーはUSBハブ等を使用せず、本機に直接接続してください。



各種連携機能について

本機では以下のような、カメラ・その他機器との連携機能を使用できます。

- 本機のカメラ選択とROPのカメラ選択が連動する機能
- 本機からのカメラ選択とスイッチャーの指定された出力のバス切替が連動する機能
- 本機で他社製ドリー・トーム等の外部機器を制御する機能

本機のカメラ選択と当社ROPのカメラ選択が連動する機能

本機のカメラ選択に連動して、ROPのカメラ選択を自動で変更することが可能です。

1. 本機のCONNECTボタン>[ROP LINK]にて、下記設定を行う

- (A) [ROP LINK MODE]を[ON]
- (B) 使用するROPのIPアドレス・ポート番号を[ROP IP]・[ROP PORT]で設定
- (C) (A)・(B)の設定ができたら、[UPLOAD]で[YES]を選択

NOTE

- [UPLOAD]で[YES]を選択するまで、本機能は有効になりません。

- (D) 本機のカメラ選択[RP CAM SEL]と連動させたいROPのカメラ番号を[LINKED ROP CAM]に設定

2. ROPで連携機能 [AW CONTROLLER LINK] の設定を行う

詳細はROPの取扱説明書を参照してください。

本機からのカメラ選択とスイッチャーの指定された出力のバス切替が連動する機能

本機のカメラ選択に応じて、当社スイッチャーのAUX出力等の映像を自動で切り替えることで、本機でのカメラ制御の際のモニター映像として利用することができます。また、AUX出力等の映像を通常のカメラ映像とマルチビューに切り替えることができます。さらに、タリーもスイッチャーと本機で連携することができます。

1. 本機のCONNECTボタン>[SWITCHER LINK]にて、下記設定を行う

- (A) [LINK MODE]を[ON]
- (B) 使用するスイッチャーのIPアドレス・ポート番号を[SWITCHER IP]・[SWITCHER PORT]で設定
- (C) スイッチャーからの通知を受信する本機のポート番号を[RP PORT]に設定
- (D) [UPLOAD]で[YES]を選択

NOTE

- [UPLOAD]で[YES]を選択するまで、本機能は有効になりません。

- (E) 本機のカメラ選択がスイッチャーの指定した出力のバス切替に連動する機能 [BUS CTRL]を[ON]にする

- (F) 本機のカメラ選択がスイッチャーのどの出力に連動するかを[BUS SEL(MAIN)]に設定

- (G) 本機のカメラ番号[CAM NUM]と連動させるスイッチャーのインプット[SW INPUT]を1セットずつ設定

(例：CAM1をスイッチャーのインプット1→CAM2をスイッチャーのインプット2→…)

この他にも、

- スイッチャーのAUXバスを制御してマルチビューと選択中のカメラ映像の切り替えを行う
- スイッチャーからのタリーの受信

を使用できます。詳細はCONNECTボタン>[SWITCHER LINK]を参照してください。

2. スイッチャーで連携機能の設定を行う

詳細はスイッチャーの取扱説明書(当社製スイッチャーでは[External Control])を参照してください。

本機で他社製ドリー・トーム等の外部機器を制御する機能

本機からカメラの選択・制御をしながら、同時に他社製ドリー・トーム等の外部機器^{*1}を操作することが可能です。

*1：本機能を使用する前に、購入先の販売店にご相談ください。

1. 本機のCONNECTボタン>[EXT CONTROL]にて、下記設定を行う

- (A) [EXT CTRL MODE]を[ENABLE]
- (B) R-ロッカー、L-ジョイスティックに対してそれぞれ、外部機器のどの方向の制御をするか[R-ROCKER CTRL]・[L-STICK CTRL]で設定
- (C) 外部機器の制御番号を[EXT CTRL NUM]で設定(外部機器とカメラの同時制御は最大で10セット可能です。特に制約がない場合は、1から順番に設定してください)
- (D) 水平方向の制御をする外部機器のIPアドレスを[IP(EXT-HOR)]、ポートを[PORT(EXT-HOR)]で設定
- (E) 垂直方向の制御をする外部機器のIPアドレスを[IP(EXT-VER)]、ポートを[PORT(EXT-VER)]で設定
- (F) 本機能で使用する本機の受信ポートを[RSV PORT(RP)]で設定
- (G) 外部機器と同時に制御したいカメラ番号を[LINKED CAM]で設定
カメラ番号の付与方法については、「リモートカメラとの接続設定を行う」(40ページ)を参照してください。
- (H) プリセットメモリーの制御方法を[PMEM CTRL]で設定
- (I) (H)までの設定が完了したら、[UPLOAD]を[YES]に設定
[YES]に設定するまで、設定は反映されません。

2. 外部機器で本機との連携機能の設定を行う

詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください。

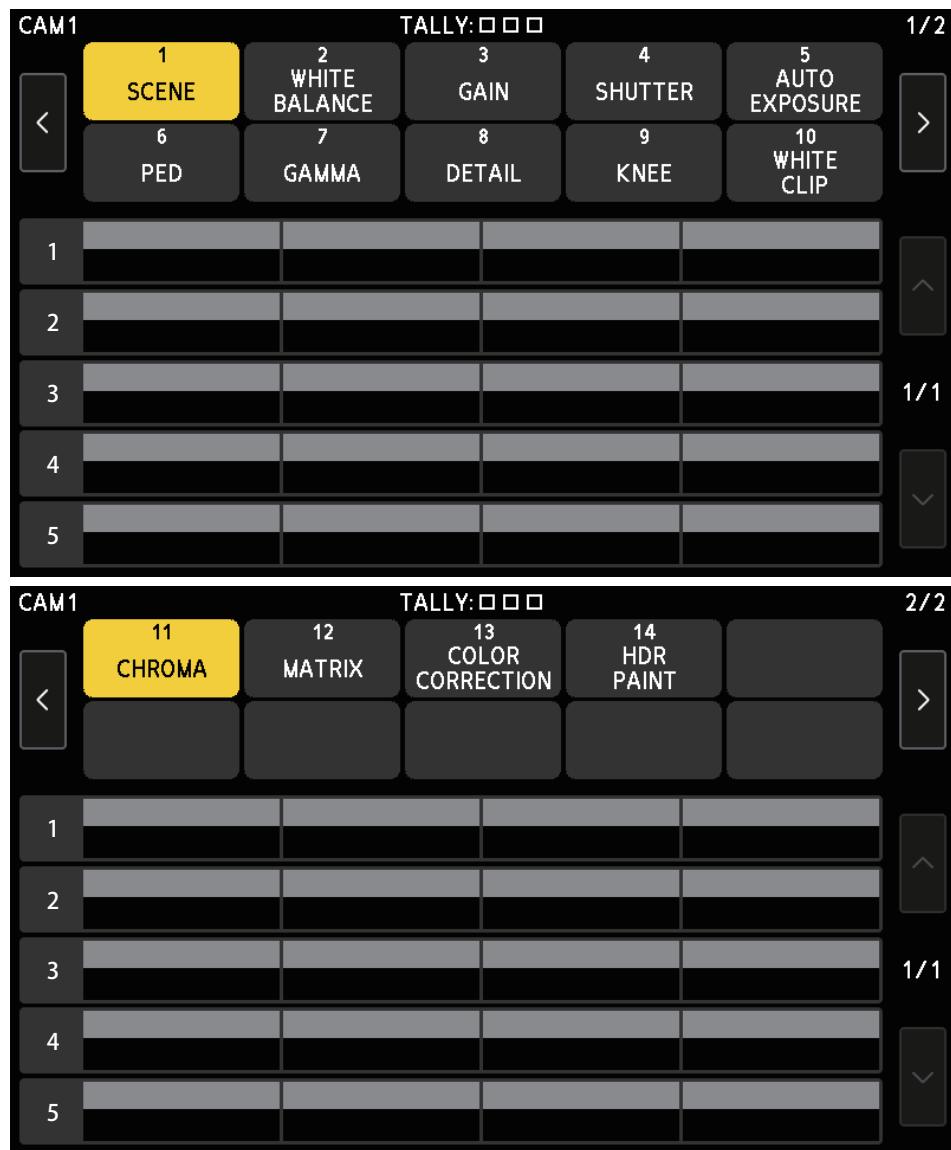
メニュー グループ

| | | |
|--|---------------------|-------------------------------|
| PAINT (カメラのPAINTのメニューに関する設定) | SCENE | ⇒「SCENE」(82ページ) |
| | WHITE BALANCE | ⇒「WHITE BALANCE」(82ページ) |
| | GAIN | ⇒「GAIN」(83ページ) |
| | SHUTTER | ⇒「SHUTTER」(83ページ) |
| | AUTO EXPOSURE | ⇒「AUTO EXPOSURE」(83ページ) |
| | PED | ⇒「PED」(83ページ) |
| | GAMMA | ⇒「GAMMA」(83ページ) |
| | DETAIL | ⇒「DETAIL」(84ページ) |
| | KNEE | ⇒「KNEE」(84ページ) |
| | WHITE CLIP | ⇒「WHITE CLIP」(84ページ) |
| | CHROMA | ⇒「CHROMA」(84ページ) |
| | MATRIX | ⇒「MATRIX」(84ページ) |
| | COLOR CORRECTION | ⇒「COLOR CORRECTION」(85ページ) |
| | HDR PAINT | ⇒「HDR PAINT」(86ページ) |
| CAMERA SETTING (カメラのPAINT以外のメニューに関する設定) | BASIC CONFIG | ⇒「BASIC CONFIG」(87ページ) |
| | GROUP CAM CONTROL | ⇒「GROUP CAM CONTROL」(87ページ) |
| | LENS | ⇒「LENS」(88ページ) |
| | PAN TILT | ⇒「PAN TILT」(88ページ) |
| | CROP | ⇒「CROP」(89ページ) |
| | BUILT-IN AUTO TRACK | ⇒「BUILT-IN AUTO TRACK」(89ページ) |
| | CAM BACKUP | ⇒「CAM BACKUP」(90ページ) |
| | MAINTENANCE | ⇒「MAINTENANCE」(90ページ) |
| RP MENU (本機の制御に関する設定) | BASIC CONFIG | ⇒「BASIC CONFIG」(92ページ) |
| | USER ASSIGN | ⇒「USER ASSIGN」(93ページ) |
| | CONTROL I/F | ⇒「CONTROL I/F」(93ページ) |
| | CTRL DIRECTION | ⇒「CTRL DIRECTION」(94ページ) |
| | MAINTENANCE | ⇒「MAINTENANCE」(95ページ) |
| | GPI TALLY | ⇒「GPI TALLY」(96ページ) |
| | GPIO CAM SEL | ⇒「GPIO CAM SEL」(97ページ) |
| | GPO CAM GROUP | ⇒「GPO CAM GROUP」(98ページ) |
| | GPI PMEM | ⇒「GPI PMEM」(99ページ) |
| | GPI PMEM GROUP | ⇒「GPI PMEM GROUP」(99ページ) |
| PMEM/TMEM/MACRO (カメラのプリセットメモリー、トレーシングメモリー、マクロに関する設定) | RP BACKUP | ⇒「RP BACKUP」(101ページ) |
| | PMEM | ⇒「PMEM」(103ページ) |
| | TMEM | ⇒「TMEM」(104ページ) |
| | MACRO | ⇒「MACRO」(105ページ) |
| | PMEM SETTING | ⇒「PMEM SETTING」(105ページ) |
| | VIEW COLOR | ⇒「VIEW COLOR」(107ページ) |
| | NAME EDIT | ⇒「NAME EDIT」(107ページ) |
| CONNECT (本機とカメラ等の接続設定・連携機能に関する設定) | EXT CTRL PMEM | ⇒「EXT CTRL PMEM」(108ページ) |
| | CONNECT SETTING | ⇒「CONNECT SETTING」(109ページ) |
| | MANUAL IP SET | ⇒「MANUAL IP SET」(109ページ) |
| | AUTO IP SETTING | ⇒「AUTO IP SETTING」(110ページ) |
| | RP IP SETTING | ⇒「RP IP SETTING」(110ページ) |
| | ROP LINK | ⇒「ROP LINK」(111ページ) |
| | SWITCHER LINK | ⇒「SWITCHER LINK」(111ページ) |
| | EXT CONTROL | ⇒「EXT CONTROL」(113ページ) |

PAINT

本機に接続したカメラのPAINTのメニューに関する設定を行います。

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



■ SCENE

| 項目 | 設定内容 |
|----------------|----------------------------------|
| SCENE | 撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。 |
| STORE SCENE TO | 現在のカメラの撮影モードを登録するSCENE番号を選択します。 |
| EXECUTE STORE | 現在のカメラの撮影モードを指定されたSCENE番号に登録します。 |

■ WHITE BALANCE

| 項目 | 設定内容 |
|----------------|---|
| W. BAL MODE | ホワイトバランス(白バランス)のモードを設定します。 光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。 基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。 |
| COLOR TEMP | [WHITE BALANCE]>[W. BAL MODE]の設定に応じて、選択されたカメラの色温度を設定または表示します。 |
| ATW SPEED | ATW機能の制御スピードを設定します。 |
| ATW TARGET R | オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Rchの出力を微調整します。 |
| ATW TARGET B | オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Bchの出力を微調整します。 |
| SHCKLSS WB SW | [W. BAL MODE]を切り替えたときに、瞬時に移行するか、緩やかに移行するかの制御を設定します。 |
| SHCKLSS WB SPD | [W. BAL MODE]を切り替えたときの、移行するまでのスピードを設定します。 |

メニュー (つづき)

■ GAIN

| 項目 | 設定内容 |
|-------------|--|
| MASTER GAIN | 映像のゲイン調整を行います。 暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。 |
| AGC SW | オートゲイン制御のON/OFFを選択します。 |
| SUPER GAIN | スーパーイン (感度アップ) のON/OFFを選択します。 |
| AGC MAX | オートゲイン制御がONのとき、最大ゲインアップ量を設定します。 |
| FRAME MIX | フレーム加算 (センサー蓄積によるゲインアップ) の量を設定します。 |
| R GAIN | Rchのゲインを調整できます。 |
| G GAIN | Gchのゲインを調整できます。 |
| B GAIN | Bchのゲインを調整できます。 |
| GAIN OFFSET | [W. BAL MODE] を [AWB A]、[AWB B] にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rch ゲインと Bch ゲインの値を設定します。 OFF : [R GAIN] と [B GAIN] の値を [0] にします。 ON : [R GAIN] と [B GAIN] であらかじめ設定した値を保持したままにします。 |

■ SHUTTER

| 項目 | 設定内容 |
|-----------------|---|
| SHUTTER SW | カメラのシャッター機能のON/OFFを設定します。 |
| SHUTTER MODE | カメラのシャッターモードを選択します。 |
| SHUTTER SPEED | カメラのシャッター速度を選択します。 |
| AUTO SHUT LIMIT | 自動シャッターモード ([ELC(AUTO)]) の最大シャッター値を設定します。 |

■ AUTO EXPOSURE

| 項目 | 設定内容 |
|---------------|-----------------------|
| PICTURE LEVEL | 自動露出補正の目標映像レベルを設定します。 |

■ PED

| 項目 | 設定内容 |
|------------|--|
| MASTER PED | 黒レベルの調整 (ペデスタル調整) を行います。 |
| R PED | Rchのペデスタルを調整します。 |
| G PED | Gchのペデスタルを調整します。 |
| B PED | Bchのペデスタルを調整します。 |
| OFFSET | オートブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、Bchのペデスタルレベルを設定します。 OFF : [R PED]、[G PED]、[B PED] の値を [0] にします。 ON : [R PED]、[G PED]、[B PED] であらかじめ設定した値を保持したままにします。 |

■ GAMMA

| 項目 | 設定内容 |
|----------------|--|
| GAMMA MODE | ガンマカーブのモードを選択します。 |
| MASTER GAMMA | マスターインマ補正レベルを調整します。 |
| R GAMMA | Rchのガンマ補正レベルを調整します。 |
| B GAMMA | Bchのガンマ補正レベルを調整します。 |
| F-REC D. LEVEL | [GAMMA MODE] で [FILM REC] を選択しているとき、ダイナミックレンジを設定します。 |
| F-REC B. STRCH | [GAMMA MODE] で [FILM REC] を選択しているとき、ブラックストレッチを設定します。 |
| V-REC KNEE SLP | [GAMMA MODE] で [VIDEO REC] を選択しているとき、ニースロープを設定します。 |
| V-REC KNEE PT | [GAMMA MODE] で [VIDEO REC] を選択しているとき、ニーポイントを設定します。 |
| INITIAL GAMMA | [GAMMA MODE] で [HD] を選択しているとき、ガンマカーブの立ち上がり傾きを設定します。 |

メニュー (つづき)

■ DETAIL

| 項目 | 設定内容 |
|----------------|---|
| DETAIL SW | 映像の輪郭 (映像のシャープさ) の調整の ON/OFF を設定します。 |
| MASTER DETAIL | 輪郭補正レベル (マスター) の調整を行います。 |
| PEAK(DTL) FREQ | ディテールのブースト周波数を設定します。 |
| DETAIL GAIN(+) | プラス方向 (明るくする方向) のディテールレベルを設定します。 |
| DETAIL GAIN(-) | マイナス方向 (暗くする方向) のディテールレベルを設定します。 |
| KNEE APERT LVL | 高輝度部 (非常に明るい部分) のディテールレベルを設定します。 |
| LVL DEP SW | 暗部ディテールを除去するレベルの ON/OFF を設定します。 |
| LVL DEPENDENT | 輝度信号のディテールを強調しているときは暗部のディテールを圧縮しています。 値が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮する設定となります。 |

■ KNEE

| 項目 | 設定内容 |
|-----------------|--|
| KNEE MODE | 階調圧縮 (二一) の動作モードを設定します。 |
| AUTO KNEE RESP | オートニー応答速度を設定します。 設定値が小さいほど応答速度が速くなります。 |
| K. MASTER POINT | 高輝度映像信号の圧縮レベル (二一ポイント) の位置設定を行います。 |
| K. MASTER SLOPE | 二一の傾きを設定します。 |
| KNEE R POINT | [K. MASTER POINT] に対して Rch の圧縮レベル (二一ポイント) の位置設定を行います。 |
| KNEE R SLOPE | [K. MASTER SLOPE] に対して Rch の傾きを設定します。 |
| KNEE B POINT | [K. MASTER POINT] に対して Bch の圧縮レベル (二一ポイント) の位置設定を行います。 |
| KNEE B SLOPE | [K. MASTER SLOPE] に対して Bch の傾きを設定します。 |

■ WHITE CLIP

| 項目 | 設定内容 |
|------------------|---|
| WHITE CLIP SW | ホワイトクリップ機能の ON/OFF を設定します。 |
| M. W. CLIP LEVEL | マスター ホワイトクリップレベルを設定します。 |
| R W. CLIP LEVEL | [M. W. CLIP LEVEL] に対して Rch のホワイトクリップレベルを設定します。 |
| B W. CLIP LEVEL | [M. W. CLIP LEVEL] に対して Bch のホワイトクリップレベルを設定します。 |
| HI-COLOR SW | 色のダイナミックレンジを拡大する機能の ON/OFF を設定します。 |
| HI-COLOR LEVEL | 色のダイナミックレンジを拡大する機能のレベルを設定します。 |

■ CHROMA

| 項目 | 設定内容 |
|---------------|------------------------------|
| CHROMA LVL SW | 映像の色の濃淡、位相設定の ON/OFF を設定します。 |
| CHROMA LEVEL | 映像の色の濃淡を設定します。 |
| CHROMA PHASE | 映像の色の位相の微調整を行います。 |

■ MATRIX

| 項目 | 設定内容 |
|--|---|
| MATRIX SW | マトリクス (リニアマトリクス / カラーコレクション) の ON/OFF を設定します。 |
| PRESET MATRIX | マトリクスのタイプを選択します。 |
| LINEAR MTX SW | リニアマトリクス機能の ON/OFF を設定します。 |
| LINEAR TABLE | リニアマトリクスのテーブルを選択します。 |
| R-G N, R-G P, R-B N, R-B P, G-R N, G-R P, G-B N, G-B P, B-R N, B-R P, B-G N, B-G P | リニアマトリクスを調整します。 |

■ COLOR CORRECTION

| 項目 | 設定内容 |
|---------------|---|
| MATRIX SW | マトリクス (リニアマトリクス / カラーコレクション) の ON/OFF を設定します。 |
| PRESET MATRIX | マトリクスのタイプを選択します。 |
| COLOR CORR SW | カラーコレクション機能の ON/OFF を設定します。 |
| C. CORR TABLE | カラーコレクションのテーブルを選択します。 |
| CORR AXIS | 飽和度と色相の調整を行う軸を選択します。 |
| SAT CORR | [CORR AXIS] で選択した色の飽和度を調整します。 |
| PHASE CORR | [CORR AXIS] で選択した色の色相を調整します |
| SAT B_MG | 青とマゼンタの中間色の飽和度を調整します。 |
| PHASE B_MG | 青とマゼンタの中間色の色相を調整します。 |
| SAT MG | マゼンタの飽和度を調整します。 |
| PHASE MG | マゼンタの色相を調整します。 |
| SAT MG_R | マゼンタと赤の中間色の飽和度を調整します。 |
| PHASE MG_R | マゼンタと赤の中間色の色相を調整します。 |
| SAT MG_R_R | マゼンタと赤の比率が 1:3 の色の飽和度を調整します。 |
| PHASE MG_R_R | マゼンタと赤の比率が 1:3 の色の色相を調整します。 |
| SAT R | 赤の飽和度を調整します。 |
| PHASE R | 赤の色相を調整します。 |
| SAT R_R_YL | 赤と黄の比率が 3:1 の色の飽和度を調整します。 |
| PHASE R_R_YL | 赤と黄の比率が 3:1 の色の色相を調整します。 |
| SAT R_YL | 赤と黄の中間色の飽和度を調整します。 |
| PHASE R_YL | 赤と黄の中間色の色相を調整します。 |
| SAT_R_YL_YL | 赤と黄の比率が 1:3 の色の飽和度を調整します。 |
| PHASE R_YL_YL | 赤と黄の比率が 1:3 の色の色相を調整します。 |
| SAT YL | 黄の飽和度を調整します。 |
| PHASE YL | 黄の色相を調整します。 |
| SAT YL_YL_G | 黄と緑の比率が 3:1 の色の飽和度を調整します。 |
| PHASE YL_YL_G | 黄と緑の比率が 3:1 の色の色相を調整します。 |
| SAT YL_G | 黄と緑の中間色の飽和度を調整します。 |
| PHASE YL_G | 黄と緑の中間色の色相を調整します。 |
| SAT G | 緑の飽和度を調整します。 |
| PHASE G | 緑の色相を調整します。 |
| SAT G_CY | 緑とシアンの中間色の飽和度を調整します。 |
| PHASE G_CY | 緑とシアンの中間色の色相を調整します。 |
| SAT CY | シアンの飽和度を調整します。 |
| PHASE CY | シアンの色相を調整します。 |
| SAT CY_B | シアンと青の中間色の飽和度を調整します。 |
| PHASE CY_B | シアンと青の中間色の色相を調整します。 |
| SAT B | 青の飽和度を調整します。 |
| PHASE B | 青の色相を調整します。 |

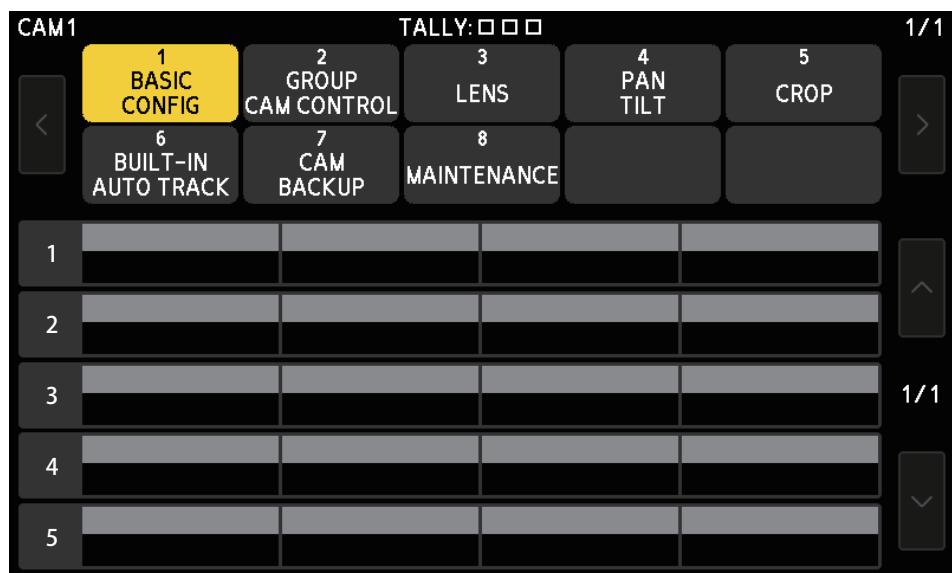
■ HDR PAINT

| 項目 | 設定内容 |
|----------------|-----------------------------|
| HDR SW | HDRモードのON/OFF (SDR) を設定します。 |
| HLG MODE | HLGの設定モードを選択します。 |
| KNEE SW | ニーのON/OFFを設定します。 |
| KNEE POINT | ニーポイントの位置を設定します。 |
| KNEE SLOPE | ニーの傾きを設定します。 |
| B. GAMMA SW | ブラックガンマのON/OFFを設定します。 |
| MASTER BLK GAM | マスターBLACK GAMMA補正レベルを調整します。 |
| R BLK GAMMA | RchのBLACK GAMMA補正レベルを調整します。 |
| B BLK GAMMA | BchのBLACK GAMMA補正レベルを調整します。 |
| SDR CONV MODE | SDRに変換するモードを選択します。 |
| SDR GAIN | SDR映像のゲインを設定します。 |
| SDR POINT | SDR映像に圧縮を開始する映像レベルを設定します。 |
| SDR SLOPE | SDR映像に圧縮する傾きを設定します。 |
| SDR BLK OFFSET | SDR映像の黒レベルオフセットを調整します。 |

CAMERA SETTING

本機に接続したカメラのPAINT以外のメニューに関する設定を行います。

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



■ BASIC CONFIG

| 項目 | 設定内容 |
|---------------|---|
| SHOOTING MODE | 撮影環境に応じた撮影モード (通常の撮影または高感度 / 低照度撮影) を選択します。 |
| GAMUT | 色域を設定します。 |
| DAY/NIGHT | 通常撮影と暗視撮影 (赤外線照射による暗視撮影) を切り替えます。 |
| BAR ID | カラーバー上のID表示のON/OFFを選択します。 |
| CAM FAN1 | 冷却ファン1の動作を設定します。 |
| CAM FAN2 | 冷却ファン2の動作を設定します。 |

■ GROUP CAM CONTROL

| 項目 | 設定内容 |
|-----------|--|
| CAM POWER | <p>接続しているリモートカメラに対する、電源のON/OFF (スタンバイ) 指示を行います。</p> <p>NOT EXECUTED : 電源のON/OFFの指示を行いません。</p> <p>GROUP OFF : 選択中のカメラグループに属するリモートカメラに対して、電源OFF (スタンバイ) の指示を行います。</p> <p>GROUP ON : 選択中のカメラグループに属するリモートカメラに対して、電源ONの指示を行います。</p> <p>ALL OFF : 本機に設定されているリモートカメラに対して、電源OFF (スタンバイ) の指示を行います。</p> <p>ALL ON : 本機に設定されているリモートカメラに対して、電源ONの指示を行います。</p> <p>● 接続されているリモートカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでの時間を要することがあります。</p> |
| CAM AWB | <p>同じグループ内のカメラ、または接続設定されているすべてのカメラに対して、本機からオートホワイトバランスの設定を一括操作します。</p> <p>NOT EXECUTED :一括操作を行いません。</p> <p>ALL AWB :接続設定しているすべてのカメラを一括操作します。</p> <p>GROUP AWB :選択中のグループ内のカメラを一括操作します。</p> |
| CAM ABB | <p>同じグループ内のカメラ、または接続設定されているすべてのカメラに対して、本機からオートブラックバランスの設定を一括操作します。</p> <p>NOT EXECUTED :一括操作を行いません。</p> <p>ALL ABB :接続設定しているすべてのカメラを一括操作します。</p> <p>GROUP ABB :選択中のグループ内のカメラを一括操作します。</p> |

メニュー (つづき)

| 項目 | 設定内容 |
|---------|--|
| CAM BAR | 同じグループ内のカメラ、または接続設定されているすべてのカメラに対して、本機からカラーバー出力のON/OFFを一括操作します。 NOT EXECUTED : 一括操作を行いません。 ALL ON・ALL OFF : 接続設定しているすべてのカメラを一括操作します。 GROUP ON・GROUP OFF : 選択中のグループ内のカメラを一括操作します。 |
| SCENE | シーン切り替えの対象を設定します。 NOT EXECUTED : シーン切り替えの対象を指定しません。 ALL SCENE1 ~ ALL SCENE4 : 接続設定しているすべてのカメラをSCENE1 ~ SCENE4に切り替えます。 GROUP SCENE1 ~ GROUP SCENE4 : 選択中のカメラと同じグループのカメラをSCENE1 ~ SCENE4に切り替えます。 |

■ LENS

| 項目 | 設定内容 |
|-----------------|---|
| O.I.S. SW | 画面揺れ補正のON/OFFを選択します。 |
| O.I.S. MODE | 画面揺れ補正のモードを選択します。 |
| ZOOM MODE | ズーム方式(ズーム最大倍率)の切り替えを行います。 |
| MAX D. ZOOM | デジタルズームの倍率の上限を設定します。 |
| DIGITAL EXT | デジタルエクステンダー機能を選択します。 |
| AUTO IRIS SPEED | オートアイリス機能の制御スピードを設定します。 |
| A.IRIS WINDOW | オートアイリス検出ウインドウを選択します。 |
| A. IRIS PEAK R. | オートアイリス時のアイリス制御について、測光のピーク値と平均値のどちらに比重を置くか割合を設定します。 |
| AF SENSITIVITY | オートフォーカス機能の追従モードを設定します。 |
| FOCUS ADJ w PTZ | カメラのパン/チルト/ズーム操作時に、フォーカスのずれを自動補正する機能をON/OFFします。 |

■ PAN TILT

| 項目 | 設定内容 |
|-----------------|---|
| P/T SPEED MODE | パン/チルト動作のスピードモードを設定します。 |
| SPEED w/ ZOOM | ズーム倍率に運動して、パン/チルトのスピードを調整する機能のON/OFFを設定します。 [ON]に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。 |
| LIMIT (UP) | 本機から、上限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。 |
| LIMIT (DOWN) | 本機から、下限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。 |
| LIMIT (LEFT) | 本機から、左限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。 |
| LIMIT (RIGHT) | 本機から、右限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。 |
| P/T ACC SETTING | パン/チルトのマニュアル操作時の加減度等の詳細設定を行うかどうかを設定します。 |
| RISE S-CURVE | パン/チルトの加速動作におけるS字カーブを設定します(数字が大きいほどS字の程度が強くなります)。 パン/チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための加速が必要な場合、本設定で指定されたS字カーブにより加速処理を行います。 |
| FALL S-CURVE | パン/チルトの減速動作におけるS字カーブを設定します(数字が大きいほどS字の程度が強くなります)。 パン/チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための減速が必要な場合、本設定で指定されたS字カーブにより減速処理を行います。 |
| RISE ACC | パン/チルトの加速動作における加速度を設定します(数字が大きいほど加速度は大きくなります)。 パン/チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための加速が必要な場合、本設定で指定された加速度により加速処理を行います。 |
| FALL ACC | パン/チルトの減速動作における減速度を設定します(数字が大きいほど減速度は大きくなります)。 パン/チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための減速が必要な場合、本設定で指定された減速度により減速処理を行います。 |

■ CROP

| 項目 | 設定内容 |
|--------------|--|
| CROP MODE | UHD (3840 × 2160) の映像から切り出しを行う機能 (CROP 機能) を設定します。 OFF : CROP 機能を無効にします。 ON (1080) : UHD (3840 × 2160) の映像から所定の領域の切り出しを行い、その結果を 1920 × 1080 で出力します。 ON (720) : UHD (3840 × 2160) の映像から所定の領域の切り出しを行い、その結果を 1280 × 720 で出力します。 |
| CROP ADJUST | 位置調整を行う切り出し枠の選択を行います。 |
| H POS | [CROP ADJUST] で指定した切り出し枠の、水平方向の位置の設定を行います。 0が左端となります。 |
| V POS | [CROP ADJUST] で指定した切り出し枠の、垂直方向の位置の設定を行います。 0が上端となります。 |
| CROP OUT SEL | リモートカメラのクロップ映像を出力する端子の映像に使用する切り出し枠を選択します。 |
| CROP MARKER | リモートカメラのクロップ映像を出力する端子以外から出力する映像に表示する、CROP 枠のマーカー表示の設定を行います。 |
| CROP AF | [CROP OUT SEL] で指定した CROP 枠内の映像で、フォーカス調整 (ピント合わせ) 機能の ON/OFF を選択します。 |
| CROP ZOOM | UHD (3840 × 2160) の映像から切り出しを行うときに、デジタルズームを用いた CROP を実施するかどうかの設定を行います。 |
| SDI OUT | リモートカメラの 3G SDI OUT 端子から出力する映像の FULL/CROP の設定を行います。 |
| NDI OUT | リモートカメラの NDI High Bandwidth から出力する映像の FULL/CROP の設定を行います。 |
| IP OUT1 | 各 IP 配信の CH1 の配信映像の FULL/CROP の設定を行います。 |
| IP OUT2 | 各 IP 配信の CH2 ~ CH3 の配信映像の FULL/CROP の設定を行います。 |

NOTE

- メインLCD上でのクロップ操作については、「クロップ機能」(67ページ)を参照してください。
- カメラの取扱説明書も参照してください。

■ BUILT-IN AUTO TRACK

| 項目 | 設定内容 |
|----------------|---|
| A-TRACK ACTIVE | カメラの内蔵自動追尾モードを設定します。 「ENABLE」に設定すると、人物の検出が開始します。このメニューの以降の項目に従って、追尾枠の表示や、追尾の開始と停止ができます。詳細はカメラの取扱説明書も参照してください。 RP MENU ボタン>[USER ASSIGN] のユーザー ボタンにアサイン可能です。 アサイン名称「[B.A.T.]ACTV」 |
| TRACK S/S | カメラの内蔵自動追尾を開始または停止します。 RP MENU ボタン>[USER ASSIGN] のユーザー ボタンにアサイン可能です。 アサイン名称「[B.A.T.]TRK S/S」 |
| TRACK STATUS | 内蔵自動追尾の追尾状態を表示します。 |
| ANGLE | 内蔵自動追尾時の画角を設定します。 RP MENU ボタン>[USER ASSIGN] のユーザー ボタンにアサイン可能です。 アサイン名称「[B.A.T.]FULL」、「[B.A.T.]U-BODY」 |
| MARKER | 追尾枠を表示するかどうかを設定します。「ON」に設定すると追尾枠が表示されます。 RP MENU ボタン>[USER ASSIGN] のユーザー ボタンにアサイン可能です。 アサイン名称「[B.A.T.]MARKER」 |
| HOME POSITION | 追尾対象を見失ったときの動作を設定します。 |
| TRACK A. START | 起動直後などに自動追尾を開始するかを設定します。「ENABLE」で起動直後などに自動追尾を開始します。 |

NOTE

- [A-TRACK ACTIVE] と [TRACK STATUS] はステータス画面のページ 3 で確認が可能です。詳細は「ステータス画面」(30 ページ)を参照してください。

■ CAM BACKUP

| 項目 | 設定内容 |
|-------------------|--|
| MODE | 接続しているカメラの設定データをUSBメモリーに保存(STORE)するか、USBメモリーから読み込む(LOAD)かを選択します。 メモリーをフォーマットする場合には、「FORMAT」を選択します。 [MODE]が[LOAD]または[STORE]のとき →[SELECT] : CAMERA ALL、SCENE1、SCENE2、SCENE3、SCENE4… [MODE]が「FORMAT」のとき →[SELECT] : -- |
| SELECT | [CAMERA ALL] (カメラの設定) または、[SCENE] (SCENEデータ) を選択します。 |
| USB DEVICE SELECT | 操作するUSBメモリーを選択します。 |
| FILE | [MODE]が[STORE]のとき、保存するデータのファイル番号を選択します。 [SELECT]=[CAMERA ALL]のときのみ有効です。 |
| FILE NAME | [MODE]が「LOAD」のとき読み込むファイル名を選択します。 |
| EXECUTE | [MODE]が[LOAD]のとき、「YES」を選択すると、ファイルを読み出します。 [MODE]が「STORE」のとき、「YES」を選択すると、ファイルを保存します。 [MODE]が「FORMAT」のとき、「YES」を選択すると、USBメモリーの初期化を行います。 |

NOTE

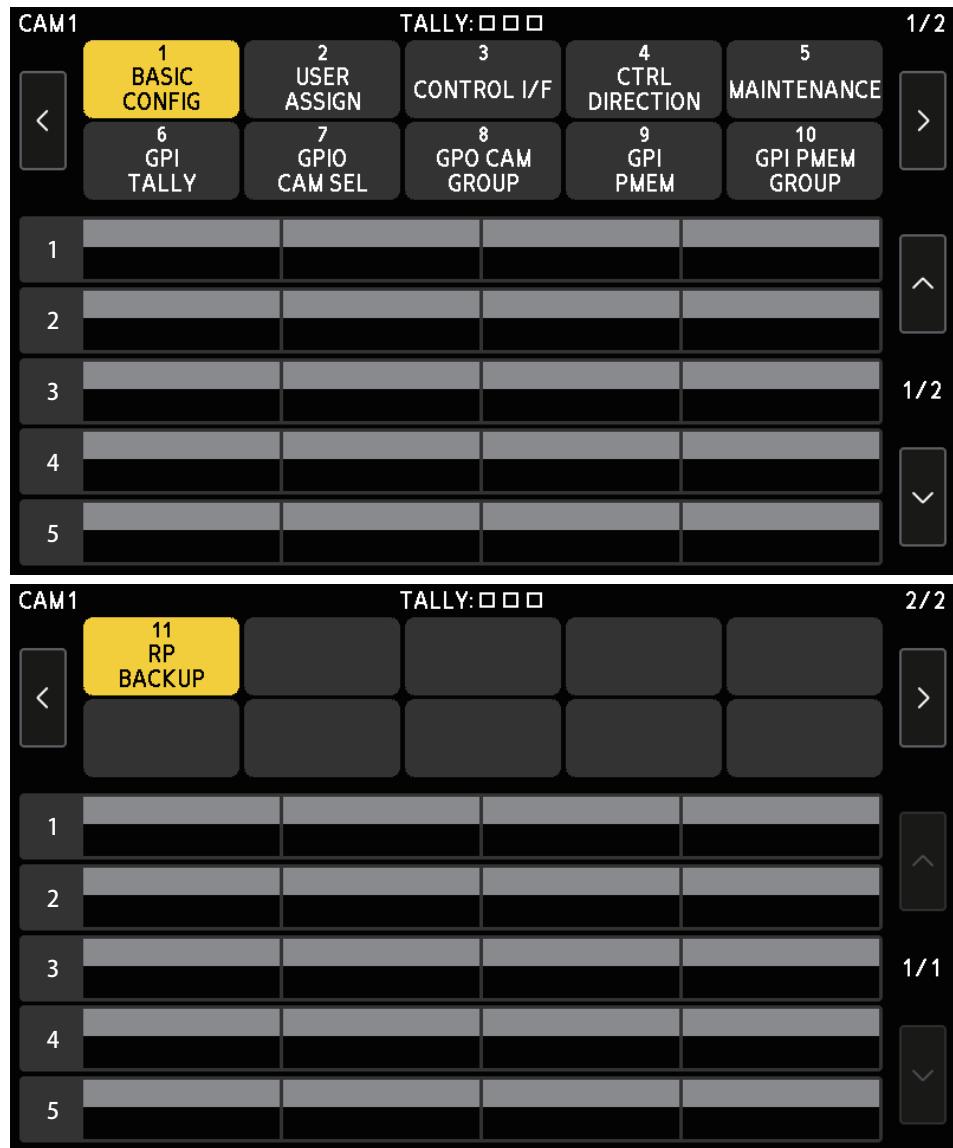
- 詳細は、「各種データのバックアップについて」(71ページ)を参照してください。

■ MAINTENANCE

| 項目 | 設定内容 |
|-----------------|--|
| ALARM1 ~ ALARM5 | 選択中のカメラから通知されたアラームを一覧表示します。 [ALARM1]から[ALARM5]には、重要度が高い順番にアラーム情報が表示されます。通知がない場合は「-」が表示されます。 詳細は「メッセージ一覧」(140ページ)を参照してください。 |

RP MENU

- 本機の制御に関する設定を行います。
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



■ BASIC CONFIG

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-----------------|--|--|
| AUTO CAM P.ON | <u>DISABLE</u> ENABLE | 本機の電源 (ON) と連動して、本機に接続されている、リモートカメラの電源が入ります。 ● 接続されているリモートカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでの時間を要することがあります。 |
| RP FAN | AUTO SILENT | 本機の冷却ファンの動作を設定します。 |
| LED LEVEL | <u>1 ~ 3 ~ 20</u> | 操作パネルのボタンの輝度を設定します。 |
| LCD LEVEL | <u>1 ~ 10 ~ 31</u> | LCD パネルの輝度を設定します。 |
| MULTI-SEL LEVEL | <u>1 ~ 10 ~ 31</u> | マルチセレクトスイッチの輝度を設定します。 |
| BEEP SOUND | <u>0 ~ 2 ~ 3</u> | ボタンやマルチセレクトスイッチの操作時のブザー音の音量を設定します。 |
| CAM LOCK MODE | <u>NORMAL</u> AUTO | NORMAL : カメラ選択切り替え時に自動的に CAM CTRL LOCK の LOCK/UNLOCK を行いません。 AUTO : カメラ選択切り替え時に自動的に CAM CTRL LOCK の LOCK/UNLOCK を行います。 |
| CAM CTRL LOCK | <u>UNLOCK</u> LOCK | 「LOCK」を選択すると、本機と現在選択中のリモートカメラの制御を、他のリモコンから制御できなくなります。LOCK 中は、LOCK を実行したりモコンからのみ現在選択中のリモートカメラを制御できます。 なお、LOCK 中に他のリモートカメラに切り替えた場合、カメラ選択前のリモートカメラとのLOCK は保持されますが、選択後のリモートカメラとのLOCK はされません。 LOCK 中は、メインLCD の TOP の Camera Name 表示の隣に鍵マークが表示されます。(詳細は「ステータス画面」(30 ページ) を参照してください) 「UNLOCK」を選択すると、LOCK が解除され鍵マークが消えます。 緑の鍵マーク : 本機で LOCK が実行されたことを意味します。 赤の鍵マーク : 他のリモコンで LOCK されていることを意味します。この場合は操作が行えません。 |
| CAM SEL IN OPER | <u>DISALLOW</u> ALLOW | パン/チルト、ズーム、フォーカスの操作中の動作を設定します。 DISALLOW : 操作中はカメラ選択を禁止します。 ALLOW : 操作中でもカメラ選択を可能にします。 NOTE - ● 「ALLOW」のとき、操作中にカメラを切り替えると、選択前のカメラに対して停止などの指示が行えなくなります。ご注意ください。 |
| CAM NUM DISP | <u>NUM SET IN RP</u> NUM SET IN CAM | NUM SET IN RP : 本機で接続設定したカメラ番号を、本機に表示するカメラ番号として表示します。 NUM SET IN CAM : カメラ側で管理されているカメラ番号を、本機に表示するカメラ番号として表示します。 |
| IN-CAMERA NUM | 1 ~ 99 | カメラ側で管理されているカメラ番号の設定値を変更します。 [CAM NUM DISP]=[NUM SET IN CAM] のときに有効です。 |
| VIDEO FREQ | 59.94Hz 50Hz | 外部入力映像の周波数を選択します。 詳細は「本運用の前に」(25 ページ) を参照してください。 |
| VIDEO IN SELECT | SDI NDI SRT | メインLCD および SDI OUT に出力する外部入力映像の入力ソースを選択します。 |
| VIDEO MARKER | <u>OFF</u> FOCUS PEAK | ピーキング機能の ON/OFF を選択します。 |
| TALLY DISP | <u>TOP ONLY</u> TOP/CAM NUM | TOP ONLY : メインLCD のステータス画面でのタリーカラーの表示を画面上部の「TALLY」のみに表示します。 TOP/CAM NUM : メインLCD のステータス画面でのタリーカラーの表示を画面上部の「TALLY」に加えて、カメラ番号を表示している箇所にも表示します。 詳細は「ステータス画面」(30 ページ) を参照してください。 |
| SER BAUD RATE | <u>9600</u> 38400 115200 | RS-422 端子のボーレートを設定します。 |

■ USER ASSIGN

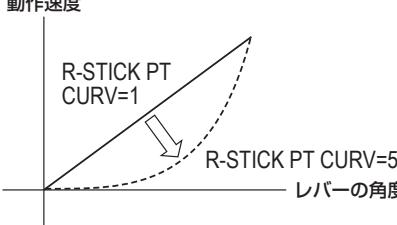
_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------------|-------------------|--|
| USER1 | ONE TOUCH AF | ユーザーボタンUSER1～USER10、R-ジョイスティックUSERボタンに対して、各種の機能の割り当てが行えます。 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。 |
| USER2 | FOCUS PEAK | |
| USER3 | NIGHT MODE | |
| USER4 | MACRO1 | |
| USER5 | MACRO2 | |
| USER6 | NONE | |
| USER7 | NONE | |
| USER8 | NONE | |
| USER9 | NONE | |
| USER10 | NONE | |
| R-STICK BUTTON | NONE | |
| F1 | SCENE | ファンクションダイヤル(F1～F4)に対して、各種の機能の割り当てが行えます。 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。 |
| F2 | L-STICK | |
| F3 | 2nd CAM NUM | |
| F4 | PAGE SWITCHING | |

■ CONTROL I/F

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-----------------|---|---|
| L-ROCKER | ZOOM | L-ロッカー、R-ロッカー・フォーカスダイヤル・アイリスダイヤルに割り当てる機能を設定します。 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。 |
| R-ROCKER | ZOOM | |
| FOCUS DIAL | FOCUS | |
| IRIS DIAL | IRIS | |
| ZOOM CTRL CALIB | OFF 1～8 | ZOOMボタンをゆっくり押し込んだときにレンズズームがスムーズに動き始めるように、本機から送信するズーム制御量を補正します。 ZOOMボタンをゆっくりと押し込み、レンズのズームがスムーズに動き始めるかをモニター上で映像を見ながら確認します。 補正量は[1]で最も少なく、[8]で最も多くなります。 [OFF]にすると補正しない状態になります。 |
| MANU IRIS LIMIT | OFF ON | 選択中のカメラのマニュアルアイリス操作において、Close方向ヘリミッターを設定します。目的のアイリスの位置で「ON」に設定すると、それ以上Close側への操作ができなくなります。 「OFF」に設定すると解除されます。 |
| SYNC ENBL BTN | ALL CTRL I/F IRIS ONLY L-STICK ONLY | FOCUS/L-ROCKER/IRIS/L-JOYSTICK ENABLEボタン[ENABLE]のFOCUSダイヤル、L-ロッカー、IRISダイヤル、L-ジョイスティックの操作の有効／無効機能の範囲を設定することができます。 ALL CTRL I/F : FOCUSダイヤル、L-ロッカー、IRISダイヤル、L-ジョイスティックの操作の有効／無効がENABLEボタンの有効／無効に従います。 IRIS ONLY : IRISダイヤルのみ操作の有効／無効がENABLEボタンの有効／無効に従います。(FOCUSダイヤル、L-ロッカー、L-ジョイスティックの操作はENABLEボタンの状態にかかわらず、有効のままとなります) L-STICK ONLY : L-ジョイスティックのみ操作の有効／無効がENABLEボタンの有効／無効に従います。(FOCUSダイヤル、L-ロッカー、IRISダイヤルの操作はENABLEボタンの状態にかかわらず、有効のままとなります) |

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-----------------|---------------------------|--|
| R-STICK PT CURV | <u>1</u> ~ 5 | R-ジョイスティックを傾けたときの角度と動作速度の関係を調整することができます。 動作速度  <p>R-STICK PT CURV=1 R-STICK PT CURV=5 レバーの角度</p> |
| AF BUTTON CTRL | SHORT PRESS LONG PRESS | オートフォーカスボタンのON/OFFの操作について設定します。 SHORT PRESS : 短押しで、オートフォーカスのON/OFFを切り替えることができます。 LONG PRESS : 長押しで、オートフォーカスのON/OFFを切り替えることができます。 |
| L-STICK | <u>MENU</u> | L-ジョイスティックに割り当てる機能を設定します。 詳細は「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ)を参照してください。 |
| 2nd CAM NUM | CAM1 ~ CAM200 | L-ジョイスティックで制御するカメラ番号を選択します。 |
| L-STICK SPEED | 1 ~ <u>3</u> ~ 6 | L-ジョイスティックの制御速度を選択します。 ● 盤面にあるPAN/TILT SPEEDダイヤル相当のメニューです。 |

■ CTRL DIRECTION

 は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|---------------|-----------------------|---|
| CTRL MODE | ALL CAM INDIVIDUAL | 以下の各種制御方向の設定を適用するカメラを選択します。 ALL CAM ：本機に接続するすべてのカメラに適用します。 INDIVIDUAL ：次の[CAM SEL]で設定するカメラのみに適用します。 |
| CAM SEL | CAM1 ~ CAM200 | 選択したカメラ番号に対して、以降の設定が行えます。 |
| R-STICK PAN | NORMAL REVERSE | R-ジョイスティックのPAN操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : R-ジョイスティックを左側に倒すとリモートカメラが左方向に動作し、右側に倒すと右方向に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |
| R-STICK TILT | NORMAL REVERSE | R-ジョイスティックのTILT操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : R-ジョイスティックを奥側に倒すとリモートカメラが上方向に動作し、手前側に倒すと下方向に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |
| L-STICK PAN | NORMAL REVERSE | L-ジョイスティックのPAN操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : L-ジョイスティックを左側に倒すとリモートカメラが左方向に動作し、右側に倒すと右方向に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |
| L-STICK TILT | NORMAL REVERSE | L-ジョイスティックのTILT操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : L-ジョイスティックを奥側に倒すとリモートカメラが上方向に動作し、手前側に倒すと下方向に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |
| R-ROCKER ZOOM | NORMAL REVERSE | R-ロッカーのZOOM操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : ロッカーの下側を押すとズーム動作が望遠側に動作し、上側を押すと広角側に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------------|--------------------------|--|
| R-ROCKER FOCUS | <u>NORMAL</u> REVERSE | R-ロッカーのFOCUS操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : ロッカーの上側を押すとフォーカス動作が遠距離側に動作し、下側を押すと近距離側に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |
| L-ROCKER ZOOM | <u>NORMAL</u> REVERSE | L-ロッカーのZOOM操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : ZOOMボタンのTELE側を押すとズーム動作が望遠側に動作し、WIDE側を押すと広角側に動作します。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |
| F-DIAL FOCUS | <u>NORMAL</u> REVERSE | FOCUSダイヤルのFOCUS操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : 時計方向に回すとフォーカスが遠距離側に動き、反時計方向に回すとフォーカスが近距離側に動きます。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |
| F-DIAL IRIS | <u>NORMAL</u> REVERSE | FOCUSダイヤルのIRIS操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : 時計方向に回すとレンズ絞りが開く方向に動き、反時計方向に回すとレンズ絞りが閉じる方向に動きます。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |
| I-DIAL FOCUS | <u>NORMAL</u> REVERSE | IRISダイヤルのFOCUS操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : 時計方向に回すとフォーカスが遠距離側に動き、反時計方向に回すとフォーカスが近距離側に動きます。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |
| I-DIAL IRIS | <u>NORMAL</u> REVERSE | IRISダイヤルのIRIS操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 NORMAL : 時計方向に回すとレンズ絞りが開く方向に動き、反時計方向に回すとレンズ絞りが閉じる方向に動きます。 REVERSE : NORMALと逆方向に動作します。 |

NOTE

- 「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ) も併せてご参照ください。

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------------|------------------|--|
| FACTORY RESET | <u>NO</u> YES | ネットワークの設定を含む、本機で管理している設定を、すべて工場出荷状態に戻します。 |
| MENU RESET | <u>NO</u> YES | ネットワークの設定を除く、本機で管理しているメニュー設定を、すべて工場出荷状態に戻します。 |
| WEB PASS RESET | <u>NO</u> YES | Web画面へログインするときのアカウント情報の設定を工場出荷状態に戻します。「Web画面の表示」(114ページ) を併せて参照してください。 |
| FW UPDATE | <u>NO</u> YES | 本機のソフトウェアをアップデートします。 ● 处理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、USBメモリーを抜いたりしないでください。 |
| SYSTEM VERSION | - | 本機システムのバージョンを表示します。 |
| SOFT VERSION | - | ソフトウェアのバージョンを表示します。 |
| FPGA VERSION | - | FPGAのバージョンを表示します。 |
| ALARM1 | - | 本機のアラームを一覧表示します。 |
| ALARM2 | - | [ALARM1] から [ALARM4] には、重要度の高い順番にアラーム情報が表示されます。通知がない場合は「-」が表示されます。 |
| ALARM3 | - | 詳細は「メッセージ一覧」(140ページ) を参照してください。 |
| ALARM4 | - | |

■ GPI TALLY

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-----------|-------------------------|---|
| GPIO MODE | MODE1 MODE2 MODE3 | DSUB1とDSUB2の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」(145ページ)を参照してください。 |
| TALLY OUT | OFF ON | GPIO 1端子のポートにTALLYが入力された場合に、カメラ側にTALLY通知を行うかを設定します。 ON : 通知する OFF : 通知しない |
| TALLY1 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN1もしくは、G_TALLY_IN1に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |
| TALLY2 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN2もしくは、G_TALLY_IN2に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |
| TALLY3 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN3もしくは、G_TALLY_IN3に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |
| TALLY4 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN4もしくは、G_TALLY_IN4に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |
| TALLY5 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN5もしくは、G_TALLY_IN5に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |
| TALLY6 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN6もしくは、G_TALLY_IN6に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |
| TALLY7 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN7もしくは、G_TALLY_IN7に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |
| TALLY8 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN8もしくは、G_TALLY_IN8に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |
| TALLY9 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN9もしくは、G_TALLY_IN9に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |
| TALLY10 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 1端子のポートのR_TALLY_IN10もしくは、G_TALLY_IN10に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。 |

NOTE

- TALLYの通知は、現在選択されているカメラグループに該当するカメラが存在する場合に通知します。現在選択されていないカメラグループに対するTALLYの入力があっても、カメラには通知されません。

■ GPIO CAM SEL

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-----------|-------------------------|---|
| GPIO MODE | MODE1 MODE2 MODE3 | DSUB1とDSUB2の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」(145ページ)を参照してください。 |
| IN1 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN1入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| IN2 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN2入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| IN3 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN3入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| IN4 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN4入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| IN5 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN5入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| IN6 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN6入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| IN7 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN7入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| IN8 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN8入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| IN9 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN9入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| IN10 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN10入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。 |
| OUT1 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT1に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |
| OUT2 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT2に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |
| OUT3 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT3に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |
| OUT4 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT4に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |
| OUT5 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT5に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |
| OUT6 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT6に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |
| OUT7 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT7に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |
| OUT8 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT8に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-------|---------------------|--|
| OUT9 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT9に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |
| OUT10 | CAM1 ⋮ CAM200 | GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT10に、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。 |

NOTE

- GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_INに対する動作において、現在選択中のカメラグループ以外のカメラ番号が指定されたときには、カメラグループ切り替えが発生します。この場合、カメラの選択に時間がかかります。
- GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUTに対する動作は、現在選択中のカメラグループに該当するカメラ番号に対しての動作となります。

■ GPO CAM GROUP

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-----------|-------------------------|---|
| GPIO MODE | MODE1 MODE2 MODE3 | DSUB1とDSUB2の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」(145ページ)を参照してください。 |
| OUT1 | GROUP1 ⋮ GROUP20 | GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_1に出力します。 |
| OUT2 | GROUP1 ⋮ GROUP20 | GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_2に出力します。 |
| OUT3 | GROUP1 ⋮ GROUP20 | GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_3に出力します。 |
| OUT4 | GROUP1 ⋮ GROUP20 | GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_4に出力します。 |
| OUT5 | GROUP1 ⋮ GROUP20 | GPIO 1端子において、設定したカメラグループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_5に出力します。 |

メニュー (つづき)

■ GPI PMEM

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-----------|-------------------------|---|
| GPIO MODE | MODE1 MODE2 MODE3 | DSUB1とDSUB2の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」(145ページ)を参照してください。 |
| IN1 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN1が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |
| IN2 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN2が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |
| IN3 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN3が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |
| IN4 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN4が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |
| IN5 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN5が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |
| IN6 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN6が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |
| IN7 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN7が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |
| IN8 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN8が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |
| IN9 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN9が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |
| IN10 | PMEM1 : PMEM100 | GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN10が入力されたときに設定したプリセットメモリー番号の再生を行います。 |

■ GPI PMEM GROUP

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|-----------------|-------------------------|---|
| GPIO MODE | MODE1 MODE2 MODE3 | DSUB1とDSUB2の制御を選択することができます。 詳しくは、「GPIO1・GPIO2」(145ページ)を参照してください。 |
| PMEM GRP IN SEL | IN1 : IN4 | GPIO 1端子のPRESET_MEM_GROUP_IN1～4への各入力に対して、最大で10台のカメラのプリセットメモリー再生を指示できるようにします。 |
| PMEM MODE | OFF SEPARATE ALL | GPIO 1端子のPRESET_MEM_GROUP_IN1～4への各入力に対して、動作モードを設定します。 OFF : PRESET_MEM_GROUP_IN1～4に入力があってもプリセットメモリーの再生は行いません。 SEPARATE : PRESET_MEM_GROUP_IN1～4に入力があった場合に、以降のSEL1～SEL10までの設定に従って、プリセットメモリーの再生指示を行います。 ALL : PRESET_MEM_GROUP_IN1に入力があったときに、接続しているすべてのカメラに対して、SEL1 PMEMで設定されたプリセットメモリー番号の再生指示を行います。 |
| SEL1 CAM | CAM1 : CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |

メニュー (つづき)

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|------------|-----------------------|---|
| SEL1 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL1 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 ただし、[PMEM MODE] が[ALL]のときには、接続しているすべてのカメラに再生指示するためのプリセットメモリー番号を設定します。 |
| SEL2 CAM | CAM1 ⋮ CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |
| SEL2 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL2 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 |
| SEL3 CAM | CAM1 ⋮ CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |
| SEL3 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL3 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 |
| SEL4 CAM | CAM1 ⋮ CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |
| SEL4 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL4 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 |
| SEL5 CAM | CAM1 ⋮ CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |
| SEL5 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL5 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 |
| SEL6 CAM | CAM1 ⋮ CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |
| SEL6 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL6 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 |
| SEL7 CAM | CAM1 ⋮ CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |
| SEL7 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL7 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 |
| SEL8 CAM | CAM1 ⋮ CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |
| SEL8 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL8 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 |
| SEL9 CAM | CAM1 ⋮ CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |
| SEL9 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL9 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 |
| SEL10 CAM | CAM1 ⋮ CAM200 | 再生するカメラ番号を選択します。 |
| SEL10 PMEM | PMEM1 ⋮ PMEM100 | SEL10 CAMで選択されたカメラに対して、プリセットメモリー再生番号の割り当てを行います。 |

■ RP BACKUP

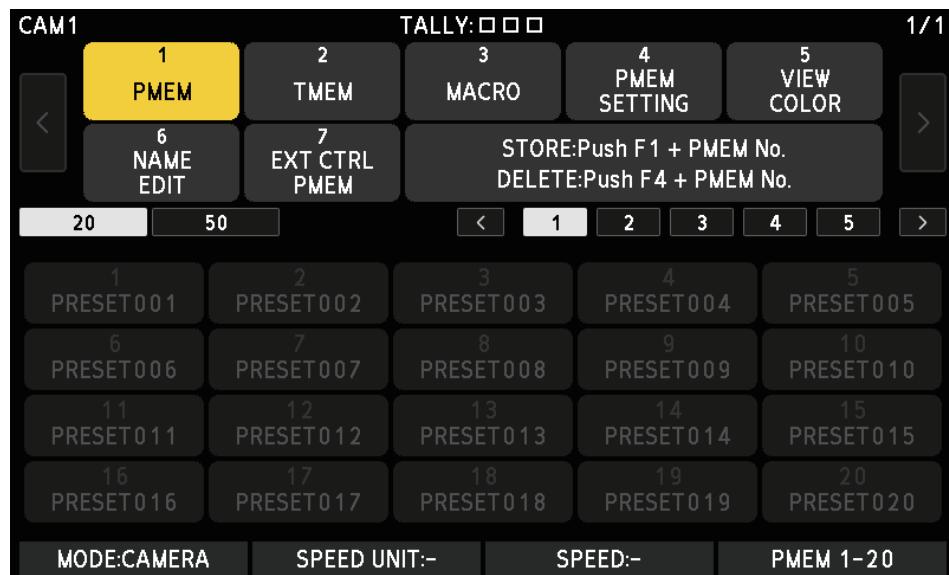
| 項目 | 設定内容 |
|-------------------|--|
| MODE | 本機の設定データをUSBメモリーに保存(STORE)するか、USBメモリーから読み込む(LOAD)かを選択します。 メモリーをフォーマットする場合には、「FORMAT」を選択します。 [MODE]が[LOAD]または[STORE]のとき →[SELECT] : ALL・RP SETTING・TMEM・MACRO・CONN SETTING・CAM CTRL INFO [MODE]が「FORMAT」のとき →[SELECT] : -- |
| SELECT | 下記いずれかのデータの種類を選択します。 ALL : 本機のほぼすべてのデータ RP SETTING : [ALL]から主にCONNECT関連のメニューを抜いたデータ TMEM : 本機に登録したTMEMのデータ MACRO : 本機に登録したMACRO関連のデータ CONN SETTING : 本機に登録したCONNECT SETTINGのデータ CAM CTRL INFO : 本機に登録したカメラ制御関連のデータ |
| USB DEVICE SELECT | 操作するUSBメモリーを選択します。 |
| FILE | [MODE]が[STORE]のとき、保存するデータのファイル番号を選択します。 [SELECT]=[ALL]のときのみ有効です。 |
| FILE NAME | [MODE]が「LOAD」のとき読み込むファイル名を選択します。 |
| EXECUTE | [MODE]が[LOAD]のとき、「YES」を選択すると、ファイルを読み出します。 [MODE]が「STORE」のとき、「YES」を選択すると、ファイルを保存します。 [MODE]が「FORMAT」のとき、「YES」を選択すると、USBメモリーの初期化を行います。 |

NOTE

- 詳細は、「各種データのバックアップについて」(71ページ)を参照してください。

PMEM/TMEM/MACRO

- カメラのプリセットメモリー、トレーシングメモリー、マクロに関する設定を行います。
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



■ プリセットメモリー (PMEM) を操作する

本機から、リモートカメラのプリセットメモリーを操作することができます。
プリセットメモリーには、事前に調整しておいた下記設定を登録することができます。

- パン/チルト位置
- ズーム位置
- フォーカス位置
- レンズ絞り (マニュアルアイリスのみ)
- ホワイトバランス設定
- ゲイン

NOTE

- プリセットメモリーを登録できる数は、リモートカメラによって異なります。詳しくは、該当機種の取扱説明書を確認してください。
 - プリセットメモリーとトレーシングメモリーの動作開始位置は、カメラのプリセットメモリーの1番～10番を共有しています。
- 先にプリセットメモリーの登録が実施されている場合に、トレーシングメモリーの登録が行われると上書きされますのでご注意ください。

■ トレーシングメモリー (TMEM) を操作する

本機には、接続しているリモートカメラに対して行った一連の操作を記録するトレーシングメモリー (TMEM) を内蔵しています。リモートカメラが動作した軌跡を再現することができます。

<トレーシングメモリー>

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 記録対象 | カメラ番号CAM1～CAM10 |
| 記録可能な機能 | パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス、ホワイトバランスモード |
| 記録時間 | 最大5分/各カメラ |
| 記録メモリー数 | 最大10個/各カメラ |

NOTE

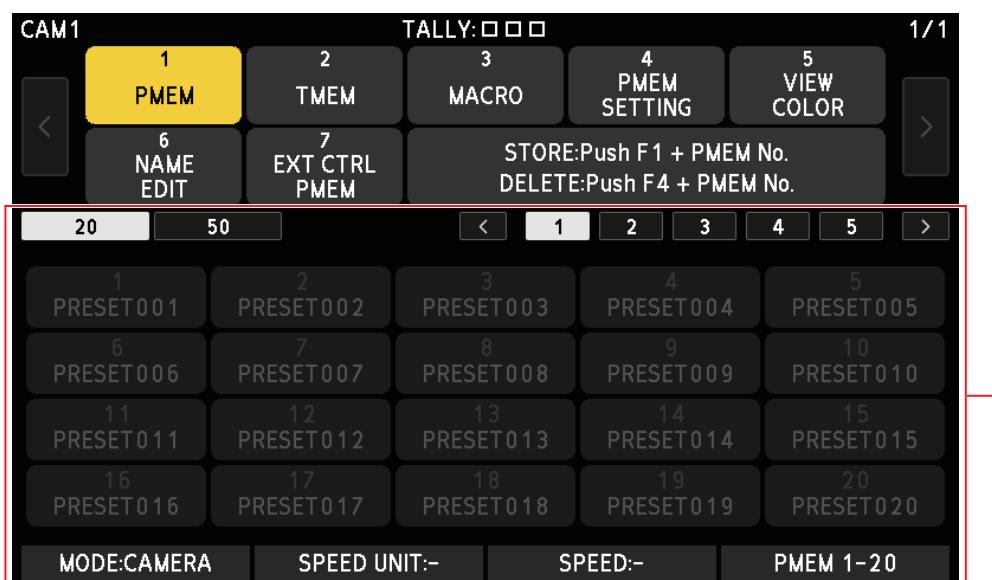
- トレーシングメモリーの動作開始位置は、プリセットメモリーと共有しています。
したがって、トレーシングメモリーの1番～10番の開始位置は、カメラのプリセットメモリーの1番～10番に記憶されます。
先にプリセットメモリーの登録が実施されている場合に、トレーシングメモリーの登録が行われると上書きされますのでご注意ください。
なお、トレーシングメモリーを登録したあとに、プリセットメモリーの登録を実施すると、トレーシングメモリーの開始位置は、プリセットメモリーとして登録された位置に置き換わります。
- リモートカメラの動きの誤差により、トレーシングメモリー再生時の最終点が、記録時と合わないことがあります。
以下のよう注意をすることで誤差を軽減することができます。
 - レンズのズームをWIDE側(広角側)で使う
 - パン・チルト、ズーム、フォーカスをゆっくり動かす
 - 記録時間を短くする
 トレーシングメモリーの再生を数回実行し、リモートカメラの動作を十分確認したうえで、運用を開始してください。

■ PMEM

- 選択中のリモートカメラのプリセットメモリーの登録状態の確認と、プリセットメモリー番号を選択するとプリセットメモリーの操作が行えます。
※プリセットメモリーの再生は「オペレーションモード」(47ページ)のモード2、モード3または「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」(58ページ)からも行えます。
- Aの部分の仕様は「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」(58ページ)を参照してください。
- 本画面では、プリセットメモリーの登録・削除も行うことができます。
 - プリセットメモリーの登録：F1 ダイヤルを押した状態でプリセットメモリー番号をタッチする
 - プリセットメモリーの削除：F4 ダイヤルを押した状態でプリセットメモリー番号をタッチする

NOTE

- [PMEM SETTING]>[STORE MODE]が[NO OVERWRITE]のときはすでに登録済みのプリセットメモリーには上書き登録できなくなります。



メニュー (つづき)

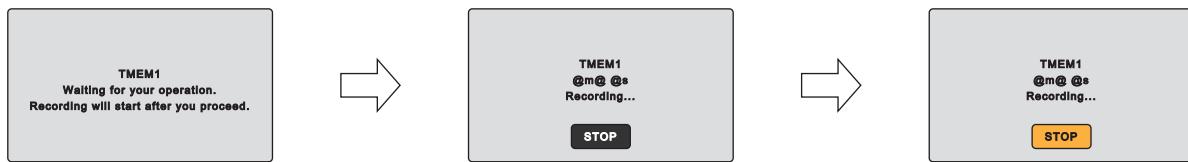
■ TMEM

- 選択中のリモートカメラのトレーシングメモリーの登録状態の確認と、トレーシングメモリーの操作が行えます。

_____は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------------|--|--|
| CTRL MODE | RECALL STORE RE-EDIT DELETE DELETE ALL | <p>トレーシングメモリーに対する操作を選択します。</p> <p>RECALL : 選択されている番号のトレーシングメモリーの再生を行います。</p> <p>STORE : 選択されている番号にトレーシングメモリーの登録を行います。</p> <p>RE-EDIT : 選択されている番号にトレーシングメモリーが保存されている場合、トレーシングメモリーを再編集して登録します。</p> <p>① 保存されているトレーシングメモリーを再生 ② ユーザーからの操作があれば、再生しているトレーシングメモリーを停止し、以降ユーザー操作を記憶 ③ ②で中断されるまでのトレーシングメモリー + ユーザー操作を再保存</p> <p>DELETE : 選択されている番号のトレーシングメモリーの削除を行います。</p> <p>DELETE ALL : すべてのトレーシングメモリーの削除を行います。</p> |
| EXECUTE | NO YES | [CTRL MODE] で指定された操作を TMEM で選択されているトレーシングメモリー番号に対して実行します。 |
| TMEM | 1 ~ 10 | 現在選択されているトレーシングメモリー番号を表示します。 |
| REMAINING TIME | 記録可能な残り時間を表示 | トレーシングメモリーの記録可能な残り時間を表示します。 |
| 1 ~ 10 | 1 ~ 10 | 登録されているトレーシングメモリー番号をオレンジ色で表示します。 |
| DURATION | 選択されているトレーシングメモリーの記録時間を表示 | グレーで表示されます。(未登録の場合は0m00s表示) |

● 登録手順



ユーザー操作が入るまで本画面で待機

ユーザー操作が入ると本画面に遷移
0m00s から秒数をカウント

STOP が押下されると記録を終了
保存が終わると元の画面に戻る

● トレーシングメモリー開始位置

トレーシングメモリー開始位置は対応するプリセットメモリーに上書き登録されます。

例) No.1 を再生

→開始点は [PRESETO01] の位置

No.1 に登録

→ [PRESETO01] が登録済み → 上書き登録

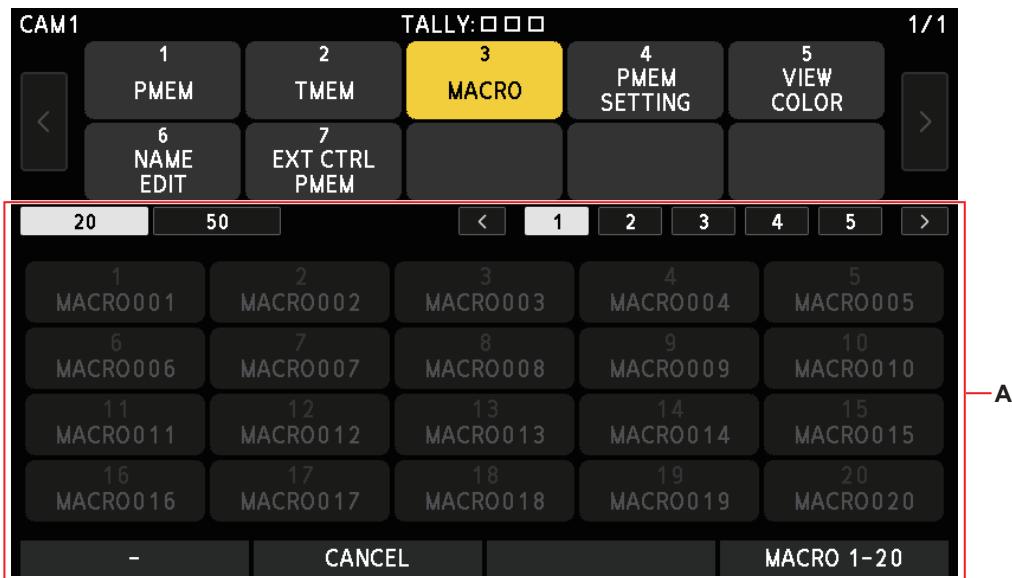
→ [PRESETO01] が未登録 → [PRESETO01] に登録される

NOTE

- トレーシングメモリーの操作を行うときは、複数のリモートカメラコントローラーから操作しないでください。
同じリモートカメラに対して、複数のリモートカメラコントローラーからトレーシングメモリーの操作を行うと、正しく動作しません。
- トレーシングメモリー再生中でも [RP MENU]>[CONTROL I/F]>[L-STICK]=[2nd CAM PT] を割り当てている場合、L-ジョイスティック・L-ロックバーを用いてトレーシングメモリー再生中以外のカメラを操作できます。
- トレーシングメモリー再生中にトレーシングメモリー再生を中断したい場合は、メインLCDに表示されているポップアップ画面の「STOP」を押してください。

■ MACRO

- マクロの登録状態の確認と、マクロ番号を選択するとマクロの操作が行えます。
- ※マクロの再生は「オペレーションモード」(47ページ)のモード4、モード5または「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」(58ページ)からも行えます。
- Aの部分の仕様は「メインLCD上でのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」(58ページ)を参照してください。
- マクロ機能については、「マクロ機能について」(33ページ)を参照してください。



■ PMEM SETTING

- プリセットメモリーに関する基本設定を行います。

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------------|---------------------------|--|
| PMEM SCOPE | *1 | プリセットメモリーに登録されている項目に対して、再生する対象を指定します。 |
| RECALL SPD SEL | CAMERA RP | プリセットメモリーを再生するためのプリセットメモリースピードの再生モードを設定します。 CAMERA : リモートカメラに設定されているプリセットメモリースピードで再生します。 RP : プリセットメモリー登録時に登録されたプリセットメモリースピードで再生します。 |
| SMART COMP | *1 | プリセットメモリーを再生したときの映像遷移方法を設定します。 |
| RETURN TO HOME | NO YES | 選択されたカメラをホームポジションに戻します。 |
| SPEED UNIT | *1 | プリセットメモリーを再生するスピードのモードを設定します。 |
| SPEED TABLE | *1 | プリセットメモリー再生時のスピードのモードを設定します。 |
| SPEED | | プリセットメモリー位置までの移動速度、もしくは時間を表示します。 [SPEED UNIT] が “STEP” のときには、プリセットメモリー位置までの移動速度を表示します。 “TIME” のときには、プリセットメモリー位置までの移動時間を表示します。 |
| DIGITAL EXT | *1 | プリセットメモリーの登録時に、Digital ExtenderのON/OFFの設定を含めるかを設定します。 |
| ZOOM OP MODE | *1 | プリセットメモリーを再生したときのズーム動作を選択します。 |
| CROP | *1 | プリセットメモリーを再生したときに、「CROP」の各メニューで設定していた内容を再現させるかどうかをOFF/ONします。 |
| IRIS | *1 | プリセットメモリーを再生したときに、「IRIS」に関する各メニューで設定していた内容を再現させるかどうかをOFF/ONします。 |
| FREEZE IMAGE | *1 | プリセットメモリーを再生中に、映像をフリーズさせる機能をOFF/ONします。 |
| STORE MODE | NO OVERWRITE OVERWRITE | プリセットメモリーの登録方法を選択します。マルチセレクトスイッチでの登録およびメインLCDでの登録両方に有効な設定です。 NO OVERWRITE : 登録済プリセットメモリーに上書き登録不可 OVERWRITE : 登録済プリセットメモリーに上書き登録可 |

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------------|---------------------------|---|
| RECALL MODE | STORED ONLY ANY NUMBER | プリセットメモリーの再生方法を選択します。 STORED ONLY : 登録済プリセットメモリーにのみ本機からプリセットメモリー再生コマンドを送信します。 ANY NUMBER : プリセットメモリーが登録されているかどうかにかかわらず、本機からプリセットメモリー再生コマンドを送信します。 |
| PMEM G. RECALL | GROUP1 : GROUP4 | RP MENUボタン>[GPI PMEM GROUP]のメニューで設定した、[PMEM GRP IN SEL]の設定内容を実行します。 目的のグループを選択して、F1 ダイヤルを押すと実行します。 GROUP1 : PMEM GRP IN SELのIN1 GROUP2 : PMEM GRP IN SELのIN2 GROUP3 : PMEM GRP IN SELのIN3 GROUP4 : PMEM GRP IN SELのIN4 |
| PMEM ACC | *1 | プリセットメモリー再生の開始/停止時の加減速等の詳細設定を行うかどうかを設定します。 |
| RISE S-CURVE | *1 | パン・チルトの加速動作におけるS字カーブを設定します。(数字が大きいほどS字の程度が強くなります) プリセットメモリー再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための加速動作において、本設定で指定されたS字カーブにより加速処理を行います。[PMEM ACC]が[MANUAL]のときに有効です。 |
| FALL S-CURVE | *1 | パン・チルトの減速動作におけるS字カーブを設定します。(数字が大きいほどS字の程度が強くなります) プリセットメモリー再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための減速動作において、本設定で指定されたS字カーブにより減速処理を行います。[PMEM ACC]が[MANUAL]のときに有効です。 |
| RISE ACC | *1 | パン・チルトの加速動作における加速度を設定します。(数字が大きいほど加速度は大きくなります) プリセットメモリー再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための加速動作において、本設定で指定された加速度により加速処理を行います。[PMEM ACC]が[MANUAL]、かつ[SPEED UNIT]が[STEP]のときに有効です。 |
| FALL ACC | *1 | パン・チルトの減速動作における減速度を設定します。(数字が大きいほど減速度は大きくなります) プリセットメモリー再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための減速動作において、本設定で指定された減速度により減速処理を行います。[PMEM ACC]が[MANUAL]、かつ[SPEED UNIT]が[STEP]のときに有効です。 |
| RISE RAMP TIME | *1 | プリセットメモリー再生時の時間指定動作で加速時間を設定します。 [PMEM ACC]が[MANUAL]、かつ[SPEED UNIT]が[TIME]のときに有効です。 |
| FALL RAMP TIME | *1 | プリセットメモリー再生時の時間指定動作で減速時間を設定します。 [PMEM ACC]が[MANUAL]、かつ[SPEED UNIT]が[TIME]のときに有効です。 |
| PMEM DELETE | RANGE ALL | プリセットメモリーを一括して削除する方法を選択します。 RANGE : 指定する範囲のプリセットメモリーを削除します。 ALL : 登録済みのすべてのプリセットメモリーを削除します。 |
| START | 1 ~ 100 | プリセットメモリーを削除する範囲の最初のプリセットメモリーフ番号を指定します。 [PMEM DELETE]で[RANGE]を選択したときに有効です。 |
| END | 1 ~ 100 | プリセットメモリーを削除する範囲の最後のプリセットメモリーフ番号を指定します。 [PMEM DELETE]で[RANGE]を選択したときに有効です。 |
| EXECUTE | NO YES | プリセットメモリーを[PMEM DELETE]に応じて削除します。 |

*1：詳細はカメラの取扱説明書を参照してください。

■ VIEW COLOR

- メインLCD上でのプリセットメモリー・マクロ・カメラ選択時に表示されるプリセットメモリー・マクロ・カメラの登録済み表示の色を設定します。

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|--|--|--|
| MODE | CAM PMEM MACRO | 登録済み表示色を変更する項目を選択します。 CAM : カメラ選択の色を変更します。 PMEM : プリセットメモリー制御の色を変更します。 MACRO : マクロ制御の色を変更します。 |
| CAM NUMBER | カメラ番号 | プリセットメモリーの登録済みの色設定を行うカメラ番号を選択します。[MODE] が [PMEM] のときのみ有効です。 |
| UPLOAD | (push) | 設定した内容を本機に保存します。保存するまで編集内容は反映されません。 |
| 1 ~ 100 ([MODE] が [CAM] のときは 1 ~ 200) | STANDARD RED ORANGE YELLOW GREEN BLUE INDIGO PURPLE | 表示色を 7 色 (赤、橙、黄、緑、青、藍、紫) から選択します。「STANDARD」を選ぶと、標準色 (濃灰) になります。 |

■ NAME EDIT

- メインLCD上でのプリセットメモリー制御・マクロ制御で表示されるプリセットメモリー・マクロの名前を編集します。

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|---------------|---------------|--|
| PMEM/MACRO | PMEM MACRO | プリセットメモリー/マクロの名前を編集します。 PMEM : 選択中のカメラのプリセットメモリーの名前を編集します。 MACRO : マクロの名前を編集します。 |
| PMEM NAME GET | NO YES | プリセットメモリーの名前を選択中のカメラから読み出します。 |
| 1 ~ 100 | | プリセットメモリーまたはマクロの名前を編集します。 名前の入力にはソフトウェアキーボードを使用します。編集をしたいプリセットメモリーまたはマクロをメインLCD上で選択してください。 |

NOTE

- プリセットメモリーの名前をカメラから読み出した場合、文字の種類によって、本機で正しく表示できない場合があります。

■ EXT CTRL PMEM

- CONNECT ボタン>[EXT CONTROL] で登録した機器に対して、プリセットメモリー指示を行えるメニューについて以下の制御とします。

_____ は、工場出荷時の設定です。

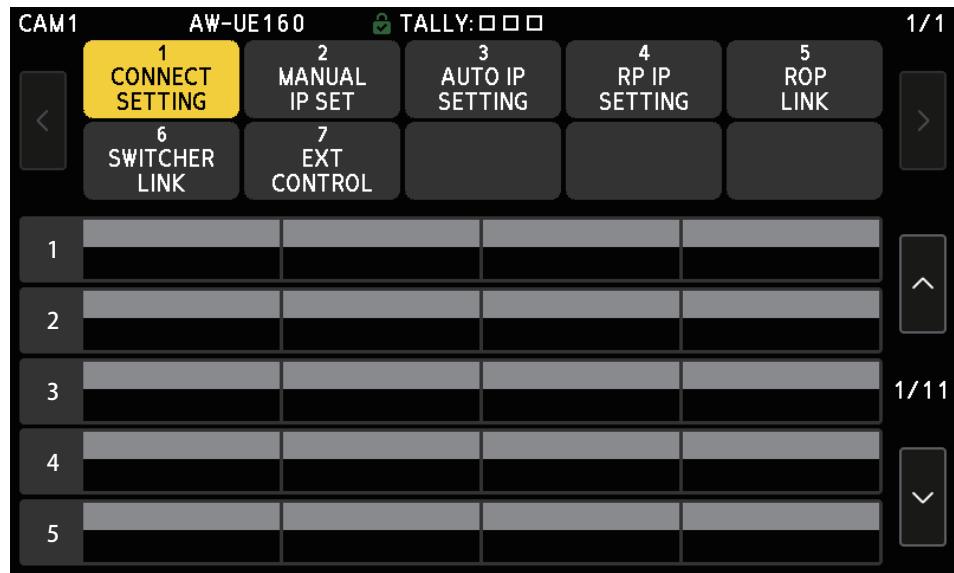
| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------|----------------|--------------------------------|
| A1 ~ A25 | START | START : シーケンス開始 |
| B1 ~ B25 | STOP | STOP : シーケンス停止 |
| C1 ~ C25 | CUT | CUT : シーケンス開始位置に移動 |
| D1 ~ D25 | STATUS NONE | STATUS : 現在のステータスの取得 |

NOTE

- 100 個のプリセットメモリーシーケンスを制御できます。
- 登録・削除には非対応です。
- 定期的な表示ステータスの更新は非対応です。

CONNECT

- 本機とカメラ等の接続設定・連携機能に関する設定を行います。
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



本機とカメラ等の接続設定関連

- 本機とカメラ等の接続設定について以下で設定します。
- 詳細は、「リモートカメラとの接続設定を行う」(40ページ) を参照してください。

■ CONNECT SETTING

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|--------------|----------------------------|---|
| CAM SEL | CAM1 ~ CAM200 | 設定変更するカメラ番号を選択します。 選択したカメラ管理番号のネットワーク設定が、以降の画面に表示されます。 |
| CONTROL TYPE | SERIAL LAN NO ASSIGN | カメラの接続方式を選択します。 |
| CAM1 ~ 200 | SERIAL LAN NO ASSIGN | カメラ1～カメラ200の接続方式を表示します。(SERIALが選択できるのはカメラ1～3のみです) |

■ MANUAL IP SET

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|--------------|----------------------------|--|
| CAM SEL | CAM1 ~ CAM200 | 設定変更するカメラ番号を選択します。 選択したカメラ番号のネットワーク設定が、以降の画面に表示されます。 |
| CONTROL TYPE | SERIAL LAN NO ASSIGN | カメラの接続方式を選択します。 |
| CAM IP | | カメラのIPアドレスを設定します。 (工場出荷時: CAM1 を 192.168.0.10 とし、順に割り振っています) |
| CAM PORT | 1 ~ 80 ~ 65535 | カメラのポート番号を設定します。 |
| UPLOAD | (push) | カメラのIPアドレス、ポート番号の設定を本機に反映します。 ● 設定変更したときには、[UPLOAD] を実行しないと反映されません。 |

■ AUTO IP SETTING

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------|--------------------------|--|
| AUTO SET | NONE RENEW KEEP | <p>NONE : リモートカメラを検索しません。</p> <p>RENEW : 本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、検出した各リモートカメラを順にカメラ番号に割り当てます。 このとき、各リモートカメラのIPアドレスを、本機の各カメラ番号に対して設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えます。</p> <p>KEEP : 本機は、まず同一サブネット内を検索します。 その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NO ASSIGN」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。このとき、リモートカメラに設定されているIPアドレスがそのまま保持され、本機に設定されている接続先IPアドレスを書き替えます。</p> |
| NEW | | 新しく検出されたカメラの台数を表示します。 |
| TOTAL | | 現在本機が管理している台数 + 新規に検出された台数を表示します。 |
| EXECUTE | NONE RETRY SETTING | <p>NONE : IPアドレスの設定操作を行いません。</p> <p>RETRY : 再度、[AUTO SET] の [RENEW] もしくは [KEEP] の処理を実行します。</p> <p>SETTING : [AUTO SET] の [RENEW] もしくは [KEEP] の結果を反映します。 [RENEW] の場合、カメラ側のIPもこのタイミングで変更されます。</p> |

■ RP IP SETTING

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------------|---------------|---|
| IP | 192.168.0.9 | 本機のIPアドレスを設定します。 ● [DHCP]=[ON] の場合は無効です。 |
| SUBNET | 255.255.255.0 | 本機のサブネットマスクを設定します。 |
| GATEWAY | 192.168.0.1 | 本機のデフォルトゲートウェイを設定します。 |
| DHCP | OFF ON | 本機のIPアドレスの設定を、DHCPサーバーから取得するかどうかを選択します。 |
| UPLOAD | (push) | ファンクションダイヤルを押すとカメラのIPアドレス、ポート番号が設定されます。 ● 設定変更したときには、[UPLOAD]を実行しないと反映されません。 |
| MAC ADDRESS | | 本機のMACアドレスが表示されます。(表示のみ) |
| CAM1 ~ 20 PORT | | カメラ選択ボタンごとに、受信用のポート番号を割り当てることができます。 |

本機とカメラ・その他機器との連携機能の設定関連

- 本機とカメラ・その他機器との連携機能の設定します。
- 詳細は、「各種連携機能について」(79ページ)を参照してください。

■ ROP LINK

_____は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|----------------|-----------------|--|
| ROP LINK MODE | OFF ON | 連動機能のON/OFFを設定します。OFFの場合はカメラ選択は連動しません。 |
| ROP IP | 192.168.0.130 | 接続先のROPのIPアドレスを設定します。 |
| ROP PORT | 1～80～65535 | 接続先のROPのポート番号を設定します。 |
| UPLOAD | (push) | [ROP IP]および[ROP PORT]の設定を本機に保存します。 |
| RP CAM SEL | CAM1～ CAM200 | ROPと連動させたい、本機で設定しているカメラ番号を選択します。 |
| LINKED ROP CAM | NONE 1～99 | [RP CAM SEL]で設定したカメラ番号に対応するROPでのカメラ番号を選択します。割り当てを行わないカメラ番号はNONEに設定します。 |

■ SWITCHER LINK

_____は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|---------------|---|---|
| LINK MODE | OFF ON | スイッチャーとの連携ON/OFFを設定します。 |
| SWITCHER IP | 192.168.0.8 | 接続先のスイッチャーのIPアドレスを設定します。 |
| SWITCHER PORT | 1～62000～ 65535 | 接続先のスイッチャーのポート番号を設定します。 |
| RP PORT | 1～60031～ 65535 | 本機能の、本機の受信ポート番号を設定します。 |
| UPLOAD | (push) | 設定内容を保存します。 |
| BUS CTRL | OFF ON | 本機からスイッチャーのバス素材の切り替えの有効／無効を設定します。 |
| BUS SEL(MAIN) | AUX1～16 ME1PVW ME1KEY1-F ME1KEY1-S ME1KEY2-F ME1KEY2-S ME1KEY3-F ME1KEY3-S ME1KEY4-F ME1KEY4-S ME2PVW ME2KEY1-F ME2KEY1-S ME2KEY2-F ME2KEY2-S ME2KEY3-F ME2KEY3-S ME2KEY4-F ME2KEY4-S DSK1-F DSK1-S DSK2-F DSK2-S DSK3-F DSK3-S DSK4-F DSK4-S | [BUS CTRL]がONのときに本機で通常制御しているカメラ選択に追従するバスを設定します。 |

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|---------------------|---|---|
| BUS SEL(2nd) | AUX1 ~ 2 ~ 16 ME1PVW ME1KEY1-F ME1KEY1-S ME1KEY2-F ME1KEY2-S ME1KEY3-F ME1KEY3-S ME1KEY4-F ME1KEY4-S ME2PVW ME2KEY1-F ME2KEY1-S ME2KEY2-F ME2KEY2-S ME2KEY3-F ME2KEY3-S ME2KEY4-F ME2KEY4-S DSK1-F DSK1-S DSK2-F DSK2-S DSK3-F DSK3-S DSK4-F DSK4-S | [BUS CTRL] が ON のときに本機の [RP MENU] > [CONTROL I/F] > [L-STICK] に [2nd CAM PT] を設定している場合、[RP MENU] > [CONTROL I/F] > [2nd CAM NUM] で設定しているカメラ選択に追従するバスを設定します。 |
| CAM NUM | 1 ~ 200 | 使用したいカメラ番号を割り当てます。 |
| SW INPUT | NO ASSIGN 1 ~ 34 | [CAM NUM] に対応するスイッチャーのバス番号を割り当てます。 |
| FOCUS ASSIST | OFF ON | スイッチャーの AUX バスを制御して、マルチビューと選択中のカメラ映像の切り替えを行います。[MV1] ~ [MV4] で設定した AUX にマルチビューの 1 ~ 4 を出力します。[MV1] ~ [MV4] のいずれかの AUX を [BUS SEL(MAIN)] の AUX と一致させることで、[FOCUS ASSIST] を OFF/ON することにより、マルチビューとカメラ映像の切り替えが行えます。 |
| MV1 ~ MV4 | OFF AUX1 ~ 16 | MV1 ~ MV4 と AUX バスの割り当てを行います。 |
| TALLY IP | OFF ON | スイッチャーからのタリー受信の ON/OFF を設定します。 |

■ EXT CONTROL

_____ は、工場出荷時の設定です。

| 項目 | 設定値 | 設定内容 |
|--|---|--|
| EXT CTRL MODE | DISABLE ENABLE | 外部制御機能の有効／無効を設定します。 |
| R-ROCKER CTRL | NONE HORIZONTAL VERTICAL | R-ロッカーで制御するロボティクス操作を設定します。 NONE : 制御なし HORIZONTAL : 水平方向の制御のみ VERTICAL : 垂直方向の制御のみ 本項目で設定した場合、[LINKED CAM]で設定したカメラ以外は、RP MENUボタン>[CONTROL I/F]>[R-ROCKER]の項目で選択されている制御になります。 |
| L-STICK CTRL | NONE HORIZONTAL VERTICAL HOR&VER | L-ジョイスティックで制御するロボティクス操作を設定します。 NONE : 制御なし HORIZONTAL : 水平方向の制御のみ VERTICAL : 垂直方向の制御のみ HOR&VER : 水平および垂直方向の制御 本項目で設定した場合、[LINKED CAM]で設定したカメラ以外は、RP MENUボタン>[CONTROL I/F]>[L-STICK]の項目で選択されている制御になります。 |
| CTRL SPEED | 1 ~ 3 ~ 6 | [R-ROCKER CTRL]、[L-STICK CTRL]の操作のスピードを設定します。 |
| Set the EXT device IP address on the next page | | 外部機器のIPアドレスは2ページ目で設定してください。 |
| LEFT/RIGHT | (push) | 外部機器の水平方向(左右)の制御を行います。ファンクションダイヤル押下で左右方向に制御します。 |
| SPEED | 1 ~ 49 | [LEFT]・[RIGHT]で左右移動に対するスピードを設定します。 |
| UP/DOWN | (push) | 外部機器の垂直方向(上下)の制御を行います。ファンクションダイヤル押下で上下方向に制御します。 |
| SPEED | 1 ~ 49 | [UP]・[DOWN]で上下移動に対するスピードを設定します。 |
| EXT CTRL NUM | 1 ~ 20 | 外部機器の制御番号を設定します。 |
| IP(EXT-HOR) | 192.168.0.20 | 水平方向に制御する外部機器のIPアドレスを設定します。 |
| IP(EXT-VER) | 192.168.0.20 | 垂直方向に制御する外部機器のIPアドレスを設定します。 |
| PORT(EXT-HOR) | 1 ~ 80 ~ 65535 | 水平方向に制御する外部機器のポート番号を設定します。 |
| PORT(EXT-VER) | 1 ~ 80 ~ 65535 | 垂直方向に制御する外部機器のポート番号を設定します。 |
| RSV PORT(RP) | 1 ~ 60501 ~ 65535 | 本機能で使用する本機の受信ポートを設定します。 |
| LINKED CAM | CAM1 ~ 200 | 外部機器と同時に制御したいカメラ番号を設定します。 |
| PMEM CTRL | CAM ONLY CAM&E-PMEM CAM&EXT DEVICE | 外部機器のプリセットメモリー関連の設定を本機で実行するかを設定します。 CAM ONLY : 本機ではカメラのプリセットメモリーのみ操作します。 CAM & E-PMEM : 本機ではカメラのプリセットメモリーおよび外部機器のプリセットメモリーをPMEM/TMEM/MACROボタン>[EXT CTRL PMEM]のみを用いて操作します。(対応していない機器もあります) CAM&EXT DEVICE : 本機ではカメラのプリセットメモリーおよび外部機器のプリセットメモリーをオペレーションモード2、3やメインLCD上で操作します。(PMEM/TMEM/MACROボタン>[EXT CTRL PMEM]は使用できません) オペレーションモードの詳細については、「オペレーションモード」(47ページ)を参照してください。 メインLCD上で操作については、「メインLCDでのタッチ操作によるカメラ選択・プリセットメモリー制御・マクロ制御」(58ページ)参照してください。(対応していない機器もあります) |
| UPLOAD | (push) | [EXT CTRL NUM]以降の設定内容を反映させます。 |

Web画面の表示

本機とパーソナルコンピューターをつないで、各種の設定を行うことができます。
パーソナルコンピューターのIPアドレスは、プライベートアドレスの範囲内で本機と違うアドレスを設定し、サブネットマスクは本機と同じアドレスに設定します。

NOTE

- IPアドレスとサブネットマスクを変更する場合は、必ず販売店にお申し付けください。

本機のIPアドレスとサブネットマスク(工場出荷時)

IPアドレス：192.168.0.9

サブネットマスク：255.255.255.0

必要なパーソナルコンピューターの環境については、「必要なパーソナルコンピューターの環境」(8ページ)を参照してください。

パーソナルコンピューターによるWeb画面の表示

本書では、Windows (Microsoft Edge) の画面をもとに説明しています。それ以外のブラウザーの場合、画面上の表示が一部異なりますが、同様の手順となります。

1. パーソナルコンピューターのWebブラウザーを起動する

パーソナルコンピューターに搭載のOSに応じて、それぞれ下記のWebブラウザーを使用してください。

| 対応OSとWebブラウザー | 【Windows】 |
|---------------|---|
| | Microsoft® Windows® 11 Microsoft® Windows® 10 Microsoft Edge (最新版) Google Chrome |
| 【Mac】 | macOS15 |
| | macOS14 macOS13 Safari Google Chrome |

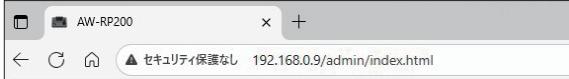
2. 本機のIPアドレスを、Webブラウザーのアドレスボックスに入力する

(CONNECTボタン>[RP IP SETTING]等で本機のIPアドレスを設定できます)

IPv4アドレスの入力例：

http://IPv4アドレスで登録したURL

http://192.168.0.9/



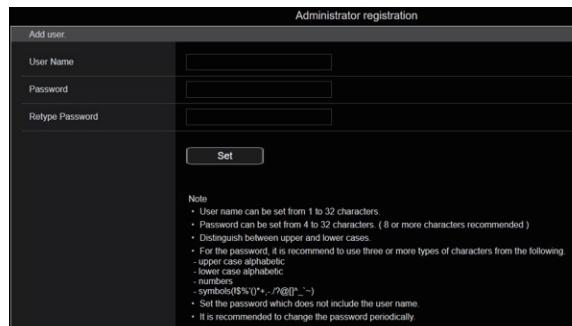
NOTE

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。
例：ポート番号が8080に設定されている場合
http://192.168.0.9:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Webブラウザー(メニューバーの「その他のツール」-「インターネットオプション」)からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3. 初期アカウントを設定する

初期状態で、Web画面を表示する場合、初期アカウント設定画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードを設定してください。



NOTE

- 第3者に容易に推測されやすい文字列は設定しないでください。

- パスワードは定期的に変更してください。

- パスワードは下記4つの文字種類から少なくとも3つを含めて8文字以上で設定してください。

アルファベット大文字

アルファベット小文字

数字

特殊記号 (! \$ % ' () * + - . / ? @ [] ^ _ ` ~)

- 上記ポリシーを守らないパスワードを設定する場合、設置環境などのセキュリティ上のリスクを十分考慮したうえ、使用者の責任のもと運用してください。

- 設定したパスワードが推奨設定ポリシーに反する場合は、警告が表示されます。パスワードを変更する場合は[Back]ボタンをクリックして再度パスワードを設定してください。
セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は[Continue]をクリックして設定を完了してください。

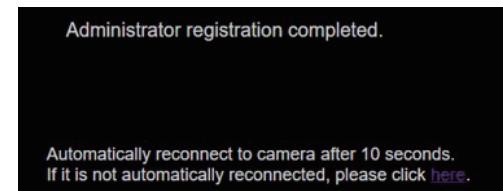


- 設定したアカウント情報を忘れた場合、RP MENUボタン>[MAINTENANCE]>[WEB PASS RESET]を使用して、ネットワーク接続用のユーザー情報をリセットしてください。

4. 初期アカウントの登録完了

初期アカウントの登録が完了後、以下のような登録完了画面が表示されます。

以上で初期アカウント登録操作は完了となります。



Web画面へのログイン

本機のWebメニューへログインするためには、ユーザー名とパスワードの入力が必要となります。

NOTE

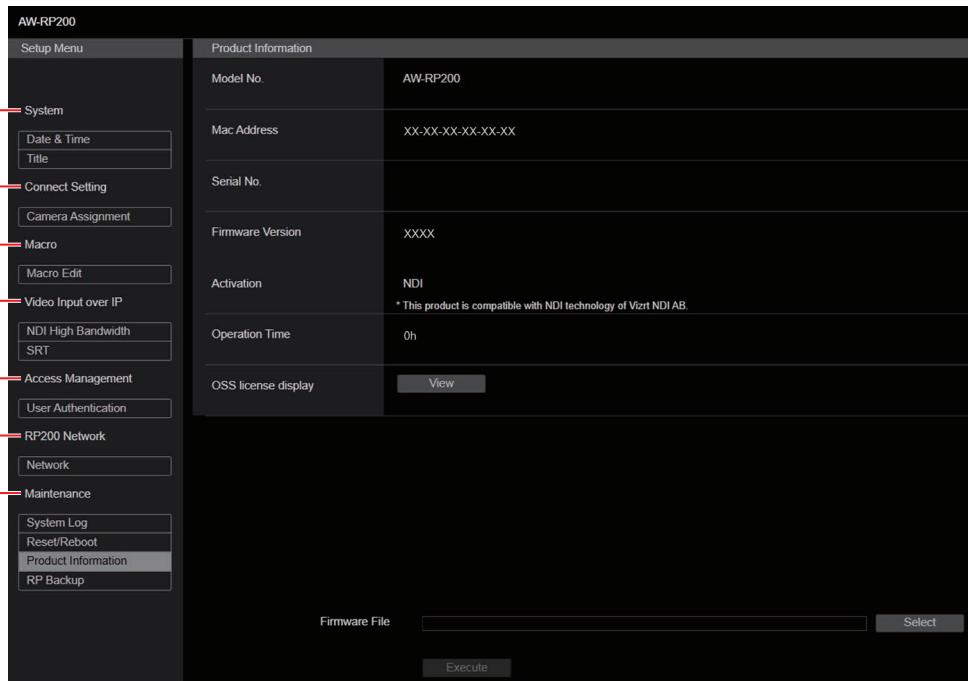
- アカウント入力画面はWebブラウザーからポップアップウィンドウで表示されます。
- あらかじめ登録したユーザー名とパスワードを正しく入力してください。
- パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

Web設定画面 [Setup Menu]

本機に対して各種設定を行います。

NOTE

- 設定メニュー表示中に、OSDメニュー や他のWebブラウザから設定値を変更した場合、設定値と表示値が一致しないことがあります。その場合、Webブラウザの設定メニュー表示画面を更新してください。



1 System

時計設定ボタン [Date&Time]

ボタンをクリックすると、時計設定画面 [Date&Time] が表示されます。

⇒「時計設定画面 [Date&Time]」(117ページ)

Title編集ボタン [Title]

ボタンをクリックすると、Title編集画面 [Title] が表示されます。

⇒「Title編集画面 [Title]」(117ページ)

2 Connect Setting

カメラの接続登録設定ボタン [Camera Assignment]

ボタンをクリックすると Camera Assignment 設定画面が表示されます。

⇒「Camera Assignment」(118ページ)

3 Macro

マクロ編集ボタン [Macro Edit]

ボタンをクリックすると [Macro Edit] 設定画面が表示されます。

⇒「Macro Edit」(127ページ)

4 Video Input over IP

NDI High Bandwidth設定ボタン [NDI High Bandwidth]

ボタンをクリックすると NDI High Bandwidth 設定画面が表示されます。

⇒「NDI High Bandwidth」(130ページ)

SRT設定ボタン [SRT]

ボタンをクリックすると SRT 設定画面が表示されます。

⇒「SRT」(131ページ)

5 Access Management

Web認証設定ボタン [User Authentication]

ボタンをクリックすると User Authentication 設定画面が表示されます。

⇒「User Authentication」(133ページ)

6 RP200 Network

本機のネットワーク設定ボタン [Network]

ボタンをクリックするとNetwork設定画面が表示されます。
⇒「Network」(133ページ)

7 Maintenance

システムログボタン [System Log]

ボタンをクリックするとSystem Log設定画面が表示されます。
⇒「System Log」(136ページ)

設定リセット・再起動ボタン [Reset/Reboot]

ボタンをクリックするとReset/Reboot設定画面が表示されます。
⇒「Reset/Reboot」(137ページ)

製品情報ボタン [Product Information]

ボタンをクリックするとProduct Information設定画面が表示されます。
⇒「Product Information」(138ページ)

ファイルバックアップボタン [RP Backup]

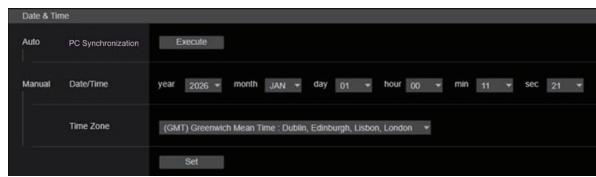
ボタンをクリックするとRP Backup設定画面が表示されます。
⇒「RP Backup」(139ページ)

System

■ 時計設定画面 [Date&Time]

時計の設定を行います。

[Auto]、[Manual]の2種類の方法を設定できます。



● Auto

PC Synchronization

[Execute]ボタンをクリックすると、接続しているパーソナルコンピューターの日付時刻に本機を同期させて設定します。

NOTE

- パーソナルコンピューターのタイムゾーンは、本機に反映されません。タイムゾーンは、本機で設定してください。

● Manual

Date/Time

「月」、「日」、「年」の設定と「時」、「分」、「秒」の設定を行います。

NOTE

- 時刻は、24時間表示です。

Time Zone

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

工場出荷時の設定 :

(GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

NOTE

- 設定した日付時刻は、一度電源を切って、再起動したあとに反映されます。
- 本機の時計設定は電源起動中のみ保持されます。一度電源を切ると、前回電源を切ったところから日付時刻が開始されますので、必要に応じて都度設定してください。

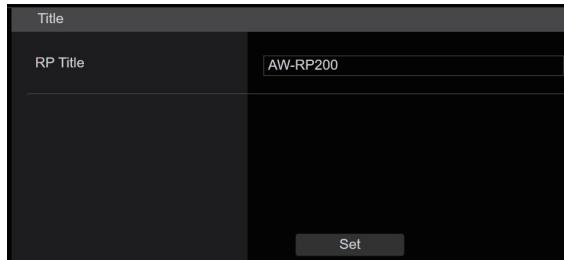
■ Title編集画面 [Title]

本機の名称を入力します。

[Set]ボタンをクリックすると、入力した名称がRPタイトル表示部に表示されます。

- 工場出荷時の設定は本機の製品品番です。
- 半角0～20文字を入力できます。
- 使用可能な文字は次の通りです。

| | |
|-------------------|---|
| 半角数字 | 123456789 |
| 半角英字 (大文字／小文字) | ABCDEFGHIJKLMNPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz |
| 半角記号 | !#\$%`()^,-./;:>?@[]^_`{}~` |



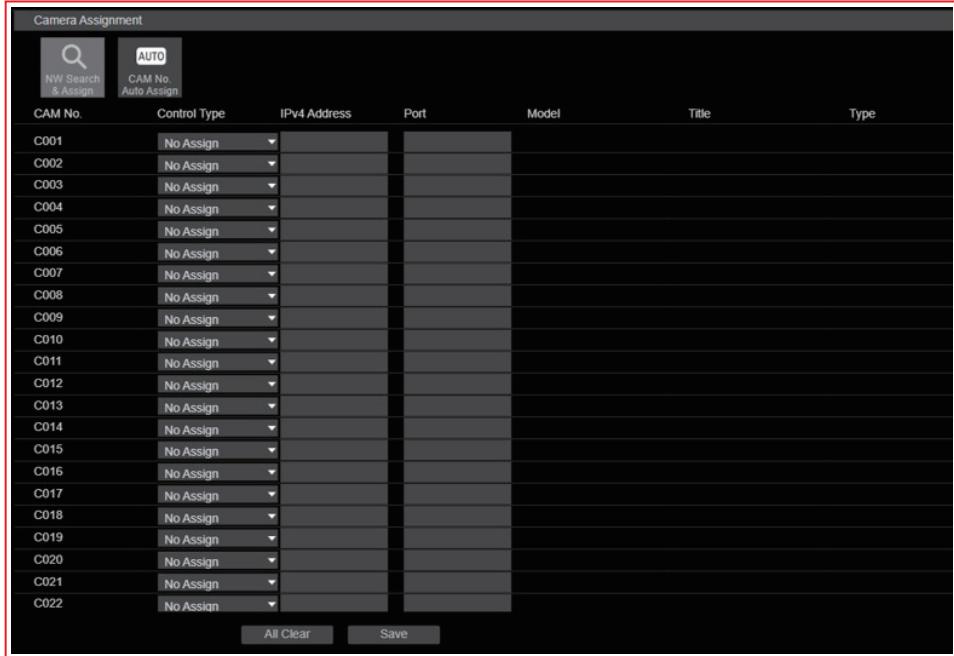
Connect Setting

■ Camera Assignment

本機へのカメラの接続登録関連の設定を行います。

カメラ未登録時 (または [All Clear] 押下後)

スクロールで200台 (C001 ~ C200) まで表示します。



| CAM No. | Control Type | IPv4 Address | Port | Model | Title | Type |
|---------|--------------|--------------|------|-------|-------|------|
| C001 | No Assign | | | | | |
| C002 | No Assign | | | | | |
| C003 | No Assign | | | | | |
| C004 | No Assign | | | | | |
| C005 | No Assign | | | | | |
| C006 | No Assign | | | | | |
| C007 | No Assign | | | | | |
| C008 | No Assign | | | | | |
| C009 | No Assign | | | | | |
| C010 | No Assign | | | | | |
| C011 | No Assign | | | | | |
| C012 | No Assign | | | | | |
| C013 | No Assign | | | | | |
| C014 | No Assign | | | | | |
| C015 | No Assign | | | | | |
| C016 | No Assign | | | | | |
| C017 | No Assign | | | | | |
| C018 | No Assign | | | | | |
| C019 | No Assign | | | | | |
| C020 | No Assign | | | | | |
| C021 | No Assign | | | | | |
| C022 | No Assign | | | | | |

All Clear Save

Web メニューからの本機へのカメラの接続設定方法はユースケースに応じて 3 種類あります。

- (1) 小規模運用向け設定 (マニュアル設定)
- (2) 大規模運用向け設定 (すでにネットワーク上にあるカメラの設定)
- (3) 大規模運用向け設定 (運用前に設定を行う等の本機単独での設定)

Web画面からの設定(つづき)

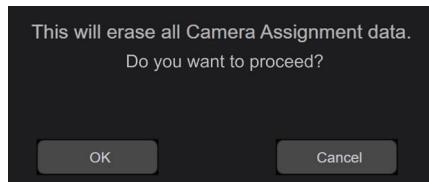
(1) 小規模運用向け設定(マニュアル設定)

Aの画面でカメラ番号[CAM No.]ごとに、下記を設定することで手動で簡単にカメラの接続設定ができます。

- **Control Type** : 本機とカメラとの接続種別を[LAN]、[Serial]、[No Assign]からドロップダウンで選択します。
- **IPv4 Address** : 直接アドレスを入力可能です。
- **Port** : 直接Port番号を入力可能です。

入力後[Save]を実行すると、登録確認のポップアップが表示されますので、設定が問題ない場合は[OK]を選択してください。

また、[All Clear]でカメラとの接続設定をすべて消去可能です。[All Clear]を実行すると、下記のようなポップアップが表示されますので、全接続情報を消去して問題ない場合は、[OK]を選択してください。



NOTE

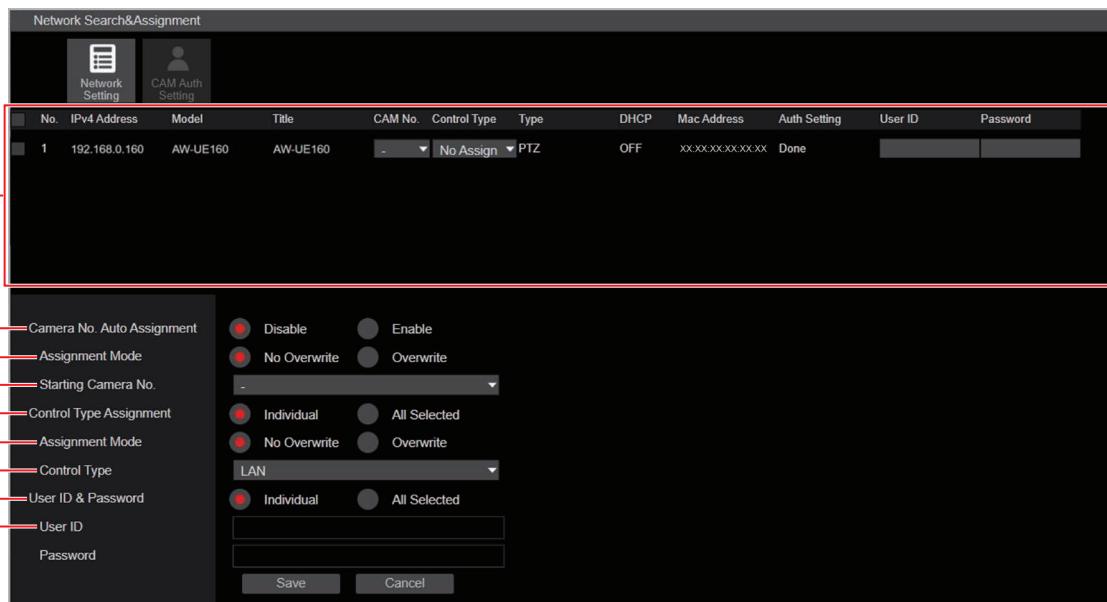
- [Control Type]については、「リモートカメラとの接続種別(シリアル/IP/接続なし)を設定する」(41ページ)を参照してください。
- [IPv4 address]・[Port]については、「接続先IPアドレス(リモートカメラ)とポート番号を手動で設定する」(46ページ)を参照してください。
- [Control Type]を[LAN]、[IPv4 Address]・[Port]を手動で入力・設定した場合、それだけでは[Model]や[Title]等の情報は表示されません。[Save]を実行することでネットワークで情報を検索して情報が表示されるようになります。
- 間違って設定を行った場合は、[Save]前であればブラウザを更新していただくと、Web画面を開いた最初の状態に戻ります。再度設定をし直してください。

(2) 大規模運用向け設定(すでにネットワーク上にあるカメラの設定)

本機とカメラがすでにネットワーク上につながっている状態のとき、ネットワークの検索機能を用いてカメラの接続設定が一括で簡単にできます。最初に、Aの画面で[NW Search & Assign]を選択し、ネットワーク上の機器を検索し、その後、その情報を用いてカメラの接続設定を行います。

NW Search & Assign

[NW Search & Assign]ボタンを押すと、ポップアップに本機と同一ネットワーク上にあるカメラ・リモートコントローラーが表示されます。(①の部分)



NOTE

- ①の部分で、[CAM No.]/[Control Type]/[User ID]/[Password]はマニュアル設定可能です。直接入力して、[Save]をクリックすることで、ネットワーク上のカメラの本機への接続設定の登録が可能です。

● 一括設定方法

①の部分に表示されたカメラについて、本機への各種登録設定を行います。

左端の□に✓を入れたカメラが設定対象です。

以下の項目がリアルタイムで表示されます。

① -1 Camera No. Auto Assignment

Disable : カメラ番号の自動割り付けを行いません。

Enable : 対象のカメラ(① -2 [Assignment Mode]に従う)に① -3 [Starting Camera No.]で指定したNo.から順番にカメラ番号を割り付けます。

① -2 Assignment Mode

No Overwrite : すでに登録済みのCAM番号はそのまま、それ以外を① -3 [Starting Camera No.]から順にAutoで割り付けます。

Overwrite : すでに登録済みのCAM番号も上書きして① -3 [Starting Camera No.]から順にAutoで割り付けます。

① -3 Starting Camera No.

自動でカメラ番号を割り付けるときの先頭No.を指定します。

② -1 Control Type Assignment

Individual : カメラごとに接続種別を指定します。①の部分に直接入力してください。

All Selected : 対象のカメラ(② -2 [Assignment Mode]に従う)の② -3 [Control Type]で指定した方法で一括設定します。

② -2 Assignment Mode

No Overwrite : すでに登録済みの接続種別はそのまま、それ以外を② -3 [Control Type]で指定した方法で設定します。

Overwrite : すでに登録済みの接続種別も上書きして② -3 [Control Type]で指定した方法で設定します。

② -3 Control Type

LAN : 対象のカメラの接続種別を[LAN]にします。

Serial : 対象のカメラの接続種別を[Serial]にします。

③ -1 User ID & Password

Individual : カメラごとにUser ID、Passwordを指定します。①の部分に直接入力してください。

All Selected : ③ -2 [User ID]・[Password]で指定したUser ID、Passwordに一括設定します。

③ -2 User ID : 対象のカメラのUser ID

Password : 対象のカメラのPassword

[Save]を実行すると上記内容が保存されます。

Web画面からの設定(つづき)

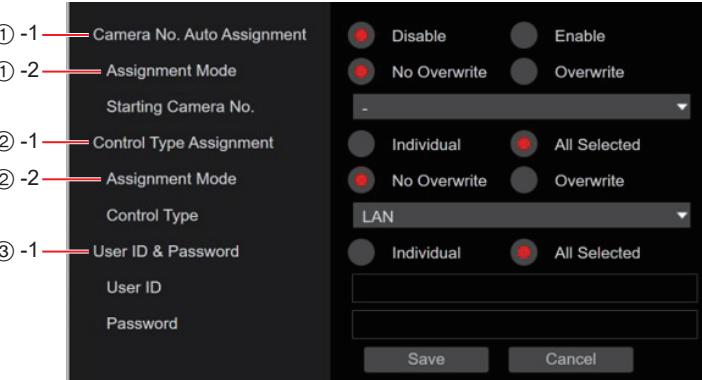
一括設定方法例

(例1) ①の画面で上書き禁止モード [No Overwrite] でC002から4台のカメラを一括設定

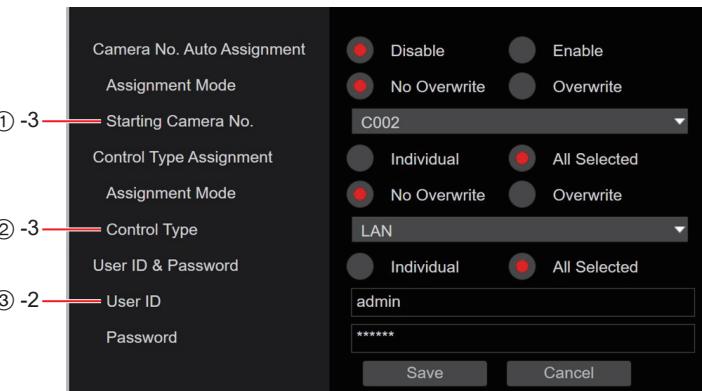
1. 上から4台のカメラにチェックを入れる

| No. | IPv4 Address | Model | Title | CAM No. | Control Type | Type | DHCP | Mac Address | Auth Setting | User ID | Password |
|-----|--------------|-----------|-----------|---------|--------------|-------|------|---------------------|--------------|---------|----------|
| ✓ 1 | 192.168.0.10 | AW-UE150A | 01-CENTER | C001 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |
| ✓ 2 | 192.168.0.11 | AW-UE160 | 04-UP | - | ▼ No Assign | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |
| ✓ 3 | 192.168.0.12 | AW-UE160 | 02-LEFT | - | ▼ No Assign | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |
| ✓ 4 | 192.168.0.14 | AW-UE160 | 05-RIGHT | C004 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |
| ■ 5 | 192.168.0.15 | AW-UE150 | 03-DOWN | C003 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |

2. ① -1 [Camera No. Auto Assignment] を [Disable] にしたまま、① -2・② -2の [Assignment Mode] を [No Overwrite] にし、② -1・③ -1を一括設定用に [All Selected] に設定する



3. ① -3 [Starting Camera No.] を [C002]、② -3 [Control Type] を [LAN]、③ -2の [User ID] と [Password] を設定する



4. 最後に① -1 [Camera No. Auto Assignment] を [Enable] にすると下記のようになる(変化点は黄色表示)。[Save] を押すと設定内容が本機に保存される

(すでに登録済みのカメラ番号(C001・C003・C004)は上書き禁止のため、[Title]が02-LEFTのカメラはC005となる)

| No. | IPv4 Address | Model | Title | CAM No. | Control Type | Type | DHCP | Mac Address | Auth Setting | User ID | Password |
|-----|--------------|-----------|-----------|---------|--------------|-------|------|---------------------|--------------|---------|----------|
| ✓ 1 | 192.168.0.10 | AW-UE150A | 01-CENTER | C001 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |
| ✓ 2 | 192.168.0.11 | AW-UE160 | 04-UP | C002 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |
| ✓ 3 | 192.168.0.12 | AW-UE160 | 02-LEFT | C005 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |
| ✓ 4 | 192.168.0.14 | AW-UE160 | 05-RIGHT | C004 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |
| ■ 5 | 192.168.0.15 | AW-UE150 | 03-DOWN | C003 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xx:xxxx:xx:xx:xx:xx | Done | | |

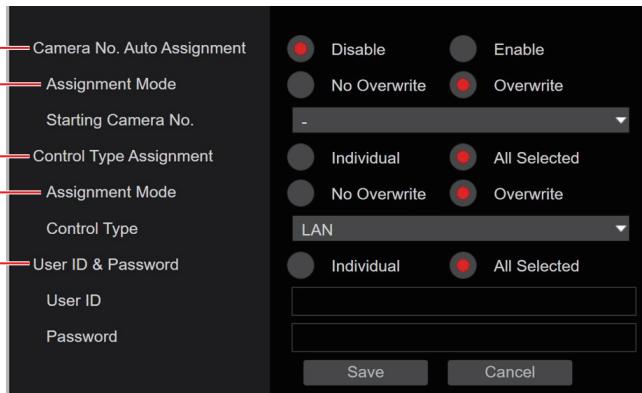
Web画面からの設定(つづき)

(例2) ①の画面で上書きモード[Overwrite]でC002から4台のカメラを一括設定

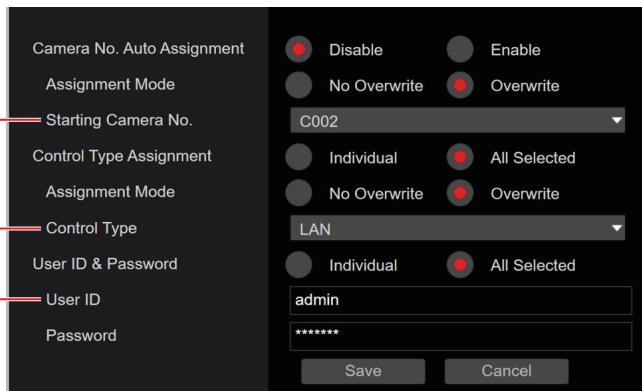
1. 上から4台のカメラにチェックを入れる

| No. | IPv4 Address | Model | Title | CAM No. | Control Type | Type | DHCP | Mac Address | Auth Setting | User ID | Password |
|-----|--------------|-----------|-----------|---------|--------------|-------|------|--------------|--------------|---------|----------|
| ✓ 1 | 192.168.0.10 | AW-UE150A | 01-CENTER | C001 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |
| ✓ 2 | 192.168.0.11 | AW-UE160 | 04-UP | - | ▼ No Assign | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |
| ✓ 3 | 192.168.0.12 | AW-UE160 | 02-LEFT | - | ▼ No Assign | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |
| ✓ 4 | 192.168.0.14 | AW-UE160 | 05-RIGHT | C004 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |
| ■ 5 | 192.168.0.15 | AW-UE150 | 03-DOWN | C003 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |

2. ① -1 [Camera No. Auto Assignment] を [Disable] にしたまま、① -2・② -2の [Assignment Mode] を [Overwrite] にし、② -1・③ -1を一括設定用に [All Selected] に設定する



3. ① -3 [Starting Camera No.] を [C002]、② -3 [Control Type] を [LAN]、③ -2の [User ID] と [Password] を設定する



4. 最後に① -1 [Camera No. Auto Assignment] を [Enable] にすると下記のようになる(変化点は黄色表示)。[Save] を押すと設定内容が本機に保存される

| No. | IPv4 Address | Model | Title | CAM No. | Control Type | Type | DHCP | Mac Address | Auth Setting | User ID | Password |
|-----|--------------|-----------|-----------|---------|--------------|-------|------|--------------|--------------|---------|----------|
| ✓ 1 | 192.168.0.10 | AW-UE150A | 01-CENTER | C002 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |
| ✓ 2 | 192.168.0.11 | AW-UE160 | 04-UP | C003 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |
| ✓ 3 | 192.168.0.12 | AW-UE160 | 02-LEFT | C004 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |
| ✓ 4 | 192.168.0.14 | AW-UE160 | 05-RIGHT | C005 | ▼ LAN | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |
| ■ 5 | 192.168.0.15 | AW-UE150 | 03-DOWN | - | ▼ No Assign | ▼ PTZ | OFF | xxxxxxxxxxxx | Done | | |

NOTE

- 間違って設定を行った場合は、[Save] 前であれば [Cancel] を押すと設定を反映せずに前画面に戻ります。必要に応じて再度設定をし直してください。

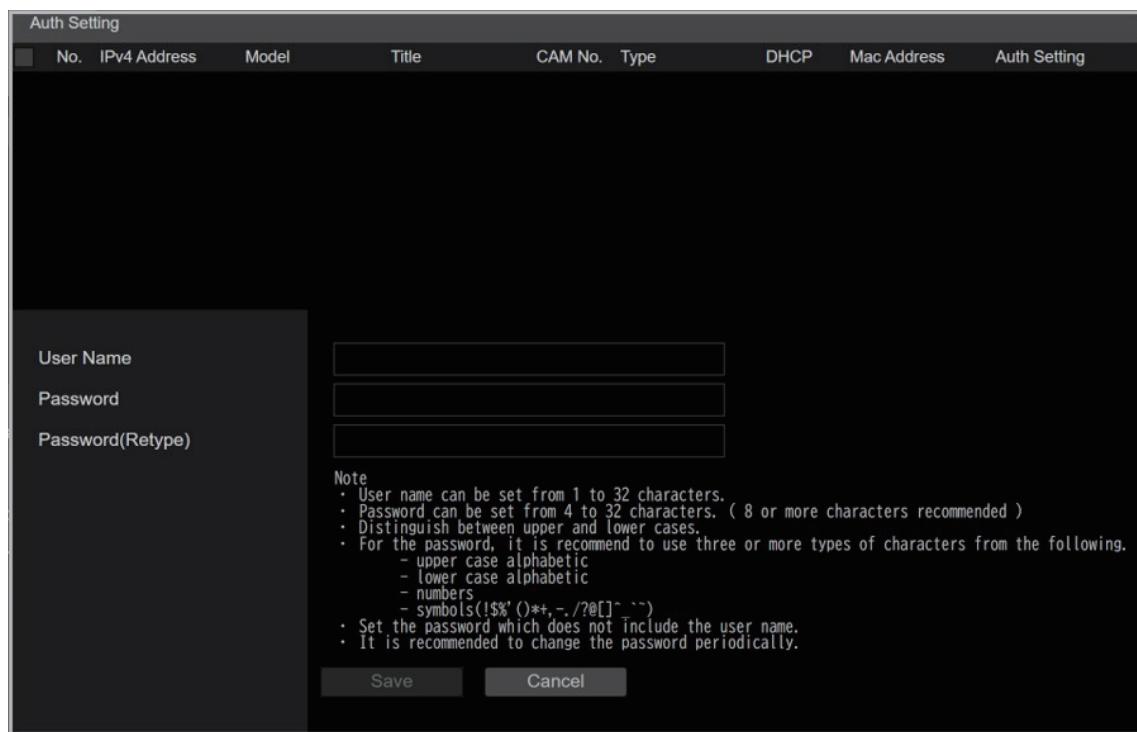
カメラを本機に登録の際に、必要に応じてカメラのネットワーク設定を本機から行うことも可能です。

カメラのネットワーク設定を行う際は、あらかじめカメラの[Auth Setting]を実施しておく必要があります。

Web画面からの設定(つづき)

CAM Auth Setting

カメラの[Auth Setting]を実施したい場合は、①の画面で[Auth Setting]が[None]のものをチェックし、[CAM Auth Setting]ボタンを押します。下記ポップアップが表示されるので、[User Name]と[Password]を入力します。
[Save]実行で設定が反映されます。



User Name

Password

Password(Retyppe)

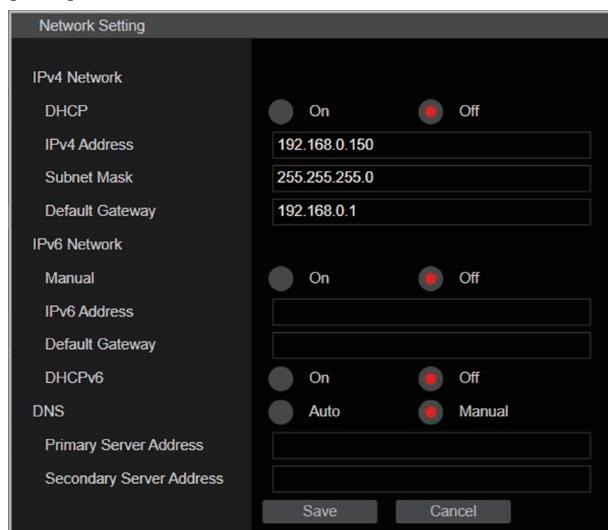
Note

- User name can be set from 1 to 32 characters.
- Password can be set from 4 to 32 characters. (8 or more characters recommended)
- Distinguish between upper and lower cases.
- For the password, it is recommend to use three or more types of characters from the following.
 - upper case alphabetic
 - lower case alphabetic
 - numbers
 - symbols(!\$%^()/*+, -./?@[]^ ``)
- Set the password which does not include the user name.
- It is recommended to change the password periodically.

Save Cancel

Network Setting

カメラのネットワーク設定を変更したい場合は、①の画面で該当のカメラをチェックし、[Network Setting]ボタンを押します。下記ポップアップが表示されるので、IPv4アドレスやサブネットの設定等、各種設定を入力します。
[Save]実行で設定が反映されます。



IPv4 Network

DHCP On Off

IPv4 Address: 192.168.0.150

Subnet Mask: 255.255.255.0

Default Gateway: 192.168.0.1

IPv6 Network

Manual On Off

IPv6 Address: (empty)

Default Gateway: (empty)

DHCPv6 On Off

DNS Auto Manual

Primary Server Address: (empty)

Secondary Server Address: (empty)

Save Cancel

NOTE

- [Auth Setting]が[None]の場合は、[Network Setting]は設定できません。必ず、[CAM Auth Setting]でアカウント情報を設定してください。

(3) 大規模運用向け設定(運用前に設定を行う等の本機単独での設定)

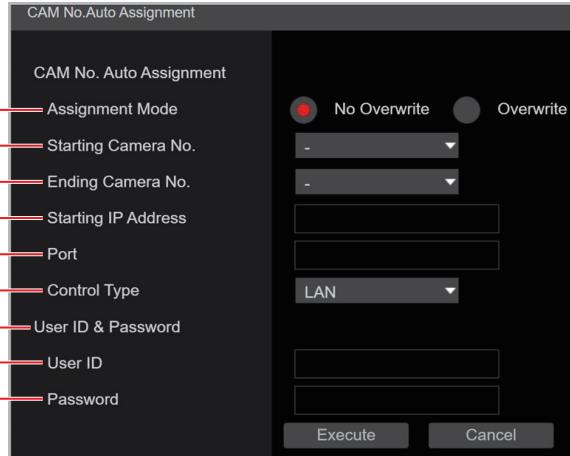
運用前に設定を行う等、運用本番前の準備の段階で本体単独でカメラの接続設定を簡単に一括で行うことも可能です。

最初に、Aの画面で[CAM No. Auto Assign]を選択して、カメラの接続設定を行います。

CAM No. Auto Assign

ネットワーク上につながっていないカメラも含めて一括で接続(カメラ番号とIPアドレスの一括の紐づけ)を行います。

[CAM No. Auto Assign]のボタンを押すとポップアップが表示されます。



① Assignment Mode

No Overwrite : すでに設定済みのカメラ番号のIPアドレスは避けてカメラ番号を連番設定します。

Overwrite : すでに登録済みのカメラ番号のIPアドレスも上書きしてカメラ番号を連番設定します。

② Starting Camera No. ③ Ending Camera No.

②から③までのカメラNo.を設定します。

※ [Assignment Mode]で[No Overwrite]が選ばれている場合は設定済みカメラ番号は飛ばして設定します。

④ Starting IP Address

ここで指定したIPアドレスの設定値から順にIPアドレスを設定します。

※ [Assignment Mode]で[No Overwrite]が選ばれている場合は設定済みIPアドレスは飛ばして設定します。

⑤ Port

設定するPort番号を入力します。

⑥ Control Type

LAN : 対象のカメラの接続種別を[LAN]にします。

Serial : 対象のカメラの接続種別を[Serial]にします。

⑦ User ID & Password

カメラの⑧ [User ID]と⑨ [Password]を設定します。

※②から③までのカメラはすべて同一のUser IDとPasswordを想定しています。

[Execute]を実行することで、接続設定が行われます。

NOTE

- 本機に設定されているIPアドレスが、[Starting IP Address]・[Starting Camera No.]・[Ending Camera No.]の関係で重複する場合は、そのIPアドレスは避けて連番設定されます。
- IPアドレスの連番設定は第4オクテットのみ有効です。(例:[Starting IP Address]を192.168.0.253としたときの最大連番設定可能台数は3台(192.168.0.255)までです)

Web画面からの設定(つづき)

一括設定方法例

Aの画面で下記のような状態だったとしたとき

| Camera Assignment | | | | | | | | | |
|-------------------|--------------|--------------|------|-----------|-----------|------|------|-------------------|--------------|
| CAM No. | Control Type | IPv4 Address | Port | Model | Title | Type | DHCP | Mac Address | Auth Setting |
| C001 | LAN | 192.168.0.10 | 80 | AW-UE150A | 01-CENTER | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C002 | LAN | 192.168.0.11 | 80 | AW-UE160 | 04-UP | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C003 | LAN | 192.168.0.15 | 80 | AW-UE150 | 03-DOWN | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C004 | LAN | 192.168.0.14 | 80 | AW-UE160 | 05-RIGHT | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C005 | LAN | 192.168.0.12 | 80 | AW-UE160 | 02-LEFT | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C006 | No Assign | | | | | | | | |
| C007 | No Assign | | | | | | | | |
| C008 | No Assign | | | | | | | | |
| C009 | No Assign | | | | | | | | |
| C010 | No Assign | | | | | | | | |

(例1) 上書き禁止モード[No Overwrite]でC001～C010のカメラを一括設定

- [Assignment Mode]を[No Overwrite]、[Starting Camera No.]をC001、[Ending Camera No.]をC010、[Starting IP Address]を192.168.0.10と設定する(その他の設定は下記参照)

CAM No. Auto Assignment

| | |
|--|---|
| CAM No. Auto Assignment | |
| Assignment Mode | <input checked="" type="radio"/> No Overwrite <input type="radio"/> Overwrite |
| Starting Camera No. | C001 |
| Ending Camera No. | C010 |
| Starting IP Address | 192.168.0.10 |
| Port | 80 |
| Control Type | LAN |
| User ID & Password | |
| User ID | admin |
| Password | ***** |
| <input type="button" value="Execute"/> <input type="button" value="Cancel"/> | |

- [Execute]を実行すると、Aの画面で下記のようになり、設定内容が本機に保存される(変化点は黄色表示)

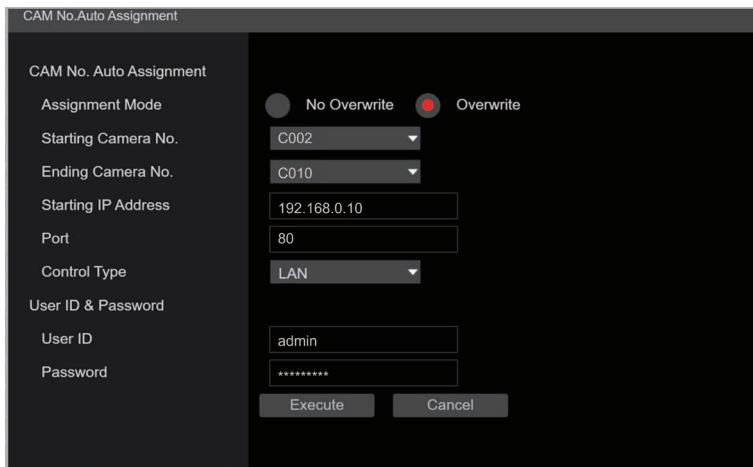
(C001～C005はすでに登録済みのため、C006から連番設定開始。C001～C005で使用されているIPアドレスは避けて設定される)

| Camera Assignment | | | | | | | | | |
|-------------------|--------------|--------------|------|-----------|-----------|------|------|-------------------|--------------|
| CAM No. | Control Type | IPv4 Address | Port | Model | Title | Type | DHCP | Mac Address | Auth Setting |
| C001 | LAN | 192.168.0.10 | 80 | AW-UE150A | 01-CENTER | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C002 | LAN | 192.168.0.11 | 80 | AW-UE160 | 04-UP | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C003 | LAN | 192.168.0.15 | 80 | AW-UE150 | 03-DOWN | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C004 | LAN | 192.168.0.14 | 80 | AW-UE160 | 05-RIGHT | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C005 | LAN | 192.168.0.12 | 80 | AW-UE160 | 02-LEFT | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C006 | LAN | 192.168.0.13 | 80 | AW-UE160 | AW-UE160 | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C007 | LAN | 192.168.0.16 | 80 | AW-UE160 | AW-UE160 | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C008 | LAN | 192.168.0.17 | 80 | AW-UE160 | AW-UE160 | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C009 | LAN | 192.168.0.18 | 80 | AW-UE160 | AW-UE160 | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C010 | LAN | 192.168.0.19 | 80 | AW-UE160 | AW-UE160 | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |

Web画面からの設定(つづき)

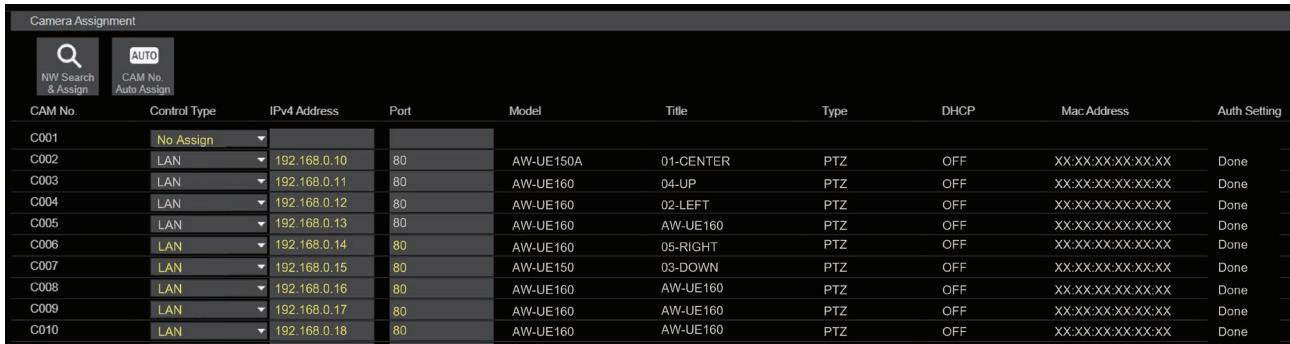
(例2) 上書きモード[Overwrite]でC002～C010のカメラを一括設定

1. [Assignment Mode]を[Overwrite]、[Starting Camera No.]を[C002]、[Ending Camera No.]を[C010]、[Starting IP Address]を192.168.0.10と設定する(その他の設定は下記参照)



2. [Execute]を実行すると、Aの画面で下記のようになり、設定内容が本機に保存される(変化点は黄色表示)

(C002から順番にIPアドレスとカメラ番号を設定。C001はすでに登録済みだったが、192.168.0.10がC002に上書きされたため、[No Assign]となる)



| CAM No. | Control Type | IPv4 Address | Port | Model | Title | Type | DHCP | Mac Address | Auth Setting |
|---------|--------------|--------------|------|-----------|-----------|------|------|-------------------|--------------|
| C001 | No Assign | | | | | | | | |
| C002 | LAN | 192.168.0.10 | 80 | AW-UE150A | 01-CENTER | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C003 | LAN | 192.168.0.11 | 80 | AW-UE160 | 04-UP | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C004 | LAN | 192.168.0.12 | 80 | AW-UE160 | 02-LEFT | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C005 | LAN | 192.168.0.13 | 80 | AW-UE160 | AW-UE160 | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C006 | LAN | 192.168.0.14 | 80 | AW-UE160 | 05-RIGHT | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C007 | LAN | 192.168.0.15 | 80 | AW-UE150 | 03-DOWN | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C008 | LAN | 192.168.0.16 | 80 | AW-UE160 | AW-UE160 | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C009 | LAN | 192.168.0.17 | 80 | AW-UE160 | AW-UE160 | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |
| C010 | LAN | 192.168.0.18 | 80 | AW-UE160 | AW-UE160 | PTZ | OFF | XX:XX:XX:XX:XX:XX | Done |

Macro

■ Macro Edit

本機で実行するマクロを編集することができます。

マクロ機能についての概要は「マクロ機能について」(33ページ)を参照してください。

マクロの編集方法については以下の2種類があります。

(1) 本機のWeb画面の[Macro Edit]から編集する方法

(2) ユーザー自身でファイルを編集する方法

以下では、(1)の方法について紹介します。(2)については、当社の下記ページより「【RP200】マクロ仕様書」を参照してください。

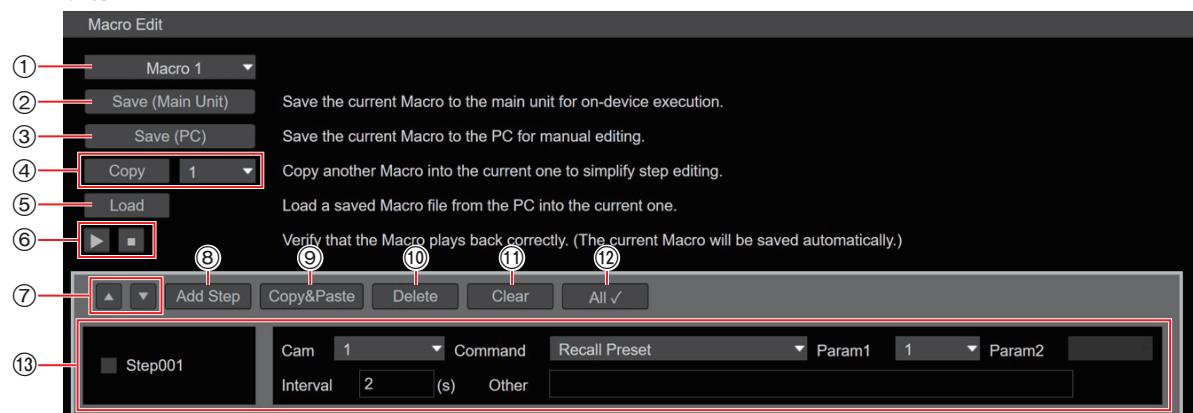
(日本語)

<https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/guide/JP/top.html>

(英語)

<https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/guide/EN/top.html>

● UI仕様



設定関連

① マクロ番号

設定するマクロ番号をプルダウンより選択します。

番号を変更したタイミングで本機内のデータを読み込みます。

※マクロ番号変更前のマクロが、編集後保存されていない場合は破棄して問題ないかポップアップが出ます。

② Save (Main Unit)

設定中のマクロを本機の該当のマクロ番号に保存します。本設定を実施しないと本機から該当マクロを実行できません。

※必要項目が入力されていないStepがある場合は警告文が出ます。

③ Save (PC)

設定中のマクロをPCのダウンロードフォルダーに保存します。ご自身でファイルを直接編集されたい場合に使用します。

※必要項目が入力されていないStepがある場合は警告文が出ます。

④ Copy

コピーしたいマクロ番号を[Copy]で選択して、現在の編集中のマクロ番号(①)にコピー展開します。

すでに編集中の場合は、編集中のマクロを破棄して問題ないかポップアップが出ます。

⑤ Load

PCから現在編集中のマクロ番号(①)にマクロファイルを読み込みます。(本機または別の本体で、③で保存したファイルが対象になります)

⑥ ▶ (マクロの再生)・■ (マクロの停止)

表示しているマクロの再生・停止を行います。(マクロ動作確認用)

マクロの再生を行うことで本機に自動的に編集中のマクロが保存されます。

⑦ △ (上)・▼ (下)

“✓”の入っているStepを上下に移動します。

連続する複数のStepをまとめて移動することも可能です。

⑧ Add Step

“✓”の入っているStepの上に新規のStepを追加します。

※複数のStepにチェックが入っている場合は一番上のStepの上に追加します。

“✓”の入っているStepが1つもない場合は一番下に追加します。

※Step数がすでに最大の場合はエラーを表示します。(最下段のStepが未入力の場合は、これを削除して指定箇所に新規Stepを追加します)

Web画面からの設定(つづき)

⑨ Copy & Paste

“✓”の入っているStepをコピーして、すぐ次のStep番号に貼り付けます。

連続する複数のStepをまとめてコピーして、“✓”が入っている一番下のStep以降に貼り付けることも可能です。

※貼り付け後に、Step数が最大を超える場合はエラーを表示します。

⑩ Delete

“✓”の入っているStepをすべて削除し、Step番号を詰めます。

⑪ Clear

“✓”の入っているすべてのStepの[Cam]、[Command]、[Param1]、[Param2]、[Interval]、[Other]を削除します。

⑫ All ✓

すべてのStepにチェックを入れます。

1つでも“✓”が入っているStepがある場合は、すべてのチェックを外します。

⑬ ステップ・シーケンス関連

● Cam

1～200：本機で設定されているカメラ番号に対応します。

SELECTED：固定のカメラ番号ではなく、実行時に選択されているカメラに対して通信します。

● Command

プルダウン形式で選択します。選択肢は「対応コマンド表」を参照してください。

● Param

プルダウン形式で選択します。選択肢は「対応コマンド表」を参照してください。

パラメーターが不要な[Command]が選択されている場合は入力できなくなります。

● Interval

コマンドを送信したあとの次のStep開始までの待ち時間を秒単位で入力します。

設定範囲は整数で0～36000秒

※同一カメラに連続してStepを作る(コマンドを連続して送る)場合、0以外を設定してください。

● Other

ユーザーが送信するコマンドを直接入力します。([Command]で[Other Commands]が選択されているときのみ有効化されます)

パラメーターまで含めて送信する内容をそのまま入力します。

詳細は「【RP200】マクロ仕様書」を参照してください。

対応コマンド表

| Command | [Param1]表示値 | [Param2]表示値 | 備考 |
|--------------------|-------------------|------------------|--|
| AWB | — | — | |
| Pan Speed Control | LEFT, STOP, RIGHT | 1～49 (STOPのときは0) | |
| Tilt Speed Control | UP, STOP, DOWN | 1～49 (STOPのときは0) | |
| Zoom Speed Control | TELE, STOP, WIDE | 1～49 (STOPのときは0) | |
| Recall Preset | 1～100 | — | |
| Preset Speed | 1～30 | — | |
| Preset Time | 1s～99s | — | |
| Preset Speed Table | SLOW, FAST | — | |
| Wait User Trigger | — | — | メインLCD上で都度次Stepを実行するか、スキップをするか確認時に使用 |
| Recall Macro | 1～100 | — | 1つのマクロの中で自身を含む他のマクロの呼び出し時に使用(1つのマクロの中に呼び出せるマクロは1つのみ) |
| Other Commands | | | |

● 使用方法

1. ⑬のステップで以下を実施します

- ・コマンドを送るカメラ番号を選択
- ・使用したいコマンドを選択
- ・コマンドに応じたパラメーターを選択
- ・次のStep開始までの待ち時間を設定

このとき、カメラ番号を指定せずにコマンドのシーケンスのみを組みたい場合は、[Cam] で [SELECTED] を選択してください。

この場合は、マルチセレクトスイッチ等で現在選択されているカメラに対してマクロで設定されている一連のシーケンスを実施します。マクロはユーザーボタンにもアサイン可能なので、ユーザーボタンの拡張としても使用可能です。

ユーザーボタンへの割り当て方法としては、「本機の操作のカスタマイズ」(34ページ) を参照してください。

また、コマンドの送信順は決まっているが、送信タイミングが決まっていない場合は、メインLCD上でコマンドの送信タイミングを決定することも可能です。

この場合は、[Command] で [Wait User Trigger] を選択してください。マクロ実行中は下記のようなポップアップがメインLCD上に表示され、コマンドの送信タイミングを自由に決められます。



2. マクロが完成したら、[Save (Main Unit)] (②) で本体に保存してください。これにより、本体からマクロを操作することが可能です。

マクロの実行方法については、「マクロ機能について」(33ページ) を参照してください。⑥でマクロをプレビューすることも可能です。

Video Input over IP

■ NDI High Bandwidth

NDIの映像受信設定を行います。

● Status Information

NDI映像受信の以下のステータス表示を行います。

| Status Information | |
|----------------------|------------|
| Source | |
| Device Name | |
| Source Name | |
| Stream | |
| Format | No Signal |
| Sampling Rate | 0 |
| Audio Channel | 0 |
| Frame Data | - |
| Status | Not Detect |
| Settings | |
| Protocol | RUDP |
| Group | Disable |
| Group Name | |
| Use Discovery Server | Disable |
| Discovery Server IP | |

● Source

Device Name : 入力信号のデバイス名を表示します

Source Name : 入力信号のソース名を表示します

● Stream

| | |
|---------------|---|
| Format | 入力されている NDI 信号の映像フォーマット情報を表示します。 |
| Sampling Rate | 入力されている NDI 信号のサンプルレート情報を表示します。 |
| Audio Channel | 入力されている NDI 信号のサラウンド情報を表示します。 |
| Frame Data | 入力されている NDI 信号の色情報を表示します。 |
| Status | <p>Detect : 本機のシステムフォーマットに適合した入力信号フォーマットです。</p> <p>Unsupported : 本機のシステムフォーマットに適合していない入力信号フォーマットです。</p> <p>Not Detect : 本機に映像信号が入力されていません。</p> |

● [Settings] に関しては、後述の「Source Select Settings」参照

● Source Select

[Scan] の実行で、ソースの一覧が表示されます。

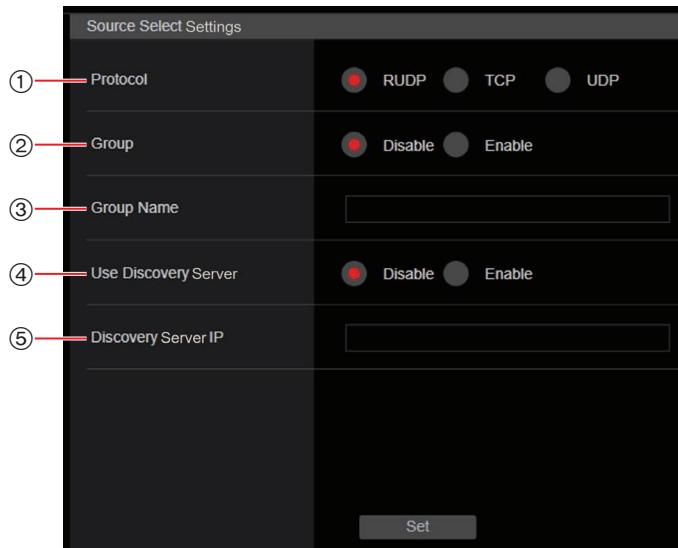
受信したいソースの [Select] を選択してください。

| Source Select | | |
|-------------------------|--------------------|----------|
| Scan | | |
| Device Name | IP Address | Status |
| none | | Select |
| AV-HSW10 (NDI Device 1) | 192.168.0.210:5961 | - Select |

NOTE

- その他映像受信に関する本機の設定は、「本機の映像入出力とそれを用いた機能」(66ページ) を参照してください。

● Source Select Settings



① Protocol

NDI受信プロトコルを設定します。

- **RUDP** : NDI送出機器とのプロトコルをRUDPに設定します。
- **TCP** : NDI送出機器とのプロトコルをTCPに設定します。
- **UDP** : NDI送出機器とのプロトコルをUDPに設定します。

② Group

NDIのsender/receiverがそれぞれ属するグループを設定することで、機器探索時に探索対象となるグループを指定することができます。

グループの指定は、カンマ区切りで複数の設定をすることも可能です。

- **Enable** : グループ探索機能を有効にします。
- **Disable** : グループ探索機能を無効にします。

③ Group Name

グループ名称を入力します。

④ Use Discovery Server

NDI素材の自動探索機能を、外部サーバーが一元登録できるように設定することができます。大量のNDI素材がネットワーク上に存在していて、トラフィックが増大することを避けたい場合や、マルチキャスト通信が不可能、または望ましくない場合にこの設定を行うと効果的です。

- **Enable** : 外部サーバー設定を有効にします。
- **Disable** : 外部サーバー設定を無効にします。

⑤ Discovery Server IP

外部サーバーの設定のIPアドレスを入力します。

■ SRT

SRTの映像受信設定を行います。

● Status Information

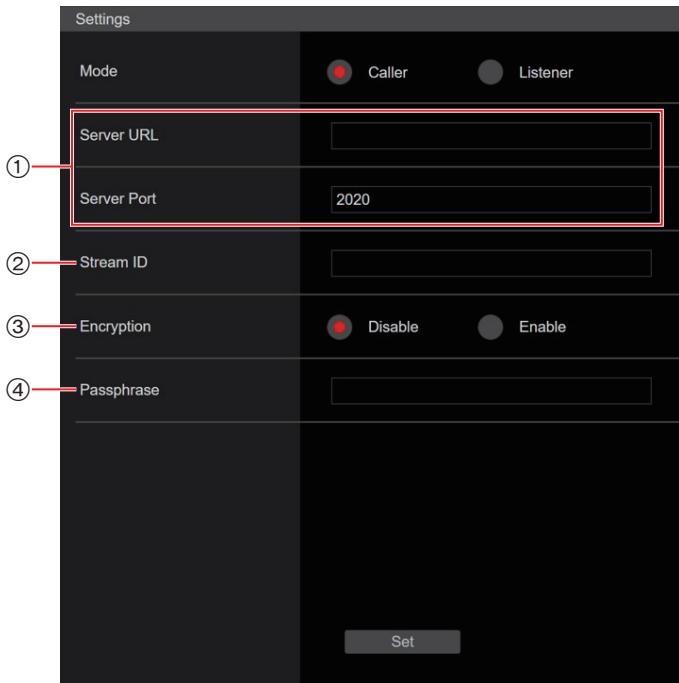
| Status Information | |
|--------------------|------------|
| Stream | |
| Format | No Signal |
| Sampling Rate | 0 |
| Audio Channel | 0 |
| Codec | - |
| Level | - |
| Status | Not Detect |
| Settings | |
| Mode | Caller |
| Server URL | |
| Server Port | 2020 |
| Stream ID | |
| Encryption | Disable |

● Stream

| | |
|---------------|---|
| Format | 入力されているSRT信号の映像フォーマット情報を表示します。 |
| Sampling Rate | 入力されているSRT信号のサンプルレート情報を表示します。 |
| Audio Channel | 入力されているSRT信号のサウンド情報を表示します。 |
| Codec | 入力されているSRT信号の圧縮形式情報を表示します。 |
| Level | H.264/H.265の解像度やフレームレートの上限を示すレベルを表示します。 |
| Status | <p>Detect : 本機のシステムフォーマットに適合した入力信号フォーマットです。</p> <p>Unsupported : 本機のシステムフォーマットに適合していない入力信号フォーマットです。</p> <p>Not Detect : 本機に映像信号が入力されていません。</p> |

- [Settings]に関しては、後述の「Settings」参照

● Settings



● [Caller] の場合

① Server URL・Server Port

サーバー URL および配信元のポート番号を設定します。

② Stream ID

Stream ID を設定します。

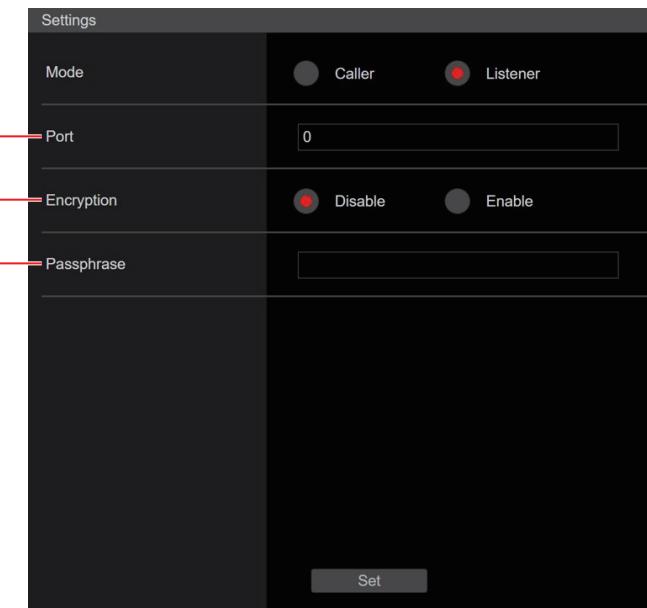
③ Encryption

受信される映像の暗号化方式を設定します。

- Disable : 受信した映像を復号しません。非暗号の映像を取り扱います。
- Enable : 受信した映像を復号します。

④ Passphrase

受信した映像を復号するためのフレーズを設定します。



● [Listener] の場合

① Port

本機の待ち受けポート番号を設定します。

② Encryption

受信される映像の暗号化方式を設定します。

- Disable : 受信した映像を復号しません。非暗号の映像を取り扱います。
- Enable : 受信した映像を復号します。

③ Passphrase

受信した映像を復号するためのフレーズを設定します。

NOTE

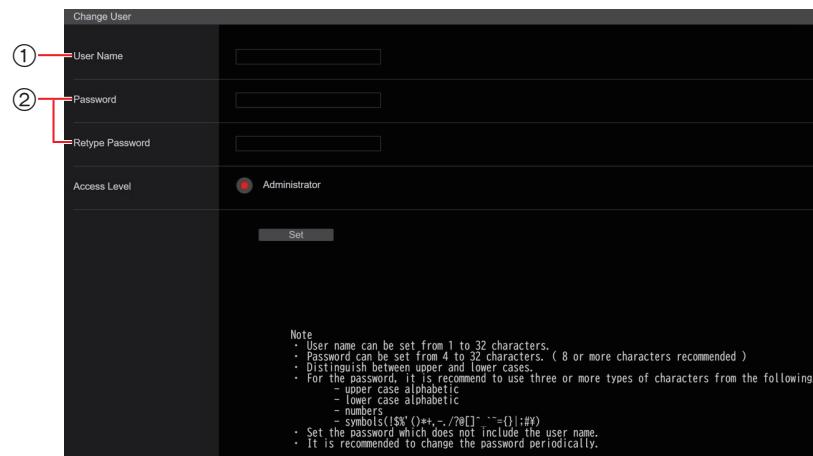
- その他映像受信に関する本機の設定は、「本機の映像入出力とそれを用いた機能」(66ページ) を参照してください。

Access Management

■ User Authentication

パソコン用コンピューターから本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。

● Change User



Change User

① User Name

② Password

Retype Password

Access Level Administrator

Note

- User name can be set from 1 to 32 characters.
- Password can be set from 4 to 32 characters. (8 or more characters recommended)
- Distinguish between upper and lower cases.
- For the password, it is recommended to use three or more types of characters from the following.
 - upper case alphabetic
 - lower case alphabetic
 - numbers
 - symbols ([\$%^()*/-./@[]{}:_{}];#`)
- Set the password which does not include the user name.
- It is recommended to change the password periodically.

Set

① User Name

(半角1～32文字)

ユーザー名を入力します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

● 使用可能な文字は次の通りです。

| | |
|-------------------|--|
| 半角数字 | 123456789 |
| 半角英字 (大文字／小文字) | ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz |
| 半角記号 | !\$%^()*/-./@[]{}:_{};#` |

② Password

Retype Password

(半角4～32文字)

パスワードを入力します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

RP200 Network

■ Network

本機のネットワーク設定を行います。

● Setting Status

本機で有効となっているネットワーク設定 (IPv4) 情報を確認できます。

| Setting Status | |
|------------------|---------------|
| LAN | |
| IPv4 | |
| IP Address(IPv4) | 192.168.0.9 |
| Subnet Mask | 255.255.255.0 |
| Default Gateway | 192.168.0.1 |

Web画面からの設定(つづき)

● LAN

本機のネットワーク設定(IPv4)を行います。

| IPv4 Network | |
|------------------|---|
| DHCP | <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off |
| IP Address(IPv4) | 192.168.0.9 |
| Subnet Mask | 255.255.255.0 |
| Default Gateway | 192.168.0.1 |
| Set | |

以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ(ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合)
- HTTP ポート

IPv4 Network

DHCP [On, Off]

IP アドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

IP Address(IPv4)

DHCP 機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パソコン用コンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.9

NOTE

- DHCP 機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCP サーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet Mask

DHCP 機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default Gateway

DHCP 機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

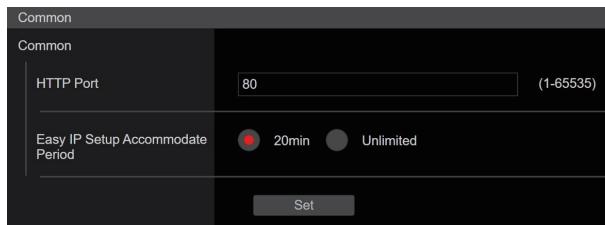
工場出荷時の設定: 192.168.0.1

NOTE

- DHCP 機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCP サーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

● Common

本機のネットワーク設定 (HTTP Port・Easy IP関連設定)を行います。



| | |
|----------------------------------|--|
| Common | Common |
| HTTP Port | 80 (1-65535) |
| Easy IP Setup Accommodate Period | <input checked="" type="radio"/> 20min <input type="radio"/> Unlimited |
| Set | |

HTTP Port [1 ~ 65535]

ポート番号を個別に割り当てます。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、
7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定：80

Easy IP Setup Accommodate Period

[20min, Unlimited]

当社統合ソフトウェア (Media Production Suite) のEasyIP機能からネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから [20min] / [Unlimited] のどちらかに設定します。

| | |
|-----------|---|
| 20min | Media Production SuiteのEasyIP Setup Tool Plus機能での設定操作を、本機起動後20分間のみ有効にします。 |
| Unlimited | Media Production SuiteのEasyIP Setup Tool Plus機能での設定操作を常時有効にします。 |

工場出荷時の設定：20min

Maintenance

■ System Log

本機の内部メモリーに最大1000件のイベントログと最大100件のエラーログを保存できます。
保存できるログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。本機の電源を切っても、ログは保存されます。

| System Log | | | | |
|------------|-------------|----------------|------------|-------------|
| System Log | | Event Log | Execute | |
| No. | Date & Time | Operation Time | Event Code | Description |
| | | | | |

イベントログ

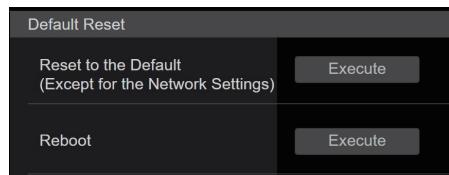
| イベントコード | Web表示説明文 | 意味 |
|---------|--|------------------------------|
| W0001 | <Power> System start. | 本機が起動を開始した場合に表示されます。 |
| W0005 | <Power> PoE++ (Hardware) is working. | PoE++給電がハード的に確認できた場合に表示されます。 |
| W0006 | <Power> PoE++ (Software) is working. | PoE++給電のソフト認証が完了した場合に表示されます。 |
| W0007 | <Power> PoE+ (Hardware) is working. | PoE+給電がハード的に確認できた場合に表示されます。 |
| W0008 | <Power> PoE+ (Software) is working. | PoE+給電のソフト認証が完了した場合に表示されます。 |
| W0100 | <System> Reached the processing limit. [CPU No] | CPU使用率が上限に達した場合に表示されます。 |
| W1003 | <Maintenance> Succeeded OSD Menu initialization. | メニュー初期化が成功した場合に表示されます。 |
| W1005 | <Maintenance> Succeeded firmware update. | ファームウェアアップデートが成功した場合に表示されます。 |
| W1006 | <Maintenance> Backup firmware is working. | ファームウェアアップデートが失敗した場合に表示されます。 |
| W1008 | <Maintenance> Reboot. | 再起動した場合に表示されます。 |
| W1009 | <Maintenance> Succeeded configuration data upload. | 設定データアップロードが成功した場合に表示されます。 |
| W1203 | <Date&time> Date&time exchanged. | 日付時刻を設定した場合に表示されます。 |
| W1300 | <Stream> NDI Start. [IP address] | NDIの受信を開始した場合に表示されます。 |
| W1301 | <Stream> NDI Stop. [IP address] | NDIの受信を停止した場合に表示されます。 |
| W1302 | <Stream> SRT Start. [IP address] | SRTの受信を開始した場合に表示されます。 |
| W1303 | <Stream> SRT Stop. [IP address] | SRTの受信を停止した場合に表示されます。 |

エラーログ

| エラーコード | Web表示説明文 | 意味 |
|--------|----------------------------------|----------------------------------|
| 0x01 | System crash(EVM) | プロセスの異常終了を検知しました。 |
| 0x02 | System crash(OPM) | プロセスの異常終了を検知しました。 |
| 0x03 | System crash(RSC) | プロセスの異常終了を検知しました。 |
| 0x04 | System crash(CGW) | プロセスの異常終了を検知しました。 |
| 0x05 | System crash(STM) | プロセスの異常終了を検知しました。 |
| 0x06 | System crash(VDC) | プロセスの異常終了を検知しました。 |
| 0x07 | System crash(SYS) | プロセスの異常終了を検知しました。 |
| 0x08 | System crash(MCR) | プロセスの異常終了を検知しました。 |
| 0x09 | System crash(Other) | プロセスの異常終了を検知しました。 |
| 0x20 | PoE++ Software auth. Error | PoE++のソフト認証が完了しません。 |
| 0x25 | Fan error | ファンが故障している可能性があります。 |
| 0x26 | High Temp | 機体が高温になっています。 |
| 0x27 | Low Temp | 機体が低温になつていて凍り付いている可能性があります。 |
| 0x30 | Update Firmware Error | アップデートファイルが正しくない可能性があります。 |
| 0x36 | Video clock error at 148.35 MHz. | 59.94 Hz系の映像クロックが故障している可能性があります。 |
| 0x37 | Video clock error at 148.50 MHz. | 50 Hz系の映像クロックが故障している可能性があります。 |

■ Reset/Reboot

本機の設定内容の初期化や再起動が行えます。



Reset to the Default (Except for the Network Settings)

[Execute] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。
初期化動作を行うと、本機を再起動しますので、約 1 分間は操作できません。

NOTE

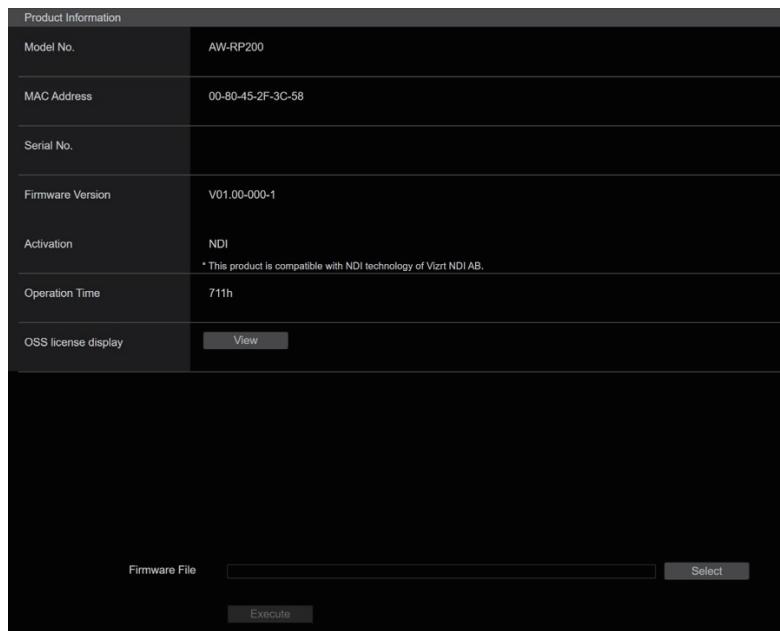
- ネットワーク関連の設定項目は初期化されません。

Reboot

[Execute] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。
再起動後は、本機の電源を ON したときと同様、約 1 分間操作できません。

■ Product Information

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。[Model No.]、[MAC Address]、[Serial No.]、[Firmware Version]など本機の各情報が表示されます。



Model No.

本機の品番が表示されます。

MAC Address

本機のMACアドレスが表示されます。

Serial No.

本機の製造番号が表示されます。

Firmware Version

本機のシステム全体のバージョンを表示します。

Activation

アクティベーションされている機能についての情報が表示されます。

Operation Time

本機が動作した時間を表示します。

OSS license display

[View] ボタンを押すと、OSSライセンスを表示します。

OSSライセンスの表示画面を閉じるときは [Close] ボタンを押してください。

Firmware File

ファームウェアのバージョンアップを行います。

バージョンアップの方法については、以下を参照してください。

ファームウェアバージョンアップ方法

1. 最新のファームウェアをパーソナルコンピューターにダウンロードする。

NOTE

- 保存ディレクトリ名とダウンロードしたソフトウェア名を合わせて、250文字以内にしてください。
- バージョンアップ用ソフトウェアは、下記のWebサイトの「サポート&ダウンロード」から入手することができます。

(日本語)

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/proav>

(英語)

<https://pro-av.panasonic.net/en/>

アップデートの手順は、ダウンロードサイトに掲載されている手順書も参照して行ってください。

2. [Select] ボタンをクリックして、ダウンロードしたソフトウェアを指定する。

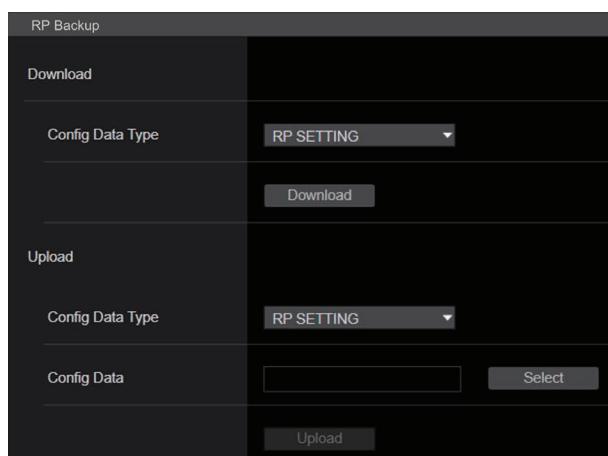
3. [Execute] ボタンをクリックする。

バージョンアップ実行の確認画面が表示されます。

バージョンアップを行ったあとは、必ずインターネット時ファイルを削除してください。

■ RP Backup

本機の設定をパーソナルコンピューターに保存したり、パーソナルコンピューターに保存してある設定を本機に適用することができます。データの種類については、「各種データのバックアップについて」(71ページ)を参照してください。



Download

Config Data Type

本機の設定をパーソナルコンピューターに保存する際の設定データの種別を指定します。

Download

本機の設定をパーソナルコンピューターに保存します。
[Download] ボタンを押すとダウンロードが始まります。

NOTE

- 本機の状態によっては、設定ファイルをダウンロードできないことがあります。

Upload

Config Data Type

パーソナルコンピューターに保存した設定データを本機に反映するときの、設定データの種別を指定します。

Upload

ダウンロード機能でパーソナルコンピューターに保存した本機の設定ファイルをアップロードします。

[Select] ボタンをクリックしてダイアログ画面を表示し、保存したファイルを指定します。

[Upload] ボタンをクリックするとメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。

NOTE

- アップロードに使用するデータは、本機でダウンロードしたファイルを使用してください。
- ダウンロード／アップロード中は、本機の電源を切らないでください。
- ダウンロード／アップロード中は、ダウンロード／アップロードが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- カメラの設定ファイルの場合、アップロード完了ダイアログ画面が表示されるまで約1分かかります。

メッセージ一覧

■ アラーム表示

本機では、本機および接続されたカメラのアラーム表示に対応しています。

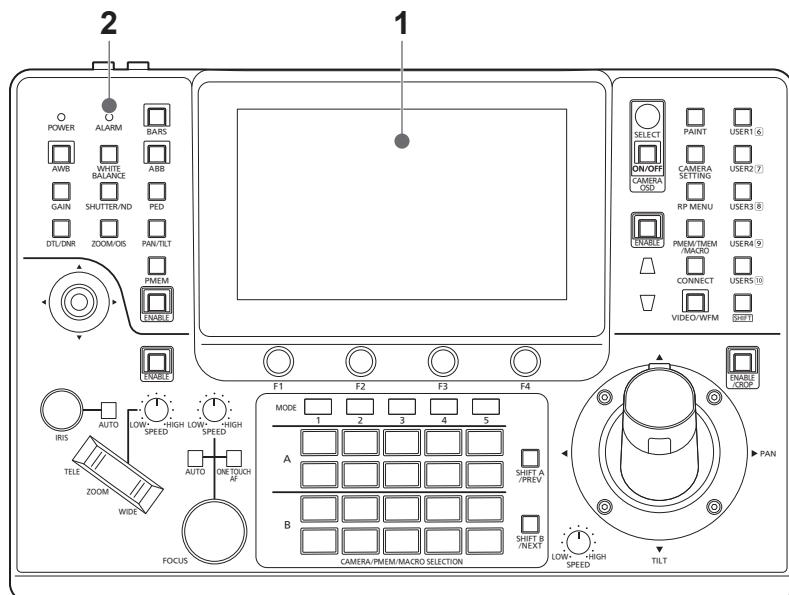
アラーム発生時は、

- メインLCD (1) 上に赤字でアラーム表示（「ステータス画面」（30ページ）も参照してください）
- アラーム発生が本機の場合は、[RP MENU]>[MAINTENANCE]>[ALARM1]～[ALARM4]に内容を表示
- アラーム発生がカメラの場合は、[CAMERA SETTING]>[MAINTENANCE]>[ALARM1]～[ALARM5]に内容を表示
- ALARM ランプ [ALARM] (2) が赤点灯

となります。

なお、メインLCD 上での表示は1つのみとなり、2つ以上発生している場合は末尾に「+」が表示されます。詳細は上記メニュー内のALARMをご確認ください。

| | メインLCD 上の表示 | メニュー画面での表示 | 発生内容 |
|------------|---------------|--------------|---|
| 本機でアラーム発生 | [RP]PoE POWER | PoE POWER | ソフト認証を使用して、本機にPoEで電源供給の際に、スイッチングハブ等から本機の定格未満かつ25W以上の電力要求がきた場合に表示されます。PoE++対応品をご使用ください。 |
| | [RP]FWUP FAIL | FWUP FAIL | 本機のファームウェアアップデート中に電源断等でアップデートが失敗に終わって起動した場合に表示されます。再度ファームウェアのアップデートをお願いします。 |
| | [RP]FAN | FAN | 本機のファンにエラーが発生している場合に表示されます。販売店にご相談ください。 |
| | [RP]H.TEMP | HIGH TEMP | 本機が高温状態の場合に表示されます。涼しい環境でご使用ください。 |
| | [RP]VIDEO FMT | VIDEO FORMAT | 本機が対応していないフォーマットの映像が入力された、または[RP MENU]>[BASIC CONFIG]>[VIDEO FREQ]の設定周波数が入力映像と異なる場合に表示されます。詳細は「本運用の前に」（25ページ）を参照してください。 |
| カメラでアラーム発生 | [CAM]FAN | FAN | 接続されているカメラのファンにエラーが発生している場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。 |
| | [CAM]H.TEMP | HIGH TEMP | 接続されているカメラが高温状態の場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。 |
| | [CAM]LENS | LENS | 接続されているカメラのレンズにエラーが発生している場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。 |
| | [CAM]PAN/TILT | PAN/TILT | 接続されているカメラのパン・チルト駆動部にエラーが発生している場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。 |
| | [CAM]TEMP SEN | TEMP SENSOR | 接続されているカメラの温度センサーが壊れている可能性がある場合に表示されます。詳細はカメラの取扱説明書をご確認ください。 |



トラブルシューティング

| 症 状 | 原因・対策 | 参照ページ |
|---|---|-------------------|
| 本機の電源が入らない | ● 外部DC電源は動作していますか？ | — |
| | ● 外部DC電源のDCプラグは本機に確実に接続されていますか？ | — |
| ご購入後、最初に電源を投入したときにポップアップが表示される | ● 最初に本機に入力する映像の周波数を設定する必要があります。 | P.25 |
| ALARMランプが赤点灯し、メインLCDに「[RP]PoE POWER」のアラーム表示がされる | ● PoE++対応のインジェクターまたはイーサネットハブを使用されていますか？ | P.9～P.10 P.140 |
| ALARMランプが赤点灯し、メインLCDには何も表示されない | ● PoE++対応のインジェクターまたはイーサネットハブを使用されていますか？ | P.9～P.10 |
| リモートカメラの操作ができない | ● リモートカメラの電源は確実に接続されていますか？ | — |
| | ● リモートカメラと本機は正しく接続されていますか？ | P.20～P.24 |
| | ● 接続設定は正しいですか？ | P.40～P.46 |
| | ● リモートカメラがスタンバイ状態になっていませんか？ → リモートカメラの電源を入れてください。 | P.69 |
| | ● リモートカメラは正しく選択されていますか？ | P.48 |
| | ● ENABLEボタンは点灯していますか？ | P.11～P.15 |
| | ● リモートカメラでユーザー認証が設定されている場合、本機との接続時に、リモートカメラのユーザー名とパスワードを本機に設定していますか？ | P.118 |
| R-ジョイスティックの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く | ● リモートカメラに設置方法の設定はされていますか？ → 設置状態（据え置き／吊り下げ）に応じて設定を行う必要があります。 リモートカメラの取扱説明書を参照してください。 | — |
| | ● 本機で動作方向を正しく設定していますか？ | P.37 |
| L-ロッカー、FOCUSダイヤルの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く | ● 本機で動作方向を正しく設定していますか？ | P.37 |

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品[8年]

当社では、リモートカメラコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス(保守・点検)

定期メンテナンス(保守・点検)は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

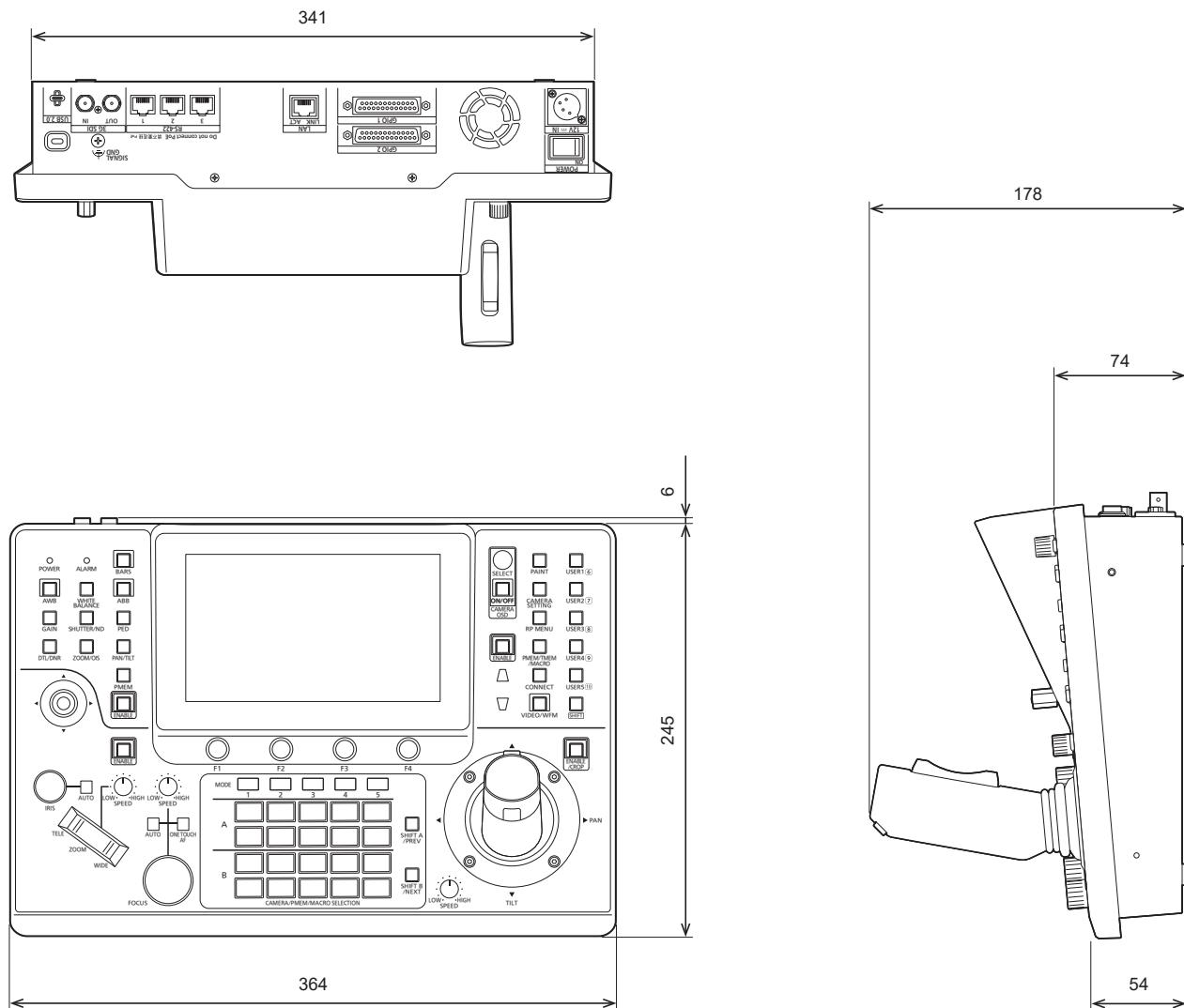
■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

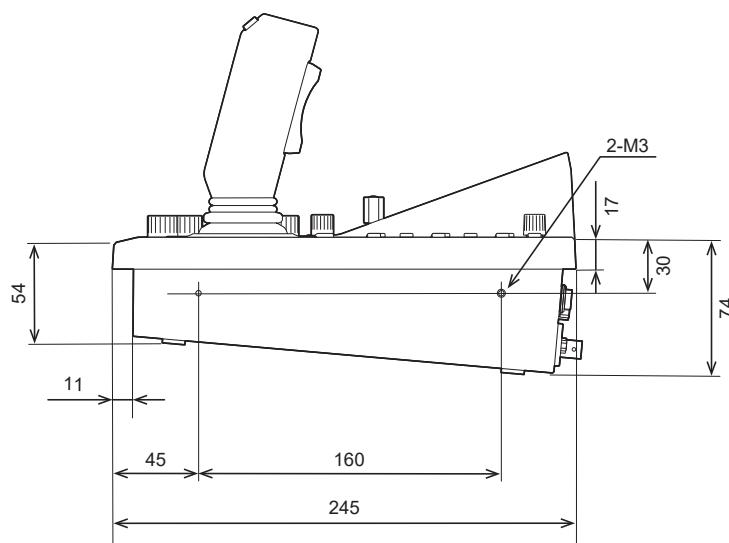
| ご連絡いただきたい内容 | |
|-------------|----------------|
| 品名 | リモートカメラコントローラー |
| 品番 | AW-RP200G |
| 製造番号 | |
| お買い上げ日 | |
| 故障の状況 | |

外形寸法図

単位: mm



● マウントアングル取り付け位置



定格

| | |
|------|---|
| 電源電圧 | ： DC (==) 12 V (10.8 V - 17.0 V) DC (==) 42 V - 57 V (PoE++給電) |
| 消費電流 | ： 3 A (DC12 V給電) 1 A (PoE++給電) |

□は安全項目です。

■ 総合

| | |
|---|--------------------|
| 動作周囲温度 | ： 0 ℃～40 ℃ |
| 許容湿度 | ： 20%～90% (結露なきこと) |
| 質量 | ： 約3.5 kg |
| 寸法 (幅×高さ×奥行)： 364 mm × 178 mm × 245 mm (突起部含まず) | |

■ 入出力端子

DC 12 V IN (XLR 4ピン)

| | |
|--------------------------|------------------------------|
| 3G SDI IN / 3G SDI OUT : | SMPTE424M / SMPTE292M / 75 Ω |
| 3G SDI IN | ： Level-A/B自動判定 |
| 3G SDI OUT | ： Level-Aのみに対応 |

| | |
|------------|--|
| 対応フォーマット : | 1080/59.94p, 1080/59.94i, 1080/29.97p, 1080/23.98p, 1080/50p, 1080/50i, 1080/25p |
|------------|--|

LAN (RJ-45) :

1000Base-T (IP制御・映像受信用LAN端子)

PoE++入力

接続ケーブル：LANケーブル、最大100 m

| | |
|-----------------------|--|
| ●スイッチングハブを経由して接続する場合： | ストレートケーブルまたは、クロスケーブル (カテゴリー5eケーブル)、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを推奨 |
| ●機器を直接接続する場合： | クロスケーブル (カテゴリー5eケーブル)、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを推奨 |

RS-422 (RJ-45) :

RS-422 (リモートカメラ用制御信号)

接続ケーブル：ストレートケーブル (カテゴリー5e以上のシールドケーブル)、最大1000 m

TALLY OUT : オープンコレクター出力 (負論理)、最大耐圧DC 24 V、最大電流50 mA

GPIO1 (D-sub 25ピン、メス、インチねじ) :

TALLY IN : 接点入力 (ステータス動作)

GPIO IN : 接点入力 (トリガ動作)

GPIO OUT : オープンコレクター出力 (負論理)、最大耐圧DC 24 V、最大電流50 mA

●メニューの設定により入力／出力を切り替え

GPIO 2 (D-sub 25ピン、メス、インチねじ) :

TALLY IN : 接点入力 (ステータス動作)

GPIO IN : 接点入力 (トリガ動作)

GPIO OUT : オープンコレクター出力 (負論理)、最大耐圧DC 24 V、最大電流50 mA

●メニューの設定により入力／出力を切り替え

USB2.0 (HOST) :

ファームウェアバージョンアップ・各種データバックアップ等に使用

Type-A × 1 : 定格5.0 V、0.5 A

Type-C × 1 : 定格5.0 V、0.5 A

本製品に表示の記号は以下を示しています。

== DC (直流)

外部機器の制御インターフェース

1. GPIO1・GPIO2 (JST製: JBY-25S-1A3F(LF)(SN))

MODEの切り替えについては、RP MENUボタン>[GPI TALLY]・[GPIO CAM SEL]・[GPO CAM GROUP]・[GPI PMEM]を参照してください。

| GPIO1 | | | | | |
|-------|---------------|--------------|-----------------------|--------------------------|--------|
| ピン番号 | 信号名 | 信号内容 | | | |
| | | MODE1 | MODE2 | MODE3 | |
| 13 | DSUB1_GPIO_1 | R_TALLY_IN1 | R_TALLY_IN1 | R_TALLY_IN1 | |
| 1 | DSUB1_GPIO_2 | R_TALLY_IN2 | R_TALLY_IN2 | R_TALLY_IN2 | |
| 25 | DSUB1_GPIO_3 | R_TALLY_IN3 | R_TALLY_IN3 | R_TALLY_IN3 | |
| 2 | DSUB1_GPIO_4 | R_TALLY_IN4 | R_TALLY_IN4 | R_TALLY_IN4 | |
| 14 | DSUB1_GPIO_5 | R_TALLY_IN5 | R_TALLY_IN5 | R_TALLY_IN5 | |
| 3 | DSUB1_GPIO_6 | R_TALLY_IN6 | R_TALLY_IN6 | R_TALLY_IN6 | |
| 4 | DSUB1_GPIO_7 | R_TALLY_IN7 | R_TALLY_IN7 | R_TALLY_IN7 | |
| 17 | DSUB1_GPIO_8 | R_TALLY_IN8 | R_TALLY_IN8 | R_TALLY_IN8 | |
| 5 | DSUB1_GPIO_9 | R_TALLY_IN9 | R_TALLY_IN9 | R_TALLY_IN9 | |
| 18 | DSUB1_GPIO_10 | R_TALLY_IN10 | R_TALLY_IN10 | R_TALLY_IN10 | |
| 6 | DSUB1_GPIO_11 | — | — | — | |
| 19 | DSUB1_GPIO_12 | G_TALLY_IN1 | PRESET_MEM_GROUP_IN_1 | CAMERA_GROUP1_SELECT_IN | |
| 7 | DSUB1_GPIO_13 | G_TALLY_IN2 | PRESET_MEM_GROUP_IN_2 | CAMERA_GROUP2_SELECT_IN | |
| 20 | DSUB1_GPIO_14 | G_TALLY_IN3 | PRESET_MEM_GROUP_IN_3 | CAMERA_GROUP3_SELECT_IN | |
| 8 | DSUB1_GPIO_15 | G_TALLY_IN4 | PRESET_MEM_GROUP_IN_4 | CAMERA_GROUP4_SELECT_IN | |
| 21 | DSUB1_GPIO_16 | G_TALLY_IN5 | MENU_ENABLE_BOTTON | CAMERA_GROUP5_SELECT_IN | |
| 9 | DSUB1_GPIO_17 | G_TALLY_IN6 | | | |
| 22 | DSUB1_GPIO_18 | | — | — | |
| 10 | DSUB1_GPIO_19 | G_TALLY_IN7 | GROUP_SELECT_OUT_1 | CAMERA_GROUP1_SELECT_OUT | |
| 23 | DSUB1_GPIO_20 | G_TALLY_IN8 | GROUP_SELECT_OUT_2 | CAMERA_GROUP2_SELECT_OUT | |
| 11 | DSUB1_GPIO_21 | G_TALLY_IN9 | GROUP_SELECT_OUT_3 | CAMERA_GROUP3_SELECT_OUT | |
| 24 | DSUB1_GPIO_22 | G_TALLY_IN10 | GROUP_SELECT_OUT_4 | CAMERA_GROUP4_SELECT_OUT | |
| 12 | DSUB1_GPIO_23 | | GROUP_SELECT_OUT_5 | CAMERA_GROUP5_SELECT_OUT | |
| 25 | GND *1 | GND *1 | GND *1 | GND *1 | GND *1 |
| 13 | DSUB1_GPIO_24 | ALARM | ALARM | ALARM | ALARM |

*1：25ピンのGNDは必ずシステムGNDに接続してください。(本機のGPIO1にはGNDは25ピンしかありません)

| GPIO2 | | 信号名 | 信号内容 | | |
|-------|-------------------|----------------------|---------------------|----------------------------|--|
| ピン番号 | MODE1 | MODE2 | MODE3 | | |
| 13 | DSUB2_GPIO_1 | CAMERA_SELECT_IN_1 | PRESET_SELECT_IN_1 | CAMERA_SELECT_BUTTON1_IN | |
| 14 | DSUB2_GPIO_2 | CAMERA_SELECT_IN_2 | PRESET_SELECT_IN_2 | CAMERA_SELECT_BUTTON2_IN | |
| 15 | DSUB2_GPIO_3 | CAMERA_SELECT_IN_3 | PRESET_SELECT_IN_3 | CAMERA_SELECT_BUTTON3_IN | |
| 16 | DSUB2_GPIO_4 | CAMERA_SELECT_IN_4 | PRESET_SELECT_IN_4 | CAMERA_SELECT_BUTTON4_IN | |
| 17 | DSUB2_GPIO_5 | CAMERA_SELECT_IN_5 | PRESET_SELECT_IN_5 | CAMERA_SELECT_BUTTON5_IN | |
| 18 | DSUB2_GPIO_6 | CAMERA_SELECT_IN_6 | PRESET_SELECT_IN_6 | CAMERA_SELECT_BUTTON6_IN | |
| 19 | DSUB2_GPIO_7 | CAMERA_SELECT_IN_7 | PRESET_SELECT_IN_7 | CAMERA_SELECT_BUTTON7_IN | |
| 20 | DSUB2_GPIO_8 | CAMERA_SELECT_IN_8 | PRESET_SELECT_IN_8 | CAMERA_SELECT_BUTTON8_IN | |
| 21 | DSUB2_GPIO_9 | CAMERA_SELECT_IN_9 | PRESET_SELECT_IN_9 | CAMERA_SELECT_BUTTON9_IN | |
| 22 | DSUB2_GPIO_10 | CAMERA_SELECT_IN_10 | PRESET_SELECT_IN_10 | CAMERA_SELECT_BUTTON10_IN | |
| 23 | DSUB2_GPIO_11 | — | — | — | |
| 24 | DSUB2_GPIO_12 | CAMERA_SELECT_OUT_1 | CAMERA_SELECT_IN_1 | CAMERA_SELECT_BUTTON1_OUT | |
| 25 | DSUB2_GPIO_13 | CAMERA_SELECT_OUT_2 | CAMERA_SELECT_IN_2 | CAMERA_SELECT_BUTTON2_OUT | |
| 26 | DSUB2_GPIO_14 | CAMERA_SELECT_OUT_3 | CAMERA_SELECT_IN_3 | CAMERA_SELECT_BUTTON3_OUT | |
| 27 | DSUB2_GPIO_15 | CAMERA_SELECT_OUT_4 | CAMERA_SELECT_IN_4 | CAMERA_SELECT_BUTTON4_OUT | |
| 28 | DSUB2_GPIO_16 | CAMERA_SELECT_OUT_5 | CAMERA_SELECT_IN_5 | CAMERA_SELECT_BUTTON5_OUT | |
| 29 | DSUB2_GPIO_17 | CAMERA_SELECT_OUT_6 | CAMERA_SELECT_IN_6 | CAMERA_SELECT_BUTTON6_OUT | |
| 30 | DSUB2_GPIO_18 | CAMERA_SELECT_OUT_7 | CAMERA_SELECT_IN_7 | CAMERA_SELECT_BUTTON7_OUT | |
| 31 | DSUB2_GPIO_19 | CAMERA_SELECT_OUT_8 | CAMERA_SELECT_IN_8 | CAMERA_SELECT_BUTTON8_OUT | |
| 32 | DSUB2_GPIO_20 | CAMERA_SELECT_OUT_9 | CAMERA_SELECT_IN_9 | CAMERA_SELECT_BUTTON9_OUT | |
| 33 | DSUB2_GPIO_21 | CAMERA_SELECT_OUT_10 | CAMERA_SELECT_IN_10 | CAMERA_SELECT_BUTTON10_OUT | |
| 34 | DSUB2_GPIO_22 | — | — | — | |
| 35 | DSUB2_GPIO_23 | | | | |
| 36 | GND ^{*1} | GND ^{*1} | GND ^{*1} | GND ^{*1} | |
| 37 | DSUB2_GPIO_24 | | | | |

*1: 25ピンのGNDは必ずシステムGNDに接続してください。(本機のGPIO2にはGNDは25ピンしかありません)

GPI OUTの接続例

次の条件を守ってください。

耐圧: 最大 DC 24 V

電流: 最大 50 mA

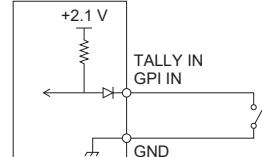
AW-RP200



TALLY IN、GPI INの接続例

接点入力を行ってください。

AW-RP200



2. 3G SDI OUT

BNC 75 Ω

SDI IN に入力された映像、またはIPで受信した映像を出力します。

- 本機の電源が入っていないと信号は、出力されません。

3. 3G SDI IN

BNC 75 Ω

[VIDEO/WFM] ボタンが点灯しているときに、入力した映像をメインLCDに表示します。(IP 映像受信を選択時は、その映像がメインLCDに表示されます)

4. RS-422 1 ~ 3 (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。

ストレートケーブル (カテゴリー 5e 以上のシールドケーブル) で接続してください。

| ピン番号 | 信号名 | 信号内容 |
|------|-------|-------------------|
| 1 | GND | フレームグランド |
| 2 | TALLY | タリー出力 (オープンコレクター) |
| 3 | TXD- | 送信データ (-) |
| 4 | RXD- | 受信データ (-) |
| 5 | RXD+ | 受信データ (+) |
| 6 | TXD+ | 送信データ (+) |
| 7 | NC | 未使用 |
| 8 | NC | 未使用 |

- TALLY (ピン番号 : 2) の仕様

耐圧 : 最大DC 24 V

電流 : 最大 50 mA

5. LAN (RJ-45)

1000BASE-T 準拠です。

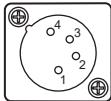
PoE++ 規格対応のネットワーク機器 (IEEE802.3bt 準拠) と接続できます。

6. 12V == IN (DC 12 V)

ITT キヤノン製 : XLR-4-32-F512

外部電源からのDC12 V 入力端子です。

入力電圧範囲 : 10.8 V - 17.0 V

|  | ピン番号 | 機能 |
|---|------|-------|
| | 1 | GND |
| | 2 | NC |
| | 3 | NC |
| | 4 | +12 V |

A

| | |
|---------------------------|-----|
| Access Management | 133 |
| User Authentication | 133 |

C

| | |
|---------------------------|-----|
| CAMERA SETTING | 87 |
| BASIC CONFIG | 87 |
| BUILT-IN AUTO TRACK | 89 |
| CAM BACKUP | 90 |
| CROP | 89 |
| GROUP CAM CONTROL | 87 |
| LENS | 88 |
| MAINTENANCE | 90 |
| PAN TILT | 88 |
| CONNECT | 109 |
| AUTO IP SETTING | 110 |
| CONNECT SETTING | 109 |
| EXT CONTROL | 113 |
| MANUAL IP SET | 109 |
| ROP LINK | 111 |
| RP IP SETTING | 110 |
| SWITCHER LINK | 111 |
| Connect Setting | 118 |
| Camera Assignment | 118 |

M

| | |
|---------------------------|-----|
| Macro | 127 |
| Macro Edit | 127 |
| Maintenance | 136 |
| Product Information | 138 |
| Reset/Reboot | 137 |
| RP Backup | 139 |
| System Log | 136 |

P

| | |
|------------------------|-----|
| PAINT | 82 |
| AUTO EXPOSURE | 83 |
| CHROMA | 84 |
| COLOR CORRECTION | 85 |
| DETAIL | 84 |
| GAIN | 83 |
| GAMMA | 83 |
| HDR PAINT | 86 |
| KNEE | 84 |
| MATRIX | 84 |
| PED | 83 |
| SCENE | 82 |
| SHUTTER | 83 |
| WHITE BALANCE | 82 |
| WHITE CLIP | 84 |
| PMEM/TMEM/MACRO | 102 |
| EXT CTRL PMEM | 108 |
| MACRO | 105 |
| NAME EDIT | 107 |
| PMEM | 103 |
| PMEM SETTING | 105 |
| TMEM | 104 |
| VIEW COLOR | 107 |

R

| | |
|----------------------|-----|
| RP200 Network | 133 |
| Network | 133 |
| RP MENU | 91 |
| BASIC CONFIG | 92 |
| CONTROL I/F | 93 |
| CTRL DIRECTION | 94 |
| GPIO CAM SEL | 97 |
| GPI PMEM | 99 |
| GPI PMEM GROUP | 99 |
| GPI TALLY | 96 |
| GPO CAM GROUP | 98 |
| MAINTENANCE | 95 |
| RP BACKUP | 101 |
| USER ASSIGN | 93 |

S

| | |
|-----------------|-----|
| System | 117 |
| Date&Time | 117 |
| Title | 117 |

V

| | |
|---------------------------|-----|
| Video Input over IP | 130 |
| NDI High Bandwidth | 130 |
| SRT | 131 |

MEMO

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2026